令和７年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
沖縄・動物系分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業

事業報告書

令和８年２月

学校法人　ＫＢＣ学園
沖縄ペットワールド専門学校

本報告書は、文部科学省の専修学校による地域産業中核人材養成事業による委託事業として、学校法人ＫＢＣ学園沖縄ペットワールド専門学校が実施した、令和７年度「沖縄・動物系分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の成果をとりまとめたものです。

目　次

１　事業の概要
　　1.1　実施体制　1
　　1.2　事業の趣旨　1
　　1.3　開発する教育プログラム　2
　　1.4　令和７年度の事業　3
２　第一回連携プログラム開発検討委員会
　　2.1　令和７年度事業計画　5
　　2.2　実証授業報告
　　　2.2.1　小禄高校職業講話　実施概要　6
　　　2.2.2　南風原高校職業講話　実施概要　13
　　2.3　高校生の職業意識に関する調査報告書　20
　　2.4　KBC サービス・ラーニング活動　44
　　2.5　委員の意見　56
３　第二回連携プログラム開発検討委員会
　　3.1　中部農林高等学校　職業講話①　58
　　3.2　中部農林高等学校　職業講話②　65
　　3.3　サービス・ラーニング実証報告
　　　3.3.1　こどもの国「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」　70
　　　3.3.2　繁殖引退犬譲渡会　80
　　3.4　教材開発報告　89
　　3.5　委員意見　92
４　第三回連携プログラム開発検討委員会
　　4.1　中部農林高等学校　職業講話③94
　　4.2　サービス・ラーニング報告
　　　4.2.1　こどもの国「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」　101
　　　4.2.2　繁殖引退犬譲渡会　111
　　4.3　卒後セミナー報告
　　　4.3.1　卒後セミナー①「愛玩動物看護師セミナー」　144
　　　4.3.2　卒後セミナー②「トータル卒後セミナー」　151
　　4.4　中学生の職業体験報告書
　　　①西原町立西原中学校　職業体験　159
　　　②国頭村立国頭中学校　職業体験　167
　　　③浦添市立神森中学校　職業体験　173
　　4.5　中部農林高校職業意識に関する調査報告　182
　　4.6　委員意見　206

議事録

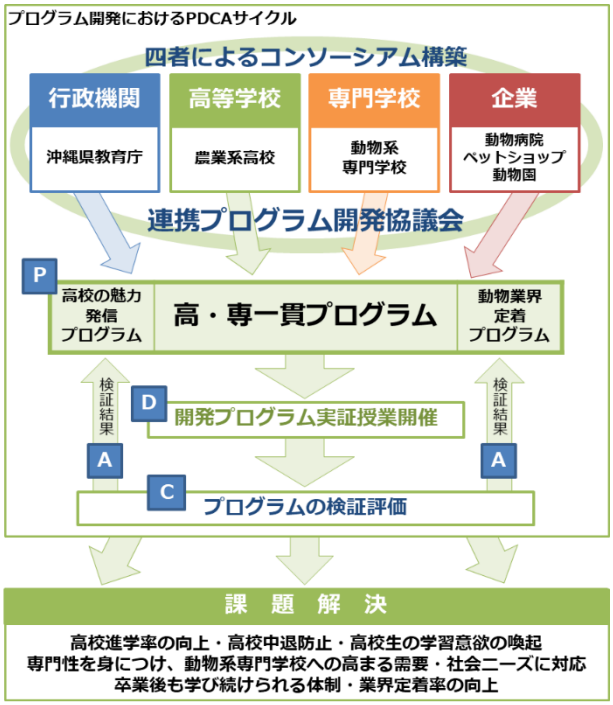
第１回プログラム検討委員会　208
第２回プログラム検討委員会　212
第３回プログラム検討委員会　216

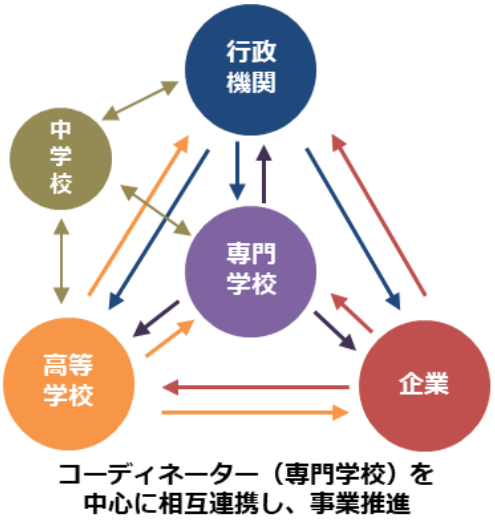
1　事業の概要

1.1　実施体制

行政機関、高等学校、企業、専門学校四者によるコンソーシアムを構築。「連携プログラム開発協議会」を設立し、高・専一貫プログラムの計画を立案する。

計画を基に開発プログラム実証授業を開催し、プログラムの検証評価委員会によってプログラムの評価を行う。検証結果を基に新たな計画に反映させ実証授業を行う。このＰＤＣＡサイクルを有機的に機能させ、実効性・教育効果の高い連携プログラムを開発する。





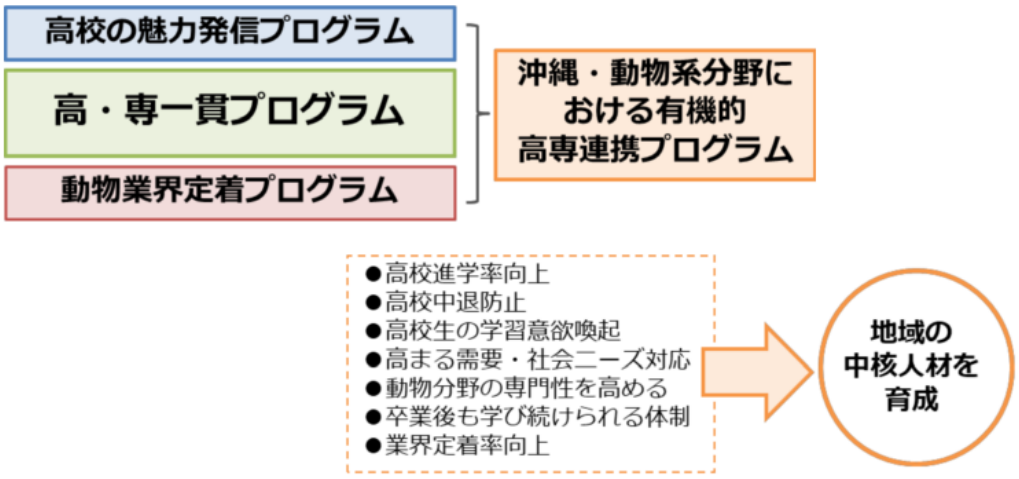
1.2　事業の趣旨

開発プログラムは「高校生」「専門学校生」はもちろん、高校と専門学校の前後に位置する「中学生」及び「社会人」も包括する。時系列に見ると、中学と高校の橋渡しとして「高校の魅力発信プログラム」を開発。開発プログラムにより中学生にとっても魅力的な高校となり、地域課題である高校進学率の向上、高校中退防止に繋げる。次に、高校と専門学校で５年かけて学ぶ「高・専一貫プログラム」を開発。共通目標と一貫したカリキュラムを構築し、動物系分野の高まる受容や社会ニーズに対応できる専門人材を育成する。そして、専門学校卒業後も学び続けられる体制づくりとして「動物業界定着プログラム」を開発。離職を減らし、動物業界への定着率を向上する。卒業生の業界での活躍は高・専一貫プログラムで学ぶ高校生と専門学校生の身近な将来像であり、将来像の明確化は共通の目標設定や一貫したカリキュラムの重要な要素となる。

開発プログラムにより「動物にかかわりながら、専門性を身につけ、人や社会への貢献を認識しつつ、収入が安定し、一生続けられる仕事として動物業界で活躍できる」という好循環を本プログラムを通して実現していく。そして、我が国の労働生産性及び生涯を通じた学習機会の拡大に寄与する。

1.3　開発する教育プログラム

　高校生の「学習意欲の喚起」や専門学校生の「高まる需要・社会ニーズへの対応」「専門性を高めること」と同時に、「高校進学率の向上」や「高校中退防止」、卒業後の「業界定着率の向上」と幅広い課題解決のために、本事業で開発するプログラムは高校、専門学校の前後である「中学」「卒業後」を包括した総合プログラムとする。



		高・専一貫プログラム					
	中学	高校1年	高校2年	高校3年	専門学校1年	専門学校2・3年	社会人
対象	中学校	農業高校（熱帯資源科等）			動物専門学校（トータルペットケア、動物看護、トリミング、動物飼育コース）		動物系企業
人数		40名	20名	20名	8名	8名	20名
プログラム概要	動物関連高校の魅力を伝える	目指す資格：愛玩動物飼養管理士試験2級（基礎力養成）	愛玩動物飼養管理士試験2級（受験対策）	愛玩動物飼養管理士試験1・2級（受験対策）	愛玩動物飼養管理士試験1級	国家資格 愛玩動物看護師 DINGO高度資格、JKC高度資格、	高・専一貫プログラムを終了した卒業生が業界定着しさらなる高度資格取得を目指す
		実技・実習：アニマルプロエッショナルに触れることで、10年後の自分の将来の姿を具体化	各種理論を学び、基礎的な実践をすることで飼養に慣れ、成功体験を重ね自己肯定感と自信を醸成	沖縄の野生動物の現状や愛玩動物をめぐる社会環境を学び、課題発見と解決を共同作業により図る	地域社会との連携を図り、地域社会に貢献できるフィールドワークメンバーとして参画	地域社会に貢献するフィールドワークとしてサービスラーニングを企画して実践する	
学習内容	動物に触れあう・職業理解	資格取得対策（愛玩動物飼養管理士2級）・畜産飼育の基礎知識・企業見学 業界人講和	資格取得対策（愛玩動物飼養管理士2級）・飼養管理・飼養実習・校外実習・業界人講和	資格取得対策（愛玩動物飼養管理士2級）・総合飼養管理・総合飼養実習・課題発見解決実習	資格取得対策（愛玩動物飼養管理士1級）・企業実務実習・フィールドワーク	高度資格取得対策（DINGO/JKC）・飼養研究・企業実務実習・フィールドワーク	スキルアップセミナー（・現場での専門知識、技術・コミュニケーション力）
育成能力	進学意欲・学習意欲	基礎知識・職業観・社会観・学習意欲	専門知識・学習意欲・自己肯定感・自己効力感	専門知識・課題発見能力・課題解決能力・コミュニケーション力	専門知識・コミュニケーション力・共感力・協調性	高度な専門知識・リーダーシップ・企画力・後輩指導力	より高度な専門知識・現場力

1.4　令和７年度の事業

◆今年度スケジュール

時期	連携プログラム開発協議会	実証授業の開催	プログラム開発	コーディネーター業務
７月	第１回委員会	実証授業実施		連携校・連携企業の開拓、高等学校・行政・企業の橋渡し
８月			プログラム開発	
９月		実証授業実施		
10月		実証授業実施		
11月	第２回委員会	実証授業実施	検証評価委員会	
12月		実証授業実施	プログラム修正	
１月	第３回委員会		プログラム完成	
２月				

①カリキュラム開発

専門学校生向けカリキュラム（サービス・ラーニングの導入プログラム教材開発）
中学生向けカリキュラム（中学生対象の職業体験）
社会人向けカリキュラム（動物関係業界の従事者対象スキルアップのセミナー）

②教材開発

愛玩動物飼養管理士 2 級対策 自習用教材制作（50 分授業×4 コマ分）
愛玩動物飼養管理士 1 級対策 自習用教材制作（50 分授業×4 コマ分）
動物分野 職業理解のための高校生キャリア教育教材制作（50 分授業×3 コマ分）
それぞれの動画教材は「視聴用（１５分）」と「記入用（７分）」に分け、記入用動画には視聴しながら内容を記載するヒアリングシートを連携教材として併せて作成。２種類の動画は高校での授業の目的や受講対象者に合わせて制作している。

「視聴用」
職業内容の理解やその職業に就くための取組を伝達する目的。
対象としては、キャリア構築初期の高校１年生をイメージ。
「記載用」
職業の理解はもちろん、「聞く力」「話す力」を訓練する目的。
対象としては、インターンシップや面接等を控えた高校２・３年生をイメージ。

③実証授業の開催

授業実施、アンケート集計、検証評価 ※受講対象者：高校生、専門学校生、社会人

- 沖縄県立中部農林高校 熱帯資源科（動物コース）2、3 年生対象
  開催月： 令和 7 年 9 月～12 月
- 沖縄県立中部農林高校 熱帯資源科 1 年生対象
  開催月： 令和 7 年 11 月
- 沖縄県立北部農林高校 熱帯農業科１年生対象
  開催月： 令和 7 年 12 月
- 沖縄県立小禄高校 情報ビジネス科３年生対象
  開催月： 令和 7 年 6 月
- 沖縄ペットワールド専門学校 学生対象
  開催月： 令和 7 年 7 月～12 月
- 社会人（沖縄ペットワールド専門学校卒業および希望者）
  開催月： 令和 7 年 8 月、12 月
- 沖縄県内の中学校
  開催月： 令和 7 年 10 月～12 月

④連携プログラム開発協議会の開催

高等学校、行政、専門学校、企業の四者による高専連携プログラム開発に向けた協議会を発足、プログラム開発に向けた委員会を開催する。ヒアリング調査の分析、課題及びニーズ整理、開発内容の選定を行う。
また、開発プログラムの課題整理、導入に向けた手順を整理する。

第１回委員会（７月）：今年度スケジュール紹介、開発プログラム概要
第２回委員会（１１月）：実証授業開催報告、開発プログラム紹介
第３回委員会（１月）：今年度成果報告、次年度方向性確認

⑤コーディネーター業務

連携校、連携企業の開拓
サービス・ラーニング導入企業と専門学校生との調整、管理
高校魅力発信プログラム受入れ中学校開拓

＜連携プログラム開発協議会委員＞

氏名		所属・職名	役割等	都道府県名
1	親泊　達也	沖縄県立中部農林高等学校教諭	委員	沖縄県
2	高江洲　聖	沖縄県教育庁県立学校教育課　指導主事	委員	沖縄県
3	吉川　鉄平	学校法人シモゾノ学園国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　教務部　部長	委員	東京都
4	喜納　保	株式会社　WOLVESHAND 沖縄事務局	委員	沖縄県
5	翁長　朝	公益財団法人　沖縄こどもの国　動物みらい課　課長	委員	沖縄県
6	吉田　剛	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　副校長	委員長	沖縄県
7	仲松　謙	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　事務局長	委員	沖縄県
8	崎山　孝司	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　就職課	委員	沖縄県
9	儀間　秀人	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　教務課長	委員	沖縄県
10	山城　正仁	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　教務主任	委員	沖縄県
11	名護　聡美	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　教務主任	委員	沖縄県
12	永井　洋美	学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校　教務	委員	沖縄県
13	當間　律子	学園本部　地域創生室	委員	沖縄県
14	伊禮　嘉本	学園本部　地域創生室	委員	沖縄県

２　第一回連携プログラム開発検討委員会

令和７年度事業計画の検討、実証授業報告、職業意識に関する調査報告、サービス・ラーニングの取り組みについての意見交換を行った。

2.1　令和７年度事業計画

今年度の取組に関する年間スケジュール

	連携プログラム開発協議会	実証授業	サービスラーニング	職業体験
	委員会開催	実証授業の開催	専門学校	中学校
4 月				
5 月			内容検討	
6 月		キャリア教育の授業（面接試験対策）		
7 月	第 1 回委員会			
8 月			実施準備	実施準備
9 月		愛玩動物飼養管理士試験の受験対策	実施	実施
10 月		愛玩動物飼養管理士試験の受験対策		
11 月	第 2 回委員会	職業講話、コミュニケーションの重要性		
12 月		キャリア教育の授業（挨拶、面接試験の立ち居振る舞い）		
1 月	第 3 回委員会		レポート提出	レポート提出
2 月				
3 月				

＜実証授業予定＞

（対象高校：中部農林高等学校）１４コマ

日程	授業時間	授業内容	担当講師	対象学年
9月12日	13:45～15:35	身体の仕組み	儀間	【2年生】20名 金曜日
10月24日	13:45～15:35	エキゾチックアニマル	山城	
11月14日	13:45～15:35	情報の取り方生かし方	広原	
9月10日	13:45～15:35	栄養について	永井	【3年生】20名 水曜日
9月24日	13:45～15:35	疾病について	前田	
11月7日	13:45～15:35	職業講話	仲里	【1年生】40名 金曜日
11月28日	13:45～15:35	コミュニケーションの重要性	吉田	

（対象高校：小禄高等学校）２コマ

日程	授業時間	授業内容	担当講師	対象学年
6月27日	13:45～15:35	面接試験対策講座	花城	情報ビジネスコース 【3年生】38名

（対象高校：南風原高等学校）２コマ

日程	授業時間	授業内容	担当講師	対象学年
7月4日	9:15～10:55	面接試験対策講座	花城	教養ビジネスコース 【3年生】45名

＜小禄高校シラバス＞

■日　　時　・令和7年　6月　27日（金）5校時 ～6校時
■場　　所　・小禄高等学校　視聴覚教室
■対　　象　・情報ビジネスコース3年生　38名
■主　　旨　・進学、就職試験にて避けられない面接の基本的なマナーや最新情報を知り、自身の進路活動に役立てる。
　　・実践を通して基本動作を習得することで、習慣の大事さを実感し、日々取り組む意欲高揚に繋げる機会とする。

※５０分×２コマ内容

時　間	所要時間	大　項　目	小　項　目	内　　容	備　　考
	10 分	Ⅰ．面接の心得	1．面接の目的	**《動画視聴》**3'26 面接対策！入室から退出までのマナーチェック	
			2．最低限の常識(習慣化)	挨拶、身だしなみなど「や～なれ～ぬ　ふかなれ～」で日々意識して取り組むこと	
	15 分	Ⅱ．第一印象	1．外見の印象の要素	①良い印象を心がける。外見の印象を意識する（視覚印象）	
			2．身だしなみチェック	②身だしなみが大切な理由、身だしなみセルフチェック	
			3．姿勢	③姿勢チェック（正しい姿勢の確認）	
	15 分	Ⅲ．あいさつ・お辞儀　所作	1．挨拶の表情	①マスクでも分る表情　（笑顔の確認）	
			2．印象の良い挨拶・お辞儀	②《演習》面接で使う挨拶・お辞儀の実践練習	
			3．面接時の姿勢　立ち座り	③《演習》座り方・立ち方　動作	
	10 分	休憩			
	20 分	Ⅳ．面接の立ち居振る舞い	1．入退室の一連動作	①《演習》入室～着席　ノック、歩行、自己紹介、着席	
			2．面接の姿勢	②《演習》姿勢の確認、目線、動作などの注意点	
	10 分	Ⅴ．模擬面接	1．フラッシュ質問	①過去質問例より全員へフラッシュ型式で質問・自己回答	
				②面接試験に臨む前に準備しておくこと	
	05 分	Ⅵ．面接のマナー	1．面接の基本的なマナー	控え室でのマナー、質疑応答の仕方、話し方、面接のねらい等	
	05 分	Ⅵ．Conclusion		**《動画視聴》**2'00 動く黒板アート　平祐奈6,328枚の大作	
		クロージング	2．質疑応答		

＜南風原高校シラバス＞

■日　　時　　・令和7年　7月　4日（金）1校時 ～ 2校時
■場　　所　　・南風原高等学校　視聴覚教室
■対　　象　　・教養ビジネスコース３年生　45名
■主　　旨　　・進学、就職試験にて避けられない面接の基本的なマナーや最新情報を知り、自身の進路活動に役立てる。
　　・実践を通して基本動作を習得することで、習慣の大事さを実感し、日々取り組む意欲高揚に繋げる機会とする。

※45分×２コマ内容

時　間	所要時間	大　項　目	小　項　目	内　　容	備　　考
	10 分	Ⅰ．面接の心得	1．面接の目的	**《動画視聴》** 3'26 面接対策！入室から退出までのマナーチェック	
			2．最低限の常識(習慣化)	挨拶、身だしなみなど「や～なれ～ぬ　ふかなれ～」で日々意識して取り組むこと	
	15 分	Ⅱ．第一印象	1．外見の印象の要素	①良い印象を心がける。外見の印象を意識する（視覚印象）	
			2．身だしなみチェック	②身だしなみが大切な理由、身だしなみセルフチェック	
			3．姿勢	③姿勢チェック（正しい姿勢の確認）	
	15 分	Ⅲ．あいさつ・お辞儀　所作	1．挨拶の表情	①マスクでも分る表情　（笑顔の確認）	
			2．印象の良い挨拶・お辞儀	②《演習》面接で使う挨拶・お辞儀の実践練習	
			3．面接時の姿勢　立ち座り	③《演習》座り方・立ち方　動作	
	10 分	休憩			
	20 分	Ⅳ．面接の立ち居振る舞い	1．入退室の一連動作	①《演習》入室～着席　ノック、歩行、自己紹介、着席	
			2．面接の姿勢	②《演習》姿勢の確認、目線、動作などの注意点	
	10 分	Ⅴ．模擬面接	1．フラッシュ質問	①過去質問例より全員へフラッシュ型式で質問・自己回答	
				②面接試験に臨む前に準備しておくこと	
	05 分	Ⅵ．面接のマナー	1．面接の基本的なマナー	控え室でのマナー、質疑応答の仕方、話し方、面接のねらい等	
	05 分	Ⅵ．Conclusion		**《動画視聴》** 2'00　動く黒板アート　平祐奈6,328枚の大作	
		クロージング	2．質疑応答		

＜事業実施によって達成する成果及び測定指標＞

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	前年度	今年度	最終年度
連携プログラム導入高校数	目標値	校	－	3	3	4
	実績値	校	－	3		
	達成度	%	－	100		

(上記 KPI を採用した理由)
沖縄県内(農業系)高校を対象とする。プログラム導入高校数を増やすことがプログラム普及に直結するため。キャリア教育として北部農林高校1年生、小禄高校 3 年生に実施。

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	前年度	今年度	最終年度
中部農林高校2年生が受験する愛玩動物飼養管理士 2 級合格率	目標値	%	－	92	92	95
	実績値	%	－	95		
	達成度	%	－	103		

(上記 KPI を採用した理由)
高校2年生対象の愛玩動物飼養管理士2級の実証授業を実施して検定合格率の向上を図る。

※令和 7 年 2 月 23 日に再受験の結果　合格率 95%:受験者 20 名、合格者 19 名

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	前年度	今年度	最終年度
中部農林高校3年生が受験する愛玩動物飼養管理士1級合格率	目標値	%	－	77	77	80
	実績値	%	－	77		
	達成度	%	－	100		

(上記 KPI を採用した理由)
高校3年生対象の愛玩動物飼養管理士1級の実証授業を実施して検定合格率の向上を図る。

※令和 7 年 2 月 23 日に再受験の結果　合格率 77%:受験者 18 名、合格者 14 名

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	前年度	今年度	最終年度
中部農林高校1年生が受講する職業講話などの理解度	目標値	点	－	4.6	4.6	4.6
	実績値	点	－	4.5		
	達成度	%	－	98		

(上記 KPI を採用した理由)
職業講話(仕事とは、働くとは)やコミュニケーションの重要性を理解することで社会人としての基礎を学び進路選択に必要な知識を養うため。
具体的方法:理解度を5段階に分けアンケートを実施して全体の平均を算出する。
職業講話の平均値:4.7、コミュニケーションの重要性の平均値:4.43

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	前年度	今年度	最終年度
職業意識変容評価(変容率)	目標値	点	－	120	125	130
	実績値	点	－	120		
	達成度	%	－	100		

(上記 KPI を採用した理由)
プログラム導入前後の高校生自身の成長を可視化し、生徒の将来の夢を具体化するサポートをするとともに、プログラムの教育効果測定を行う。
(変容率算出について)
行動変容に表れる回答項目を採用。令和 5 年度は職業や進路について保護者と話し合っている生徒数の変容率を評価していたが、2年進級時に当該コース選択に保護者と話し合いが行われており評価項目としては適切でないことが判明したため、令和 6 年度の評価からは、「将来希望する職業を決めている」を行動変容率算出項目とした。

【令和 5 年度の結果】	前	後	変容率
将来希望する職業を決めている	52.4%	50.0%	95.4%

【令和 6 年度の結果】	前	後	変容率
将来希望する職業を決めている	50.0%	60.0%	120%

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	前年度	今年度	最終年度
専門学校生の動物関係への就職率	目標値	%	－	93	94	95
	実績値	%	90	93		
	達成度	%	－	100		

(上記 KPI を採用した理由)
令和 6 年度実績は 93%である。(令和 7 年 1 月 27 日現在)
動物業界への人材輩出のため当該分野への就職率を上げることが必須のため。

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	前年度	今年度	最終年度
卒業生の就職後の 3 年定着率	目標値	%	－	85	93	94
	実績値	%	50	92		
	達成度	%	－	108		

(上記 KPI を採用した理由)
令和 3 年度卒業生の就職後 3 年以上の定着率は 92%である。(令和 7 年 1 月 27 日現在)
人材輩出のために卒業生の 3 年以上の定着率を上げることが必須のため。

2.2　実証授業報告

2.2.1　小禄高校職業講話　実施概要

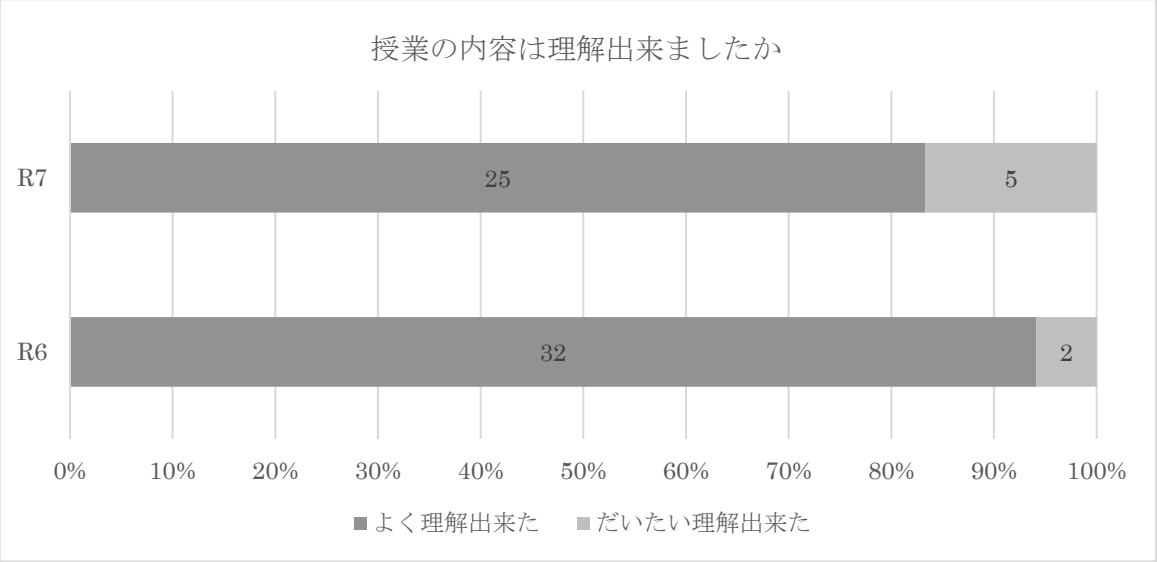
日時　令和７年６月27日（金）午後２コマ
対象　沖縄県立小禄高等学校　情報ビジネスコース３年生
人数　32名（男14、女14、無回答４）
講師　ＫＢＣ学園　花城奈美子
内容　「面接試験対策講座」

日時　令和６年６月28日（金）午後２コマ
対象　沖縄県立小禄高等学校　情報ビジネス科 ３年生
人数　34名（男16、女17、無回答１）
講師　ＫＢＣ学園　花城奈美子
内容　「面接試験対策講座」

生徒アンケート結果

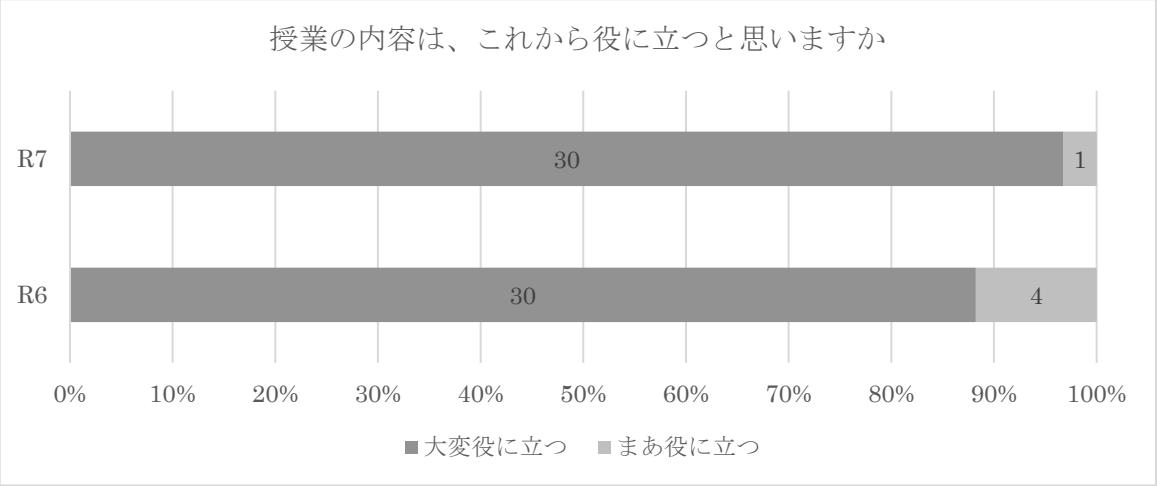
質問　「授業の内容は、理解できましたか？」（無回答２名）

１００%の生徒が「よく理解できた」「だいたい理解できた」と答えた。
「よく理解出来た」と答えた生徒が94%から83%に低下した。



質問　「授業の内容は、これから役に立つと思いますか？」（無回答１名）

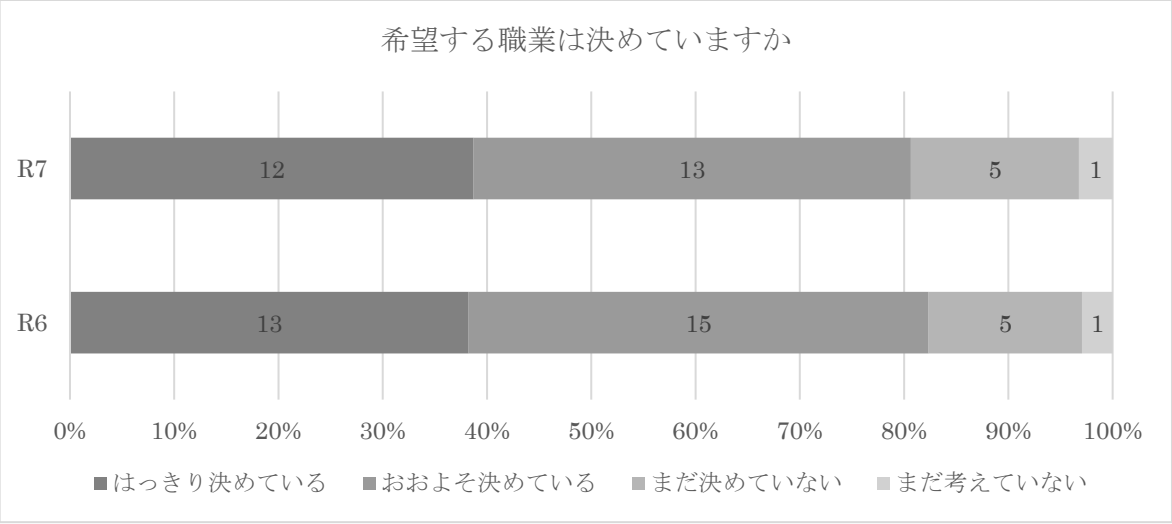
100%の生徒が「大変役に立つ」「まあ役に立つ」と答えた。
「大変役に立つ」と答えた生徒が 88%から 97%に上昇した。



質問　「あなたは今、希望する職業を決めていますか。」（無回答１名）

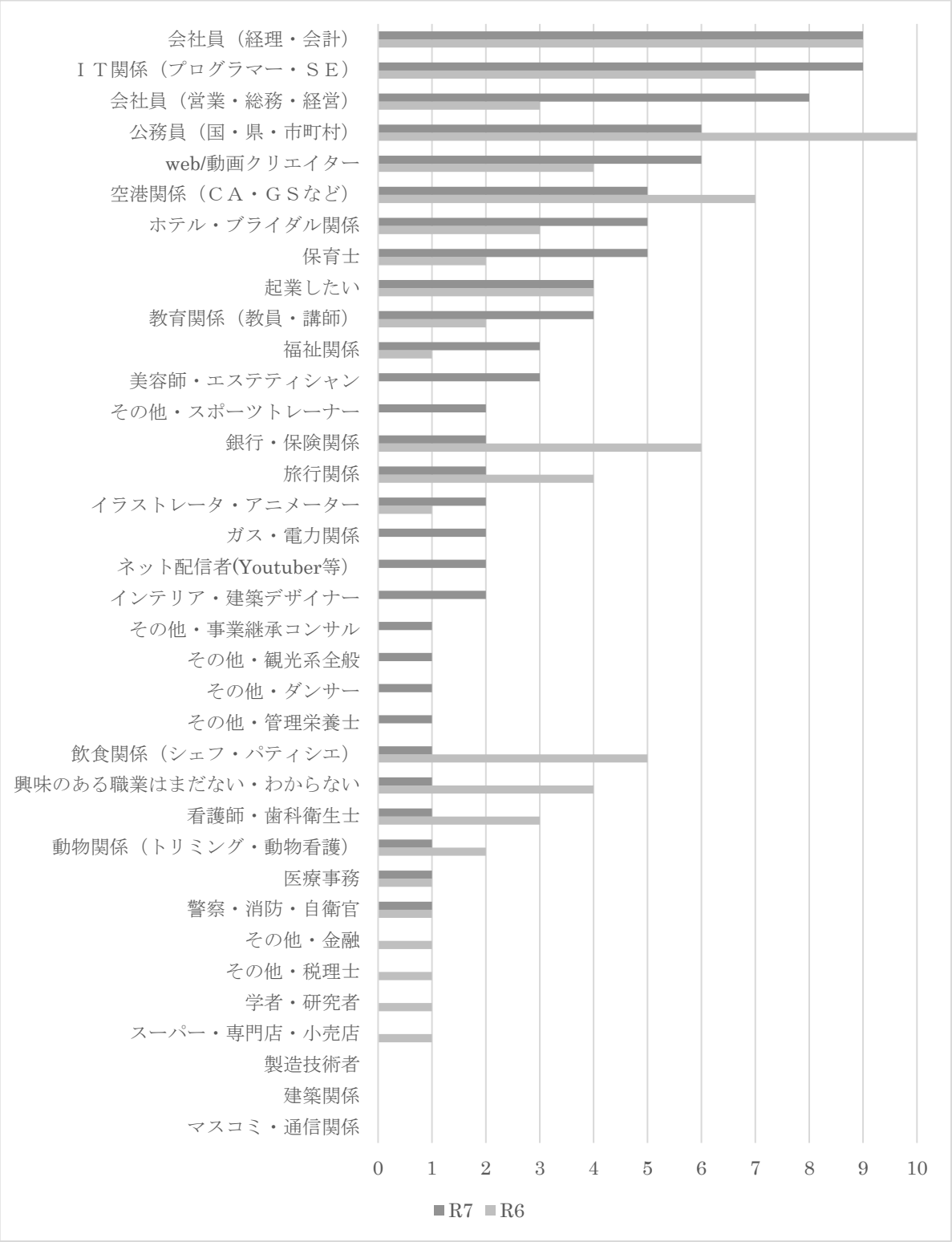
81%の生徒が「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と答えた。

希望する職業を決めている生徒の割合は R6 年度と変化がなかった。



質問　「あなたが今、興味のある職業は何ですか？当てはまるものの番号に３つ〇をつけてください。」

公務員、銀行保険、飲食関係を希望する生徒が大きく減少した。会社員（営業・総務・経営）を希望する生徒が大きく増加した。



質問　「授業を受けて特に印象に残った事、授業を受けてはじめて知ったことを記入してください。」

・フラッシュ面接を受けた時、隣の人に面接官として質問してもらった時に頭の中で言いたいことを少しでも考えている時とそうでない時では答えるスムーズさが違ったこと。

・実際に NG 例も見てただあんなふうにやればいいんだではなく、こんなふうにやるのは特にダメということを理解できた。また NG のようだとどのように印象が変わるのかも実感できた。

・ごせんごれいをすることで相手に失礼がなかったり、笑顔やしせいを意識することで相手に良い印象を残せることがわかりました。また、自分が面接をうける準備をする時は面接ノートを作って箇条書きなどをして準備することで面接がしやすくなることが分かったのでその方法を活用していきたいです。

・特に印象に残ったことは、面接時の入室退室の実技についてです。姿勢や歩き方、表情や言葉遣いに気をつけながら行動をすることができました。授業を受けて初めて知ったこと、学んだことは自己紹介で高校名を言う前にこんにちはといった後、おじぎを忘れていて、ここで気づけて良かったと思いました。

・語先後礼を心がけることで、相手に伝わる印象が大きくプラスに変化するということ。身だしなみの中にハンカチを持っているかも判断基準に入っているということ。

・人の印象は最初の３～５秒で決まるということが印象に残った。身なり、姿勢、笑顔、声のトーン、お辞儀どれも欠かせないものだとわかった。全て意識するのは難しいため、常に意識して習慣することが重要だとわかった。

・あいさつをするときには語先後礼を意識することと、人の第一印象は３～５秒で決まると知った。身だしなみをきちんとしていきたいです。

・特に印象に残ったことは第一印象は会って３～５秒で決まり、面接で部屋に入って椅子にすわるまでに決まるとしって、身なりも姿勢もより大事に考えていきたいです。

・人の印象は初めの３～５秒で決まるということや、みだしなみで気にしないといけないことが私が思っていたよりも多かったことがとても印象に残りました。また、良い印象を心がけるには笑顔がもっとも重要だと知ることが出来たので良かったです。

・特に印象に残ったことは正しい姿勢をたもつことが大変だということです。高校受験以来初めて正しい姿勢をしたので足がつらかったです。授業を受けて初めて知ったことは笑顔の大切さです。

・あいさつの笑顔やごせんそれいの前に言葉を先に行ってお辞儀をする方が聞き取りやすく印象が良いことについて印象が残ったし、はじめてこの授業で学びました。

・実際にあいさつをしたり歩いたりなどの授業は印象に残りました。書類を読んだり動画を見たりなどは家でもすることが可能ですが、実際に指導してもらうのは普段はすることのできない貴重な経験なので、印象に残りました。初めて知ったことはないです。

・今の時代だと男性も前で手を組んでも良い。目や眉毛をみただけでも第一印象が決まる。

・人の第一印象が３～５秒で決まっていて、見た目や表情、しぐさがとても大事だと改めてわかりました。

・人の印象は初めの３～５秒で決まると知り、今まであまりそれを意識していなかったので特に印象に残ったし大切にしようと思いました。

・実践して学ぶことです。人数が多い場合や室内の広さなどによっては説明だけや動画視聴だけで終わってしまったけれど、教えられたことを実際に行うことで身につけれる機会ができてうれしかったです。

・入った後いすのよこに立ちあいさつを行う際、あいさつをした後は会釈をすることという点が印象に残った。また、面接ノートをあらかじめ作っておくことで本番への対策ができると初めて知った。

・自分の印象が残ったのは入退室の流れと姿勢で、面接で１０分間姿勢を整え続けるのはとても大変だと思いました。

・面接試験は最初の３～５秒で合否が分かれるとしってビックリした。

・面接の際、受け答えの際の対策や姿勢などはこれからいかしていこうと思いました。

・学校名・氏名をいう前のあいさつではきちんと礼をするととても良くなるというのを初めて知り、これからこのことを取り入れたいと思えた。

・失礼しますをいうときに礼も必ずするということが印象に残った。今までしてこなかったので、今回学んだことをこれからの人生に生かしていきたい。

・自分は今日まで語先後礼をしないで同時に礼をしていたので気をつけようと思った。また、正しい姿勢をすると 10 分もできなかったので毎日少しずつでもいいから意識していこうと思った。

・姿勢や声、外見などが相手にあたえる印象に大きく影響していることをしりました。あいさつをする時は語先後礼に気をつけたいと思いました。

・話しをする前の第一印象がとても大切だと分かった。いつでも笑顔でいきいきとしゃべると相手からの好印象だと分かった。語先後礼の方が何を言っているのかわかりやすくて大切だと分かった。

・最初の入室からもう印象が決まっているということがこころに残った。語先後礼や笑顔をしっかりしていきたいと思った。

・この授業で特に印象に残ったことは、あいさつや見た目の部分でも細かいところが大切ということです。

・初めはマナーに関する講義と聞いて厳しい感じを想像していたが、とても分かりやすく、易しく教えていただいたのでとても良かったです。正しい姿勢で座ることはとてもきつかったので、これから意識して生活して面接時にいかしていきたい。

・面接時の姿勢や基本的なマナーについて知ることができた。姿勢だけではなく話し方についても知ることができた。

・面接時のあいさつの種類が３種類あることがわかった。言葉遣いが苦手で思わず口にでるときがあるので日頃から意識していこうと思いました。

・これまではあまり面接で聞かれる内容を考えていなかったが、よく聞かれることを見て考えるきっかけになった。第一印象をよくするコツなどを知ることができてよかった。

質問　「今後、授業で取り上げて欲しい仕事内容や職業に必要なことなどがあれば自由に書いてください。」

・企業や学校に電話する時の言葉遣いやマナーと電子メールを送る時の注意点を知りたいです。

・グランドスタッフについて知りたい。また、遊園地のスタッフなどについて知りたい。

・ホテルやエアラインで働きたいんですが、外国の方とのコミュニケーションの取り方が知りたい。

・上手に話すことができるように言葉のレパートリーについて知りたいです。

・栄養学は医療や福祉などどのジャンルに入っているのか気になった。海外の管理栄養士はどのように働いているのか気になる。

・将来なりたい職業が明確ではないため、世の中にどんな仕事があるのか知りたいと思った。

・医療関係やトレーナーについて知りたい。

・面接の練習をしてほしい。

・IT 系の職業について詳しく知りたいと思いました。

・福祉の仕事が知りたいです。自分に向いている仕事についても知りたいです。

・私は沖縄大学の福祉文化科の健康スポーツ専攻で４年間学び、体育の教員になりたいので、どうやったら教員免許がとれるのか教えて欲しいです。

・自分の性格や得意科目などから自分に向いている仕事を知る授業を受けたいと思いました。また、教育関係に興味があるので、そういう授業を受けたいです。

・上司にお願い事をする/されるときの言葉遣い

・会社員（特に経理、経営に関して）具体的に何をし、何を知っておけばやりやすいのかを教えて欲しい。

・例にあるものですが、電話がどうしても苦手でカジュアルなものなら出来ますが、フォーマルな仕事や会社からの電話への対応をしりたいです。

・実際の会社のマナーについて知りたいと思いました。

・世界の様々な人が楽しめるようなゲーム作りは何かを知りたいです。

・接客業や電話対応の際の正しい言葉遣いを知りたい。

・経営についてもっとくわしく知りたい。

・電話対応が苦手。やりたい職業がない。

・面接で聞き逃した質問などをもう一度聞きたい場合の言葉を知りたい。

・グランドスタッフの基本的なマナーについて知りたい。

・向いている仕事が知りたい。

＜仕事のマナー＞

電話対応	４
うまく話すコツ	２
メールのマナー	１
外国人とのコミュニケーション	１
お願いをするときの言葉	１
会社のマナー	１
グランドスタッフのマナー	１

＜キャリア形成に関わること＞

自分に向いている仕事	３
世の中にある仕事	１
教員免許の取り方	１

＜面接対策＞

面接練習をして欲しい	１
質問を聞き直す言葉	１

＜業界・職種に関すること（詳しく知りたい）＞

GS	１
遊園地スタッフ	１
管理栄養士	１
医療関係	１
トレーナー	１
IT	１
福祉系	１
経理職	１
ゲーム系	１
経営	１

2.2.2　南風原高校職業講話　実施概要

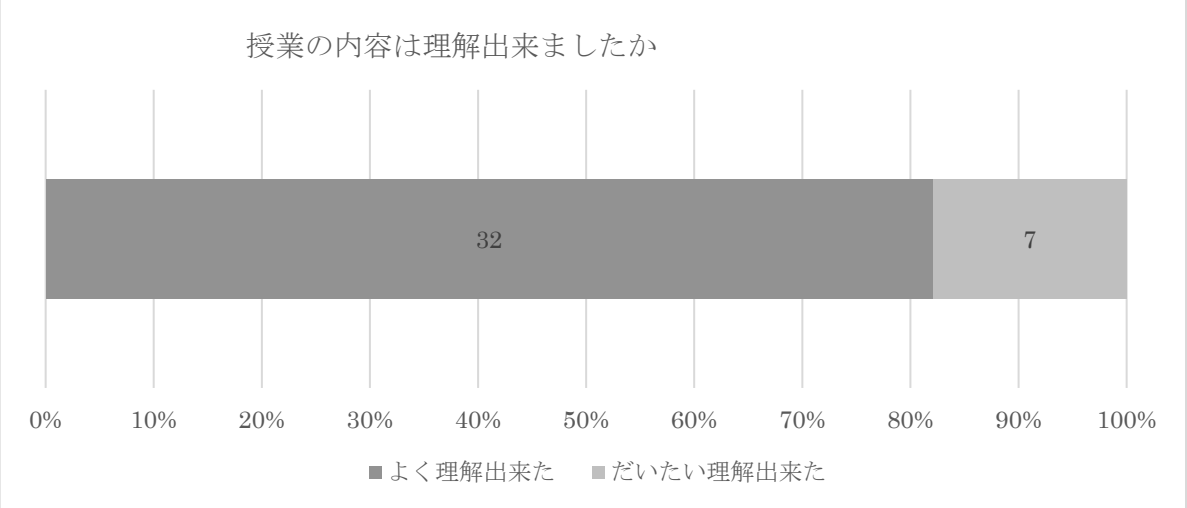
実施概要

日時　令和７年７月４日（金）１校時・２校時
対象　沖縄県立南風原高等学校　教養ビジネスコース３年生
人数　41 名（男 24、女 14、無回答３）
講師　ＫＢＣ学園　花城奈美子
内容　「面接試験対策講座」

生徒アンケート結果

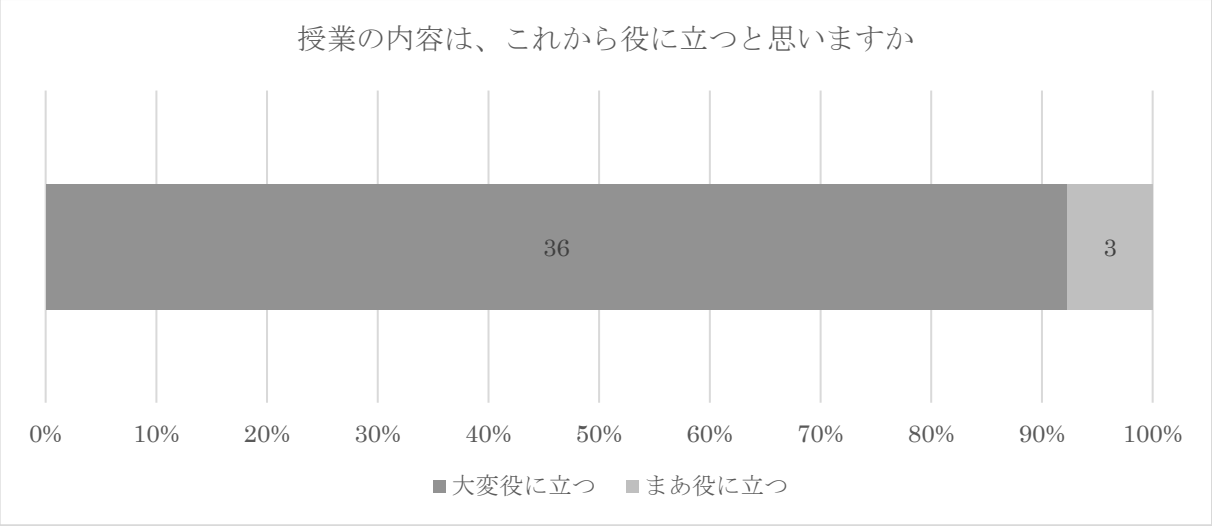
質問　「授業の内容は、理解できましたか？」（無回答２名）

１００％の生徒が「よく理解できた」「だいたい理解できた」と答えた。



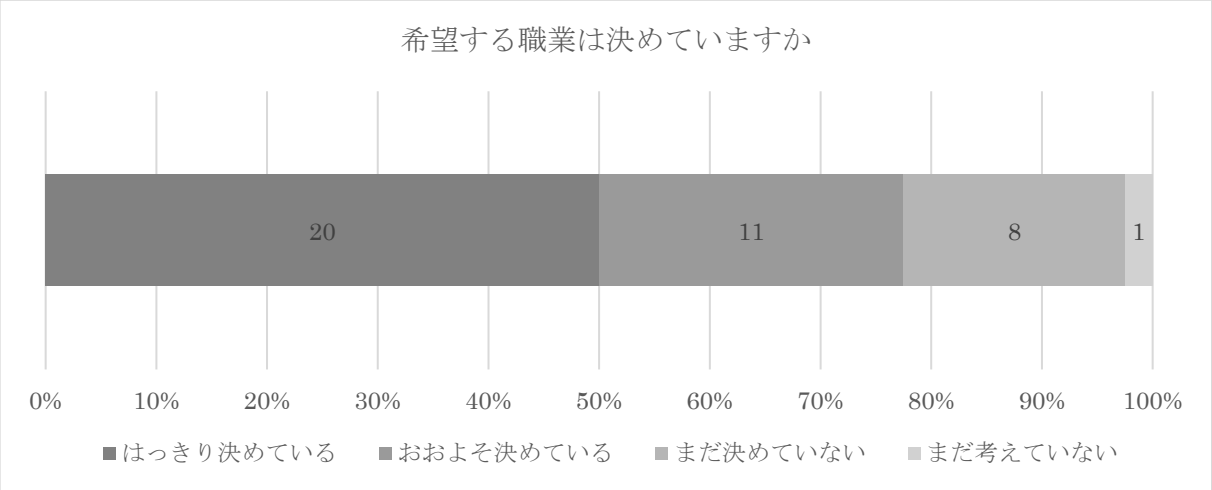
質問　「授業の内容は、これから役に立つと思いますか？」（無回答２名）

100%の生徒が「大変役に立つ」「まあ役に立つ」と答えた。

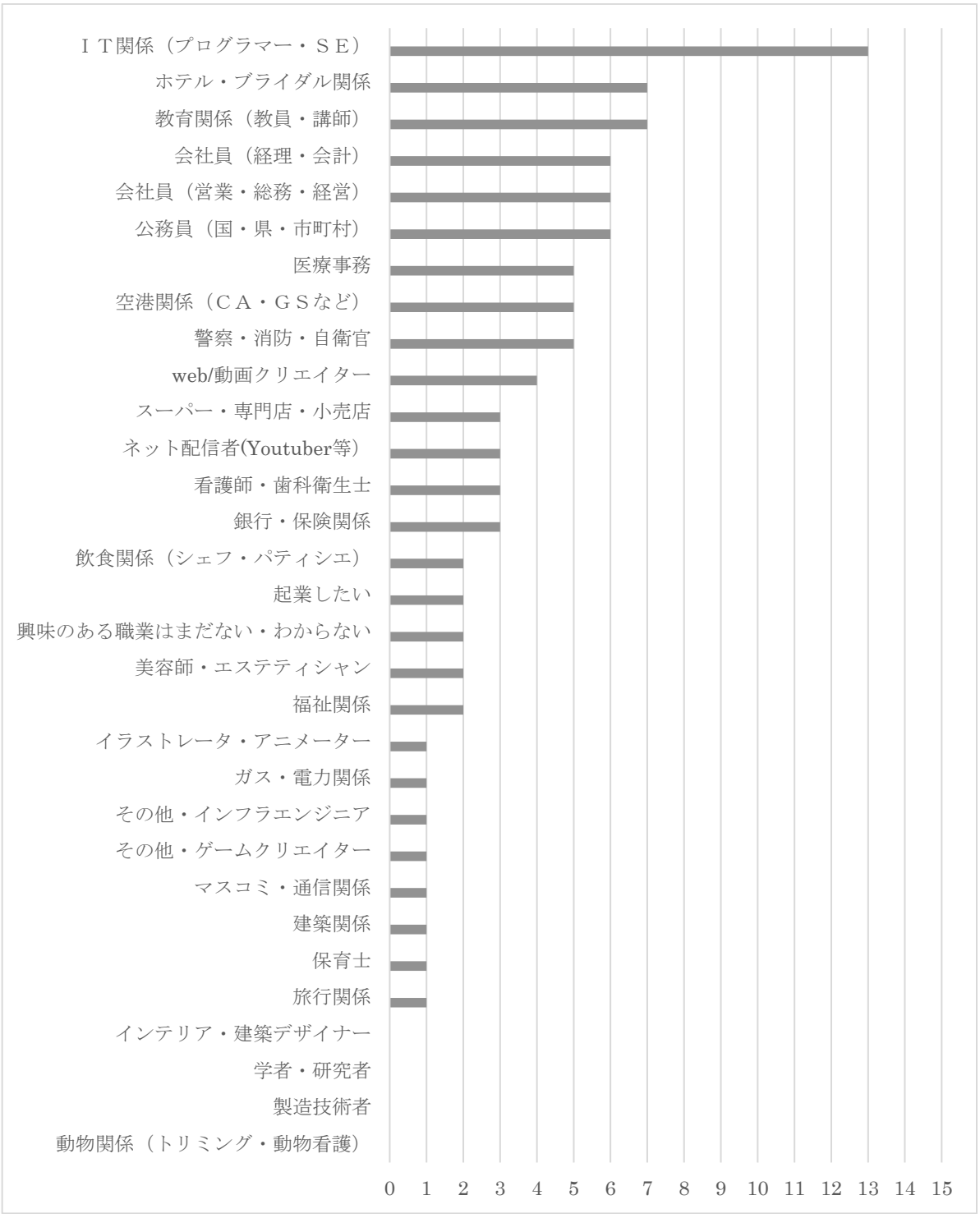


質問　「あなたは今、希望する職業を決めていますか。」（無回答１名）

77.5%の生徒が「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と答えた。



質問　「あなたが今、興味のある職業は何ですか？当てはまるものの番号に３つ〇をつけてください。」



質問　「授業を受けて特に印象に残った事、授業を受けてはじめて知ったことを記入してください。」

・人の印象は６～７秒できまる。外見５５％、声３８％、その他７％。イスに座るとき歩く時の姿勢を忘れない。面接のときの流れをしっかりおぼえる。質問されたときの答えをしっかり考えておく。

・特に印象に残ったことは人の印象は３～５秒ほどで決まるという事です。

・今日授業を受けて印象に残ったことは、入室から退室までの流れと言葉づかいと姿勢です。先にあいさつして後に頭を下げるという語先後礼も印象に残りました。

・自分の意見をまとめる時、文章にして覚えるのではなくかじょうがきで覚える（文章にすると忘れてしまう）面接練習は人を変えてやる。面接ノートを作る。

・やーなれーふかなれーという言葉が印象に残りました。面接のメモはすべて完璧でなくかじょう書きなどをして自主トレをし、そのあとに先生などに手伝ってもらうと分かりました。

・やーなれーふかなれと、人の印象は初めの３～５秒できます。面接の練習では覚えないことが大事。

・人の印象がわかるのが３秒から５秒だということが印象にのこりました。

・やーなれーふかなれーという言葉が印象に残った。

・マナーが本当に大切だということがわかった。礼はとまる（３秒）第一印象は３～５秒できまる。

・面接の姿勢の練習をして自分の姿勢ではだめだと知り、これからは意識していこうと思いました。

・見た目で半分以上も印象が決まるという事におどろいたしこれからも背筋をのばして生きていこうと思った。

・やーなれーふかなれ　わからないとは言わない。何かはいうこと。面接の練習はいろんな人とやること。あいさつなどをした時は必ず礼をする。相手の目を見て、明るい笑顔でする。

・姿勢を１０分以上保たないといけないこと。

・面接をうけるにあたって、日頃の姿勢や言葉遣いなどが本番でも現れることを知った。一つ一つお辞儀の角度や人の印象は３～５秒で決まるなど外見や人柄にも意識すべきことがたくさんあることを学んだ。進学先に向けて何をしないといけないのか考え準備をし行動していきたい。

・あいさつする際の角度が大事

・入退室の流れと姿勢で座り方がそんな長くできるかわからない。

・面接のしかたについて知りました。面接で分かりませんと言うと減点されるとわかりました。

・授業を受け面接のマナーに印象をうけ、面接は入室から始まっていることが分かり入室や退室するときにもしっかりおじぎをすることが分かり、自信をもって話すことが分かった。

・面接ではしっかりと背筋をのばしてあいきょうよく話したいと思いました。歩き方もしっかりみられてるので頑張ろうとおもいました。

・あいさつをするたびにおじぎをしないといけないということが印象に残った。これから生活していく中で語先後礼を心がけていきたいと思った。

・面接１回でもたくさんのおじぎをする場面があって印象的だった。

・正しい言葉づかいと正しいいしせいの使い方。

・面接１回でもたくさんのおじぎをする場面があってすごいとおもった。

・印象に残ったのはしっかりとした姿勢でめんせつなどを受けて正しいことがのこりました。

・面接前の控室から面接は始まっていると考え、本番に活かすことのできるような行動を日頃から続けていきたいと思います。今回は講座をしてくださりありがとうございました。

・はじめに出身校や名前を答えるときにあいさつもするのをはじめて知った。あいさつするときにお辞儀をするのを忘れてしまいそうなので気をつけたい。

・礼にも角度によって丁寧なお辞儀など変わるとわかった。

・あいさつ

・面接のときにわからない質問が聞かれたときにわかりません。すみません。ではなくて、しっかり自分の意見をいう事が大切だと知った。

・めんせつのひかえ室でのすごし方でスマホさわったらダメだとわかった。

・あいさつは大きな声できちんという。

・日頃からやっていることが本番にも出るんだと思いました。

・姿勢や話し方などで印象が大きく変わるということを知ることができた。

・授業を受けてはじめてしったことは印象は３～５秒で決まることです。また見た目などが印象に残ると知ることができたのでこの今日の授業を受けて面接練習をたくさんして希望する職業に必ず合格して就きたいです。

・面接の時に言葉を言ってからおじぎをする。あいさつやへんじははっきりというということがわかった。他のこともちゃんと意識したいです。

・今日の授業を受けてやーなれふかなれ、いつも日常でしていることは社会にでてもやってしまうことを改めて学んだので今日から少しずつ嫌なくせなどは意識してなおしていこうと思いました。

・面接でのマナーや作法、言葉づかいなどを知ることができた。実際に入室退室をしたときに歩き方や椅子に座るまでのしせいなどわからないことが多かったが知ることができとても印象に残った。
--
面接をする時、見た目だｋで３秒でその人の印象がわかると具体的な数字を始めて知りました。
--
面接試験は面接に来た人の言動で印象がきまり、マナーをここがけることが面接をすることで重要だと改めて思いました。控室にいるときから面接官に見られていると言っていたことが印象に残った。
--
質問に答えられるように面接ノートを作ると良いがそれは文章で書いて暗記することは良くないということが印象に残った。

質問　「今後、授業で取り上げて欲しい仕事内容や職業に必要なことなどがあれば自由に書いてください。」

・人と話す、接する仕事でどんなのがあるか知りたい。世の中にどんな仕事があるのか知りたい。

・一般事務の仕事について知りたいです。

・電話での受け答えや表情づくり正しい敬語の使い方が苦手なのでしっかり学びたいなと思いました。

・自分のやりたい仕事について深ぼりする授業

・マーケティングの仕事を詳しく知りたい。

・どういう仕事があるのかそして自分にはどんな仕事が向いているのかなどを知りたい。

・自分が行きたい職業に向いているのか知りたい。バイトで電話をとるのがにがて。

・公務員の仕事が知りたい。

・日ごろから姿勢をしっかりして長い時間きれいな姿勢をたもてるようにがんばりたい。

・建築関係についてもっとくわしく知りたい。

・背筋のいい人になるには具体的に何がいいのか。

・仕事の種類について知りたい。

・IT 関係の仕事（３名）

・自分に向いている仕事が知りたい

・公務員にはどのくらい仕事があるか知りたい

・医療事務になりたいと思っているので医療事務に関することが知りたい。他にも事務の仕事につきたいので事務系のお話しが聞きたい。

・電話対応の仕方が知りたいです。

・サンエーについて

・教師

・日本の今の現状

・医療などの人ととても関わりがある仕事についてもっと知りたい。

・面接練習、電話対応、言葉づかい

・医療関係の仕事が知りたい。

・会計士や税理士の仕事を知りたい。

・心理の職業について知りたいです。

＜仕事のマナー＞
電話対応　４
正しい敬語・言葉づかい　２

＜キャリア形成に関わること＞
自分に向いている仕事　４
世の中にある仕事　２

＜業界・職種に関すること（詳しく知りたい）＞
プログラミング・IT　３
医療関係　３
公務員の仕事　２
人と接する仕事　１
一般事務　１
マーケティング　１
建築関係　１
サンエー　１
教師の仕事　１
会計士・税理士　１
心理職　１
日本の現状　１

2.3　高校生の職業意識に関する調査報告書

高校生の職業意識に関する調査

2.3.1　調査の目的

令和 6・7 年度「沖縄・動物分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の教育効果測定をするために、プログラム前の 1 年次とプログラム後の 2 年次の職業意識の変化を調査する。

また、2 年次調査では独立行政法人国立青少年教育振興機構「高校生の進路と職業意識に関する調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較-」の調査項目を一部取り入れ、全国の高校生と比較する。

2.3.2　調査方法等

	中部農林高校R7年1年次	中部農林高校R8年2年次	国立青少年教育振興機構
調査時期	2025年6月	2026年12月予定	2022年9～2023年1月
有効回答数	40	20予定	4822
調査方法	集団質問紙法	集団質問紙法	集団質問紙法
調査対象	熱帯資源科	熱帯資源科動物コース	全国21地域28校

2.3.3　調査対象および比較対象基本属性

国立青少年教育振興機構調査の raw データから中部農林高校と比較できるよう、2年生のみのデータを抽出しさらに、男女比 15%：85%に換算したものを使用する予定。

	中部農林高校R7	中部農林高校R8	国立青少年教育振興機構データ
男女比	男25% 女70% 他5%	男　　%（予定） 女　　%（予定） 他0%（予定）	男15% 女85% ※男女比ほぼ1：1のデータを換算した
学年	1年：100% 2年：0% 3年：0%	1年：0% 2年：100% 3年：0%	1年：0% 2年：100% 3年：0%

2.3.4　中部農林高校プログラム前調査（1 年）

R7 年度中部農林高校 1 年

日時　2025 年 6 月 9 日
対象　熱帯資源科　1 年生
人数　40 名（男 10 女 28 他 2）

（比較データ）

R6 年度中部農林高校 1 年

日時　2024 年 11 月
対象　熱帯資源科　1 年生
人数　39 名（男 6 女 32 他 1）

2.3.4.1　将来の生き方や進路についての保護者との会話

将来の生き方や進路について保護者と「よく話し合っている」生徒が 22.5%だった。「ときどき話し合っている」と回答した割合を合わせると 82.5%で、前年度の 1 年生（71.8%）と比較すると高かった。

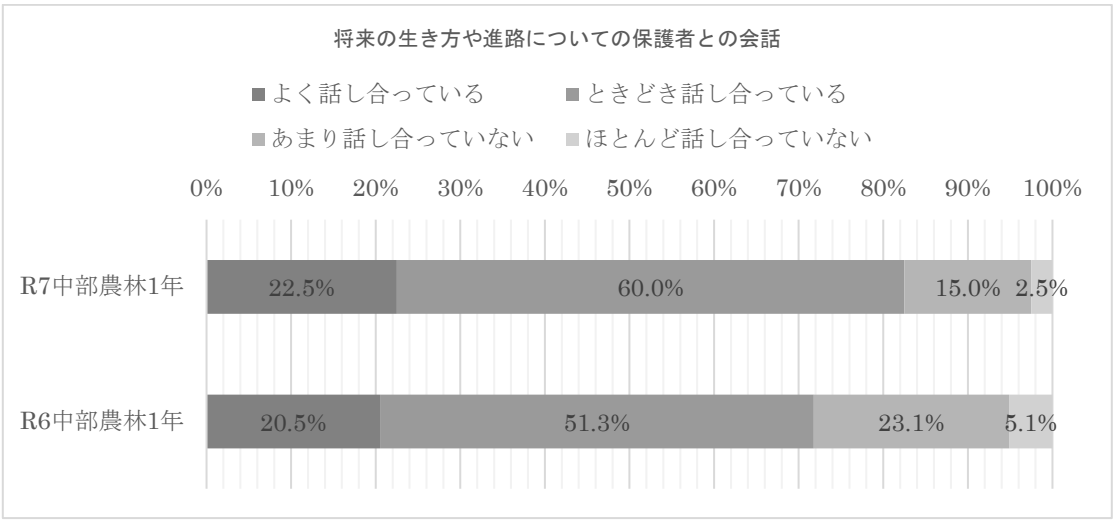


図 1　将来の生き方や進路についての保護者との会話

2.3.4.2　将来希望する職業を決めているか

将来希望する職業を、「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と回答した割合は 35.0%で、前年度の１年生（43.6%）と比較すると低かった。

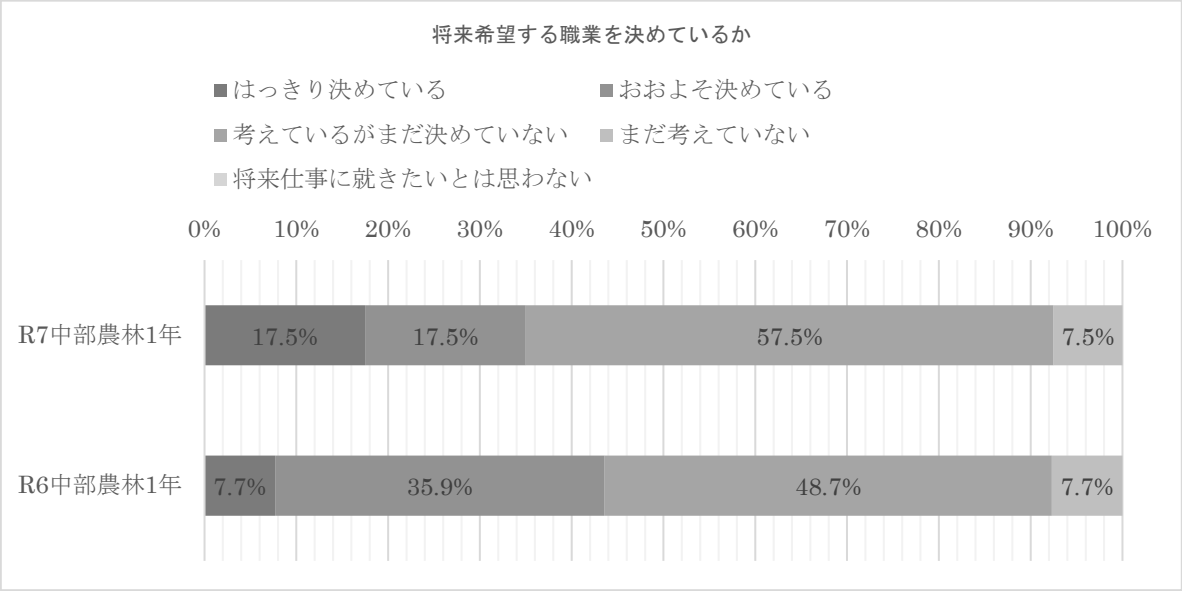


図２　将来希望する職業を決めているか

2.3.4.3　「仕事」「働くこと」のイメージ

「楽しい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 77.5%だった。前年度の 1 年生（66.6%）と比較すると高かった。

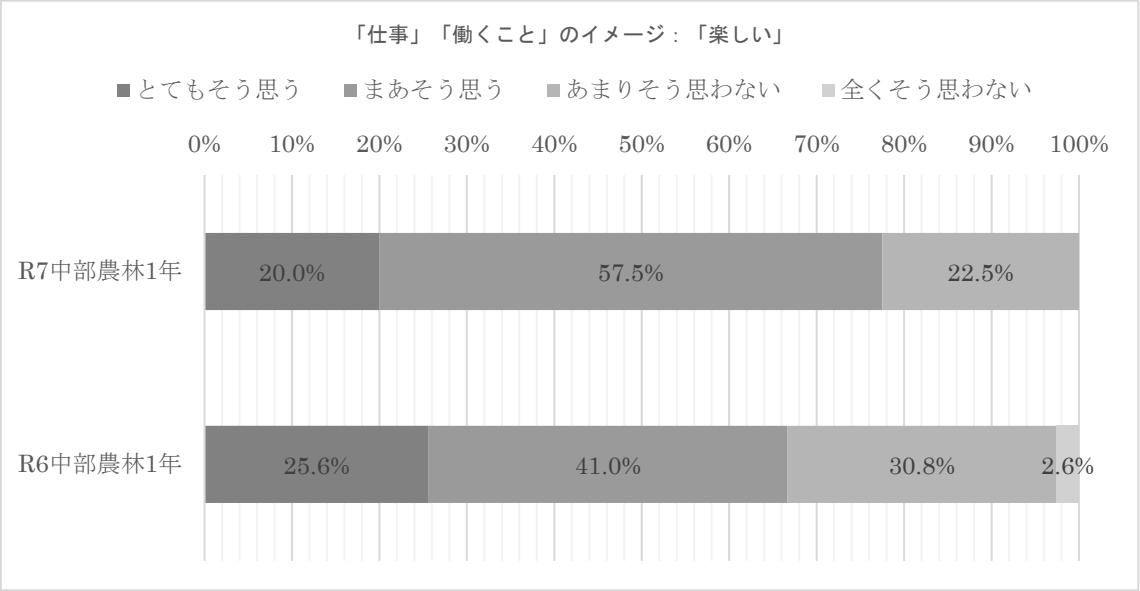


図３　「仕事」「働くこと」のイメージ：「楽しい」

「苦しい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 77.5%で、前年度の 1 年生（76.9%）と大きく変わらなかった。

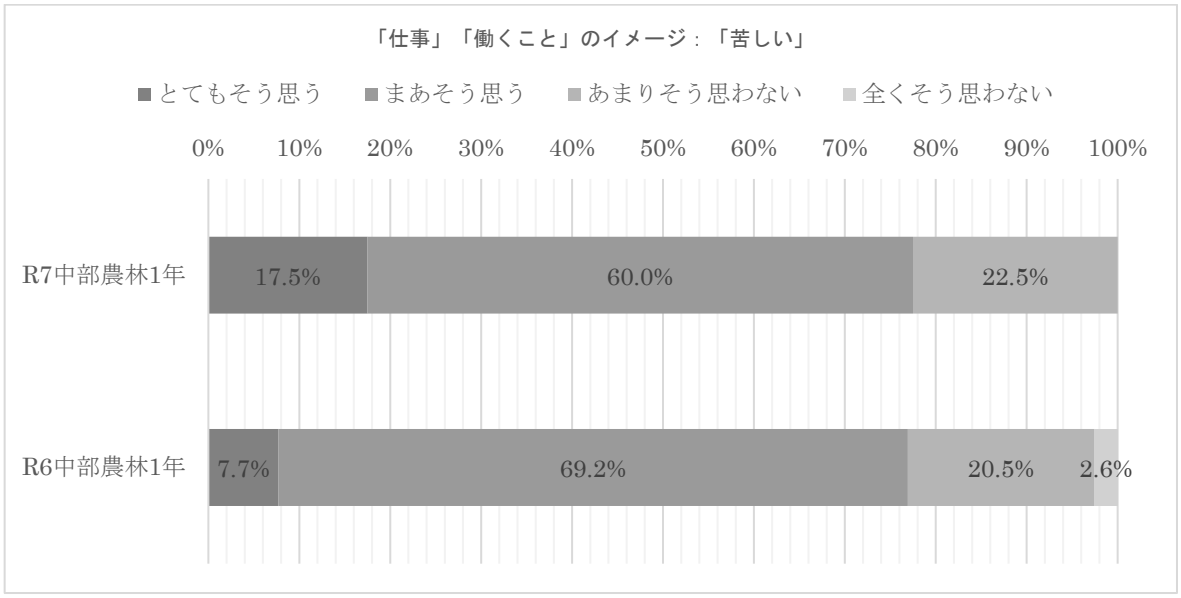


図４　「仕事」「働くこと」のイメージ：「苦しい」

「やりがいがある」について「とてもそう思う」「まあそう思う」が 97.5%だった。前年度の１年生（84.6%）と比較すると高くなった。

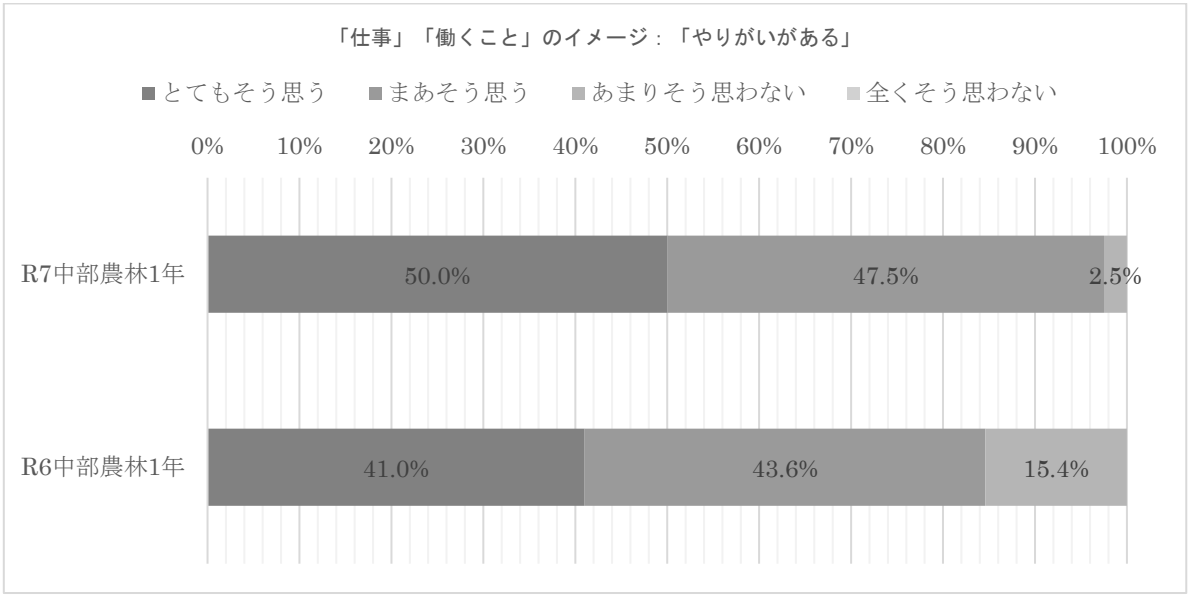


図５　「仕事」「働くこと」のイメージ：「やりがいがある」

「つまらない」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 37.5%で、前年度の１年生（30.7%）と大きく変わらなかった。

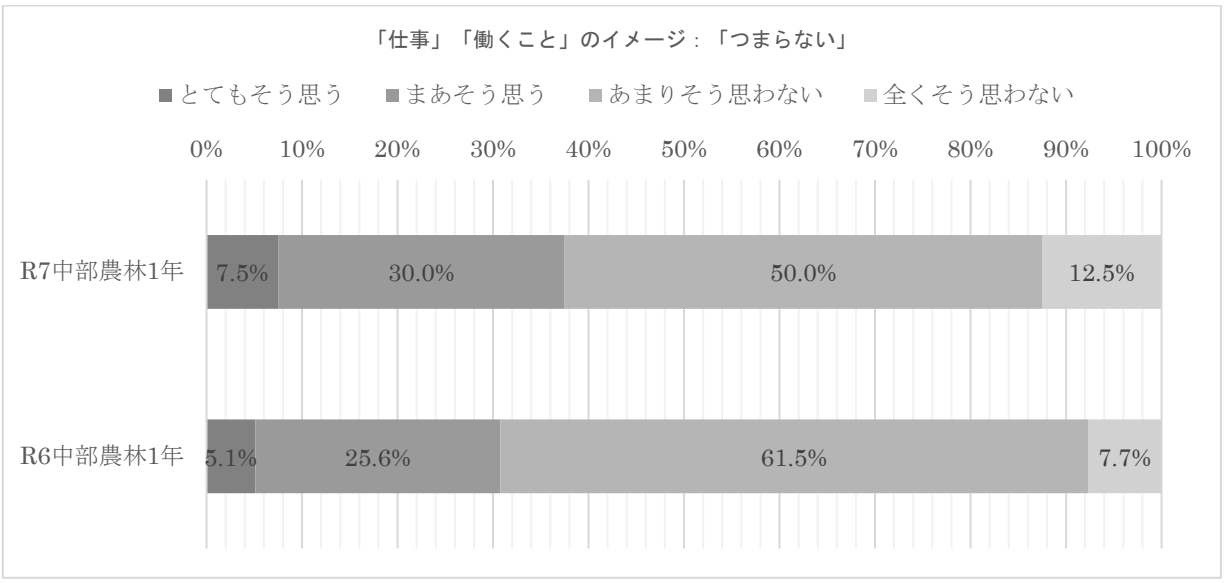


図６　「仕事」「働くこと」のイメージ：「つまらない」

「生活のため」について、「とてもそう思う」が 75.0%で、前年度の１年生（79.5%）と大きく変わらなかった。

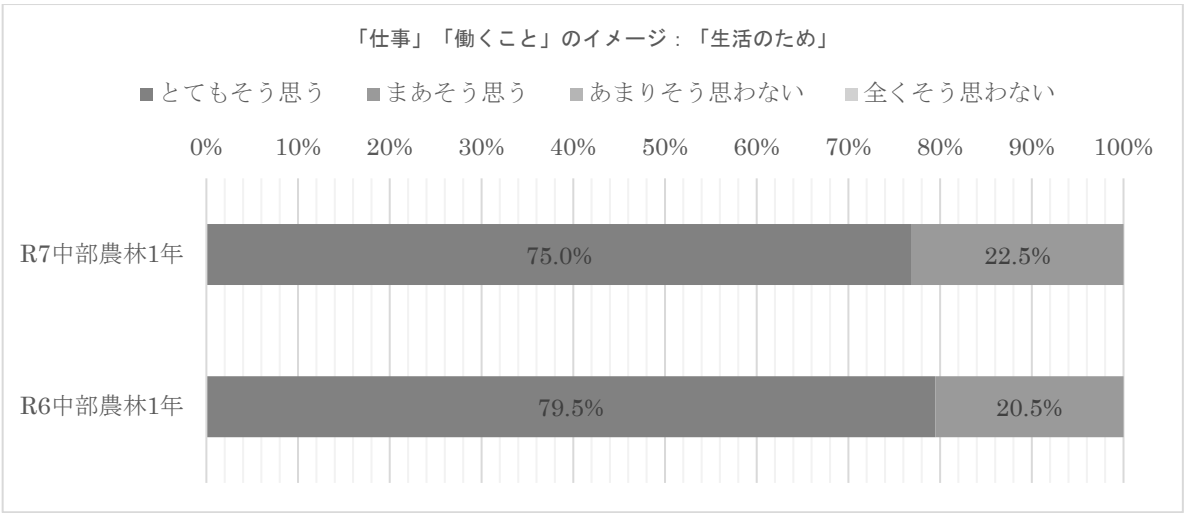


図７　「仕事」「働くこと」のイメージ：「生活のため」

「社会人として当然なこと」について、「とてもそう思う」が 45.0%で、前年度の１年生（25.6%）と比較すると高かった。

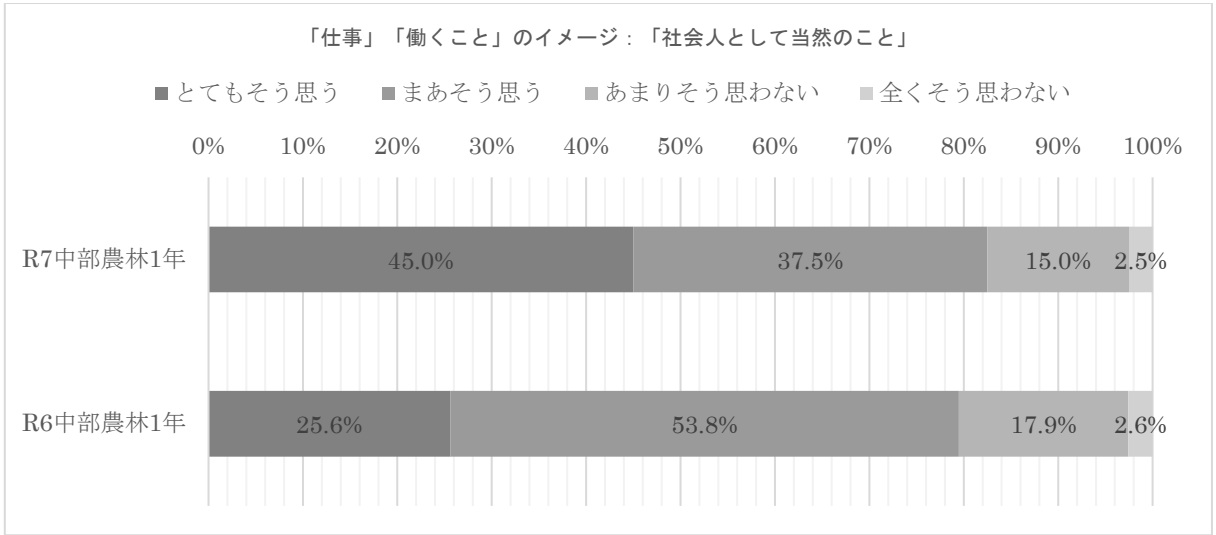


図８　「仕事」「働くこと」のイメージ：「社会人としての義務」

「達成感がある」について、「とてもそう思う」が 32.5%で、前年度の１年生（30.8%）と大きく変わらなかった。

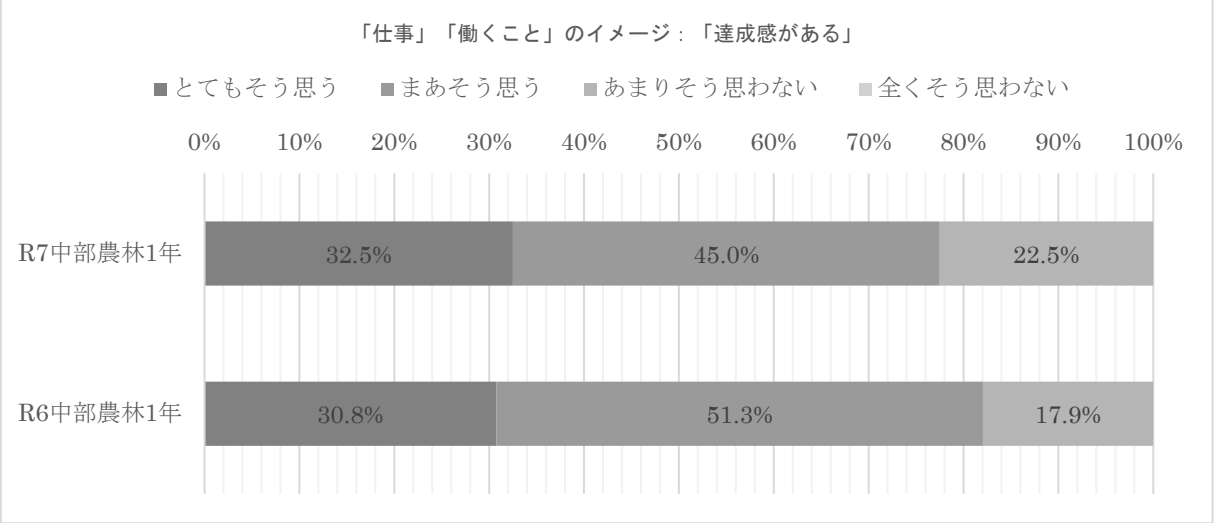


図９　「仕事」「働くこと」のイメージ：「達成感がある」

「生きている充実感がある」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 67.5%で、前年度の１年生（64.1%）と大きく変わらなかった。

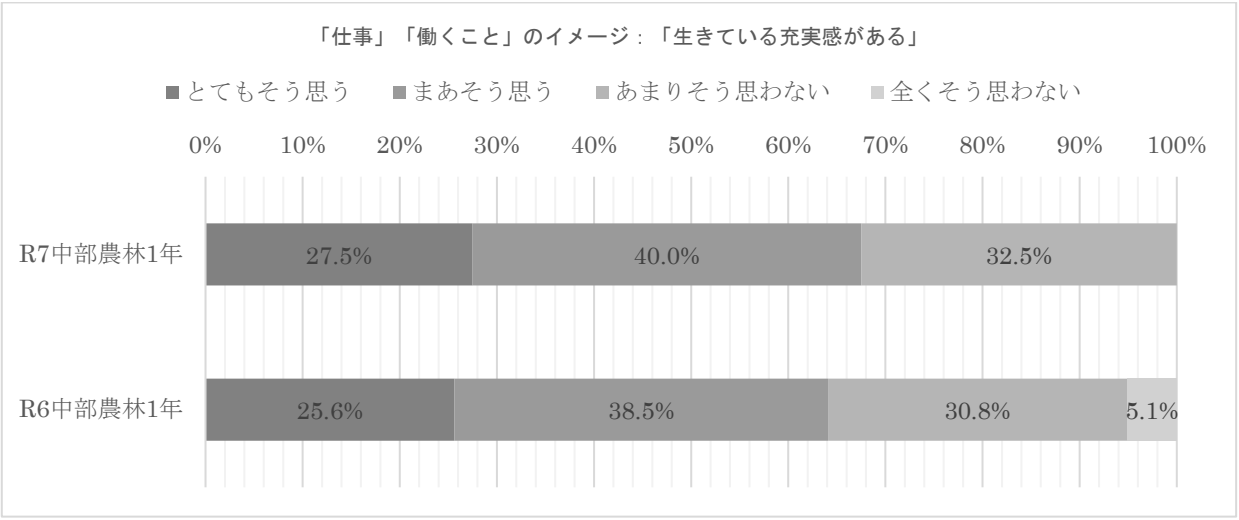


図 10　「仕事」「働くこと」のイメージ：「生きている充実感がある」

「人や世の中のためになる」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 77.5%で、前年度の１年生（84.6%）と比較すると、低かった。

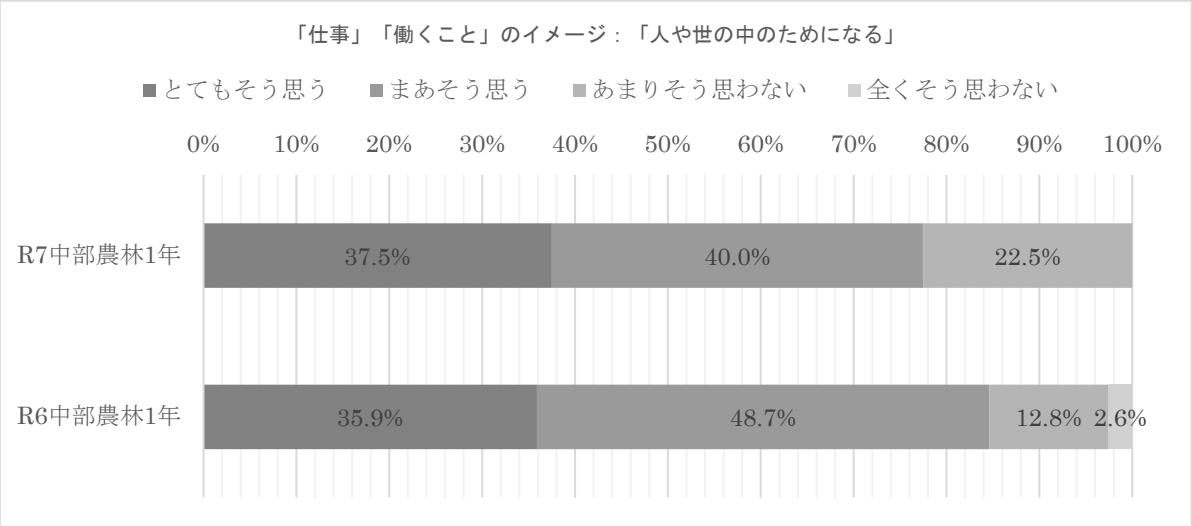


図 11　「仕事」「働くこと」のイメージ：「人や世の中のためになる」

働くことのイメージの６項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

「生活のため」、「やりがいがある」「社会人として当然」の順に高かった。前年度は第三位が「人や世の中のためになる」だった。
前年度と比較して割合が目立って大きくなったのは、「社会人として当然」だった。一方、割合が下がったのは、「楽しい」、「生活のため」だった。

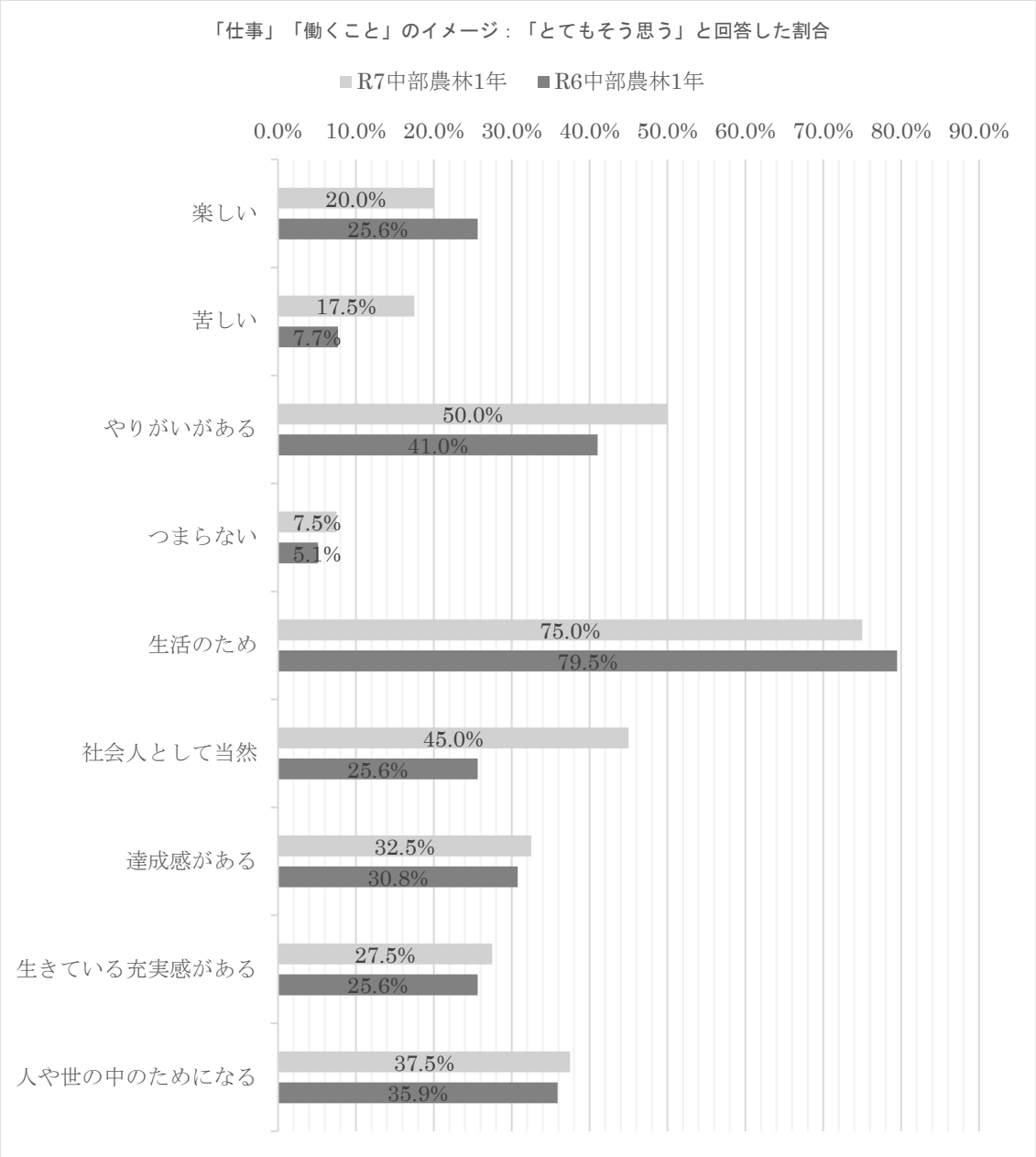


図 12　「仕事」「働くこと」のイメージで「とてもそう思う」と回答した割合

2.4　職業を選ぶにあたって重視すること

「収入」について、「とても重要」が 67.5%で、前年度の 1 年生の 1.3 倍になった。

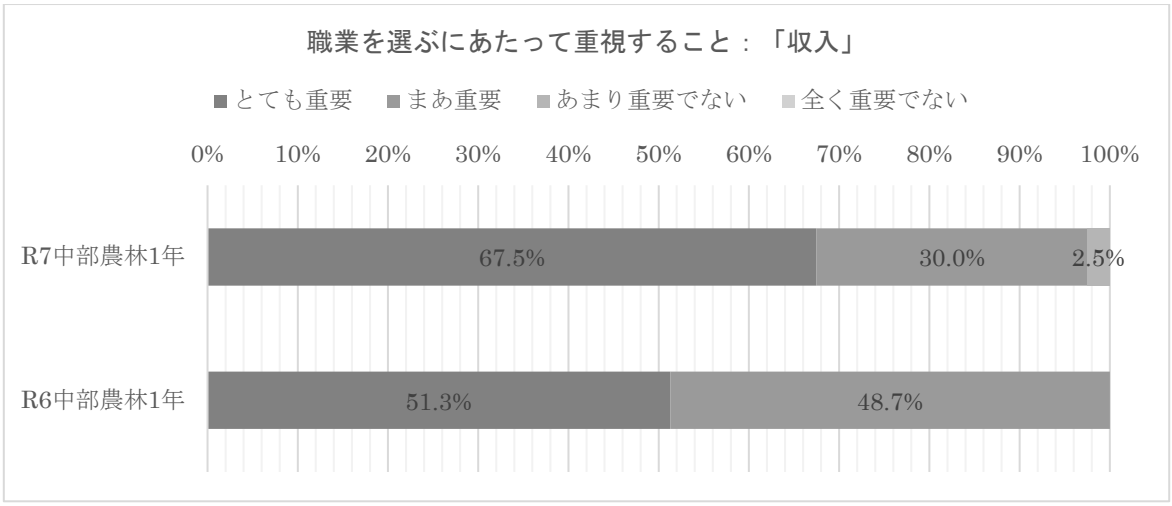


図 13　職業を選ぶにあたって重視すること：「収入」

「社会的地位」について、「とても重要」「まあ重要」が 55.0%だった。前年度の 1 年生（41.0%）と比較して高かった。

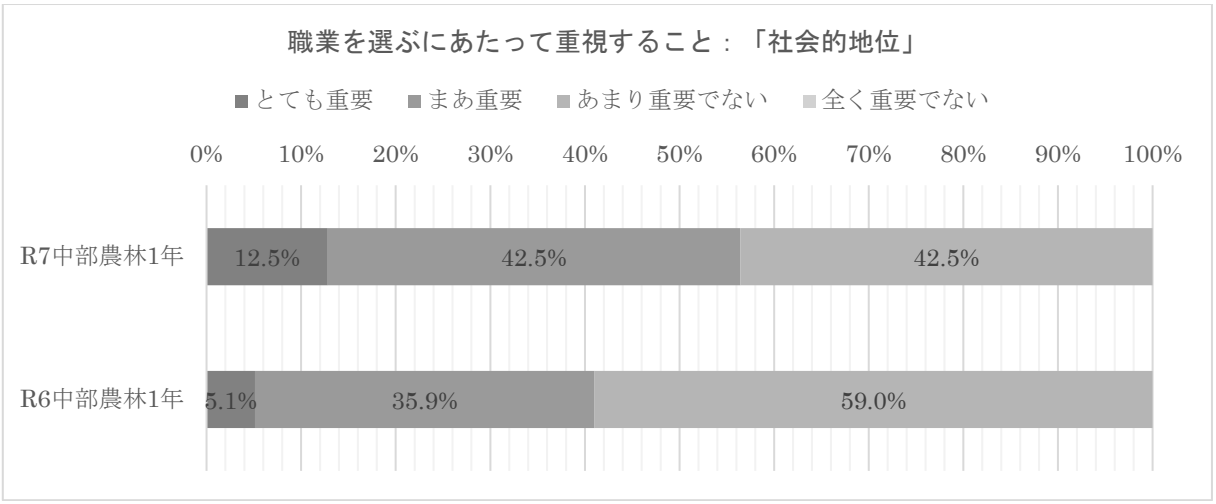


図 14　職業を選ぶにあたって重視すること：「社会的地位」

「安定性」について、「とても重要」が 60.0%だった。前年度の 1 年生（48.7%）と比較して高かった。

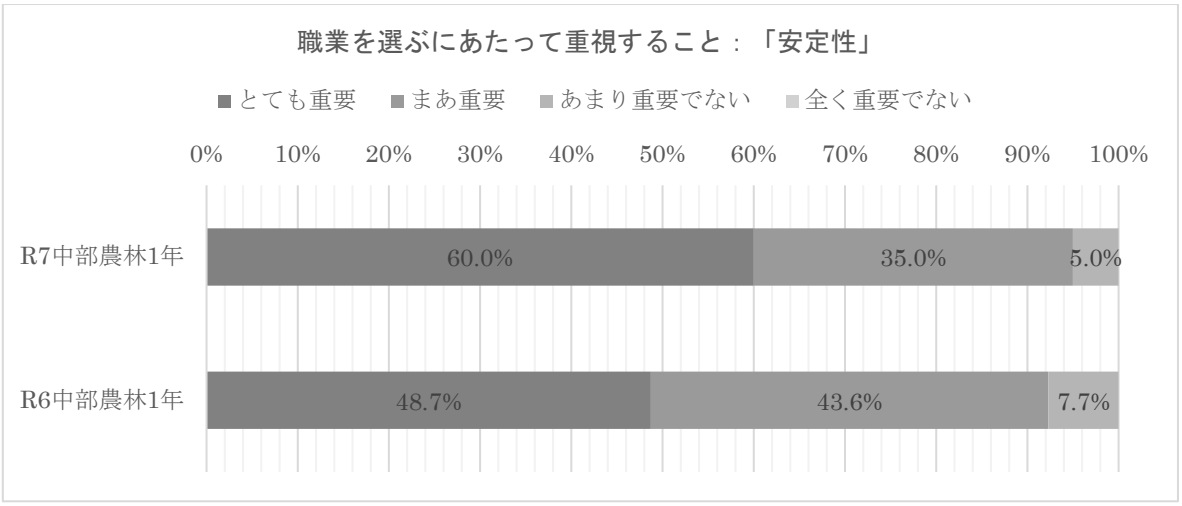


図 15　職業を選ぶにあたって重視すること：「安定性」

「仕事の内容ややり方を自分で決められる」について、「とても重要」「まあ重要」が 80.0%だった。前年度の 1 年生（58.9%）の 1.4 倍高かった。

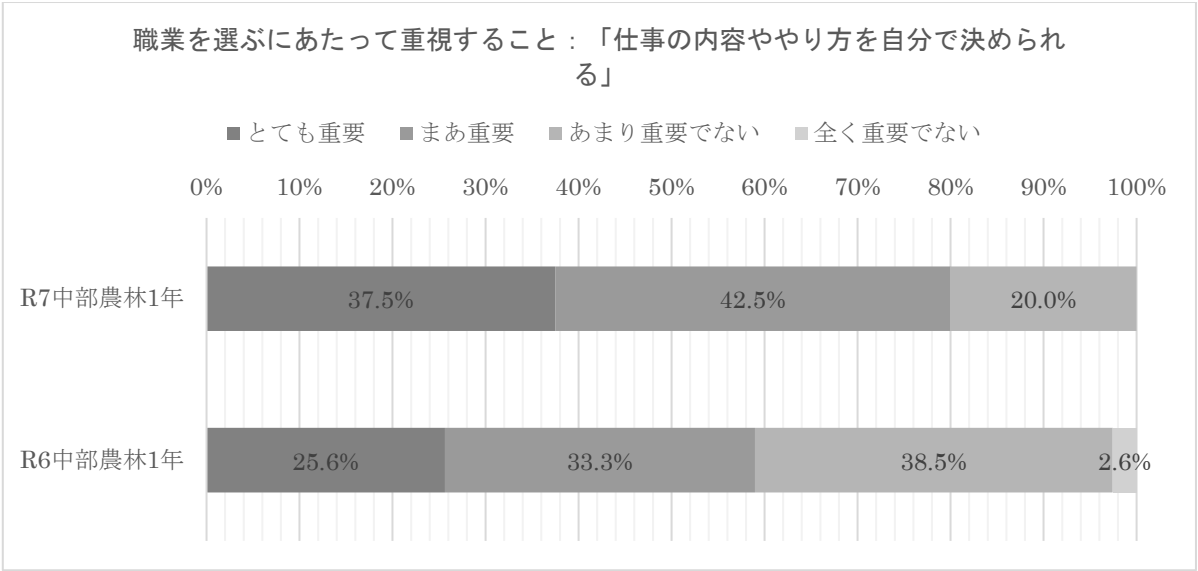


図 16　職業を選ぶにあたって重視すること：「仕事の内容ややり方を自分で決められる」

「自分の興味や好みに合っていること」について、「とても重要」は 70.0%だった。前年度の１年生（53.8%）の 1.3 倍高かった。

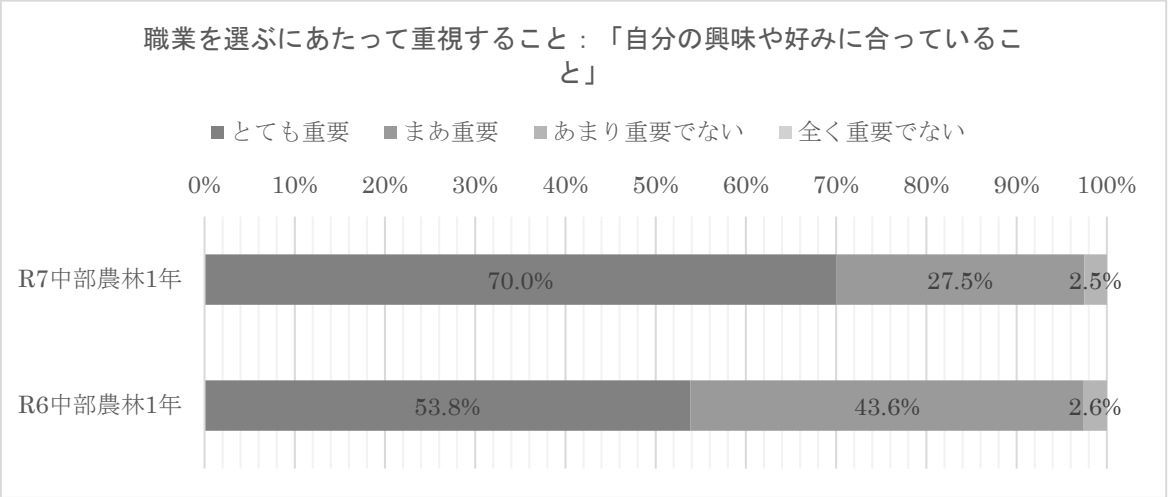


図 17　職業を選ぶにあたって重視すること：「自分の興味や好みに合っていること」

「働く時間を自由に決めること」について、「とても重要」「まあ重要」が 80.0%だった。前年度の１年生（66.7%）と比較すると高かった。

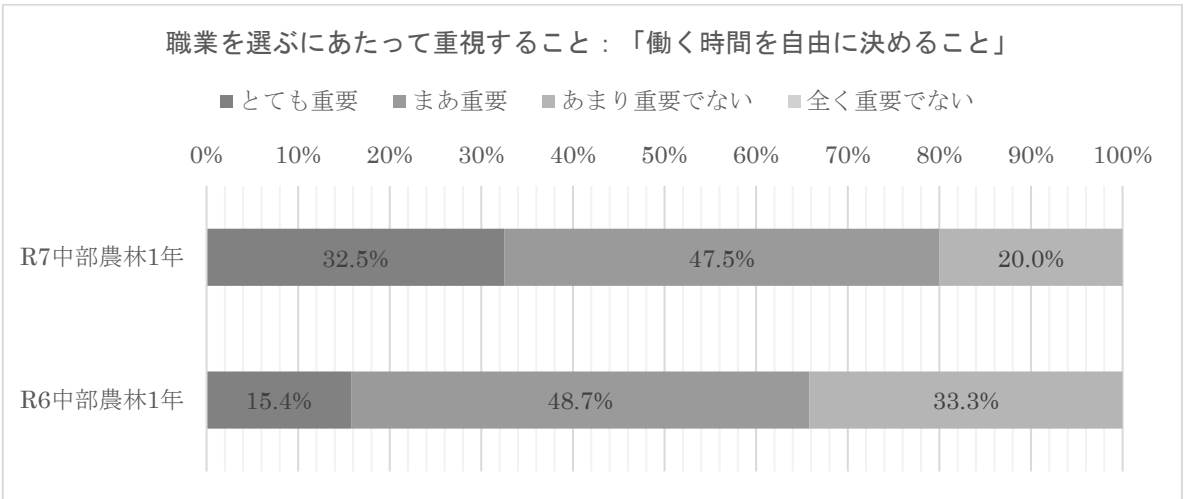


図 18　職業を選ぶにあたって重視すること：「働く時間を自由に決めること」

「能力を発揮できること」について、「とても重要」が 57.5%だった。前年度の 1 年生（41.0%）の 1.4 倍高かった。

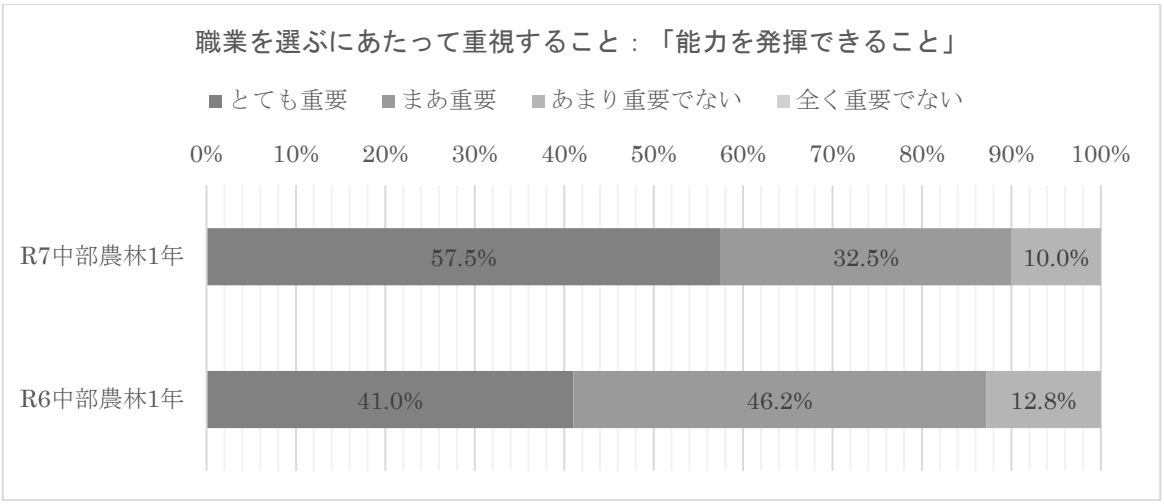


図 19　職業を選ぶにあたって重視すること：「能力を発揮できること」

「社会や人のために役立ち貢献できること」について、「あまり重要でない」が 25%だった。前年度の 1 年生と大きな変化はなかった。

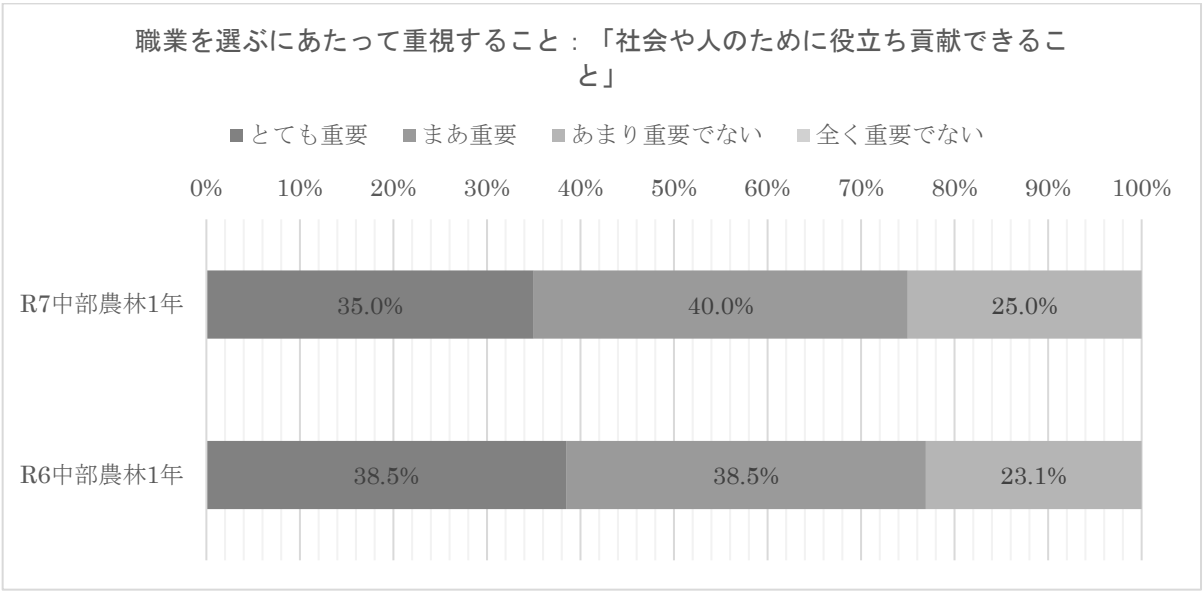


図 20　職業を選ぶにあたって重視すること：「社会や人のために役立ち貢献できること」

「働きやすいこと（仕事の環境）」について、「とても重要」が 70.0%だった。前年度の 1 年生と大きな変化はなかった。

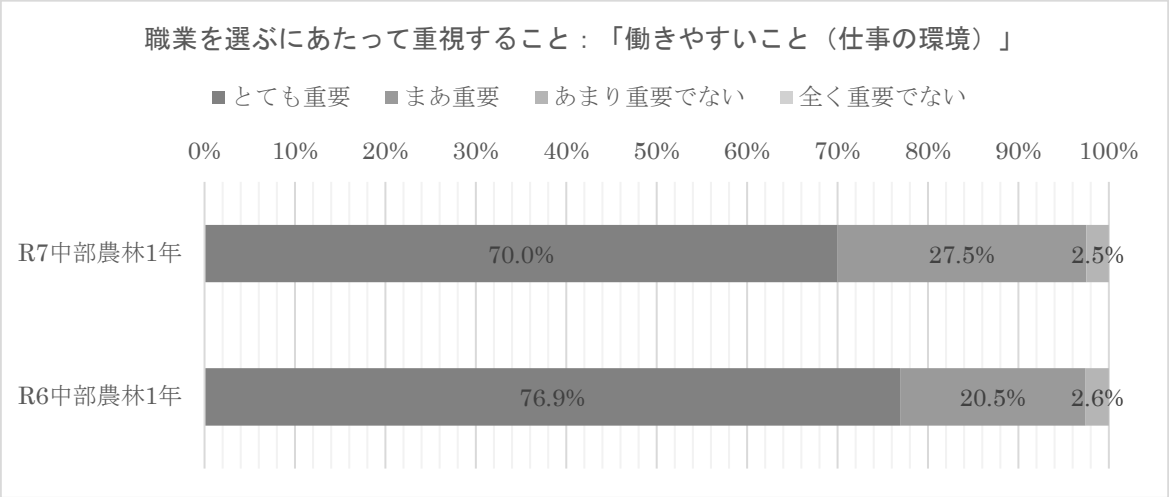


図 21　職業を選ぶにあたって重視すること：「働きやすいこと（仕事の環境）」

「新しいことにチャレンジできること」について、「とても重要」「まあ重要」が 77.5%だった。前年度の 1 年生（64.10%）と比較すると高かった。

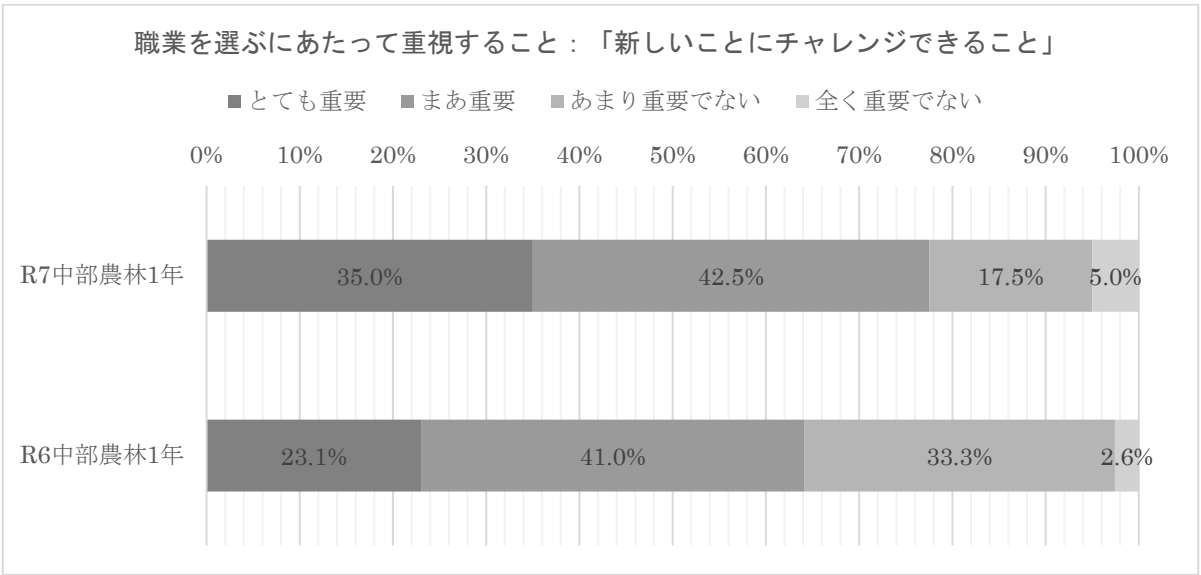


図 22　職業を選ぶにあたって重視すること：「新しいことにチャレンジできること」

１年生は、「勤務地の場所」について、「とても重要」が 27.5%だった。前年度の１年生と大きな変化はなかった。

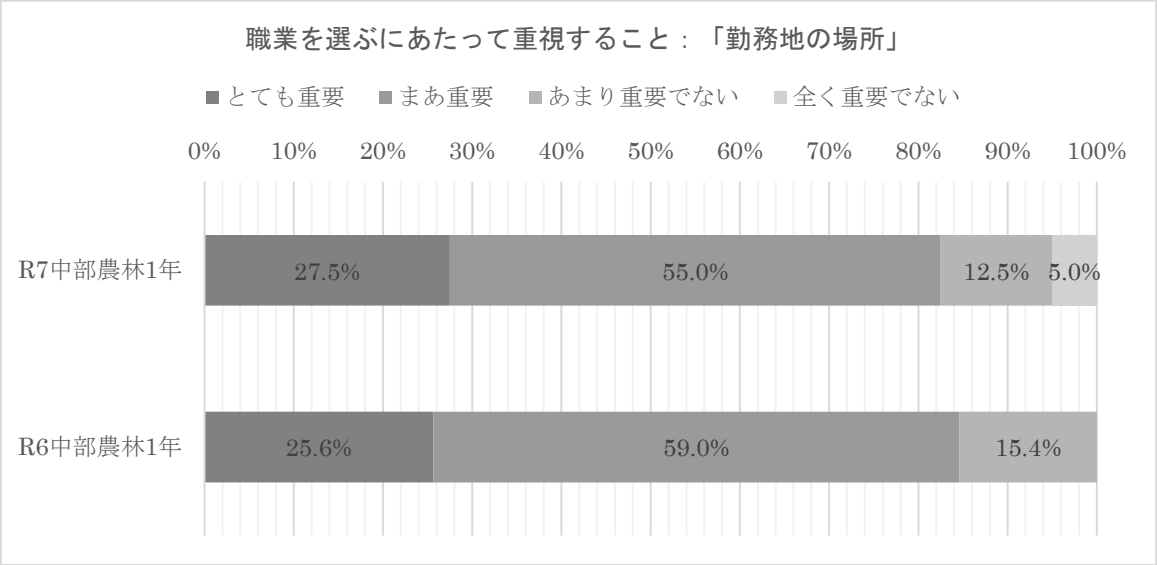


図 23　職業を選ぶにあたって重視すること：「勤務地の場所」

職業を選ぶ際に重視することの 11 項目について、「とても重要」と回答した割合をまとめた。

前年度の１年生とベスト３「働きやすいこと」「興味や好みに合う」「収入」は変わらなかった。
また、「とても重要」を選択する割合が高くなっており、職業選択の際の優先項目がはっきりしており、キャリア意識が強くなっていることがわかる。

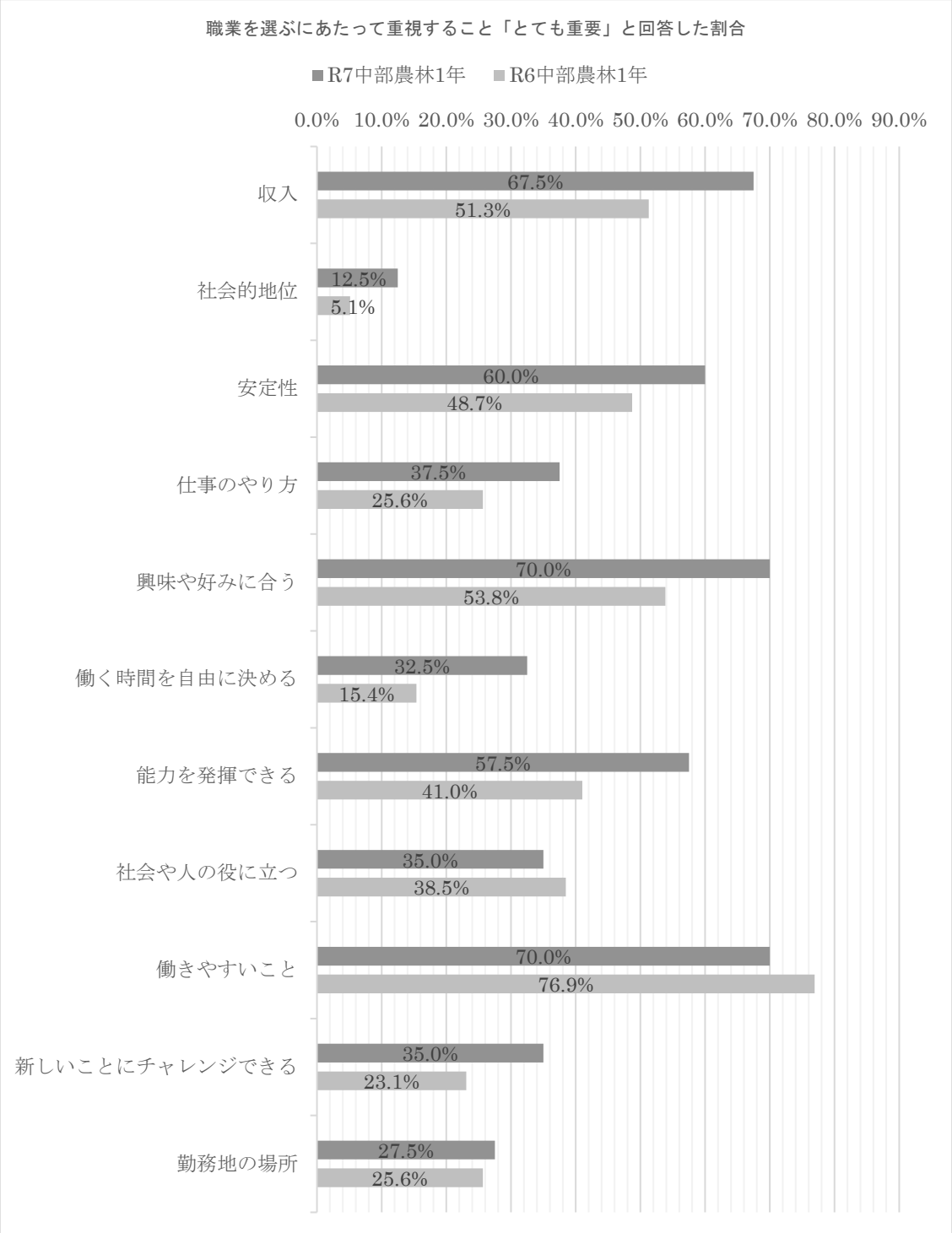


図 24　職業を選ぶにあたって重視することで「とても重要」と回答した割合

2.5　希望する勤務地

「希望する勤務地」について、県内に希望する生徒は 59%だった。前年度の 1 年生と大きな変化はなかった。

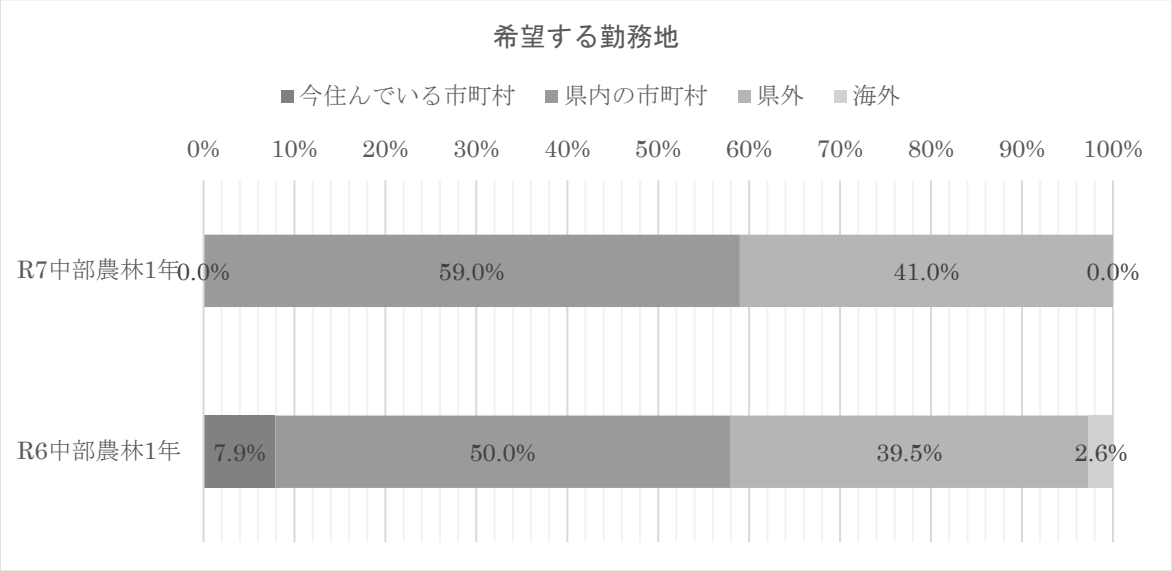


図 25　希望する勤務地

2.6　仕事に関する意識・考え

「やりたいことに困難があっても挑戦したい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 87.5%だった。前年度の 1 年生と大きな変化はなかった。

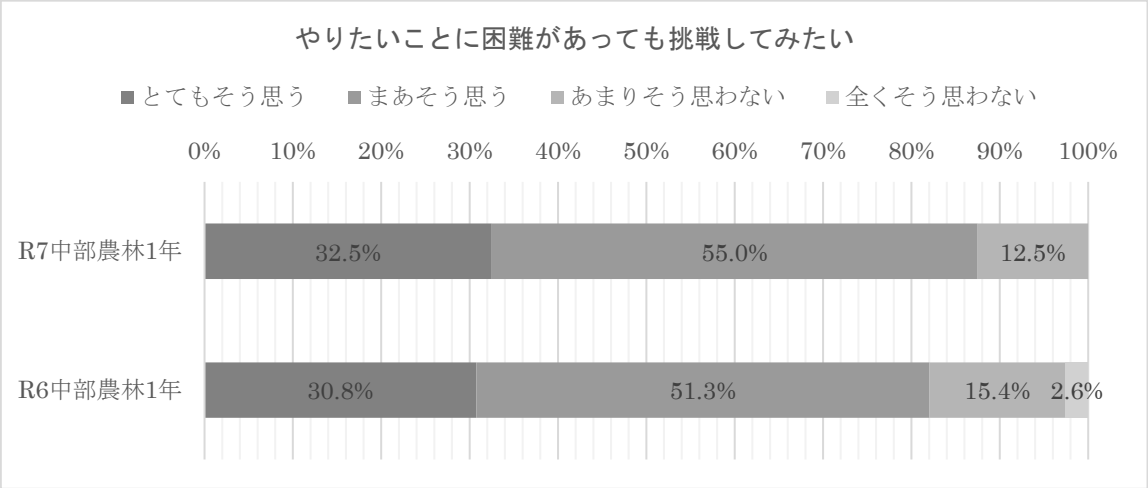


図 26　やりたいことに困難があっても挑戦したい

「若いうちはいろいろな仕事を経験したい」について、「とてもそう思う」が 52.5%だった。前年度の 1 年生（30.8%）と比較すると 1.7 倍高かった。

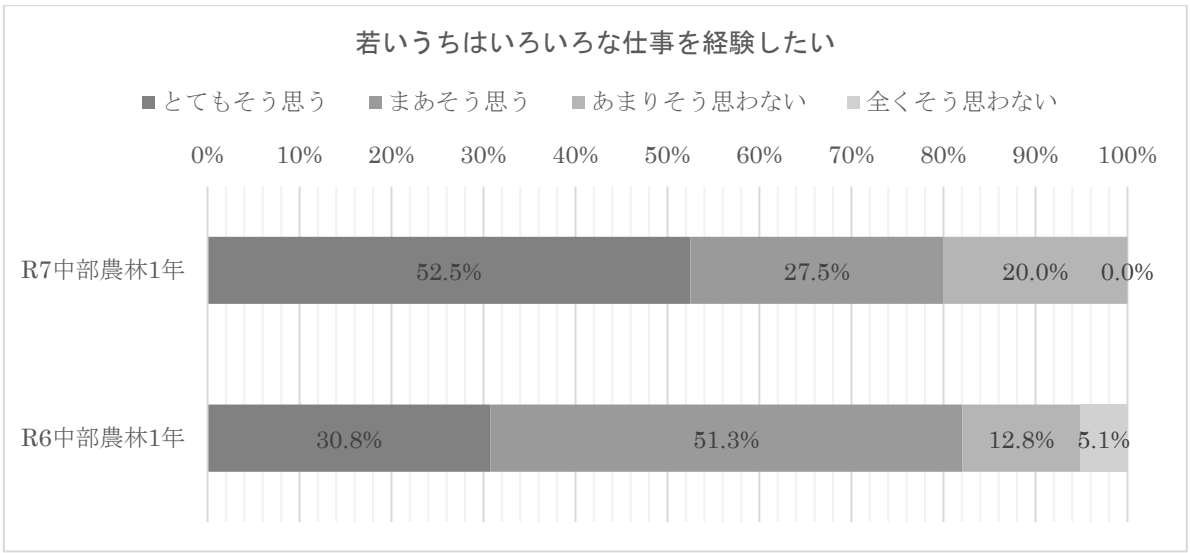


図 27　若いうちはいろいろな仕事を経験したい

「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」について、「とてもそう思う」が 55.0%だった。前年度の 1 年生（71.8%）と比較すると低くなり、前年度の 0.76 倍だった。

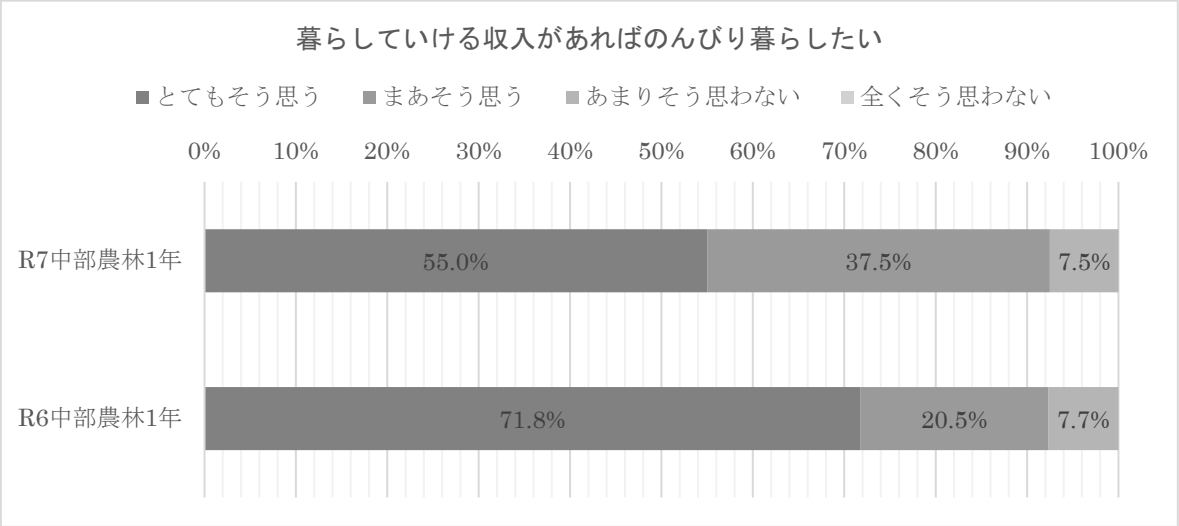


図 28　暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい

「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」について、「とてもそう思う」が 45.0%だった。前年度の 1 年生と大きな変化はなかった。

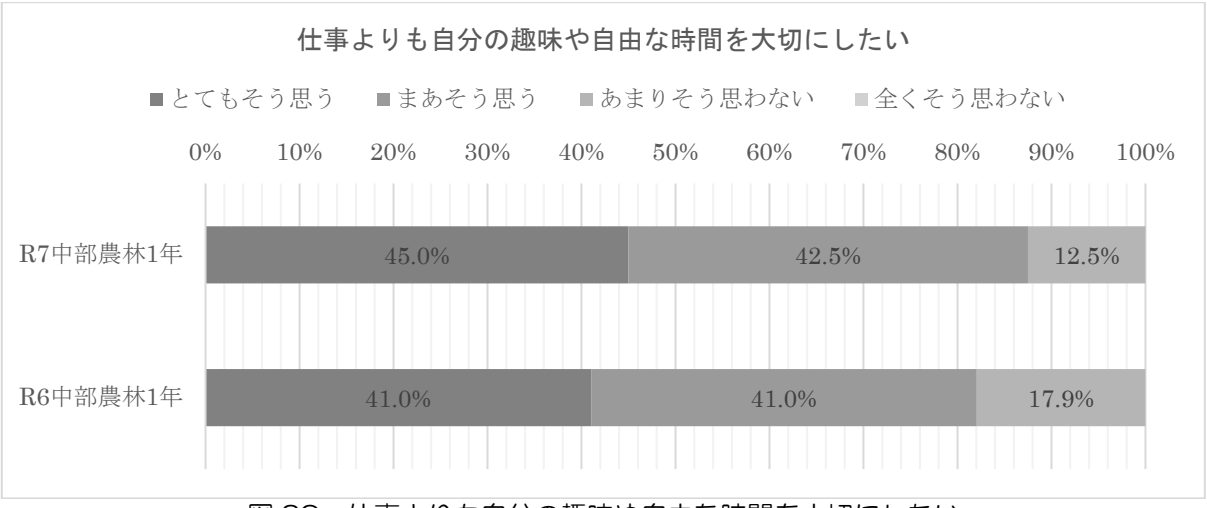


図 29　仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい

「自分の会社や店を作りたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 37.5%だった。前年度の 1 年生（28.2%）と比較すると 1.3 倍高かった。

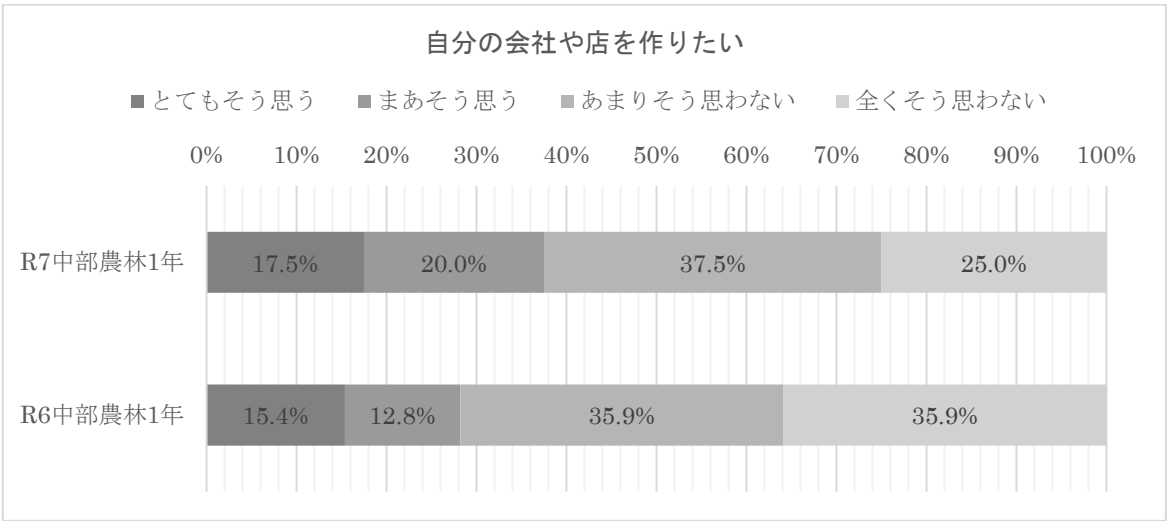


図 30　自分の会社や店を作りたい

「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」について、「とてもそう思う」が 55.0%だった。前年度の 1 年生（23.1%）と比較すると 2.4 倍高かった。

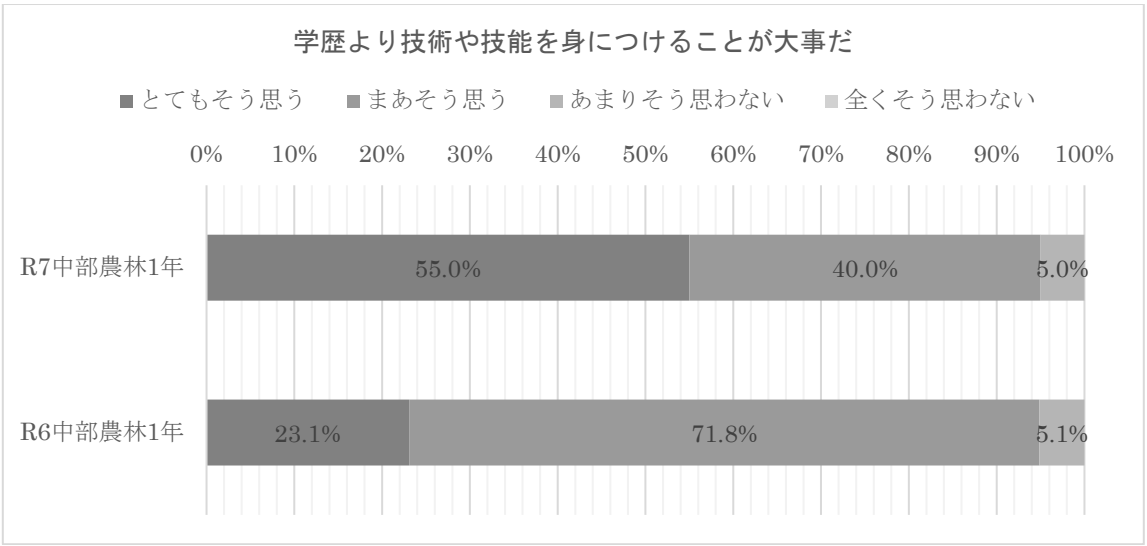


図 31　学歴より技術や技能を身につけることが大事だ

「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」について、「とてもそう思う」が 50.0%だった。前年度の１年生と大きな変化はなかった。

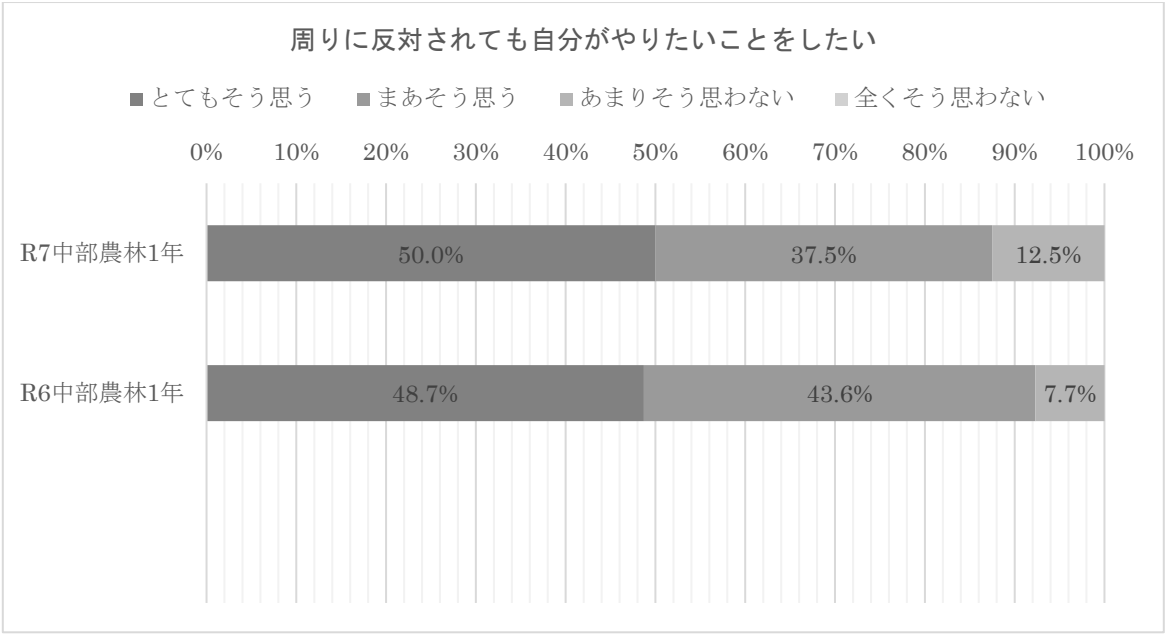


図 32　周りに反対されても自分がやりたいことをしたい

「地元で仕事や生活をしたい」について、「とてもそう思う」「まあ思う」が 70.0%だった。前年度の１年生（56.4%）と比較すると高かった。

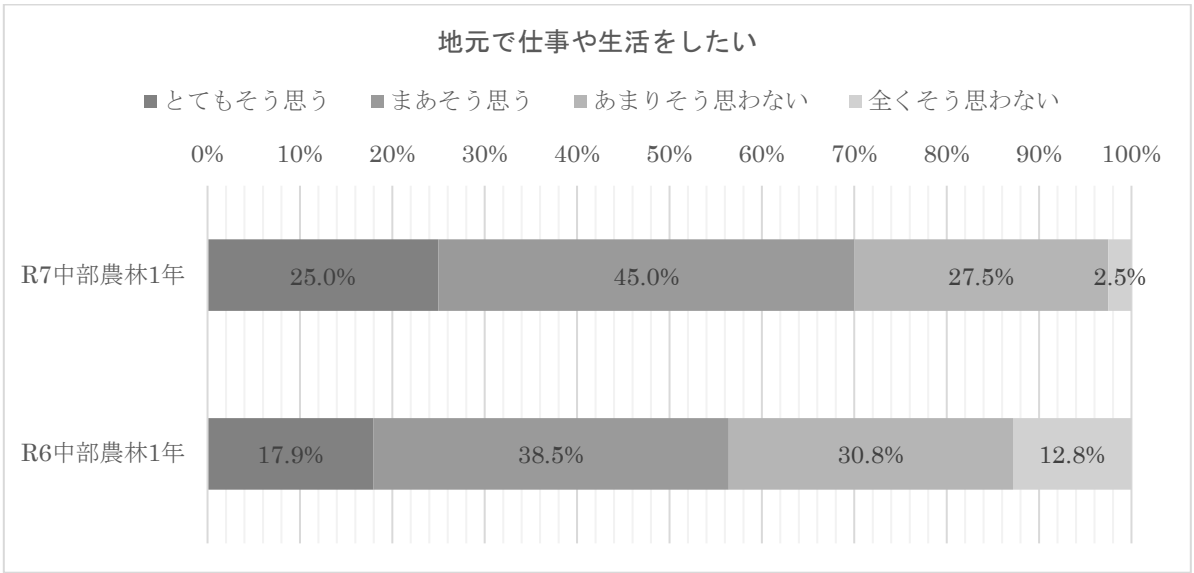


図 33　地元で仕事や生活をしたい

「社会に役立つ仕事をしたい」について、「とても思う」が 30.0%だった。前年度の 1 年生と大きな変化はなかった。

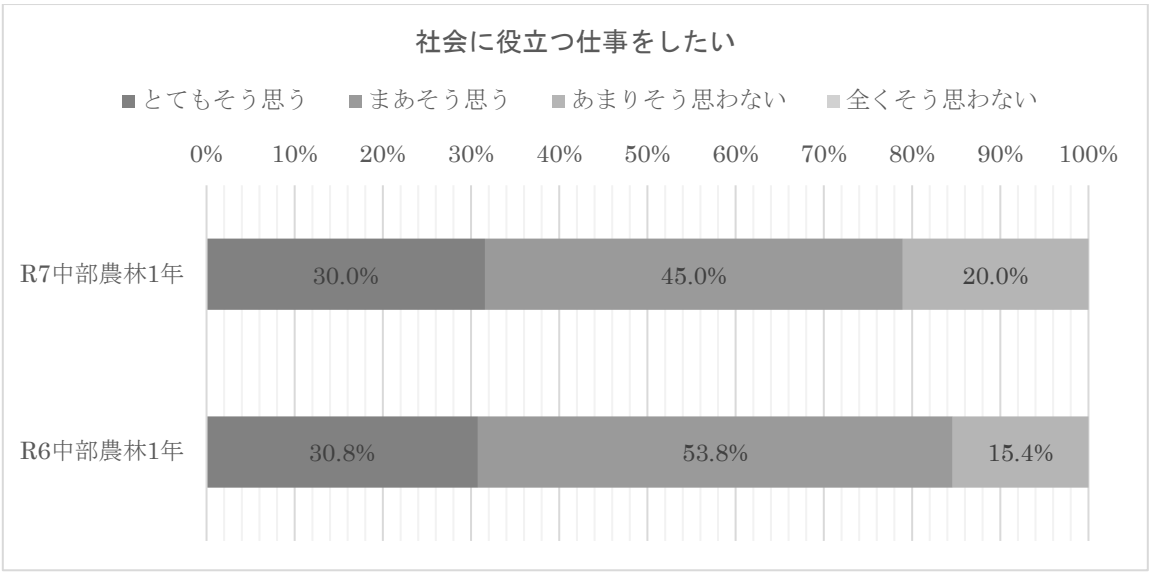


図 34　社会に役立つ仕事をしたい

「できるだけ高い地位につきたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 37.5%だった。前年度の 1 年生（23.1%）と比較すると 1.6 倍高かった。

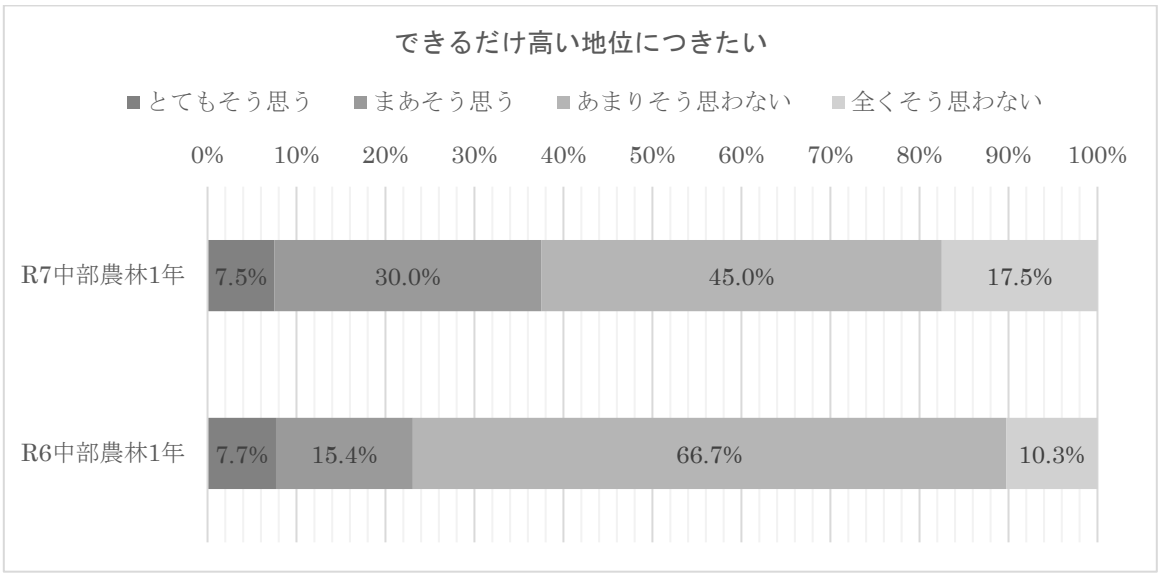


図 35　できるだけ高い地位につきたい

「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 62.5%だった。前年度の 1 年生（79.5%）の 0.8 倍だった。

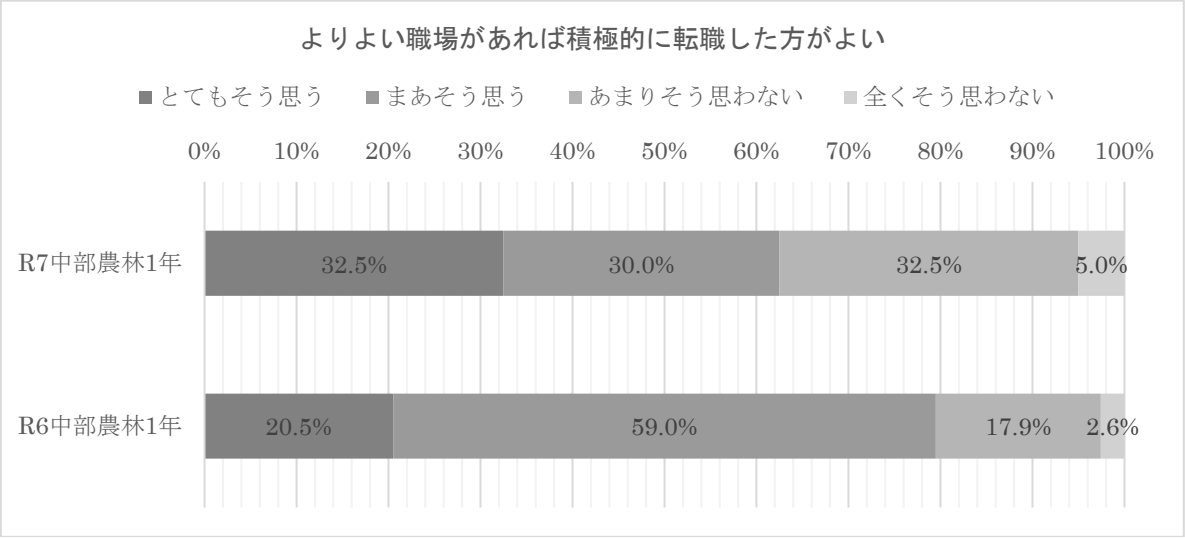


図 36　よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい

「望む仕事につけなくてもがまんして働くべきだ」について、「全くそう思わない」が 32.5%だった。前年度の 1 年生（15.4%）の 2.1 倍だった。

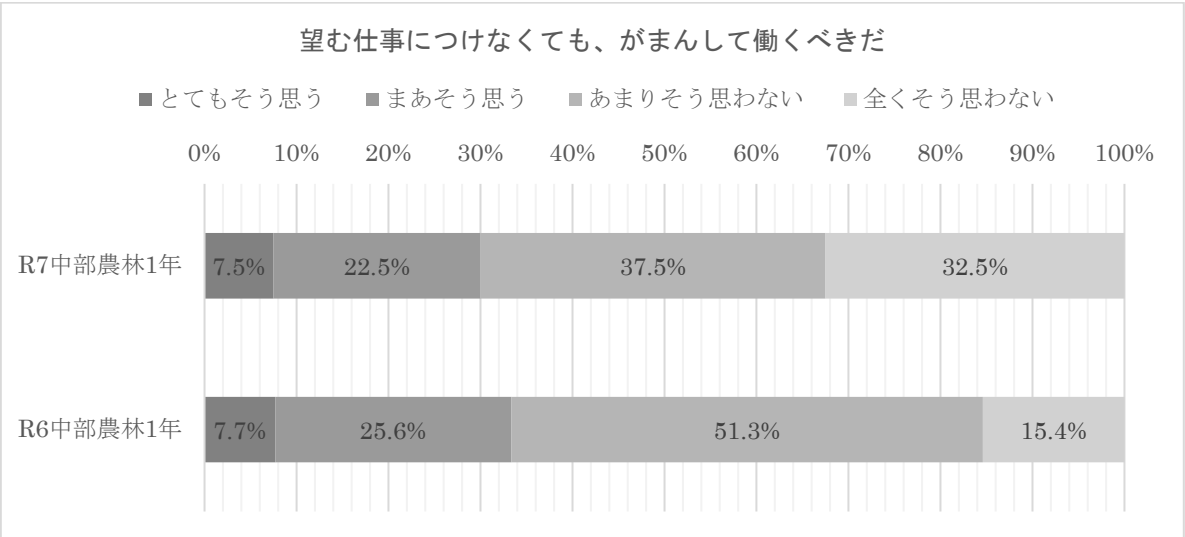


図 37　望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ

仕事に関する意識・考えの 12 項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

ベスト３が「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」「学歴より技術や技能を身に付けることが大事だ」「若いうちはいろいろな仕事を経験したい」だった。前年のベスト３は「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」だった。

大きく高くなったものは、「学歴より技術や技能を身に付けることが大事だ」「若いうちはいろいろな仕事を経験したい」「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」だった。一方、割合が下がったものは、「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」だった。

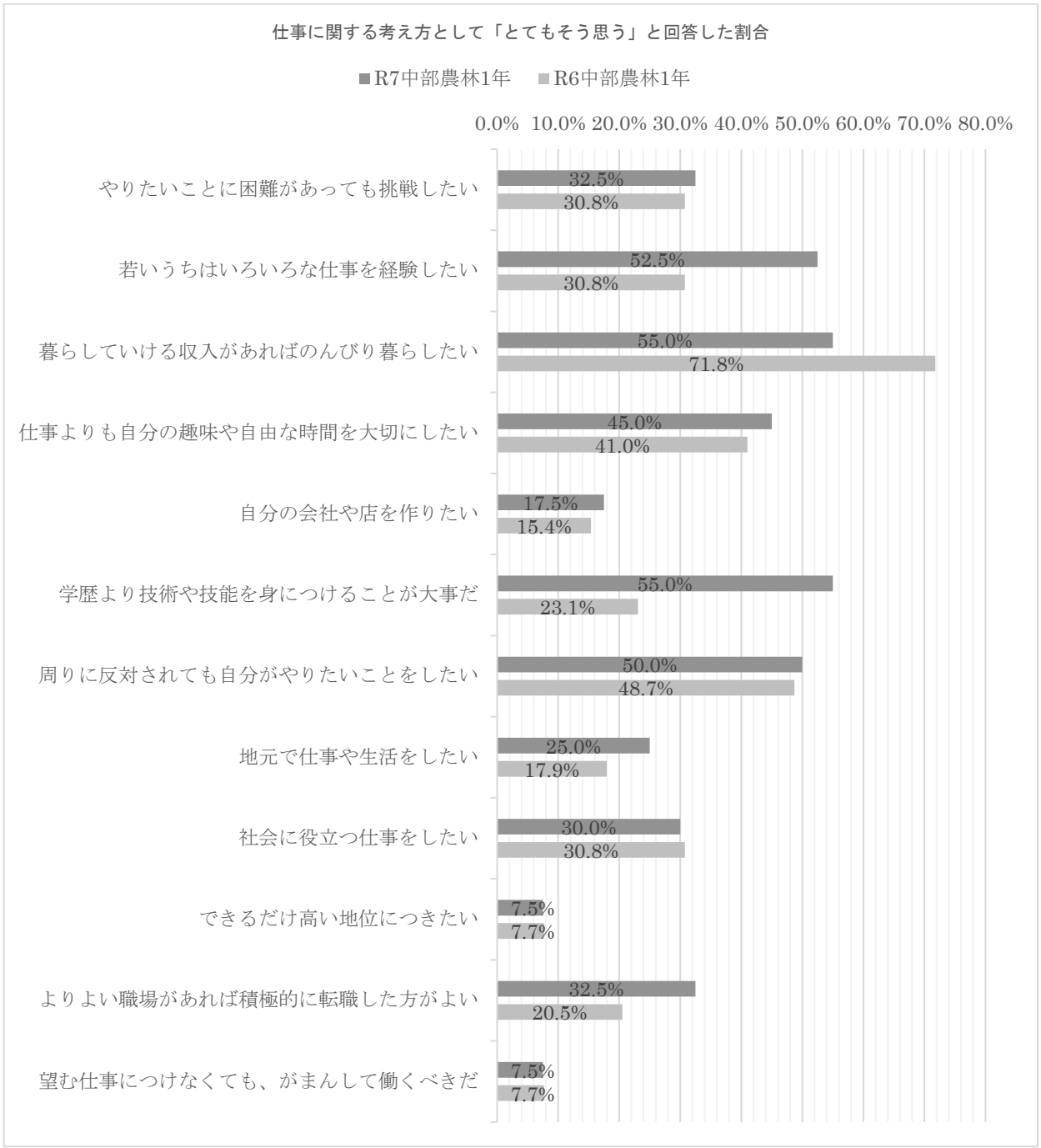


図 38　仕事に関する意識・考えで「とてもそう思う」と回答した割合

2.4　KBC サービス・ラーニング活動

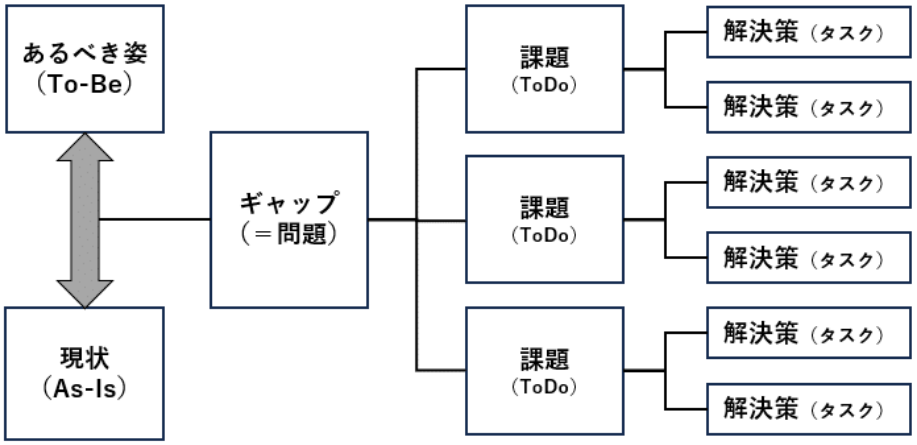
KBC サービス・ラーニング

サービス・ラーニング［service learning］とは、学生が地域社会の課題を解決するために、学校で学んだ知識や技能を社会活動やボランティア活動を通じて実践する教育活動です。1980 年にアメリカで始まりました。学生が地域社会の課題解決に携わることで、市民としての責任や役割を認識し、社会性を高めることを目的とし、日本では筑波大学、青山学院大学、国際基督教大学、日本福祉大学、立命館大学などで行っています。

専門的職業教育機関である専門学校の学生は、大学生と比較すると学んできた知識や技能がより専門的であるため、サービス・ラーニングの教育効果が高くなります。一方で、幅広い知見と問題解決力が必要となる企画力・発信力は大学生の方が得意といえます。

そこで、KBC 学園では専門学校生の弱点でもある企画力や発信力を育成する教育プログラムを実験的に行います。「事前学習」と「活動プランニング」で企画に必要な知識習得と実践を行い、「活動」で学生が持つ専門知識・技能の実践をします。活動後は、「体験の言語化」と「未来の活動への提案」を行います。

事前学習	知識	問題解決のプロセスと演習
	実践	プランニング活動
活動	実践	専門知識と技能の発揮活動
事後学習	知識	体験の言語化とディスカッションの意義
	実践	言語化・ディスカッション活動



タイムスケジュール例（こどもの国）

こどもの国のふれあい広場（どうぶつ広場）の活用企画を立案し実行します。

みなさんが考えた企画は「ボランティア活動をして終わり」ではありません。「ボランティア活動」はよりよい企画にするためのデータを集める実証実験（テスト）であり、「企画立案活動のはじまり」です。テストを重ねていき常に新しい工夫をしていきながら、その時々のベストを創っていきます。

想定される活動内容：企画立案・広報・ボランティア活動
必ず行うこと：①企画書作成、②活動の記録（日誌）、③会計記録（入出金簿）、④活動報告会

活動の大まかな進め方

＜事前学習＞
①調査［リサーチ］
　こどもの国で行われているふれあい広場（どうぶつ広場）の企画を調べます。
　国内外の動物園の教育活動を調べます。（動物園と教育に関する学術論文を調べます）
②分析［アナリシス］
　国内動物園のふれあい広場の内容を分析します。（対象・定員・内容・時間など）
＜企画初回＞
③企画立案［プランニング］
　ゴール（目標）設定とゴールを達成するための企画を立て、こどもの国とすり合わせ※を行います。
　企画内容：対象別・目的別毎に複数の企画を立てる
　※すり合わせ：活動可能性や制約・条件、優先順位をつけ、実行可能で効果の高い活動にする
④ふれあい広場企画ボランティア活動［アクション］
　企画を実施します。
　企画の評価（ボランティアメンバー・企画参加者・こどもの国アンケート）も行います。
⑤振り返り［チェック］
　企画や活動の評価（振り返り）を行い次回への課題をはっきりさせます。
＜企画２回目以降＞
①改善［アクション］
　⑤の振り返りを元に課題の改善点や対策、工夫、新しい企画立案を行います。
②企画立案［プランニング］
　新しいゴール（目標）を達成するための企画を立て、こどもの国とすり合わせを行います。
　すり合わせ：活動可能性や制約・条件、優先順位をつけ、実行可能で効果の高い活動にする
③ふれあい広場企画ボランティア活動［アクション］
　企画を実施します。
　企画の評価（ボランティアメンバー・企画参加者・こどもの国アンケートなど）も行います。
④振り返り［チェック］
　企画や活動の評価（振り返り）を行い次回への課題をはっきりさせます。

タイムスケジュール例（こどもの国）

	（学生ボランティアサークル募集ポスター掲示（2 週間）［顧問の先生］）
01	既存の活動内容とスケジュール、次回会議の予定（執行部選出と動物園調査）［顧問の先生］
02	執行部３役選出（リーダー（代表）とマネジャー（会計）は上級生、サブリーダー（書記）は下級生） 動物園調査報告会とまとめ 次回会議の予定［ふれあいひろば企画の目的（ゴール）別］
執	こどもの国にあいさつと現状確認、スケジュール確認
03	**プランニング［あるべき姿（ゴール）を実現する企画の文書化］** 次回会議の予定［活動企画の準備とスケジュール詳細］
執	こどもの国と企画のすり合わせ
04	プランニング［活動企画の決定とヒト・モノ・カネ・トキ（スケジュール）の決定］ 次回会議の予定［協力団体との打合せ結果と対応策・準備など］
執	こどもの国と打合せ［活動企画のすり合わせ］
05	活動準備
06	活動準備・協力団体との打合せ
07	活動リハーサル・協力団体との打合せ
08	活動準備・協力団体との打合せ
09	活動準備・協力団体との打合せ
	ボランティア活動当日
10	活動振り返り［活動評価とレポート作成説明］ 次回報告会の予定［個人レポートの発表５分（個人の発見・新たな課題など)］
	活動報告会（こどもの国・顧問・学生他） ［個人発表・執行部総括・こどもの国の評価］

参考＜単位換算＞

会議・準備 10 回×90 分＝15 時間
ボランティア活動　7.5 時間
活動報告会　2.5 時間
Web 学習時間６時間
合計 30 時間（1 単位相当）

企画書フォーム

2025 年　月　日
作成者：

企画名	
企画趣旨・目的	①　解決すべき課題：社会的背景や現在わかっている課題 ②　目的を示す：あるべき姿
実施日（期間）	
実施場所	
ターゲット（対象）	企画のターゲットは細かく分ける 例）未就学児、小学校低学年、小学校中学年、子どもの親など 例）譲渡犬・猫希望者
学びの成果目標（ゴール）	ターゲット毎に企画参加後の変化（成果目標）を明確にする 例）未就学児：モルモットが正しく触れる 例）譲渡説明会後のテストで６割以上
学びの成果確認方法	成果目標毎に確認方法を考える 例）モルモットが正しく触れたらスタンプを押すなど 例）譲渡犬のブラッシングをしてもらう ※知識はペーパーテストや口頭試問で測れる。実習は行動を観察して測る。
企画内容	第三者が読んでわかるように文章化する。わかりにくい場合は写真や絵で表す。
KGI(Key Goal Indicator) 達成する目標	数値化でき、目標数値を達成するために行動できるものを設定する。 例）参加人数、売上高、満足度など
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための活動方法と活動目標	目標参加人数を達成するために、 保幼に１回訪問して案内する SNS 用の案内動画を２本作成する 店にポスターを３枚貼る。レジ袋にチラシを入れる
必要経費概算	軽費概算見積りを立てる（会計）
活動時間見積り 一人当たり時間×人数で計算	活動時間見積を立てておき、実際に活動したのべ時間を記録し取りまとめる（サブリーダー）
企画代表・副代表	
会計責任者	
企画運営メンバー	
スケジュール	具体的なスケジュール計画を立てる
備考	

タイムスケジュール例（オーシャン）

想定される活動内容：企画・広報・シャンプー・トリミング・飼養講座・ボランティア活動

＜初回＞

	学生ボランティアサークル募集ポスター掲示（3 週間）［顧問の先生］
01	既存の活動内容とスケジュール、次回会議の予定［執行部選出］
02	執行部３役選出（リーダー（代表）とマネジャー（会計）は上級生、サブリーダー（書記）は下級生） 次回会議の予定［役割を終えた繁殖犬の譲渡会とケアのあるべき姿（ゴール)］
執	オーシャンにあいさつとスケジュール確認
03	プランニング［あるべき姿（ゴール）に近づくための解決する課題を抽出］ 次回会議の予定［解決課題の決定と解決策（活動内容)］
04	**プランニング［譲渡会とケア企画］** 次回会議の予定［活動企画とスケジューリングの決定］
執	オーシャンとの打合せ［企画のすり合わせ］
05	プランニング［企画とヒト・モノ・カネ・トキ（スケジュール）の決定］ 次回会議の予定［オーシャンとの打合せ結果と対応策］
執	オーシャンとの打合せ［企画のすり合わせ］
06	活動［活動準備］
07	活動［活動準備］・オーシャンとの打合せ
	譲渡犬のケア実施・オーシャンとの打合せ
	譲渡会当日
08	活動振り返り［活動評価とレポート作成説明］ 次回報告会の予定［個人レポートの発表５分（個人の発見・新たな課題・改善点など)］
	活動報告会（オーシャン・顧問・学生他）［個人発表・執行部総括・オーシャンの評価］

＜2 回目以降＞

01	次回の譲渡会のゴールと内容（新しいチャレンジ） 次回会議の予定［活動企画とスケジューリングの決定］
	オーシャンにあいさつと次回スケジュール確認
02	**プランニング［企画とヒト・モノ・カネ・トキ（スケジュール）の決定］** 次回会議の予定［オーシャンとの打合せ結果と対応・活動準備］
	オーシャンとの打合せ［企画のすり合わせ］
03	活動準備
04	活動準備・オーシャンとの打合せ
	活動［譲渡犬のケア］・オーシャンとの打合せ
	譲渡会当日
	活動振り返り（オーシャン・顧問・学生他）［個人発表・執行部総括・オーシャンの評価・改善点］

企画書例

2025 年　月　日
作成者：

企画名	繁殖犬里親サポーター
企画趣旨・目的	役割を終えた繁殖犬の福祉と里親の適正飼養を促す
実施日（期間）	
実施場所	
ターゲット（対象）	繁殖犬の里親
企画の成果目標（ゴール）	譲渡後の適正飼養ができる
成果確認方法	譲渡説明会でペーパーテストとアンケートを実施 譲渡会テスト６割以上正答、理解度アンケート３点以上
企画内容	①　譲渡犬のトリマー健康診断を実施 トリマー・看護師専攻によるトリマー・健康カルテ作成 ②　譲渡会サポート 健康状態、飼養方法、注意点の個別説明・対応 ③　譲渡説明会での説明 給餌、日頃のお手入れ、犬種毎の健康管理など
KGI(Key Goal Indicator) 達成する数値目標	譲渡会参加人数
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための営業方法と目標数	チラシ・ポスター SNS・マスコミ
必要経費概算	交通費： 打合せ往復 2000 円×2 人×3 回＝12000 円 当日往復 2000 円×12 人×1 回＝24000 円 印刷費： ボランティア保険：
活動のべ時間見積り （人数×時間）	企画立案のべ時間 PR・営業のべ時間 企画準備のべ時間 トリミング・健康診断のべ時間 企画当日のべ時間 報告会・振返り総括のべ時間
企画代表	
会計責任者	
企画運営メンバー	
スケジュール	
備考	

活動日誌

日時・記録者	年　月　日　時　分～　時　分　記録者（　）
参加者	
活動内容	
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	
判明した課題	
次回の日時と内容	
備考	

＜世界の動物園主催教育活動＞

①オーストラリア・パース動物園

2～3 歳児

ヒトと動物に共通する特徴を見つけましょう
動物と同じ動きをしましょう（飛ぶ、飛び跳ねる、這う）
動物が住んでいる場所を探しましょう（木の上、草の上、水の中、水辺など）
動物がどうやって隠れるか探しましょう（色・模様）

4～6 歳

物語、動き、音楽、工芸品に表われるさまざまな動物に出会います。
動物園でそれらの動物を見つけ出します。
お気に入りの動物について詳しく調べます。
観察日記を作ります。全ての観察が終わったらごほうびがあります。
葉っぱや、水の中、草原、木の上に動物を見つけます。
動物の毛皮や羽毛、鱗はなぜあるかを考えます。
動物の名前と世話の仕方を学びます。

小学生３年まで

動物園の動物の世話の仕方を学び、手伝いをします。
動物を紙粘土でつくります。
動物によって臭いが異なることを学びます。
動物によって動き方が異なることを学びます。（歩く、走る、はねる、飛ぶ、泳ぐなど）
動物の赤ちゃんと大人の動物を比べ、成長の仕方を学びます。

小学校６年まで

鱗のある動物（爬虫類）を間近で観察します。
様々な爬虫類が生き残るためにとった適応（進化）を考えます。
サルが野生で生き残るために必要なスキルを考えます。
夜行性動物の観察ツアーを体験します。
野生生物保護をする意味を考えましょう。
様々な動物を間近で観察します。
希少動物を繁殖させる意味を考えます。
野生動物の観察日記を作成します。

中学生

動物飼育員のサポートをし、行動観察から動物のこころを読み取る訓練をします。
動物トレーニングを経験します。

高校生

獣医のシャドウイングを通して小さな蛙から巨大なサイまで動物の身体のしくみや健康を学びます。
種の保存の意味を学び、動物の飼養を学びます。

②ニュージーランド・ウェリントン動物園

「羽根、毛皮、うろこ？」

小学生１・２年の学習成果

動物が生き残るために何が必要か説明します。
動物の適応の例を挙げ、それが生息地での生存にどのように役立つか説明します。

小学生３・４年の学習成果

動物の特徴が、その生息地での生存にどうように役立つかグループで話し合います。
様々な動物で異なる形で起こる共通の生命プロセスの例を挙げます。

小学生５・６年の学習成果

動物の特徴とそれが生息地にどのように適応しているかを特定します。
環境の変化（自然・人為）が野生での動物の生存能力にどうのよう影響するか説明します。

中学生の学習成果

動物の生存に役立つ構造的、行動的、生理学的特徴を特定します。
動物がその環境内で繁栄できる理由について話し合います。
生態系の形成における種間関係の役割を説明し、環境の変化がそれらの関係にどのような影響を与

えるかについて議論します。

「動物行動学」

小学生１・２年の学習成果

動物たちは一日何をしているか観察し説明します

動物が特定の動きをしたり、特定の行動をとったりする理由を説明します。

小学生３・４年の学習成果

動物が特定の動きをしたり、特定の行動をとったりする理由を説明します。

動物の様々なコミュニケーション方法を観察します。

動物の自然な行動を促すためにどのように生息地を構築するか説明します。

小学生５・６年の学習成果

動物が特定の動きをしたり、特定の行動をとったりする理由を説明します。

動物の様々なコミュニケーション方法を観察します。

動物が単独で生活するか、群れで生活するかについて話し合います。

中学生１年の学習成果

様々な動物がどのようにコミュニケーションをとるか説明します。

グループで生活することのメリットについて話し合う。

動物の行動、群れの構造、生息地の構築との関係を認識する。

中学生２・３年の学習成果

動物の様々な行動の目的を考察します。

動物園の動物の世話をするための行動訓練をどのように活用しているか説明します。

高校生の学習成果

動物の行動が動物の生活にどのような影響を与えるか特定し、説明します。

行動の適応によって動物が環境的ニッチを占めることができるしくみについて説明します。

「動物の世話」

小学生１・２年の学習成果

動物が幸せで健康であるために必要なことを特定する

動物園がどうように世話をしているか説明する。

小学生３・４年の学習成果

動物福祉の５つの領域を特定する

動物園が動物のケアをどうようにしているか説明する。

小学生５・６年の学習成果

動物園が動物福祉の５つの領域をどのように活用して動物を幸せで健康に保つか説明する

動物の生息地の特徴を特定し説明する。

中学生の学習成果

動物園が動物福祉の５つの領域をどのように活用して動物を幸せで健康に保つか話し合う

動物の生息地が生きるためにどれだけ大切かを分析する。

「動物の適応」

中学生２・３年の学習成果

生命プロセスに応じた構造的、生理学的、行動的適応を特定し、説明する。

適応が物理的な生息地、生殖戦略、他の生物との関係にどのように関係するか説明する。

変化する環境における変化の重要性を説明する。

高校生の学習成果

哺乳類間の食物連鎖と、消化のしくみの違いを探求します。

哺乳類の構造的特徴をその生活様式や生存能力と関連付け説明する。

諸動物を生命プロセスに応じた構造的、生理学的、行動的適応を特定し、説明する。

適応が物理的な生息地、生殖戦略、他の生物との関係にどのように関係するか説明する。

「動物福祉と倫理」

高校生の学習成果

動物園が動物福祉の５つの領域をどのように活用しているか詳しく説明する。

人間が行う動物ケアを動物福祉の側面で調査する
ケーススタディを用いて動物福祉に関する倫理的議論や様々な視点を探る。

「気候変動対策と持続可能性」

中学生２・３年の学習成果

気候変動が動物に与える影響を理解する。
自然への脅威を緩和する方法を議論する。
動物と環境を守るために一緒にできる行動をデザインする。

高校生の学習成果

動物園の組織構造と内部運営をビジネスとして検証する。
動物園の戦略と価値感、それが動物園運営にどのような影響を与えているか話し合いをする。
動物園がどのようにしてスタッフのやる気を引き出しパフォーマンスを発揮できるようにしているか調査し話し合いをする。

「環境保全」

中学生２・３年の学習成果

動物が絶滅の危機に瀕する理由について話し合う。
人間による天然資源の管理と経済的活動が環境と社会の持続可能性にどのような影響を与えるか話し合う。
動物園の環境保全活動について調べます。

高校生の学習成果

特定の動物が絶滅の危機に瀕する理由について調べ発表します。
人間による天然資源の管理と経済的活動が環境と社会の持続可能性にどのような影響を与えるかディベートなどを用い多視点理解を深める。
環境保全に関する法律や諸活動について調べ発表します。

「生物学」

高校生の学習成果

動物行動研究のプロセスを学び、園内で観察記録をとります。その後レポートにまとめ発見したことをまとめ発表します。
種内と種間の関係、階層、生殖戦略、集団生活の行動に注目した観察を行い、発見したことをまとめ発表します。
動物の恒常性システムを学び、音、温度、感覚、臭い、刺激に対する反応の違いを観察し発表します。
人間の骨格模型とチンパンジーの骨格模型を比較し、分散説の証拠について議論します。
キリンはなぜとげのある木を食べるのかなど、動物の形態と生態パターンの種分化が種の多様性にどうつながっているか議論します。

③サンディエゴ動物園

幼児

グループでの話し合いや、ゲーム、形づくり（造形）、色つけ、写生、絵本などを行います。最後にＴシャツが配布されます。
＜学習アクティビティ＞
動物によって異なる、遊び場所、食べ物を発見します。
動物によって異なる、動き方（はう、泳ぐ、飛ぶ、走る、はねる、歩く）を発見します。

１年生

グループでの話し合いや、動物とのふれあい、ゲーム、形づくり（造形）、写生などを行います。最後にＴシャツが配布されます。
＜学習アクティビティ＞
毛皮、羽毛、貝殻、うろこの動物を発見し、なぜそのようになっているか考えます。
巣穴、洞穴、巣、巣箱など動物の居場所を発見し、なぜそのようになっているか考えます。

２年生

グループでの話し合いや、動物とのふれあい、ゲーム、アートプロジェクトなどを行います。最後にＴシャツが配布されます。
＜学習アクティビティ＞
動物の足、尾、爪を観察し、なぜそのようになっているか考えます。
様々な動物の大きさを測ったり、調べたりします。なぜそのようになっているか考えます。

３年生

グループでの話し合いや、動物とのふれあい、ゲーム、アートプロジェクトなどを行います。最後にＴシャツが配布されます。
＜学習アクティビティ＞
動物の特殊能力について調べます。
みんなが知らない動物について調べ、発表します。

４・５・６年生

グループでの話し合いや、動物とのふれあい、ゲーム、アートプロジェクトなどを行います。最後にＴシャツが配布されます。
＜学習アクティビティ＞
動物の歯、舌、鼻、角、脚、尾、爪について調べ、本来の生息地でどう役に立つのか考えます。
様々な動物の行動を観察し、行動の意味を考え発表します。

中学生

グループでの話し合いや、動物とのふれあい、ゲーム、アートプロジェクトなどを行います。最後にＴシャツが配布されます。
＜学習アクティビティ＞
展示場やバックヤードで様々な動物の行動を観察し、行動の意味を考え話し合います。
動物園の日々の運営を見学し、動物の専門家や経営の専門家の知識や考えを吸収します。また、動物園が野生動物の支援をどのようにサポートしているかレポートします。

＜芸術教育＞

小学生低学年まで

（色の観察）動物の色をまねる「塗り絵」の学習
（色と模様の観察）動物の模様（ストライプ、斑点、羽根模様など）「塗り絵」の学習

小学生

（自然の中の動物）元々生息している自然環境の中の動物を描きます。
（採集物で創作）園内で採集した植物の葉や実、枝などを使って動物を表現します。

中学生以上

（彫塑）動物をモデルにした、コイル成形、粘土づけ、成形の創作活動を行います。
（鉛筆を使ったデッサン教室）動物をモデルにした、デッサンを学びます。
（色鉛筆を使った絵画教室）動物をモデルにした、色鉛筆画を学びます。
（水彩絵具を使った絵画教室）動物をモデルにした、水彩画を学びます。
（パステルを使った絵画教室）動物をモデルにした、パステル画を学びます。

④マイアミ動物園

幼児

＜イヌとネコとのふれあい（希望者は里親になってイヌネコを引き取ることができます）＞

イヌやネコと過ごし育て方を学びます。
ネコがどうやって木を登るか、イヌがどうやって土を掘るか、ネコやイヌがどうやって狩りをするか、どうやって探検をしているかを学びます。

＜水の不思議＞

プールやスプラッシュパッドなどの水遊びをします。
水辺に生息するカワウソやフラミンゴの遊び方を発見します。

小学生

＜ワイルドアート＆ネイチャー＞
動物の足跡のプリント
葉っぱのスタンプ
自然物を使った造形

＜裏庭の生物学者＞
身近にある植物、昆虫、鳥など生物を発見し、記録の付け方、観察の仕方、分類の仕方、保護の仕方を学びます。

＜動物園の仕事＞
動物園の飼育係、獣医、生物学者、写真家、運営者の職場体験をし、どうやって動物の世話をし、訓練し、保護しているかを学びます。

＜動物アスリート＞
動物の身体能力（走る、跳ぶ、はねる、登る）を調べ観察し発見します。
参加者も動物と同じように走り、跳び、はね、登って動物と身体能力を競います。

＜ワイルドウェザー＞
強力なハリケーンや竜巻、そよ風や晴れた空など天気の変化が起こるしくみを実験や体験を通じて学びます。動物たちが気象の変化をどうやって生き延びるか、予測しているかを学びます。

＜野生生物保護活動家＞
世界中の動物たちの生息地を探索しその環境を保護するために自分たちができることを学びます。

中学生・高校生

＜動物看護・医療の世界＞
動物園の病院の職場体験を行います。
大小さまざまな動物の健康維持の方法や、動物の治療方法を学び、動物の看護・治療の実践的な経験を積みます。

＜動物の栄養＞
動物園のバックヤードで動物のエサの準備やエサやりを体験します。
小さな昆虫から巨大なキリンまであらゆる動物の食事の準備、餌やりを飼育係の指導を受けながら行います。園内にいる動物毎の最適な食事や栄養はなにか、どのように食べる工夫をしているか、どのように健康管理をしているかを学びます。

大学生（インターンシッププログラム）

動物ケア：飼育、生息地の維持、給餌、トレーニング、健康監視
動物園病院臨床：動物園の環境での獣医学の実践
動物園栄養学：動物園の栄養士とケア専門家と共に施設内動物の栄養と食事の対応
観察動物行動研究：動物行動と福祉の専門家と共に研究や多種のプロジェクトに参加
ホスピタリティ：顧客サービスや運営管理経験を通じビジネス成果の上げ方を学ぶ
ウミガメ病院：負傷や病気のウミガメのリハビリテーション実践

2.5　委員の意見

・今までにもボランティアで学生たちにイベントなどに参加してもらっていた。さらに一歩進んだ形で実現できればいいと思う。自身の取り組みを振り返って次回に活かす行動は社会に出た時にも非常に役立つ。最後まで付き合っていきたい。

・先日、愛玩動物飼養管理士の二級と一級の課題提出が終了した。生徒たちは次の段階へ進む。

・琉球犬の保護活動などを課題研究の授業で行っている。内容がサービス・ラーニングと似ている点があると感じた。

・生徒が一生懸命になりすぎて、相談をせずにアポを取ってしまう、インスタなどのＳＮＳに投稿する、自身のお小遣いを活動に使ってしまうことがあった。こういった場面への対応についても相談させてほしい。

・熱帯資源科の生徒たちは熱心に活動をしており、とても意欲的だった。このプログラム事業による教育活動はすごい取り組みだと思う。

・キャリアビルドアップという県の事業がある。今後、この内容や取り組み状況をこの委員会で情報共有させてもらいたい。

・繁殖引退犬譲渡会は考え方やセンシティブな部分、いろいろな立場の人がいて難しい案件だと感じた。自身の学校で同じ企画ができるかと考えながら聞いていた。結果の報告には興味がある。

・実証授業の実績も増え意識の変化もあったと思う一方で、動物系に関係のない学校では業界への興味がゼロに近い点は新たな課題。今後、中学校との接続といった話になると思う。我々の学校でも 10 年ほど前から課題として挙がってきていた。

・都内では動物系分野への希望者は多いが、いずれは頭打ちになる。若い世代への種まきが大切。沖縄ペットワールドでは小学生が参加している企画など面白い取り組みをしている。本校でも毎年、小中学生の職場体験などをきっかけに動物のことを知り、出願してくるケースがある。粘り強く魅力を伝えていくことはとても大切であると感じている。こういった取り組みがパッケージ化されると世のためになると思う。

・先生方の意識もあると思うが、卒業三年後の動物業界定着率 92%には大変驚いた。正確な調査をしたわけではないが、本校の場合は沖縄ペットワールドさんの実績には及ばないと思う。これをきっかけに本校でも卒業生へ調査を考えてみたい。

・学生の担任を始め、多くの職員で徹底的に学生一人ひとりの分析を行った。面談では本人に興味が無くても職員が向いていると感じた分野をいろいろと提案している様子が印象的であった。学生たちから「やってみたい」という気持ちを引き出し、インターンシップへ行かせた。そこでの体験が自信にとなり就職に繋がっているのが一つ要因だと考えられる。

・就職先へ企業訪問した時にもイキイキと楽しく働いている姿が印象的。これが高い定着率に繋がっていると思う。

・多くの卒業生を受けいれているが、この検討委員会に携わり感じるのが教育する先生方と学校の姿勢が大分変わったこと。それにより生徒も積極的に変わっていったと感じる。初めは自分を表現できない生徒が多かった。恐らく、この時期は離職が多かったと思う。しかし、このプログラムがスタートして学生たちのコミュニケーション能力も非常に高まったと感じる。先生ともこの業界は特殊な職種であると話したことがある。

・現在、中部農林高校から二名の職場実習に来ているが、動物業界のランキングが低いアンケート結果にショックを受けている。中学、高校へ職業説明に出向くなどアピールの必要性を真摯に感じた。企業として積極的に生徒の受け入れは行っていく姿勢でいる。

・沖縄ペットワールドから毎年、学生が実習に来ており、卒業生の就職も近年続いている。離職者もいないと思う。

・ステップアップによる正職員への登用もあるが、職員の募集が契約社員でしかできない点は企業努力が必要だと思う。働きやすい職場の環境づくりを続けていきたい。

３　第二回連携プログラム開発検討委員会

実証授業結果報告と検討、サービス・ラーニング報告に関する意見交換を行った。

3.1　中部農林高等学校　職業講話①

実施概要

日時　令和７年 11 月７日　　13：45～15：35
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　１年生
人数　31 名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　仲里祥輝先生
内容　動物系の仕事

生徒アンケート結果

質問「本日の講話を受けて、仕事の内容が理解できましたか？」（平均 4.9）

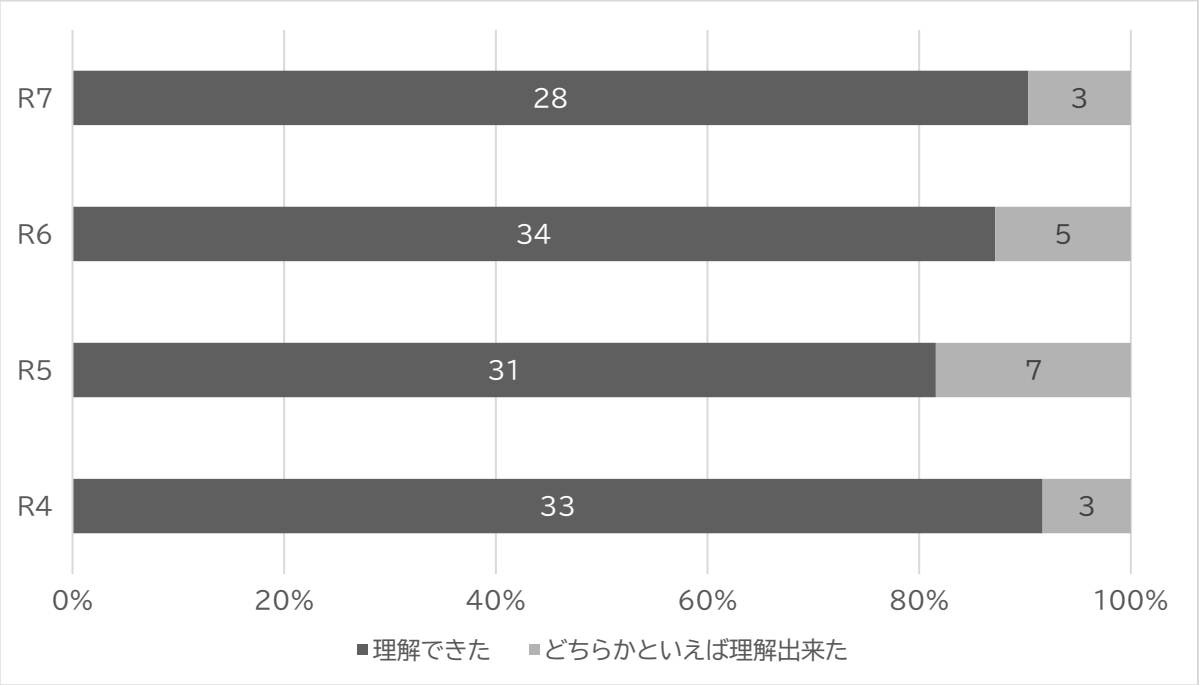


図 1-1　仕事理解度

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

質問　「仕事に必要な知識がわかりましたか？」（平均 4.8）

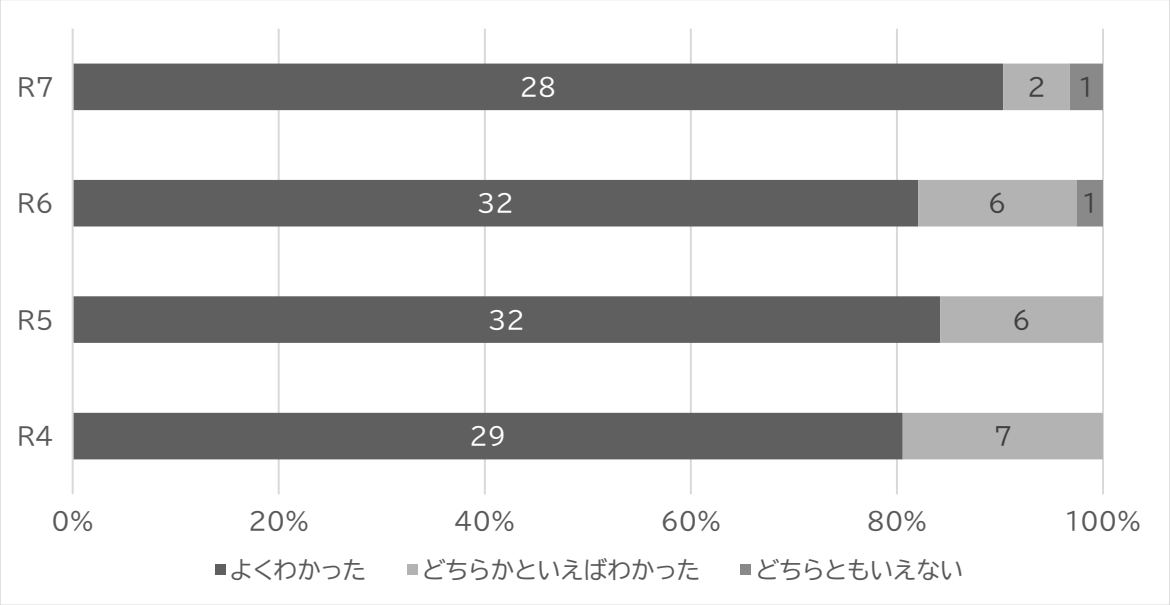


図 1-2　仕事知識

97%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

質問　「仕事に必要な資格や技術について理解ができましたか？」（平均 4.8）

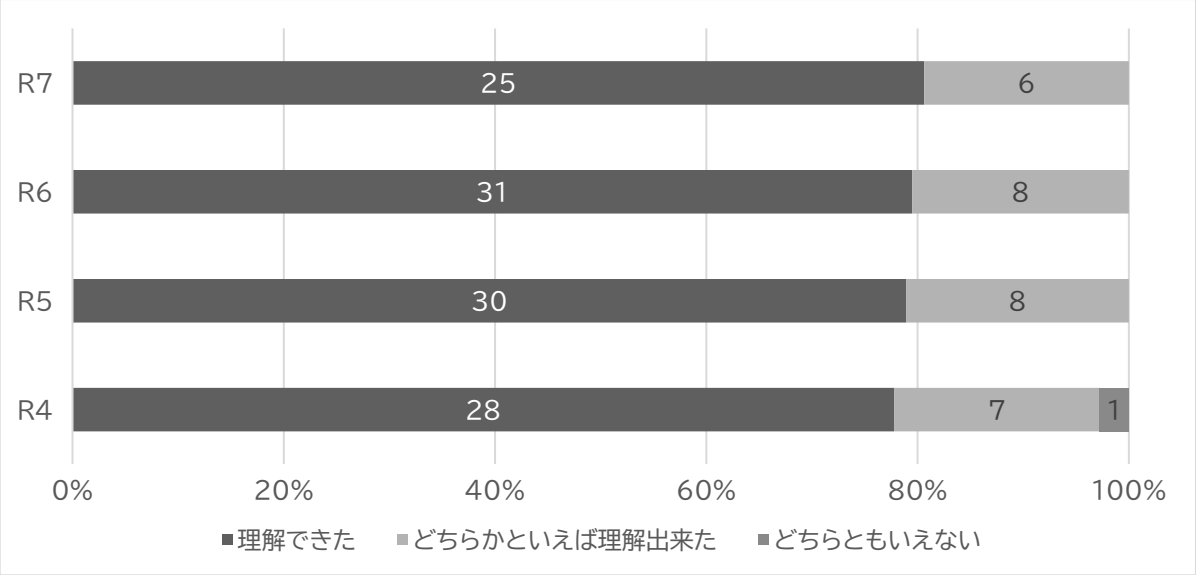


図 1-3　仕事資格

100%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

質問　「必要な知識や資格・技術の学び方がわかりましたか？」（平均 4.6）

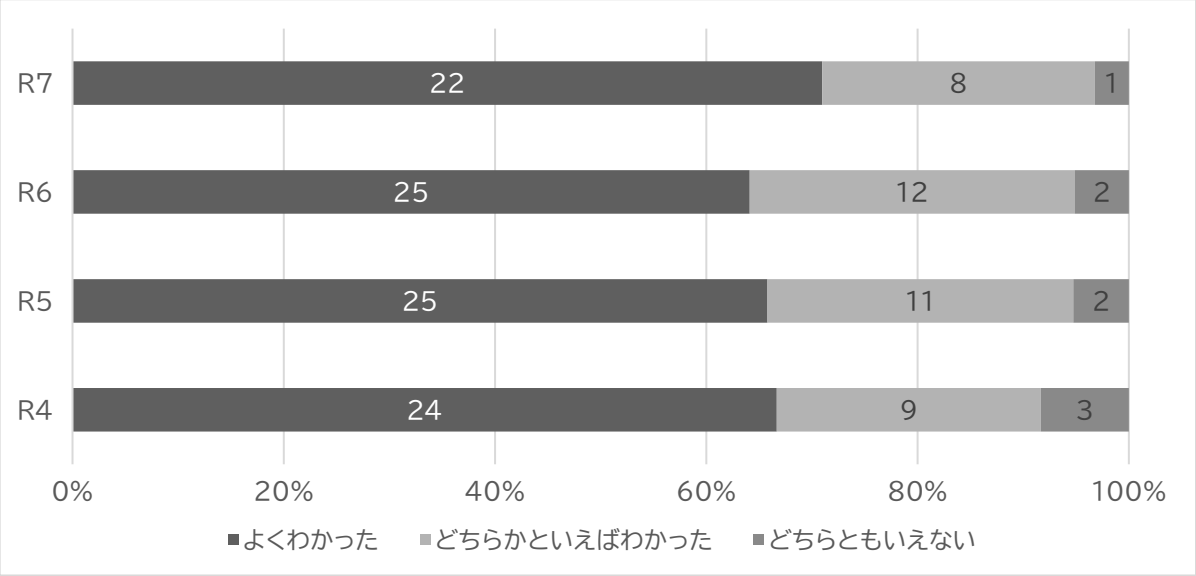


図 1-4　資格の学び方

９７％の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

質問　「特に印象に残ったことや初めて知ったことを、箇条書きで記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

動物に関わる職業は自分が今知っているものじゃなくてたくさんあるということが分かりました。さらに動物と関わる職業をする上でコミュニケーションはもちろん、体力や健康などの自分の体調をしっかり管理することが大切だということを知ることができました。
--
動物だけの知識だけ得るのではなく命の尊さ、コミュニケーション力、やる気と根性が大切。
--
今回の講話では様々な職業について学習することが出来ました。その中でもトレーナーについて初めて知った事も多く学ぶ事ができました。
--
動物に関する仕事は２０個以上あることがわかった。働く意味について理解することができた。
--
別に高校が動物系じゃないからといって将来動物関係の仕事につけないわけではないと分かった。
--
動物に関わる仕事についての詳しい説明
動物と共に仕事をするとはどういう事か
命と向きあうことの大切さ
--
動物と仕事をするのは体力がいることと水族館のスタッフも資格がいることを初めて知った。
--
動物に関する職業では、ただ動物に対しての職業ではなく、動物にとっても人間にとってもお互いが生きやすいような職業であるということが特に印象に残った。
--
色々な動物の仕事について知れたし、とても勉強になりました。
--
責任感、ドルフィントレーナー
--
飼育員にも動物の飼育だけじゃなく、繁殖も大切な仕事だと初めて知りました。その他に野生動物保護官の仕事内容を初めて知りそして印象に残りました。
--
初めて知った事は、ドルフィントレーナーという仕事です。珍しい動物の飼育だけではなく、動物たちにストレスをかけない展示の仕方を考えたりする、楽しそうな仕事があるなと思いました。
--
ペットショップの店員さんとかの仕事内容は、ただ動物を売るだけじゃなくて、知識が必要ということがわかった。動物や飼い主を考えるだけでなく、冷静さや観察力が大切だと思った。
--
動物関係の仕事は資格や法律などで大変。野生動物保護官という仕事がある。飼育員は繁殖のサポートもする。

体力があることは大切。意外と体力勝負。
命を扱うことは責任感や観察力が大切。
動物を通してお客様と関わるのが動物サービス業。
--
自己管理ができてないと、動物にも影響が起きるので体力がすごく大切だと初めて知った。
--
愛玩動物看護師の国家資格は 2023 年から始まった。
獣医は 6 年間学ぶ。沖縄には学校がない。
--
たくさんの仕事があり、特にトリーマが気になった。

--
動物の仕事をする上で大切なことは色んな動物も好きになることそして悪い流れに流されないこと。
皆のみていない仕事もたくさんある。
獣医は６年間学び全国で１７校しかないことが知った。
やる気と根性が大切。可愛いだけじゃだめ。
--
動物に関わる仕事だとお客様の配慮だけじゃなく、イヌやネコなどの愛玩動物にも必要になってくると分かり印象的だった。また、接客にも新しい知識が必要になってくると初めて分かりました。
--
動物取扱業種について販売以外、初めて知って少し興味がわいた。
--
働く目的を考えた。興味のある仕事の内容がわかった。
--
仕事で使う資格。コミュニケーションが大切。
--
体力的な面でも大切。
--
動物に関わる職につくには、動物が好きなだけでなく、資格や免許、知識などたくさんの勉強が大切ということがわかった。
資格・免許、技術・知識、コミュニケーションカ
--
職業が様々あり動物が好きだったらできると思っていても資格や技術・知識、やる気、根性が必要なんだと知り、あらためて自分が動物の関係の仕事をする際、気をつけて責任をもって取り組んでいきたいなと知りました。
--
自利利他：自分の幸せは他人の喜び
嫌い→苦手になる。嫌いだと一生関われない。
動物の愛護及び管理に関する法律
体力、観察力、命を扱うということ（大切な事）
（今できること）コミュニケーションを上げる。
--
体力が必要、コミュカも必要、資格もいっぱいある
--
私は野生動物保護官の仕事が印象的でした。なんとなくは知っていたものの、体をはって野生生物のことを調べたり、保護したりなどをしているすごさに気づけたのが良かったと思いました。
--
動物に関係する職業はある程度あることはわかっていたけど、あまり詳しくなかったのでこの機会で知ることができてよかったなと思いました。今日の講話で動物に関係する職業についてたくさん知れたので将来の夢に生かしたいです。
--
動物に関する知識、技術が大切。
資格を取ることが大切。

質問　「本日の講話を聞いて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

今までも動物に関わる職業に就きたいと思っていたけど、仲里さんのお話しを聞いてより動物と関わる仕事やことをしたいなと思えました。ありがとうございました。
--
やっぱり何事もそのことだけではなく身の周りの基礎的なものも学んでいかないといけないんだなと思いました。貴重なお時間をいただきすごくすてきな講話をありがとうございました。
--
動物に関わる仕事は思ったよりも多かったので、将来の幅が広まったと思います。
--
動物に関わる仕事はコミュニケーション能力や知識、資格、根性が必要になることと、動物関連の仕事は自分が思ったより５倍以上は多いことが分かった。
--
やっぱり大変だけどやりがいのある仕事ばかりだなと思った。
--
今日の講話を聞いて、自分がなりたいと思っている仕事がどんな仕事なのか、その仕事に就くために何をするべきなのかをあらためて学ぶことができた。命と向き合うとはどういう事なのか、しっかり考えることができた。
--
私はまだどの仕事に就くか決まっていませんが、選択をするための参考になった。
--
動物に関する仕事は数え切れないほどのたくさんの職があるということが分かった。これからの進路選択の参考にもなったのでじっくりと考えていこうと改めて思った。
--
色々な仕事を知れて、これからの将来の仕事の範囲が広がりました。
--
働くにあたって自分にむいた仕事を見つけてたくさん知識を身に付けることが大切だと思いました。
--
動物に関するしごとが聞けてとてもためになったと感じました。
--
動物の仕事をする上で大切な事、必要な事がたくさんある事が改めて実感することができました。
--
動物に関わる仕事に就きたいとは思っていたけれど、自分が何をしたいのかとかがわかんなかったので、今回の講話を聞いて、ドルフィントレーナーや飼育員の仕事に興味をもって調べてみたいと思えました。
--
動物関係の仕事は資格・免許など知識も法律も動物とふれあうということもすごく大変なんだなということがわかった。
--
大まかに将来の夢を決めてから、取った方がいい資格や技術を目標として挑戦していきたいです。動物と関わることができる仕事はたくさんあってびっくりしました。

目標を明らかにすることによってなりたい夢に辿り着きやすいと分かった。
--
動物の仕事はどんなものでも体力がいる。たくさんの知識があったとしても体力がないと意味がない。だから日々の体力作りをがんばりたい。（知識も）
--
動物関係の仕事は軽い気持ちではできない。
--

動物の仕事だけでもたくさんあることが分かった。そして目に見えていない所の仕事もたくさんある。色々な仕事について知れてよかった。資格取得をがんばっていこうと思った。体力・観察力が大切。人間関係も大事。
--
先生の話がとても分かりやすいと感じた。特に仕事紹介の時、文章に書かれている通りでけでなく、よりくわしく解説していたのがよかった。
--
いろんな仕事内容を知ることができた。
--
自分が知らない動物に関わる仕事も知れたし、資格や検定のことも知れてよかった。
--
今まで、動物に関わる仕事を少し甘く見ていました。だけど、今回の話しを聞いて真剣に考えていきたいと思えた。中農だけじゃ取得できない資格もあるので、進学先をしっかり考えていきたいです。ありがとうございました。
--
自分の興味のある仕事や職業を見つけることができた。動物の仕事をする上で、動物と向き合うことや観察力など大切なことがたくさんあることがわかった。
--
将来の事を決めてなかったので、今、目標を決め命を扱うことの大切さ、大事さを意識ななから、将来のための一歩を考えていきたいなと感じました。
--
動物に関わる仕事がたくさんある中で、あまり知らない仕事内容などを聞けてよかった。また、動物に関わる仕事をする上で必要なことや大切なことをくわしく学ぶことができてよかった。これをふまえて、将来の仕事について改めてちゃんと考えていきたいと思った。
--
動物とかかわる仕事をすると大事なことがいっぱいあり、責任などもある。自分自身に関係のあることもある。
--
動物と関わる職業には、コミュニケーション力や体力など、私が知らなかったことを知ることができる良いきっかけ、経験になりました。これからの進路につなげたいと思いました。
--
自分が思っていた以上にたくさんの職業があり、またそれに対してたくさんのことを知ることができてよかった。将来動物に関係する職業に就こうかと迷っていたのでこれを機に考え直してみたいなと思った。
--
動物に関わる仕事をするために正しい知識や資格をがんばろうと思いました。

3.2　中部農林高等学校　職業講話②

実施概要

日時　令和７年 11 月 14 日　　13：45～15：35
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　動物コース　２年生
人数　13 名
講師　広原敬幸講師
内容　情報の取り方生かし方

生徒アンケート結果

質問「授業の内容は理解できましたか？」（平均 4.7）

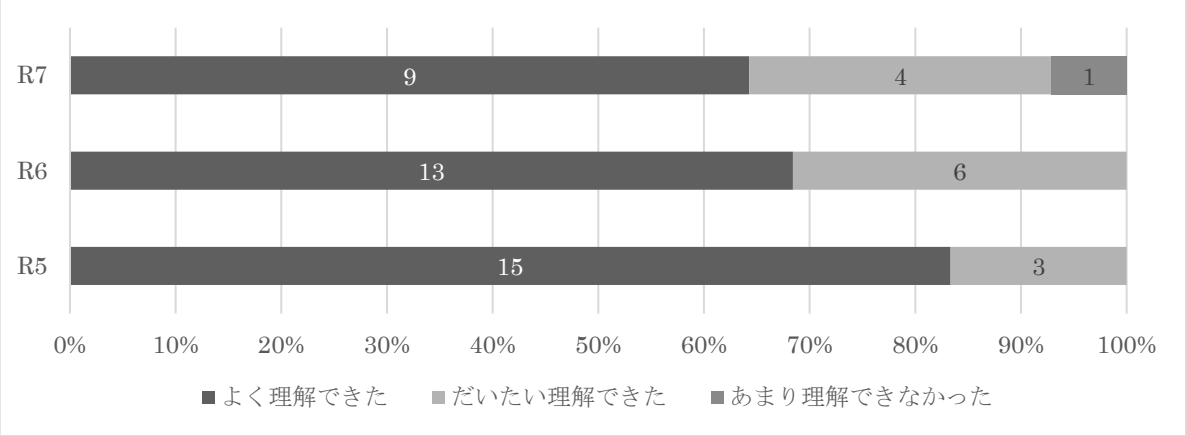


図 1-1　理解度

92%の生徒が、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と答えた。

質問　「授業の内容はこれから役に立つと思いますか？」（平均 4.9）

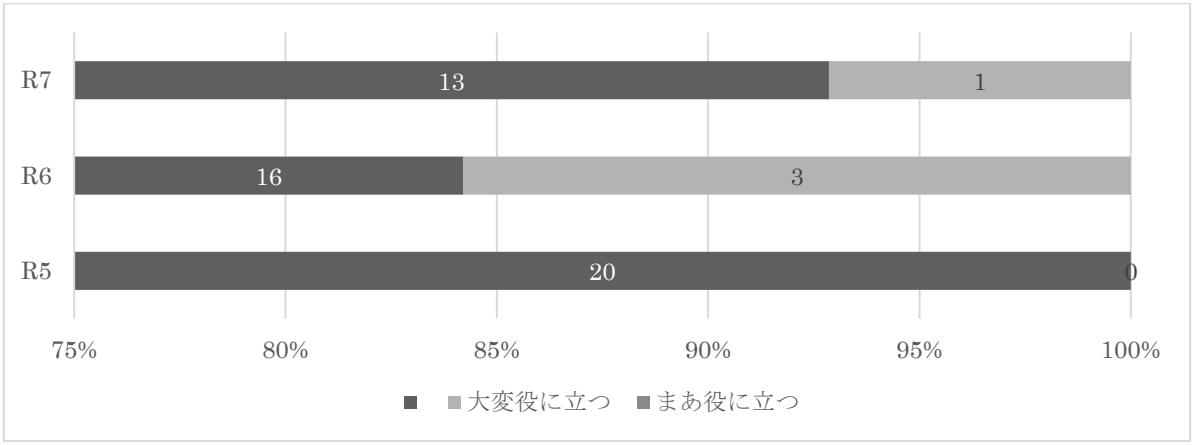


図 1-2　授業内容

１００%の生徒が、「役に立つ」と答えた。

質問　「授業の全体的な感想を教えてください」（平均 4.8）

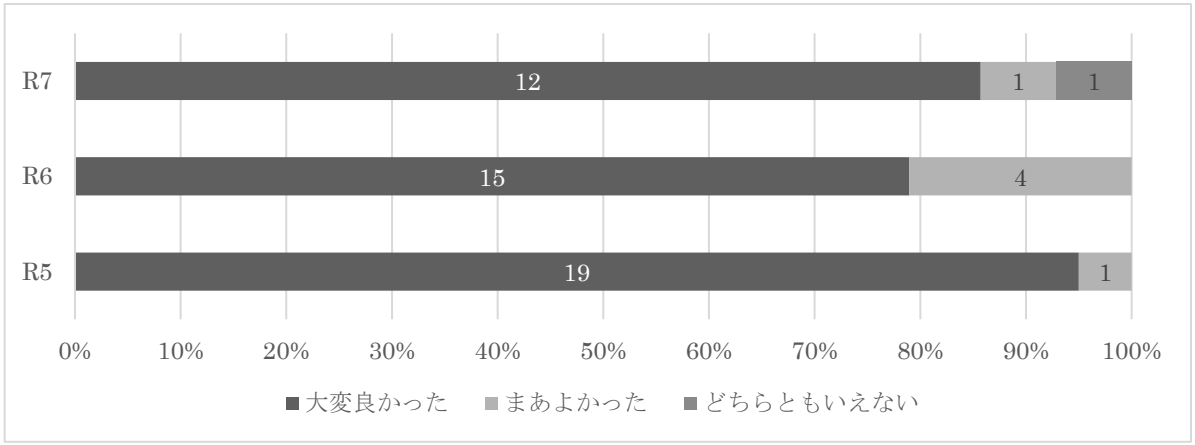


図 1-3　感想

92%の生徒が、「よかった」と答えた。

質問　「初めてしったこと、初めて聞いたことを記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

トリマーは精神力と責任感が強い人が向いていると知りました。イヌは２０秒ほどで忘れる。失敗するとそのときの感情と共に忘れない。イヌをたくさん叱ったらおびえられる。
--
トリマーという仕事は自分の生活のためだけではなく、お客さんの生活のためでもあるということ。
--
ワンちゃんは人間よりも記憶できる時間が短いため何かを覚えさせるにはトレーニングをしっかり行う必要がある。失敗すると感情と共に忘れない。
--
メモの取り方や大事な部分だけ単語で書くようにすることを知った。認知症は短期記憶から忘れていく。長期記憶のコツは思い出す、経験する。コミュニケーションは人を動かす方法。
--
伝言ゲームをやってみて長い文字を覚えることが難しいっていう事がわかった。それを覚えるためにメモをとったりして覚えるこということがわかった。
--
短期記憶は 40 秒で忘却してしまうし、長期記憶も忘れていくのは全部記憶するとメンタルがやられてしまうからだと知った。短期記憶がとけて認知できなくなるのが認知症ということも初めて知ったし、暴力、対価、コミュニケーションの３つが人を動かすためのことだということも初めて聞いた。
--
私は情報処理のたくさんのことを初めて知ることができた。人間は受け取る情報の８０％が目からの情報。長期記憶をするためには思い出すこと、経験することが大事だということが初めてきけた。
--
人間の受け取る情報量は視覚が８０～９０％。短期記憶は４０秒で忘却する。犬はもっと短い。視覚優位、言語優位、聴覚優位など人によって覚えやすい方法がある。コミュニケーションは人を動かす方法の全体像。
--
人間の情報処理は近く（感覚刺激）で短期記憶をして認知（覚える）で長期記憶をし、判断して行動しているということが分かりました。目で記憶するのが８～９割と目を使って判断していることが多いと分かりました。長期記憶のコツは思い出す、または経験することで頭に覚えてもらうことが大事と知りました。
--
初めて知った事は、人が感想を書くときに他人とは違う意見が出るのは認知する内容には人それぞれあるからということが分かった。また、思えるのではなく思い出す回数を増やすことで忘れないようになると知った。
--
短期記憶は４０秒で忘れる。人によって印象にのこることが違うのは認知に差があるから。
--
トリマーになるにはお客様のペットの指や皮膚を切ってしまっても大丈夫な強いメンタルの持ち主でなければトリマーはやっていけないことがわかった。

メモをとるときは単語でとる。長期記憶のコツは思い出す。経験する。
コミュニケーションは暴力と対価を使わずに人を動かすこと。

質問　「特に印象に残ったことを記入してください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

コミュニケーション力が大切。興味を持つことが長期記憶につながる。視覚で覚える人は絵をたくさん書きストーリーを作る。覚えようとしない、思い出す。人によっていろんなしゃべり方があり、それを身に付けるとコミュニケーションがみにつく。
--
コミュニケーション能力が大切
--
最初にグループで行った伝言ゲームです。１回目は上手に内容が伝わらなかったけど２回目はメモを使ったことで皆に内容がしっかり伝わることができました。今までメモを使うことが全くなかったけど、これからはもっと文字に残しておこうと思いました。
--
動物好きでも精神力と責任感が強い人じゃないとこなせない。仕事や職業によってしゃべり方が変わる。
--
トリマーさんの動画を見たことで、トリマーはやっぱりコミュニケーション力が大事だと知った。でも動物が好きとか精神が強い人、責任感が強い人が向いていると知ったので、自分もできるように頑張りたいなって思った。
--
長期記憶のコツは思い出すことか経験するかのどちらかで、覚えようとするのではなくて思い出そうとうすることが大切で、経験して失敗すると忘れないので記憶に残るから失敗するためには新しいことに挑戦することが大切だから、この２つをすることで記憶することができるとわかったことが印象に残った。
--
私は特に記憶の仕方についての内容が特にこころに残った。長期記憶をするにはひたすら覚え、また経験（失敗）することで思えることができることや、人によって記憶に残る覚え方などが決まっていて、これから勉強や生活などですごくためになった。
--
人間は一文が長いと記憶しにくい。人はメンタルを守るために興味のないことは忘れてしまう。長期記憶のコツは思い出すか経験する。覚えようとしないで、思い出そうとする（想起）。学んだ事を経験する。（失敗するとその時の感情と共に忘れない。）
--
長期記憶のためには何回も思い出したり、１度は失敗をすることが必要。経験することで記憶に残るということ。コミュニケーションは人を動かす方法でほかには対価などがある。
--
短期記憶は４０秒で忘れると知りました。長期記憶をいっぱい重ねると容量が多くなって倒れてしまうから、興味のあることや印象が強いものは記憶に残っていることが多い。でもそれ以外は忘れてしまうと分かりました。また、自分に合った覚え方をすることで脳に伝わりやすくなることが分かりました。コミュニケーションは人を動かす能力が大事だと分かりました。
--
人によっていろんなトーンで話すようになり、仕事にもいろいろあるんだなと思った。
--
覚えようとせず、思い出すことが長期記憶のコツなど記憶するコツを学んだので資格の勉強に生かそうと思った。
--
忘れないようにするには思い出すか経験するかの２択しかないが、思えようとするならまず興味を持つことが大切。失敗すると感情と共に忘れない。コミュニケーションは信頼関係をつくるため。
--
伝言ゲームをして最初にメモなしでやったときは、長いカタカナの名前や数字を思えて伝えるのが難しくて全然出来なかった。でも２回目にメモをかいたり、いつ、どこで、だれが、など細かい情報を相手にちゃんと伝えることができた。メモの大切さがわかり印象に残った。

質問　「今後授業で取り上げて欲しい仕事内容やキャリアを考える上で体験してみたいことがあれば自由に書いてください。」

※生徒の書いた原文を忠実に表現するため、誤字や文章の訂正・修正を行っていない。また、句読点の位置も原文のままにしている。

獣医師の仕事について知りたい。
--
ペットショップの一日の流れが知りたい。
--
畜産業について知りたい。
ペット商品開発について知りたい。
--
もっとトリマーについて知りたい。
--
今回の授業のように今後の生活で生かせることをもっと聞きたいなと思った。
--
動物関係の仕事はどんなのがあるかもっと知りたい。
仕事をしている様子を生で見たい。
--
トリマーや獣医師以外にも動物関係の仕事はあるのか。
--
ペットショップやトリマーする所にインターンシップしたい。
--
ドッグトレーナーにインターンシップがしたい。
--
学校にはいない動物とふれあいたい。マイナーなあまり仕事内容が知られてないような動物に関わる仕事について知りたい。

3.3　サービス・ラーニング実証報告

3.3.1　こどもの国「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」

実施概要

日　時　令和７年 10 月 31 日　　17：00～21：00
実施者　動物飼育・ショップビジネス専攻２年生
人　数　25 名
対　象　１８歳以下の障害を持つ子ども
内　容　①体験型工作
　　キーホルダーづくり
　　紙粘土マグネットづくり
　　ランタン
　②パズルラリー

「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」について



障がいのある子どもとその家族を閉園後の動物園に無料で招待し、楽しいひとときを提供する国際的な取り組みです。1996 年にオランダのロッテルダム動物園（ブライドープ動物園）が、がんを患っている 175 人の子どもたちと家族を招待したことから始まりました。2000 年からはアムステルダム動物園をはじめとするオランダ国内の動物園にも広がり始め、2002 年にはデンマークやベルギーなど国外の動物園でも開催されるようになりました。

重い病気や障がいでなかなか外出できない子どもが気兼ねなく参加できる活動として次第に世界中に広がり、国際的なイベントに発展しています。日本でも 2005 年に横浜市のよこはま動物園ズーラシアがこの取り組みに初めて参加して以来、実施する動物園・水族館が年々増加しています。毎年 6 月の第 1 金曜日の夜を中心に各国で開催されますが、日本では梅雨にあたるため時期をずらして行われることが多いようです。

沖縄こどもの国では開園 55 周年を記念して、今年（2025 年）ドリームナイト・アット・ザ・ズーを開催しました。

参加対象は、18 才以下の障がいのあるお子様とそのご家族で、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保険福祉手帳または小児慢性特定疾病医療費医療受給者証をお持ちの方（申請中の方を含む）、特別支援学校・特別支援学級に通われている方です。


令和７年度沖縄こどもの国動物園創造品事業
開園55周年記念
沖縄こどもの国
Okinawa zoo & museum
Dream Night
at the ZOO 2025
2025年10月31日（金）　17:45～21:00
※最終入場 20:00 まで
対象：18歳以下の障がいのあるお子さまとそのご家族
定員：先着200組1000名様（介助者様含む）
※詳細は裏面をご参照ください
事前申込制
Okinawa Zoo and Museum
公益財団法人沖縄こどもの国
公式 YouTube で沖縄こどもの国情報配信中!
〒9040021沖縄県沖縄市胡屋5-7-1
TEL:098-933-4190 Mail:info@okzm.jp
ホームページはこちら

サービス・ラーニング（どうぶつ広場企画）準備

学生の活動内容

　どうぶつ広場企画は、動物園水族館飼育員やショップスタッフを目指す「動物飼育ショップビジネス専攻」の正規授業の一環として、学生による主体的な活動の場にしたいと考えています。
　以下の活動ができることを教員と学生に伝えようと考えていますので、ご確認をしていただきたいと思います。

＜活動時期＞
　　動物愛護週間（９月 20 日～26 日）の１日間または２日間
＜活動内容＞
　　動物愛護をテーマにした、どうぶつ広場の企画・運営

活動の運営について

①教員の活動への介入を極力なくし、学生が主体的に考え活動する時間にします。

②リーダー（代表）、サブリーダー（書記）、マネジャー（会計）の執行部３役を中心に運営します。

③また、R7 年度の活動は文部科学省の予算を使うため以下の４つの条件を付けます。

企画書を作成すること
活動報告書を作成すること
会計報告書を作成すること
活動後に振返り会を行うこと

企画書例

2025 年　月　日

企画名	どうぶつ広場の活用
企画趣旨・目的	③　解決すべき課題：社会的背景や現在わかっている課題 ④　目的を示す：あるべき姿
実施日（期間）	
実施場所	
ターゲット（対象）	企画のターゲットは細かく分ける 例）未就学児、小学校低学年、小学校中学年、子どもの親など
学びの成果目標（ゴール）	ターゲット毎に企画参加後の変化（成果目標）を明確にする 例）未就学児：モルモットが正しく触れる 例）小学校低学年：動物の特徴が正しく観察できる
学びの成果確認方法	成果目標毎に確認方法を考える 例）モルモットが正しく触れたらスタンプを押すなど 例）動物クイズで７０点以上 ※知識はペーパーテストや口頭試問で測れる。実習は行動を観察して測る。
企画内容	第三者が読んでわかるように文章化する。わかりにくい場合は写真や絵で表す。
KGI(Key Goal Indicator) 達成する目標	数値化でき、目標数値を達成するために行動できるものを設定する。 例）参加人数、満足度など
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための活動方法と活動目標	目標参加人数を達成するために、 保幼に 1 回訪問して案内する SNS 用の案内動画を 2 本作成する 店にポスターを 3 枚貼る。レジ袋にチラシを入れる
必要経費概算	軽費概算見積りを立てる（会計）
活動時間見積り 一人当たり時間×人数で計算	活動時間見積を立てておき、実際に活動したのべ時間を記録し取りまとめる（サブリーダー）
企画代表・副代表	
会計責任者	
企画運営メンバー	
スケジュール	具体的なスケジュール計画を立てる
備考	

タイムスケジュール例（こどもの国）

01	活動内容とスケジュール概要説明、次回会議の予定（執行部選出と動物園調査）［顧問の先生］
02	執行部３役選出（リーダー（代表）とマネジャー（会計）は上級生、サブリーダー（書記）は下級生） 動物園調査報告会とまとめ 次回会議の予定［どうぶつひろば企画の目的（ゴール）別］
執	こどもの国にあいさつと現状確認、スケジュール確認
03	**プランニング［あるべき姿（ゴール）を実現する企画の文書化］** 次回会議の予定［活動企画の準備とスケジュール詳細］
執	こどもの国と企画のすり合わせ
04	プランニング［活動企画の決定とヒト・モノ・カネ・トキ（スケジュール）の決定］ 次回会議の予定［協力団体との打合せ結果と対応策・準備など］
執	こどもの国と打合せ［活動企画のすり合わせ］
05	活動準備
06	活動準備・こどもの国との打合せ
07	活動リハーサル
08	活動準備・こどもの国との打合せ
09	活動準備・こどもの国との打合せ
	ボランティア活動当日
10	活動振り返り［活動評価とレポート作成説明］ 次回報告会の予定［個人レポートの発表５分（個人の発見・新たな課題など)］
	活動報告会（こどもの国・顧問・学生他） ［個人発表・執行部総括・こどもの国の評価］

参考

会議・準備 10 回×90 分×25 名＝375 時間
現地活動　7×25 名＝175 時間
活動報告会　2 時間×25＝50 時間
合計のべ 600 時間（1 人あたり 24 時間【16 コマ相当】）

KBC サービス・ラーニング（どうぶつ広場企画）覚書

日時：2025 年５月 14 日
場所：こどもの国
参加者：こどもの国（翁長さん、金尾さん)、KBC 学園（伊禮、広原）

説明)「動物飼育ショップビジネス専攻」の授業の一環として学生主体の活動にしたいと考えています。活動時期は、動物愛護週間（９月 20 日～26 日）の１日間または２日間で考えています。
金尾）承知しました。

質問）どうぶつ広場だけでなく、昨年行ったクイズラリーのような企画など複数の企画を同時に実施してもよいでしょうか。
金尾）可能です。どうぶつ広場企画は現在も行っているので参考にしてください。HP に出ています。「みて、さわって、学ぼう」のコンセプトからかけ離れたものでない限り、学生さんの自由な発想で企画を立ててください。

質問）今後の大まかなスケジュール感を教えてください。
金尾）動物愛護週間の PR をイベント情報として行います。入稿の締め切りが７月 28 日で「タイトル」「日時」「内容」「参加人数」などが必要です。これから逆算すると、６ 月末までにはおおまかな企画を上げていただき７月中に詰めていくスケジュールになります。

サービス・ラーニング打合せ

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2025 年 8 月 19 日　　14:00～　　記録者（神山）
会議形式・場所	リモート会議　　601 教室
参加者	沖縄こどもの国　金尾由恵様 ペット　飼育 2 年（髙木宙、弓指朝）、神山麻輝
活動内容	
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	日程の確認 　当初の予定では 9 月 21 日でしたが、学生が夏休み中とのこともあり準備を行うことが難しく日程の調整を行う。 　様々な日を検討したが 10 月 31 日のドリームナイト・アットザズーにてイベントを行うことになった。 　※ドリームナイト・アットザズー 　　障害を持つ方がジブラルタ生命の企画により無料で動物園や水族館に入園できるというもの 内容の確認 　事前に学生が考えた 　　・モールでキーホルダー 　　・紙粘土マグネット 　　・パズルラリー 　　・ランタン 　上記の 4 つを提案
判明した課題	
次回の日時と内容	
備考	

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2025 年 9 月 29 日　　14:30～　　記録者（神山）
会議形式・場所	リモート会議　　701 教室
参加者	沖縄こどもの国　金尾由恵様 ペット　飼育 2 年（幸喜麻央、髙木宙、又吉聖楽、弓指朝）、神山麻輝
活動内容	
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	ドリームナイト・アットザズーのみのイベント参加 時間：17：45～21：00 昨年の参加人数は親子合わせて 800 名程度（こども 400～500 名） 今年の人数が確定次第、金尾さんより連絡をいただく（締め切りは 10 月 27 日） 体験型工作の内容確認 ・モールでキーホルダー ・紙粘土マグネット ・パズルラリー →使用するクイズは全て事前にこどもの国へ確認 ・ランタン ※ハサミやグルーガンの使用は安全上人が必ずつく 開催場所 入口入ってすぐの広場 テント、テーブルはこどもの国より貸し出しを行い、配置については本校が決める
判明した課題	
次回の日時と内容	
備考	

企画書

企画名	ドリームナイト・アット・ザ・ズー2025
企画趣旨・目的	障がいのある子どもとその家族を閉園後の動物園に無料で招待し、楽しいひとときを提供する取り組みに参加し、動物と親しむための知識や来園の思い出づくりを提供します。 障がいのある子どもたちとのコミュニケーションスキルアップや安全への心配りを行い、安全にイベントが終了することを目指します。
実施日（期間）	2025 年 10 月 31 日 17：００～21：００
実施場所	沖縄こどもの国
対象	障がいを持つ子どもと保護者・介助者　1100 人
企画の成果目標（ゴール）	一連の活動を通じて来園者や運営側に事故がないこと
成果確認方法	事故の有無
企画内容	・モールでキーホルダー　50 名分 ・紙粘土マグネット　50 名分 ・パズルラリー　110 名分 ・ランタン　50 名分
KGI(Key Goal Indicator) 達成する数値目標	設定なし
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための営業方法と目標数	設定なし
必要経費概算	企画材料費：　30,000 円 当日マイクロバスレンタル代：　34,000 円
活動のべ時間結果 （人数×時間）	企画・準備のべ時間　25 名×18 時間　450 時間 企画当日のべ時間　24 名×4 時間　48 時間 振返り総括のべ時間　24 名×1 時間　24 時間 報告会　６名×1 時間　６時間 合計　528 時間 沖縄最低賃金 1,023 円で換算すると 540,144 円
企画代表	
会計責任者	
企画運営メンバー	
スケジュール	
備考	

当日の様子





17：10
設営準備
の様子



17：30
開園
準備した席に
次々と子ども
達が着席
突然大雨が降
り出しました





日没後、動物園は一気
に暗闇に包まれました
ライオン舎の前のパズルラリー



ライトで照らしながらクイズを出していき
ます



園内のイルミネーションも見どころです



受付を案内地図の横に移動しました







この日はハロウィン。仮装をしている子どももいて、ナイト・ズーを楽しんでいました。

3.3.2　繁殖引退犬譲渡会

ペットショップオーシャンとの打合せ

日時：2025 年 5 月 16 日
ペットショップオーシャン旧店舗 2F

1　学生の活動内容について

説明）授業の一環ではなく、学生主導のサークルを立ち上げて活動してもらおうと考えています。
社長）承知しました。学生主導というのはとてもよい試みだと思います。

説明）大まかに以下のようなことができればよいと考えています。

＜ブリーダーさんから繁殖犬引き取り後＞
① 繁殖犬の手入れ（グルーミングやトリミング）【トータルペットケア専攻の学生】
　学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
② 健康チェック【トータルペットケアや動物看護専攻の学生】
　学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
③ 譲渡会案内（譲渡犬の PR）【動物飼育ショップビジネス専攻の学生など】
　発生する問題をチームで解決する力を養う
＜譲渡会当日＞
④ 譲渡犬について里親さんへの個別説明サポート【全ての学生】
　対人コミュニケーション力を養う
⑤ 譲渡成立後の飼養説明会（給餌、健康管理、しつけ方法などの説明）【全ての学生】
　プレゼンテーション力を養う

＜調整、摺り合わせが必要なこと＞

犬を引き取ってもらって学校で譲渡犬の手入れを行うこともできます。
また、旧店舗の設備があるのでシャンプーやトリミングなどを旧店舗で行うこともできます。
学生が手入れをする場合、何日前に犬を持ってきてもらえばよいか決めてください。

犬の輸送方法や預かっている間の世話など細かいところを決めていきましょう。

＜社長が学生に体験してもらいたいこと＞

短期間でグルーミングや健康状態チェックなどを行い犬の状態や特徴を的確に捉え、里親さんにわかりやすく説明できる力を身に付けてもらいたいです。また、「一頭の犬を譲渡まで自分が責任を持つ」ことは仕事をする上で大切なことなので是非経験をしてもらいたいです。

ペットワールド専門学校との打合せ

日時：2025 年５月 21 日
ペット応接室
伊禮・儀間・名護・山川・広原

１　５月 16 日　ペットショップオーシャン金城社長との打合せ報告

２　学生の活動内容について

① 繁殖犬の手入れ（グルーミングやトリミング）【トータルペットケア専攻の学生】
　　学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
② 健康チェック【トータルペットケアや動物看護専攻の学生】
　　学校で身に付けた技術や技能の実践を行う
③ 譲渡会案内（譲渡犬の PR）【動物飼育ショップビジネス専攻の学生など】
　　発生する問題をチームで解決する力を養う
＜譲渡会当日＞
④ 譲渡犬について里親さんへの個別説明サポート【全ての学生】
　　対人コミュニケーション力を養う
⑤ 譲渡成立後の飼養説明会（給餌、健康管理、しつけ方法などの説明）【全ての学生】
　　プレゼンテーション力を養う

学生主導はいいことだと思う。ただし、活動に対するリスクマネジメントを確実に行わなければならない。

学生が損害を受けるリスク
　　移動や活動中の事故やケガ
　　病原体感染リスク
　　譲渡犬の咬傷事故
　　ハラスメント

学生が損害を与えるリスク
　　譲渡犬への傷害
　　設備・器具の損害
　　活動に関わった個人・団体情報の漏洩・無断公開
　　ハラスメント

３　学生サークル募集時期、方法の打合せ

Save the breeding retired dogs!

繁殖引退犬譲渡

運営サークルメンバー募集

北中城のペットショップ「ペットクラブ　オーシャン」様から、『Pet の学生さんに繁殖引退犬の譲渡会を企画運営していただけないか』とご提案いただきました。そこで、学生のみなさんが「自分たちで考え、責任を持って活動する」ことを目指して、サークルを募集します。

この活動は、皆さんが学校で身につけた知識や技能を地域社会で生かし、皆さんも地域社会も成長することを目的とした「サービス・ラーニング」というプログラムです。社会人に必要なスキルが身につきます。

活動内容：譲渡会の PR、譲渡会開催、里親様へ犬の状態・飼養説明等

募集メンバー：Pet の学生であれば、コースや学年は問いません

応募方法：７月末までに儀間先生（顧問予定）に申し出てください

※サークル説明会の後、執行部（代表、書記、会計）を決めてもらい運営の中心になります。
※譲渡会は第２・４日曜日に開催予定。どの回に関わらせてもらうかはサークルで決めます。
※10 名以上メンバーが集まったら交替で担当することも可能です。
※知識・技能習得状況により活動内容が制限されることがあります。
※アルバイト代・食費は出ません。ただし交通費や経費は学校が負担します。
※運営サポート（送迎・物品購入など）は顧問の教職員（数名）が行います。

繁殖引退犬とは

改正動物愛護法で 2024 年６月からスタッフ１人当たりの繁殖犬の頭数は 15 頭まで、犬の生涯出産回数は６回まで、交配できる年齢は６歳までになりました。

これにより、６歳を超えたまたは出産６回を超えた繁殖犬の飼養先不足が社会問題化しています。沖縄でも譲渡会が行われていますがその数は少なく、九州などに引退犬を送っているのが現状です。全国では 10 万頭近くいると言われており、動物福祉の観点から見過ごすことができない問題です。



学生の活動内容

繁殖引退犬譲渡会　サークル　第一回目ミーティング

◩日時 2025.07.22（火）

◩メンバー自己紹介　（合計 16 名）
飼育１年生　：富盛 朝飛
トータル１年　：比嘉 音いろ、仲里 奏南
看護１年　：栄 愛音夢、岸本 愛華、新里 愛佳、池原 愛紗、金城 凛
看護２年　：赤嶺 ちひろ、伊佐 花里奈、植村 青澄、大城 優衣、城間 帆南、城間 理子、
豊見山 佳奈、平安 百音
議事録：儀間

◩趣旨説明
伊禮さんより説明（課題含む）

◩執行部３役選出（リーダー（代表）、マネージャー（会計）、サブリーダー（書記））
学生より立候補
看護２年　伊佐花里奈（リーダー）、豊見山佳奈（会計）、城間帆南、城間理子（書記）

◩今後どのようなことが必要か
・まずは連絡が取れるように連絡先交換しよう（伊佐）
・見学に行ってみては。（赤嶺）
８月の第二、第四日曜に見学可能ならまずは見て解決策を決める

◩次回会議日程
・７月 31 日（木）大掃除後
※8 月の見学日を決める
※学生でできることの案出し


儀間先生による自己紹介とリーダー選出時の司会


趣旨説明


リーダによるミーティング進行

繁殖引退犬譲渡会　サークル　第二回目ミーティング

◩日時 2025.07.31（木）

◩参加メンバー：
トータル１年　：比嘉 音いろ、仲里 奏南
看護１年　：栄 愛音夢、岸本 愛華、新里 愛佳、池原 愛紗、金城 凛
看護２年　：赤嶺 ちひろ、伊佐 花里奈、植村 青澄、大城 優衣、城間 帆南、城間 理子、
豊見山 佳奈、平安 百音

不参加：飼育１年生　：富盛 朝飛

◩8 月 10 日（日）見学について
14：00 ごろ PET 出発　15：00 見学
参加希望者：８人
PET 車に乗る人　６名（あいか、あねむ、りん、そな、かりな、はんな）
学生車２台（ちひろ、ねいろ）　オーシャン駐車場利用台数４台予定

◩譲渡会でやりたいこと
・わんちゃんのお手入れ（バイタルチェック）
・わんちゃんの紹介カード作成
・しつけ相談
・パンフレット作成
・ＳＮＳの活用（ＰｅｔのＨＰなど）
・案内や受付（1 年がやります）

◩見学時に確認したい事
・暑さ対策について
・わんちゃんがどれだけケアされているのか
・わんちゃんのトライアルなどあるのか（戻ってくることもあるのか、その対応）
・引き渡しの条件やブリーダーさんへの参加条件（動物の性格など）
・譲渡会に出す前にお手入れなどされているのか

◩次回のミーティングについて
夏休みに入るので、９月の時間割をみてリーダーと顧問が調整する
（見学時の情報共有や今後の活動、課題解決案について）

繁殖引退犬譲渡会　サークル　第三回目　ペットショップオーシャン見学会

◩日時 2025.08.10（日）15：00

◩参加者：８人



新店舗と譲渡会テント



会場


金城社長に質問

繁殖引退犬譲渡会　サークル　第四回目　11 月 28 日譲渡会 web ミーティング

◩日時 2025.011.6（金）16：30

◩参加者 6 名

＜譲渡会参加について＞
学生：11 月 28 日第四日曜日に開催される譲渡会に参加させていただきたいと思っています。可能でしょうか。
社長：大丈夫ですよ。

＜譲渡会で行う健康チェックやカルテについて＞
学生：譲渡犬の健康チェックとカルテの作成をさせていただきたいと思っています。
今、自分たちの学校で見てるワンちゃんの健康チェックの内容をそのまま同じような内容で書類を作りますので、それをブリーダーさんに来てもらって、ブリーダーさんに朝チェックしていただく形にしようかなと思ってるんですけどいかがでしょうか。

社長：ブリーダーさんも朝は忙しいんで、事前に預かって書いてもらう方がいいと思います。時間ギリギリ来るブリーダーもいるもんですから。健康チェックに必要な道具も持ってきて自分たちでやってもいいのかなと思いますよ。それで自分たちでチェックしていくのも勉強になっていいんじゃないかと思いますが、どうですか？
学生：ありがとうございます。

＜譲渡会の広告（ポスター・SNS）などについて＞

学生：ポスターに関してなんですが、私たちが、譲渡会の日時とか場所とか地図とかそういうものを入れたポスターを作って、ペットワールド専門学校のホームページとかオーシャンさんの sns などに掲載させていただきたいと思っていますが、オーシャンさんの店舗での掲示とかは可能でしょうか？

　里親さんが見つからなかった譲渡犬の写真を撮って、このワンちゃんは第四週に出ますよとか第二週に出ますよというのを SNS などに上げて、それを犬を飼いたいお客さんが見た時に、あーこの子絶対見たいというような気持ちを持ってもらって、新しいお客さんをみつけるという譲渡の仕方を見つけてもいいのかなと思うのですけどいかがですか？

＜譲渡条件について＞
学生：最後にご質問したいのが譲渡条件に関することなのですが、私たちは里親さん向けに提示する条件を考えようとしています。そこで、今オーシャンさんで里親さんに向けてどのような条件を設定されているでしょうか。

社長：譲渡条件は、譲渡するお客さんとの話し合いにもよりますけども、だいたいワンちゃんの避妊去勢手術やワクチン接種をした後、譲渡費用というのをいただいてます。
例えばワンちゃんがいれば、うちの方で予防接種をあの受けさせてからこの費用に含めたもので譲渡するようにしています。
　病気になった時の通院などは譲渡後の話ですね。そもそも病気のワンちゃんは譲渡しなせんし、後で病気になった時は、うちの獣医を使っても里親さんの近くの獣医師さんを利用しても構いませんよってことは言ってます。

学生：前回、引き取った後にやっぱり元気な子がいいって言って戻ってきた子がいるというふうな話をお聞きしたので、もし今後そういう子が出てきた場合に返還可能期間などという条件を設けて、その子の行く場所をちゃんと次につなげられるようにできたらなと考えています。ですので、返還可能期間と条件をブリーダーさん側とオーシャンさん側の意見をもらって、そこもちゃんと決めたいなと思っているんですけどいかがでしょうか。

社長：我々は基本的には返還対象外と理解しています。ワンちゃんを販売するときも、譲渡する時も、返金返品はできないということをお客さんには理解してもらって譲渡したりとか販売したりしています。ただし、病気とか感染症があった場合にのみ特別に半年は設けていますが、これは子犬の場合です。譲渡の場合は成犬なので病気もないことがわかっているので譲渡したワンちゃんに対して返還を受け入れる期間は一週間ぐらいでいいのかなと思っています。もし、変換可能期間を設けるのであれば一週間でいいと思いますけど、皆さんどう思いますか？

社長：最初からお客さんがいっぱいってことはなかなかないと思いますけども、継続してお客さんがどんどん増えてくればうちとしても助かりますし、譲渡犬も幸せになると思いますので、頑張ってください。



金城社長


初めての web 会議

3.4　教材開発報告

動物のからだのしくみ教材について

対象	動物系専門学校に入学が決まり、入学するまでの期間の高校生等
内容	動物のからだのしくみⅠ（R7年度作成）：全10時間程度 生物の定義と犬猫の進化、消化器、循環器、呼吸器、泌尿器、生殖器、遺伝 動物のからだのしくみⅠ（R8年度作成予定）：全10時間程度 骨と関節、皮膚・爪・毛、筋肉、神経系、感覚器、内分泌系、免疫
教材概要	①QR コードを読みこみ動画を視聴しながら、ノートの虫食い部分にポイントを記入する。 ②全て見終わったら確認テストを提出（3月）し、視聴完了の確認とする。 ③入学後同じ確認テストを行い、知識の定着度を学生ごとに測る。
教材セット	テキストとノート、動画、確認テスト、パワーポイント

ノート例

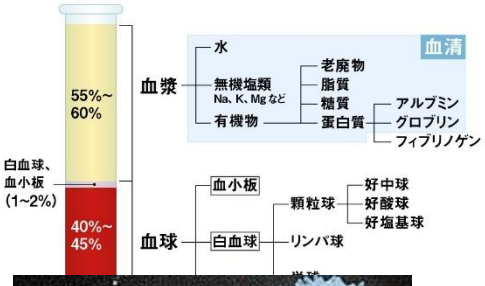
３章　循環器系のしくみ

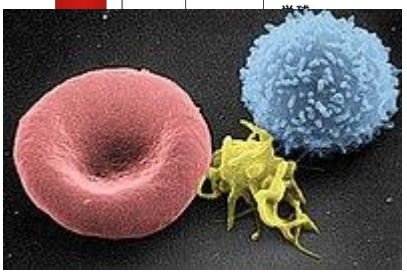
循環器とは、血液などの体液を体内で循環させる、心臓や血管などのことです。

１　血液と血球

イヌの全血液量は１kgあたり約80～90ml、ネコの全血液量は１kgあたり約65～70mlと言われています。ヒトと同じく体重の約8%（13分の1）を占めます。

血液成分はイヌネコともにほぼヒトと同じですが、赤血球の種類（血液型）が異なります。イヌは赤血球の種類が多いため血液型が8～13種類あります。ネコは３種類（A、B、AB）、ヒトは４種類（A、B、O、AB）です。





血液成分の比率は、赤血球・白血球・血小板の血球が約（　　）%、水やミネラルや有機物が含まれる血しょうが約（　　）%です。

血球は、骨髄でつくられ、古くなると（　　）で破壊されて肝臓で分解されます。

＜赤血球＞

・円盤状で、真ん中がくぼんでいます。

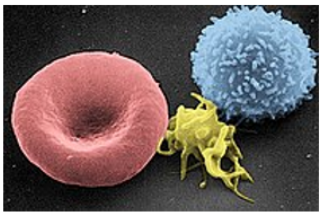
・（　　）がありません。鳥類、魚類、爬虫類、両生類の赤血球は核があります。

・（　　）（鉄を含むタンパク質）を持ち、酸素を運びます。

・血球中最も多いのが赤血球です。

パワーポイント例

第３章　循環器系のしくみ



＜赤血球＞
・円盤状で、真ん中がくぼんでいます。
・（　核　）がありません。鳥類、魚類、爬虫類、両生類の赤血球は核があります。
・（ヘモグロビン）（鉄を含むタンパク質）を持ち、酸素を運びます。
・血球中最も多いのが赤血球です。

＜血小板＞
・不定形で核がありません。
・血管が損傷すると、集まって血栓をつくり止血をします（血液凝固　）
・血球中最も小さいく、赤血球の約２分の１の大きさです。

＜白血球＞
・ヘモグロビンを持たない血液中の細胞です。
・不定形で核があります。
・アメーバー運動を行い細菌・ウイルスなどを取り込み殺します（　食作用　）。
・血球中、最も大きい（赤血球の約２倍の大きさ）ものもあります。
　顆粒球：細胞内に殺菌成分を含んだ顆粒を持っています。
　　（　好中球　）：細菌を取り込み殺します【　50~60　%】
　　好酸球：寄生虫を攻撃。アレルギー反応を抑えます【3%】
　　好塩基球：アレルギー反応を起こします【1%】
　リンパ球：ガン細胞や細菌・ウイルスに侵された細胞を免疫反応で攻撃します【30~40％】
　単球［たんきゅう］：血管外でマクロファージになります。死細胞や病原体を分解します【5%】

確認テスト例

問題２３（血液・血球）
　血液・血球に関する記述のうち、適切なものは次のうちどれか。

１　イヌの全血液量は１㎏あたり約 40ml、ネコの全血液量は１㎏あたり約 20ml と言われている。
２　赤血球は、骨髄でつくられ、古くなると脾臓で破壊されて、肝臓で分解される。
３　血液成分や血液型は、イヌ・ネコともにほぼヒトと同じである。
４　血液成分の比率は、赤血球・白血球・血小板の血球が約 20%、水やミネラルや有機物が含まれる血しょうが約 80%である。

問題２４（赤血球）
　イヌ・ネコの赤血球に関する記述のうち、不適切なものは次のうちどれか。

１　円盤状で核がない。
２　ヘモグロビンを持ち酸素を運ぶ。
３　血球中最も多い。
４　血球中最も大きい。

問題２５（血球）
　イヌ・ネコの血球に関する記述中の（　　）の中に入る語句として適切なものは次のうちどれか。

　　不定形で核がなく、血液凝固に関わる（　　）は、血球中最も小さい。

１　赤血球
２　白血球
３　血小板
４　リンパ球

問題２６（白血球）
　イヌ・ネコの白血球に関する記述のうち、不適切なものは次のうちどれか。

１　白血球の中でリンパ球が最も多い
２　ヘモグロビンを持たず、不定形で核がある。
３　アメーバー運動を行い細菌・ウイルスなどを取り込み殺す。
４　血球中、最も大きいものがある。

問題２７（白血球）
　イヌ・ネコの白血球に関する語句の組合せのうち、適切なものは次のうちどれか。

１　好中球　　寄生虫を攻撃する
２　好酸球　　マクロファージになり死細胞や病原体を分解する
３　リンパ球　　ガンや細菌・ウイルスを攻撃する
４　単球　　細菌を取り込み殺す

問題２８（血管）
　血管に関する記述のうち、不適切なものは次のうちどれか。

１　動脈は横紋筋が厚く弾力性がある。
２　静脈には血液の逆流を防ぐ弁がある。
３　毛細血管の壁は非常に薄く物質が移動しやすい。
４　細胞内の大きな老廃物や異物はリンパ管に集まる。

3.5　委員意見

＜実証授業について＞

・多くの先生方に実証授業を実施して頂き感謝している。日頃の授業では踏み込んでいない分野で、いつもと違う緊張感で生徒たちの反応もよかった。生徒たちも毎回の授業を楽しみにしており、役割分担を取り合っていた。

・本校は愛玩動物飼養管理士の資格取得に向け、入学してくる生徒の意識が高い。資格に関する授業が４月からスタートする。自ら学ぶ姿勢が定着している部分はあるが、より専門的な視点から導入してもらえると、想定以上に吸収する。次年度以降も計画に入れてほしい大変良い機会である。

＜サービス・ラーニングについて＞

・「Dream Night at the zoo」について山城より報告
・「繁殖引退犬譲渡会」について儀間より報告

・今回は一歩踏み込んで、学生たちに企画から運営までを実施してもらった。Dream Night at the zoo は障がいやハンディを持った子ども達と保護者が他の方々の視線を気にせず動物園を楽しめるオランダからスタートした取り組み。当園以外にも日本各地で実施されている。

・学生たちが１つの企画に取り組み、どのように相手に伝えるか。特に今回はハンディを持った子どもたちだったので、学生たちにとっても多くの学びになっていたら嬉しい。当日は和気あいあいとした良い雰囲気ができていたと感じた。

・動物の保護活動は仕事へのモチベーションにつながると思う。東京や埼玉でも多いが、なかなか仕事としてお金にはつながらない部分もある。今回、学生たちはどういった形で譲渡会に関わるのか教えてほしい。

・今回は譲渡会を実施するショップのスタッフとして参加。ブリーダーから預かる際に、特徴や健康状態をチェック。さらに触れ合える時間があれば性格やアピールポイントを把握してお客さんに紹介したい。

・販売している動物と違い、ゲージに入った状態。学生たちはお客さんに動物が自由に動き回っている様子を見せたいと考えている。道路の向かいにある旧店舗の活用を考察しているが当日の状況で判断。

・今回は実際に飼うために必要なワクチンの接種。必要な道具や管理方法など店舗内での案内が中心。今後は旧店舗にある施設を使って、学生たちによるシャンプーやトリミングなどの施術、しつけやトレーニングといった安全管理も検討したい。またお客さんに実際に飼ったことをイメージできる散歩体験なども実施したい。

・さらに学生からは事前にブリーダーとのコミュニケーションを深め、譲渡犬のカルテ作成や SNS の発信をしたいという声も上がっている。ショップも好意的で協力の声があるので今後、発展させていきたい。

・初めての企画で学生たちも不安ではあるが、楽しみにしている。安易に譲渡を勧められない責任感もある。実施することで課題が見えてくると思う。

・ペットショップが出来ないことが実施できる期待がある。学生でないと気づけない点も多いと思う。

・似たような企画で、ＳＮＳによる発信以上に学生たちが制作したポスターなどの「貼りもの」の反響が大きいと感じたことがある。ネット情報では見られない、現場での情報は意外と響く。

＜全体意見＞

・熱帯資源科は動物が好きな子たちが入学してくる。実証授業もより専門的な分野となり、資格の取得につながっている。

・本校も動物介在活動に力を入れており、今年度は普天間小学校で実施した。日頃のトレーニングによる積み重ねが成果として見てもらえるので、生徒たちのモチベーションにつながる。コロナ禍前は毎月実施していたが、年数回に限定されている点が残念である。現在は中学生向けの体験入学や学園祭などの行事を発表の場として活用している。専門的な教育とサービス・ラーニングなどの研究活動が、進路選択の際に判断材料となればと思う。

・職業図鑑の制作には凄さを感じる。学校単位で作成することは大変。本校でも使用させてほしいくらいである。卒業生の活躍する様子は学校において強い武器となる。卒業生がすでに離職、撮影がＮＧなことも多く、取材もなかなか難しい。高校１年生や２年生に向けた進路のガイダンスなどでも活用できそう。聞くことが苦手な子どもも多く、クイズ形式で興味を引く方法は勉強になった。本校でも共有したい。

・入学者向けの事前教育用の教材は少し難しそうと感じたが、学科のレベルも上がると思う。本校でも入学許可証と一緒に調べ学習の課題を出している。動画の教材があることは素晴らしいと思った。

・毎月卒後セミナーを実施している名護委員の取り組みに凄さを感じた。なかなか出来ることではない。本校の卒業生も講師として紹介できる。

・教員にとって中学生向けの職業体験は「喜ばせる」と「厳しく」のメリハリが難しい。我々も苦労している。永井委員の取り組みは素晴らしいと思う。中学生も、ただ来ているだけの内容ではよくない。本校での取り組み方法についても具体的に検討したいと感じた。

・プログラムの内容も年度を重ね充実してきている。吉川委員から話のあった職業図鑑に次年度も当園の職員に協力依頼があったことが嬉しい。高校生にとって進路を決める際にも直接影響する教材だと思う。子どもたちに興味を持ってもらえると嬉しい。最終年度の総括が楽しみである。

・学生たちに対する教員たちと関係者の愛がある。事業の取り組みでは学生たちの意見を尊重し、動物関連人材の育成へ意気込みを非常に感じている。残り１年、この事業に携われることを光栄に思う。

４　第三回連携プログラム開発検討委員会

　実証授業報告と検討、サービス・ラーニング報告、卒後セミナー報告、中学生の職業体験報告、職業意識調査報告と令和８年度の事業計画に関する意見交換を行った。

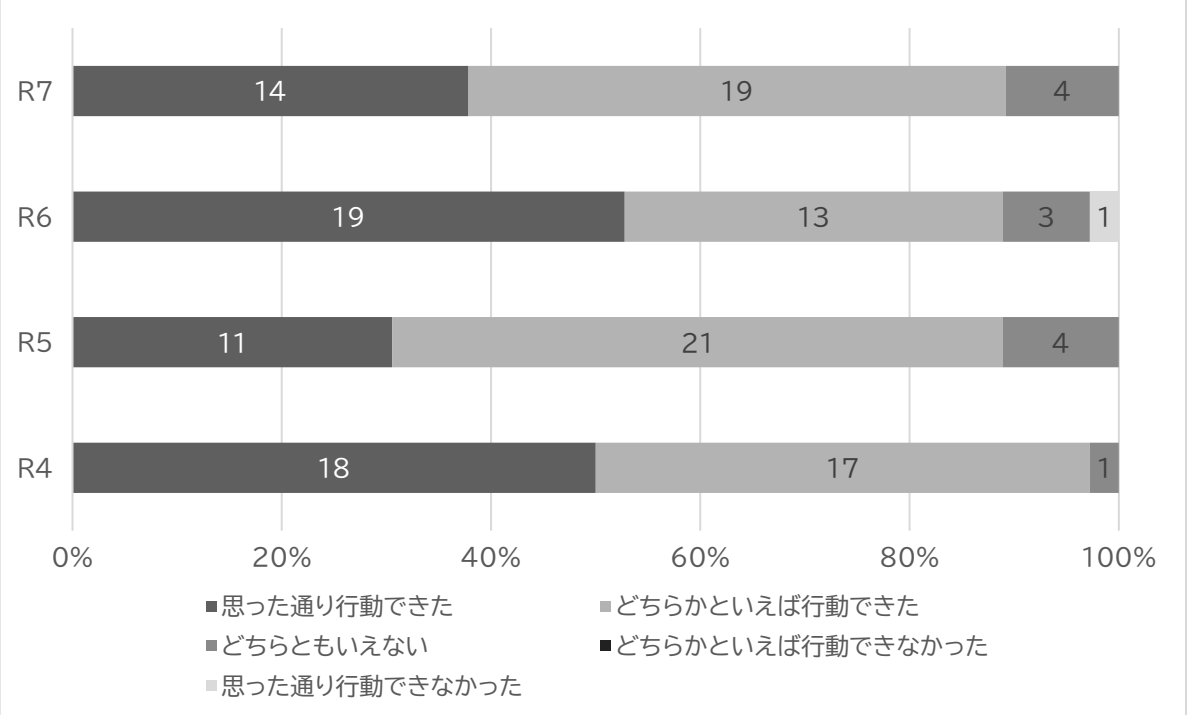
4.1　中部農林高等学校　職業講話③

実施概要

日時　令和７年 11 月 28 日　13：45～15：35
対象　沖縄県立中部農林高等学校　熱帯資源科　１年生
人数　37 名
講師　沖縄ペットワールド専門学校　吉田剛先生
内容　コミュニケーションの重要性

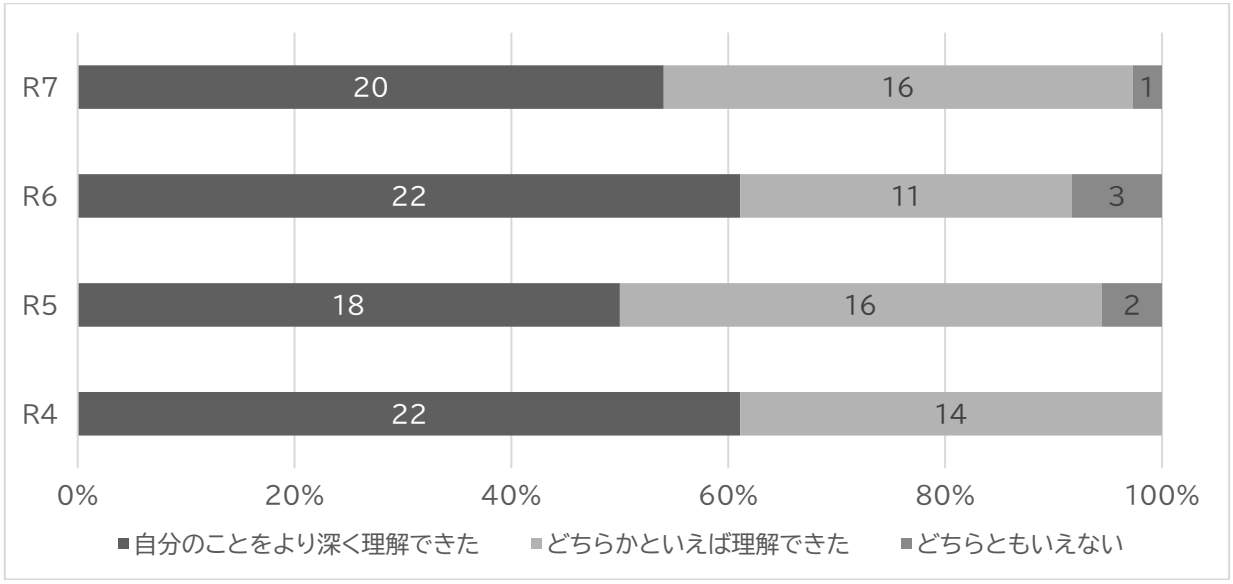
生徒アンケート結果

質問「この授業の課題で、あなたが思った通りに行動することができましたか？」（平均 3.9）



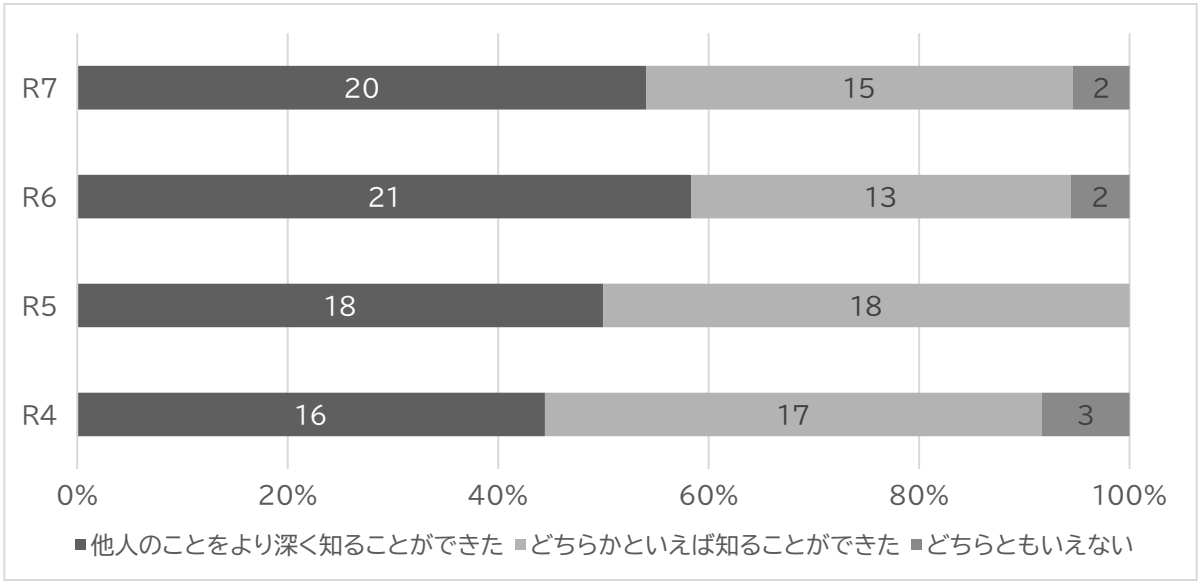
思った通り「行動できた」生徒は、38%だった。

質問　「自分についてより深く自身の事を理解できましたか？」（平均 4.4）



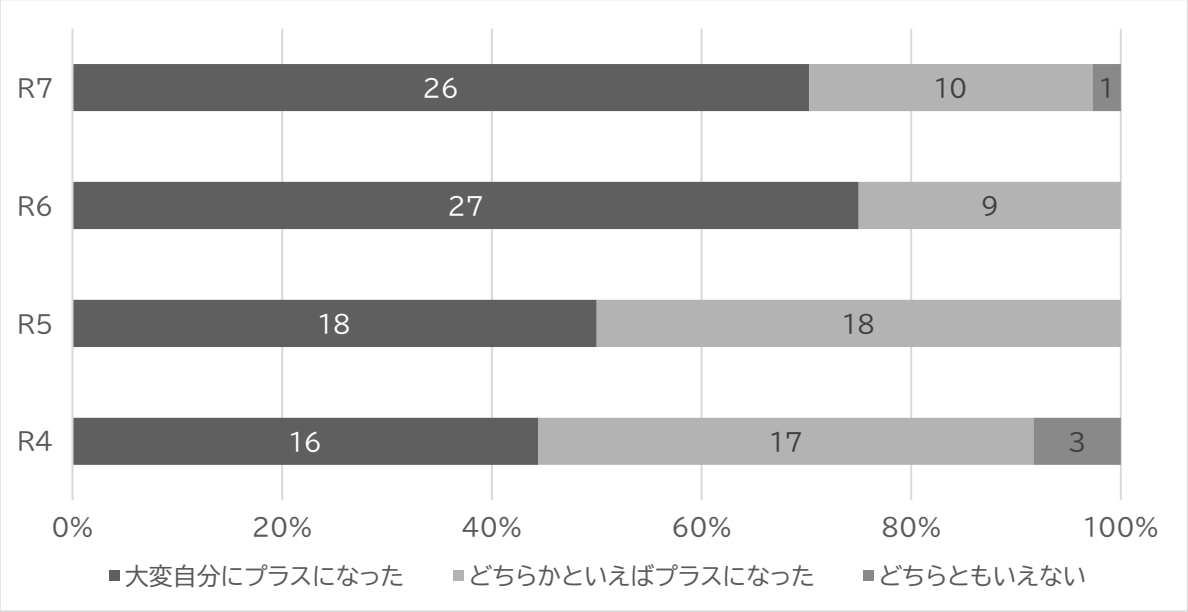
９７%の生徒が、「理解できた」と答えた。

質問　「他の人のことを前より深く知ることができましたか？」（平均 4.3）



９５%の生徒が、「深く知ることができた」と答えた。

質問　「あなたにとってプラスになる授業でしたか？」（平均 4.6）



９７％の生徒が、「プラスになった」と答えた。

質問　「特に印象に残ったこと、初めてしったことを箇条書きで記入してください。」

エゴグラムで自分は「アイドル系」の自我を持っていることや、グループで謎の宝島についての話し合いができたことが特に印象に残った。
--
エゴグラムをやって自分は自己主張があまりないと思ったけど、この調査で自己主張タイプとでたからびっくりした。
--
自分の自我のアンケートがパターンに分けられていてすごいと思った。そのパターンがめっちゃ当てはまっていてビックリした。
--
ごちゃまぜビンゴでいろいろな人と話した。
エゴグラムで自分の知らなかった部分を知ることができた。
--
自分自身がどのタイプなのかについてわかった。
--
最後にやったゲーム。チームで協力する大切さ、コミュカ、自己表現の大切さを改めて実感しました。これから先もこういうことがたくさんあると思うからがんばっていきたい。
--
自分の性格について知ることができてよかったです。
--
印象に残ったことは謎の宝島で、みんなと協力して話した事です。元々人と話すことが得意ではなかったけど、今回の謎の宝島とかビンゴでいっぱい話せました。
--
謎の宝島みたいなおもしろいゲームを始めてしった。
--
どこに行ってもコミュニケーションと役割は必ずあるということがわかった。宝探しがむずかしかった。
--
あらためて人の話しをちゃんと聞いて考えて自ら行動しようと思いました。
--
謎の宝島で色々な情報がかかれてた。
--
人と話すときに話しかける力だけじゃなくて、聴く力やまとめる力も必要になることがわかった。
--
印象に残ったことは謎の宝島で自分がたいして重要じゃないと思ったことが重要だったこと。初めて知ったことは自分のことを思ったより知らなかったこと。
--
特に印象に残ったのはエゴグラムでした。自分がどういったことに優れていてどういった事が苦手なのか知ることができた。
--
それぞれの情報を知るには、発信、整理などの役割が必要でそれが人間にも役割が与えられているんだと詳しくわかった。
--
自分のことを知るテストで自分がどういう人間なのかを良く理解することができた。これからはもっと自分の悪いところをなおして相手に接しようと思った。
--
エゴグラムで１組に多い人が知れた。
コミュニケーション大切。
--
特に印象に残ったことは謎の宝島です。楽しかった。
かかわらない人のことを知れてよかった。
宝探しでの自分が発表したときにみんながうけいれたときやきいてくれる時が印象にのこりうれしかったです。

--
人と話し合うことが大切
コミュニケーションが聞くことと話すことが大事。
--
特に印象に残ったことは、謎の宝島というゲームでチームで協力して無事クリアできたことです。めやくちゃ楽しかったし、みんなの意見を聞いてそれを整理しながら解くのって結構むずかしいなと思いました。
--
色んなゲームをしたこと
ビンゴで友達のことを知れた。
--
コミュニケーションは大事だと思った。
--
今回の講話ではコミュニケーションの重要性について学習しました。謎の宝島では６人グループになることで、それぞれが話し合う大切さについて学べました。
--
エゴグラム
謎の宝島
自分の中身について
--
謎の宝島をみんなで協力してとても集中していたことが本当に夢中になってやっていてクリアすることはできなかったけど印象にのこった。
--
謎の宝島ゲームが印象的だった。
話し合いが大変だと思った。
--
コミュニケーションは大事
なにかをなしとげるときに協力することが大事でさまざまな意見がもらえる
--
最後の宝探しゲームでみんなと意見を出し合っていくのが新鮮で楽しかったです。もっと人の話しをちゃんときいて、疑問をもとうと思いました。
--
ビンゴでは普段あんまりかかわらない子と交流し、より相手のことを前より知れたかなと感じることができました。また、自分を見つめ直したり、宝を見つけるゲームでは惜しくも見つけることができなかったけど、人の話しをちゃんと聞くのは大切なことだなと改めて実感することができました。
--
エゴグラムのチェックリストで自分の本当の性格がわかり、その結果から次の課題を見つけることができた。
--
コミュニケーションを取って、グループのみんなで自分の意見を共有することは大切だとわかった。ゲームを通じて難しいなと感じたのでまだまだコミュニケーションが足りないと思いました。
--
文字を並び替える状況で答えがわかってすっきりした。
--
課題を通してコミュニケーションをする大切さ
情報を伝えることの難しさ
--
人とのコミュニケーションが大事ということがわかった。

質問　「感じたことや思ったことを自由に書いてください。」

グループでの話し合いで、私が先にペンを持って意見をまとめたことは「リーダーシップ」があるということを知れてとてもうれしかった。
--
あまりしゃべったことがない人とたくさん喋れて面白かったし、コミュニケーションをとることで相手の気持ちが分かるなと感じた。
--
本日の講話を聞いて謎の宝島がみんなに紙をみせないようにしてポイントをつたえるのが難しかったです。
--
今日の講話でコミュニケーションの大切さを学んでいろいろなゲームを通じて自分の知らなかった部分を知ったり、いろいろな人とコミュニケーションをすることができました。
--
コミュニケーションの重要性について理解する事ができた。
--
何をするにもコミュカや自己発言が必要だなと思った。話しを聞いているだけじゃなくて、実践するのが多くて楽しかったです。
--
今日わかったことを生かしてがんばりたいです。
--
自分は人の話しを聞くタイプだと思った。
--
ゲームを通じてコミュニケーションをすることで相手をより深く知れる。
--
今日の授業をしてコミュニケーションはとても大切だなと感じた。これからも頑張ろうとおもった。
--
難しそうだと最初に思ってもやってみれば単純で簡単だった。みんなで協力して話し合うのが楽しかった。
--
人の情報を聞いて、情報を整理するのが難しかったです。
--
最初は人とのコミュニケーションは苦手で難しいと思っていたけど、宝探しをして誰でも役割をもつし、いつでもどこでも自己主張のため誰かを理解するためにとても大切と知り、これからはコミュニケーションをとれるように普段から練習していこうと思いました。
--
自分の知らなかった自分のことを知ることが大切だと思った。たいして重要じゃなくてもしっかり言うことが大切だと分かった。
--
普段は自分から話しかけなかった子にも自分から話しかけることができた。
--
グループの中で初対面な人がいたけど、宝探しというゲームで協力したおかげでよりその人の性格やおもしろさがわかった。
--
今日の授業は宝島のゲームで自分からしゃべることができなかったのでもっと相手に話せるようにしたいです。
--
他の人の話しをきくことが大切だなと思った。
--
あまり知らない人と話し合って少し知れたからよかった。
--
今後も自分から発表したり行動していきたいなと感じ、勇気がでたなと思いました。
--
自分にはリーダーシップ性があると初めて思った。
宝島のゲームが楽しかった。

協力性を深めていきたい。
--
自分の性格について知れたり普段あんまりかかわらない子とも交流することができて楽しかったです。こういう授業おもしろいなと思いました。
--
今日は色んなゲームでコミュニケーションをあげることができた。３つ目の謎の宝島がみんなで協力しながらできて楽しかった。次もやりたい。
--
最後の謎の宝島がめっちゃおもしろかった。
--
今日の講話では３つのゲームを通してコミュニケーションの大切さについて学習できました。
--
剛さんの自己紹介から聞いていた「大人・こども」というのが改めて分かった気がしました。話し合いなどであまり協力しなかったり逆にしきったりとそういうところから分かりました。
--
講話はつまらないイメージがあったが楽しくできた。とても楽しかった。
--
今日は謎の宝島ゲームをして人とのコミュニケーションや情報の整理なんかがとても大変だと思った。
--
コミュニケーションをすると知識の幅や考えの幅が広がる
--
コミュニケーションがどれだけ大事かをグループ学習であらためてしることができました。今日はあまりぐいぐい会話に入るということができなかったので、次は自分の意見を出そうと思った。
--
人と多く関わることによって知らなかった情報とかがたくさん知れた気がしました。今回の授業を通じ、ひととのコミュニケーションを学ぶことができ、とてもよかったです。これを機に普段の実習や学校生活に活かしていきたいです。
--
講話を通して様々なコミュニケーションのことがわかった。もう少し喋ろうと思った。
--
これからもグループの人やいろんな人とコミュニケーションを取ることを心がけながら生活したいと思いました。
--
ゲームをしながら講話をしていて面白うと同時にわかりやすかった。
--
講話を聞いて相手の話をちゃんと聞いたり自分の情報をしっかり伝えるコミュニケーションを取る大切さを学ぶ事ができました。
--
理解力が大切だと思った。あと、コミュニケーション力もこれからもたくさんのひととコミュニケーションをとっていこうと思った。

4.2　サービス・ラーニング報告

4.2.1　こどもの国「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」

当日の活動の紹介動画

個人ふり返り

質問　「良かった点・特に印象に残ったこと」
子ども達ができあがったランタンを受け取って笑顔になっていたこと
--
子ども達ひとりひとりに対してしっかりと対応できた。
--
イベントを楽しんでもらえた点
--
お客様がとても喜んでくれた！
ねんどをこねる作業が難しいかと思ったが、子ども達が途中で止めることなく作り続けてくれたことが印象的。
--
ランタンがなくなって、こどもの国をまわった時に子どもが持ってたランタンが思ったよりハロウィンっぽくてかわいかった。また、子どもがうれしそうにもらってくれた事がよかった。
--
受付をしてスムーズに案内することができた。
--
たくさんの子ども達に楽しんでもらうことが出来たと、完成したパズルをもって帰る子ども達を見て思いました。
--
思ったより子ども達に人気でやって良かったと感じました。
--
生き生きと自由に絵をかいてくれてうれしかった。
--
参加してくれた子どもが工作、クイズと４種類もあったが楽しんでやってくれたのでよかった。自分はモールの方をやったが、難しくて参加してくれる人は少ないと思ったが、席がうまってスタッフの手が足りなくなるほど忙しくて大変さもあったが、ちゃんと準備した分、発揮できたのでよかったです。
--
その場の状況に応じて臨機応変に対応することができた。
子どもだけじゃなく大人も笑顔になってくれた
--
普段関わることがない方々と交流することができたこと
--
みんな楽しそうにしてくれていたので気持ちも上がっていた
--

予想以上にお客さんが入ってきてくれてとても良かったです。子ども達が楽しそうに制作をしていて準備してきた甲斐がありました。
--
子ども達が嬉々ととして話しを聞いてくれたり、ありがとうございます！と手を振ってくれたりしたところ。
--
１回目だった為、どんな事をするとよいかをーから考える力が身についた。子ども達が想像しているものをその通りに作ることができた。
--
子ども達はもちろんのこと、一緒に来園していた親もなるほどなーと関心を持ってくれていたこと。
--
クイズを全問正解しているお客さんがいたので、動物が好きなんだと感じて嬉しくなりました。
問題の解説を真剣に聞いてくださってる方が大勢いた。
--
ボランティアスタッフとしてでなく、夜の動物園のというなかなかない機会で客目線としても楽しめた。
お客さんに楽しんでいただけることが何よりのモチベーションになった。
--
良かった点は、参加してくれた子どもたちが完成したパズルをうれしそうに持って帰ってくれたのは良かったなと思いました。
--
想定していたよりも子ども達の参加人数が多く、純粋にクイズやワークショップを楽しんでくれていたのがとてもよかった。
--
パズルラリーが終わった子が完成したのを見せてくれてかわいかった。夜の動物園はきれいだった。
--
１対１で対応をして、もう一人は在庫出したりする方法をとったので、やりやすかったのが良かったと思います。印象に残った点は自分が作った壁紙を多くの子ども達が作ってくれているところを見て作ってよかったと思ったことです。

質問　「反省点」
現場に着いたときの会場設営を事前に話し合っていなかった。
看板が小さくて何をしているのかがわからない
--
子ども達が欲しいものが足りず騒いでいる子がいた
--
園のほうから借りられるテントの大きさだったり、机、いす、など完全に把握できていなかったので、雨が降った際に濡れたり、通路の確保ができていないなど改善の余地があった
--
雨対策ができておらず、子ども達が濡れてしまった。
--
急に雨が降ってきたとき、お客さんがテントの中に入ってなくてごたごたした所。
机にペンがついてしまった事。小さいランタン用の半紙が準備してたのにどっかにいってしまったこと。
--
子どもたちとのコミュニケーションを取るのが難しかった。
--
パズルラリーの計画では、一人がクイズ、もう一人がパズルのピースを渡す予定でしたが、人が一斉に来たときにさばくのに時間がかかってしまった。
--
下準備が足りなかった。
--
少し時間がかかってしまい保護者の方があせってしまっていた。
--

ボランティアまでの諸々の準備がギリギリだったこと。
こどもの国との連絡がギリギリで聞いていたりしたのでクイズの内容だったり場所の報告などが遅くなってしまったのが反省点です。
雨が降ったときの対策が出来ていなかった。
--
計画を立てる段階で色々な問題が起きたこと
小さなミスを何回かしてしまった。
--
作業スペースがせまかった。
テントがせまく雨でぬれてしまった。
回転率が悪かった
--
作る作業が長く、列ができたり一人で３人を対応するのは大変でした。また、ナイトズーも時間が限られているので全部回れるか不安でした。
--
体験の説明がうまくできずに、はにかんでしまって伝えることができませんでした。友人に助けてもらうことが多かったです。
--
通路の途中に立っていたので順路の邪魔になってしまったこと。
雨の対策をしていなかったこと
--
テントが一張りだったため、雨がふってきた時に対応するのが大変だった。次からは二張りは必要だと思う。親御さんへの会話をしつつ、粘土が手にくっついて汚れていないかの気配りをもっとしたかった。
--
夜だったこともあり、なにかと暗くて見えずらいなと感じた。
--
東ゲートから入ってきたお客さんが多くいて、そもそも台紙を持っていない方が多かった。
--
正面入口にのみ受付を設置していたため、裏口から入園したお客さんが体験できないという場面がいくつかあった。
配布していたパーツの欠品が早かった。
--
場所がわからなくて、完成できなかったと言われることがちょこちょこあったので、もっと地図を分かりやすくしたり、立つ位置をみんながわかりやすいところでもよかったかなと思いました。
--
どうしても当日にならないと分からない、机の配置できる環境や設備の運び出しなどが準備の際もたついてしまったのが当日の反省点。また、実行委員としてはイベントの詳細についての連絡の取り合いが遅れてしまったのでそこを改善できなかったので心残り。
--
最初受付の場所が暗くて分かりにくかった。同じ日にスタンプラリーという似たイベントがあってお客さんが困惑していた。
--
混雑時の対応の仕方。
看板作成の際の先着〇〇名様限定の未提示。
必要品の取り出しにくさ（ランタンの本体）
下敷きを持ってくるべきだった（机についた）

質問　「改善点」
納得するまで事前に話し合う。
何をしているのか一目で分かる看板をつくる
--
作成したものは思っている以上に作ると良いと思った。
--
子どもの対応の仕方の勉強
事前準備や会場設営のときにごたついたので前もって決めておけばよかった。
--
事前にテントの大きさ、机の大きさを確認する
--
雨が降った時の事を考えた机の並べ方とペンと使うから新聞紙をひいておけば良かった。
--
子どものとのふれあいを増やす。
--
一人増やすか、机が必要でした。
--
本番の時のイメージをよりする。
--
事前におよその所要時間を伝える。
席を立たずに完成させられるように近くに必要なものを置いておく。
--
実行委員でこどもの国とのズームミーティングがあったのですが、思ったよりズームミーティングがとれなかったのが残念でした。
もっと頻繁に連絡を取り合えば、あと１～２回ぐらいはズームミーティングができたのではと思った。
--
人気なパーツが少なすぎたので、もう少し増やす
動物の解説の内容をもっと濃くする
--
テントを増やし、場所を広くする
一人１個などつくる個数を制限する。
--
もっと早く作れるもの、ジャンルは２～３個が良い。
作業場を広くする（皆で休憩を回せる）
回転率の悪いものはそんなに買わないでよい
--
３の体験の場所を１カ所にした影響によりすごく混雑してしまったので、３カ所にわけた方が良いと思いました。
--
リハーサルや事前訪問など、一度ひと通り通しておいたほうがいい。ぶっつけ本番だとあせりがちになる。
--
場所がワンダーミュージアムの近くで音が鳴るとそれに反応するというものがあり、その音にびっくりする子ども達が多くいたため、不向きだったと思う。
--
ライトの量を増やす。文字は明るい色で書くなど、暗さに配慮するべき
--
東ゲートの近くで待機する人達はあらかじめ台紙を持っている方がいい
--
正面だけでなく裏口にも受付の設置、あるいは各所のスタッフにも用紙を持たせ、都度配布する事で皆が楽しめるようにする
少ないパーツ、多いパーツの差があったので、均等に作成するべきだった。
--
地図やクイズをやっている場所を分かりやすくする。

メインゲートと東ゲートがあるので東ゲートにも一人受付の人がいても良かったかなと思う。
--
イベントの１ヵ月前にはだいたいの内容・必要な物はリストアップしておく。
メールでの連絡だけでなく、ズームでのミーティングももっと行う。
--
途中から地図の横に移動したので受付が分かりやすくなってよかった。ほかに別の団体がどんなイベントをやるのかも考えて企画する。
--
前もって混雑した場合の打合せ、また、対策の提示
必要品は下ではなく上の方に置いていた方が良い。
マッキーがつくことを考えての対策が出ていなかった（下敷きの必要性を考えればよかった）
--

質問　「準備段階について感じたこと」
やることが決まってから動き始めるのが遅かった
--
作成に時間をとられすぎて到着してからの動きがグダグダだった
--
イベントの案を出す中で、どんなことをしたら楽しめるのか、学べるのかを考えるのは難しかった。また障がいのある子を対象としているのでどこまでなにができているかがわからないのも難しかった。
--
もっと冷静に頭を使って話し合おう。
--
本番の前日の夜まで準備が終わらなくて、空いた時間を有効活用できていなかった。
--
準備が全然出来ていなくて本番に間に合うかあせった。
--
間に合うかに集中しすぎており、現場での計画があまり練れてなかった。
--
時間の使い方が下手くそ
--
準備段階で一度シミュレーションをしておくべきだった。
--
どのくらいの数を用意したらよいかが分からず、少なかったり、多かったりなど、予算をオーバーしてしまったのがちゃんと計算できず、実行委員として管理不足だった。
--
時間が足りなかった
--
実行委員がすごく大変そうだった
--
予習が出来ないので考えることが多かった。
--
私はねんどマグネットを担当しました。準備に取り掛かるのが遅く、慌てながらねんどの型抜きをしてしまいました。
--
もっと話し合いをするべき。話し合いに参加させるべき。
自分たちが企画したこと以外の周りのことも配慮するべき。
--
試作を何回も重ね、その段階で浮き彫りとなった課題を解決しようと色々考えることができた。
--
準備を始めるのが遅かった。
--
動物についてのクイズを調べた際に自分自身も新しく知った知識がいくつかあったので勉強になりました。

--
直前（数日前）まで具体的な計画の目途が立っておらず、スタッフ間での情報共有ができていなかったため準備がギリギリだった。
モノの用意に必死で現地でどうするかが話し合えず、ぶっつけ本番だった。
--
買い出しの人ともっと情報を共有したほうが班のみんな納得したものが出来たんじゃないかと思った。
テーブルの配置とか椅子の個数もきめていたほうがよかったなと思った。
--
こどもの国の方々とメールでのやりとりやミーティングでイベント当日のスケジュールを話し合っていくのが貴重な体験だった。
--
ギリギリに動き出して足りない物が出てきた。
--
何が足りていないのか、数はあっているかなどの事前確認は大切だと思った。
天気をちゃんと調べておくことが良いと思った。

質問　「感想」
追い込まれて「こんなのもらって嬉しいかな？」とか思っていたけどたくさんの子ども達が喜んでくれて嬉しかった。
--
今回のボランティアはとても貴重な経験となり、今後にも生かせることができると思いました。
--
イベントを考えて実際に楽しんでもらえるか心配だったがお互いに楽しく取り組むことができた。
--
大好きな子ども達と同じ目線でクラフトができてとても楽しかったです。雨の中でも元気いっぱいでずっと笑顔でいれました。なかなか障がいをもった子どもたちと接する機会がなかったので良い経験ができました。
--
子ども相手の言葉づかいなどみんな出来てて、時間もあっという間でとても楽しかったです。でもランタンは途中で完売してなくなってしまったので、もうちょい準備しておけば良かったなと思いました。
夜のこどもの国に行くのは初めてで、たくさんは廻れなかったけど、いろいろ新鮮でライオンのうなり声がすごかった。
--
当日に大雨が降っていて見本のものが濡れたりして大変だった。
テントが狭くて移動が大変だった。
--
不安がありましたが、結果的にはうまくいったと感じました。
--
途中で雨が降ったりしてたのでテントは最低でも２つはほしかったなと思いました。
ランタン作りで子ども達が描く絵が全く予想できなくてボランティア側の自分も楽しめました。
--
普段あまり関わる機会のない、障がいを持った子どもたちと身近に関わることができて楽しかったし貴重な経験になった。
動物を見に行くより、こっちの３つの工作をまわって時間をつかってくれた男の子もいて、それほど楽しんでくれたのを知れてうれしかった。
--
思った以上の人数が参加してくれたことや楽しそうに工作してくれたこと、親子で話しながら作っているのを見て、ボランティアに参加できてよかったです。
夜の動物を見れたのも楽しかった。
夜の動物の姿が昼と違い、１５分くらいだったけど見て回れたのでよかったです。
--

最初は成功するか不安だったし、ちゃんとできる自信がなかったけど、実際にやってみて小さなミスはあったけど、成功することができたのでよかったです。
--
当日は人が多く雨も降っていて大変だったけど貴重な経験ができた。
--
やってよかった
--
今回で様々なお客様を対応してそれぞれに合った対応や接し方を学ぶことができました。私も動物園就職希望なので、対応力やコミュニケーション能力を鍛えていきたいです。ボランティア参加をさせていただきありがとうございました。
--
子ども達が親と一緒になって考えたり、園内を見て回ったりするところがとても良かったし、その状態を自分たちがつくりあげたと思うとすごく嬉しかった。
もっと、このような機会をもうけてほしい。学生側としても臨機応変な対応、接客、企画のいい練習、勉強になる。
--
とても良い経験になり、これからも就職先のイベント等に生かせて行けそうだと感じた。私たちも子ども達も楽しめ学べる良い機会になりました。子ども達とお話しするのは楽しかったです。
今回はこのような機会を設けてくださり、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。
--
これからもイベントの計画など必ず行っていくことなので、学生の間にこのような体験ができたことが嬉しい。
--
今回のように企業さんとの合同でのボランティア活動、さらには大勢のお客さんを相手に何かをするという事が初めてだったので、緊張しましたが試行錯誤ありながらなんとか成功させることが出来たのでよかったです。
--
トラブルや不備も多く、不安になる事も多かったが、結果としてはお客さんに楽しんでいただけパズルラリーの用紙を全て配り終える事もでき、行列になる程の繁盛ぶりで成功に終わりよかった。楽しかった。
ナイトズーは、夜遅くまでの展示だったのでほぼ全ての動物がバックヤードにいるかと思っていたが、起きており動いている動物も多く普段はみれない光景が見られて良い経験になった。また、このような機会があれば客としてきたいと思う。
--
今回のボランティアでイベントの大変さと準備の大切さがわかりました。これから就職先でイベントはかならずつきものだと思うので、今回の反省や改善を就職先にもアニフェスにもいかしていきたいと思いました。
初めてイベントのボランティアとして大変だったけど、最後は成功したので良かったなと思いました。
--
数ヶ月前から実行委員として準備してきて紆余曲折ありながらも当日お客さまは自分たちの用意したブースで笑顔になっているのを見ることができてとても有意義なイベントにすることができたと思った。あの日参加した子ども達の記憶に残り続けるものを自分たちで用意できたと思うので、ここまで頑張ってきてよかったと嬉しく思います。
--
雨が降ってきて皆大変だったと思うけど、ケガとか事故もおきずに無事終えられてよかった。
遅い時間までボランティアをするのは初だったけど、お客さんが楽しんでくれてたし、夜の動物園も新鮮で面白かった。
--
お客様や子どもでもわかりやすく作りやすいランタンを、まずどのような形にするのかや、持ち手の工夫や半紙が足りなかった場合や時間がかかるかどうか、時間がかかる場合の最短にする方法を考え、形にするのが大変だと思った。
企画する上で大切な事は事前調査と仮説設定。
積極的なコミュニケーション
ユーザー中心視点と想像力実行力と柔軟性

全体ふり返り総括

12 月３日（水）　14：00
Web ミーティングによるふり返り
参加者：こどもの国動物園創造局副主幹金尾様、ペットワールド専門学校学生　飼育２年（幸喜、髙木、又吉、弓指）、ペットワールド専門学校教員神山、KBC 学園伊禮

グッズ作りのふり返り

＜良かった点＞

〇実行委員としてペットの学生もだが、参加してくれた親とも一緒に仲良く作業してくれたことが嬉しかったし、難しい作業もあったんですけど、最後まで楽しんでくれたことが良かった点かなと思ってます。

〇クラスとしても物がなくなってもできますか？と声をかけてくれたのが、準備を頑張って良かったなと思いました。完成したものを笑顔で見せてもらえたのも嬉しかったです。

〇学生のふり返りとして一番多かったのは参加できて楽しかったという意見でした。

＜反省点＞

〇リハーサルをしなかったので、当日になってわかることが多くありました。テントの大きさだったりとか机の大きさなどの把握ができなかったので、混乱した部分がありました。また、雨の対策も考えていませんでした。

〇当日生命保険会社のボランティアさんで行っていたスタンプラリーのようなイベントがあり、来場された方が私たちのイベントと区別がつかないことがありました。総合受付場所やスランプラリーやクイズのポイントの場所がわからず、声をかけられることが多かったです。

〇工作にかかる時間を把握していなかったことが反省点の 3 つ目です。実際に工作をやってみると思った以上に時間がかかることがあり、親御さんが時間を気にされていて園内をまわる時間が少なくなったりしたのではないかと思うことがありました。

＜改善案＞

〇会場設営ではズームだけでなくて、事前に現地に行って確認をすることです。また、雨が降った時の対策として、余分にテントを借りておけば雨が降った時に来園者の方々に移動してもらう手間がもっと省けたのかなと思います。

〇他のボランティアさんとの区別がつかなかった点の改善案は、大きめの目立つ看板を設置していれば、来園者の方々が混乱することなく順路を進めたのかなと思いました。

〇時間の把握に関しては、事前に子供たちにだけじゃなく、親御さんの方にも所要時間と作業内容を説明していたら、園内を回る時間配分も保護者の方々が考えれたのかなと思いました。

パズルラリーのふり返り

＜感想＞

〇今回サービス・ラーニングをしてみて、総合的な私たちの所感としては、たいへん価値のある充実したイベントにできたと思っています。

＜反省点＞

〇反省点としては、自分たちの方では当日のイメージとか事前準備はしっかりとできていたんですが、いざ現場に立ってみると会場設備の設営に手間取って時間がかかってしまったり、いざお客様と接するまでかなり不安な気持ちのままこちらも迎えることになってしまったことが反省点です。

〇個人的な僕の反省点としては、こどもの国の金尾様と連絡をさせてもらうメール担当をしていた

んですが、こちらの全体の意見がまとまらないまま、結構当日の一ヶ月前ぐらいぐらいまでかかってしまって、事前に少しずつ準備ができず、急に決めることをこちらから伝えてしまったのでもっと段取りを考えて取り組めばよかったと思っています。

沖縄こどもの国金尾様のふり返り

＜全体の感想＞

〇いろいろと伝達不足な点があり、迷惑をかけてしまったんじゃないかなと思いがあります。それが反省点です。結果的にイベントとしてはお客様みんな笑顔で帰られていたので、こちらにとってもこの不安だったこととか反省点も自分たちの糧になって、これからの将来の就職先でのイベント設定とかにつながっていくと思いますし、お客様にとっても自分たちでとっても有意義なイベントにできたのではないかなと総合的にはそう思っています。

＜学生の活動に関して＞

〇来園された皆さんからのアンケートでは、「ワークショップが楽しかった」という意見が今回は圧倒的に多かったです。ですので、本当にやってもらってよかったなと思っています。

改善案については、私が気づいたことを皆さんがちゃんと考えて全部反省点として挙げてくれていたので特にないです。

＜今後の活動について＞

〇今後経験を積んでいく上で、次こうしないといけないなっていうのはどんどん出てくると思います。もし来年以降もこのようなイベントを企画していただけるとしたら、みなさんの後輩が担当されると思います。後輩たちがやってくとかなると、そこらへんの引き継ぎをうまくやってくれたらすごく助かります。

今回、すごくいい感じのワークショップをしていただけたので本当に感謝しています。

神山先生のふり返り

＜全体の感想＞

〇ありがとうございました。後輩にしっかり引き継ぎを行っていきたいと思います。

私は、今回実施した学生のクラス担任をしているんですけれども、準備段階からずっと見守っていて不安だなっていうところ結構多くありました。というのも、今回の学生たちは、コロナ禍で大きなイベントをどんどん削られてきた世代で、みんなが協力して行うイベントを未経験のまま実施していたんですけど、当日の学生たちの対応を見ていて、あ、これだけできるんだなっという気づきを逆にもらえたなと思っています。

採用試験でもこれくらいやってくれないかなと思うぐらい上出来だなと思ってたので、すごく感心させられました。このイベントがあったからこそ、そういったことにも気づけたので、本当によかったと思っています。

こどもの国さんには、たくさんの臨機応変な対応をしていただいたことと、企画段階からコミュニケーションや接客のスキルとかも見せていただけたので、本当感謝しております。ありがとうございました。

地域創生室伊禮さんのふり返り

このたびはサービス・ラーニングにご協力いただきましてありがとうございました。子どもの国さんには、日頃から実習等で学生たちが大変お世話になっておりますので、やはり学生も少し慣れてきた感はありました。

当日は、パズルラリーの場所をまわってみたのですが、意外とその四カ所が探しきれなくて、そのあたりの案内の照明や、現場での照明なども真っ暗の中であることを考えて準備すべきだったかなあと思いました。

８ 月から長い期間かけて最後の報告会までお付き合いいただきましてありがとうございました。また次年度以降もご協力いただければと存じます。

　それから、こどもの国さんの方から、なんかこんなことやってほしいとかがあれば、ぜひ学校単位で動いていきたいと思いますので、何かございましたらご連絡していただけるごうれしいです。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

4.2.2　繁殖引退犬譲渡会

①第一回実施概要

日　時　令和７年 11 月 23 日
実施責任者　代表伊佐、副代表：城間２名
運営人数５名
場所　ペットショップオーシャン
対　象　繁殖引退犬の里親
内　容　①繁殖引退犬健康チェック
②譲渡会場の清潔を保つ
③里親候補に対する給餌方法、日頃のお手入れ、犬種毎の疾患リスク、
予防接種など適正飼養に必要な情報提供

当日の活動の紹介動画

企画書と結果

2025 年　11 月　20 日
作成者：伊佐　花里奈

企画名	繁殖引退犬譲渡会ボランティア
企画趣旨・目的	①　解決すべき課題： ６歳を迎え、繁殖犬としての役割を終えた犬達の行き場がなくなっていること、ブリーダーの負担が大きくなってしまっていることが課題だと考えています。 ②　活動の目的： 繁殖引退犬を里親に引き渡し、残りの生涯を伴侶動物として幸せ暮らせるよう適正飼養を促進すること、また、ブリーダーの負担軽減を目的としています。
実施日（期間）	２０２５（令和７）年１１月２３日（日）
実施場所	ペットショップオーシャン
ターゲット（対象）	繁殖引退犬の里親
企画内容	当日参加する繁殖引退犬の健康チェックを行い、必要に応じて、ブラッシングなどのお手入れも行います。 定期的に犬の体調を観察し、譲渡会会場の清潔を保ち、犬も人も過ごしやすい空間を維持します。 また、里親候補の方に対して、給餌方法、日頃のお手入れの方法、犬種毎の疾患のリスク、各種予防接種など適正飼養に必要な情報を提供し、理解を深めます。 以下の４つを今後実施する予定です。 ①　カルテ作成 ②　ポスター作成（SNS の活用） ③　繁殖引退犬と里親候補の方が触れ合えるスペースを設ける ④　動画を撮影し、遠隔で犬の様子を流す（暑さ・寒さ対策）
KGI(Key Goal Indicator) 達成する目標	参加人数　　１０組 （実績　15 組） 譲渡成立数　１頭 （実績　１頭）
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための活動方法と活動目標	ポスターや SNS アカウントを活用します。
必要経費概算	交通費　　０円 印刷費　　０円 消耗品費　０円
活動のべ時間見積り 一人当たり時間×人数で計算	企画立案のべ時間：約３時間×１４人＝４２時間 企画準備のべ時間：１時間×５人＝５時間 企画当日のべ時間：６時間×５人＝３０時間 報告会・振返り総括のべ時間：１時間×６人＝６時間 計８３時間（83×1023=84,909 円）
企画代表・副代表	代表　伊佐花里奈　　副代表　城間帆南　城間理子
会計責任者	豊見山佳奈
企画運営メンバー	役割分担 〈店舗前での対応〉 お客様対応　２名 動物管理　　１名 〈旧店舗準備〉

	２名 ※当日はローテーションで回します。
タイムスケジュール	１０時～１１時　　ペットショップオーシャン集合 清掃など会場準備（約１５分)、 ブリーダーから犬を預かり、健康チェックを行います。 １１時～１６時　　譲渡会開始 里親候補の方に情報提供をし、譲渡が成立した方に対して、ペットショップオーシャン内に案内し、飼養する際に必要な用品を紹介します。 （当日参加するサークルメンバーは２グループに分けて１時間ずつ休憩をとります。） １６時～ ブリーダーに犬を返して、会場の片付けを行い、終わり次第、報告・振り返りをし解散します。
備考	

学生ふり返りとショップスタッフのコメント

（イサカリナ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①疾患がある子が来たときの対応
②日差し・暑さ（動物に直射日光が当たる。テントでは補いきれていない。）
③参加してる子達の説明が足りない
④お客さんよりスタッフが多くて見にくい雰囲気
⑤外国の方もたくさん来るから英語で伝えられない

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①事前に知ることが出来ればその疾患への対応の仕方、リスク、どんな病気なのか調べてお客さんに説明できていい。
②中でできれば 1 番いい。テント以外にも日光を避けられるような日よけがあればいい。
③事前に犬種が分かれば、調べられるからお客さんに特徴、リスク（病気とか）伝えやすい
④分担して固まらずに、受付、動物管理とかで人数を分ける
⑤旗を英語表記にしたり、外国の方にも分かりやすいようにしたい。（軽くマニュアルを作るつもり）

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
1 日を通して流れはなんとなく分かったけど、譲渡成立後の流れがよくわからない部分もまだある。お客さんが来た時の対応がぎこちなかったりスムーズにできるようにしたいと思った。

（シロマホナミ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①疾患がある子に対して事前に確認できていなかったこと
②暑さ対策をどうするか
③トイレ問題
④外国の方への対応
⑤学生が多い→人があまる

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
②暑さ対策→もっと影をつくってあげる
④外国の方への対応→英語の案内、旗など
⑤学生が多い→マニュアル作成

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
飼い主さんが自分のペットを連れて見に来てくれる方が多かったため、譲渡に参加している子が興奮しておどろかせてしまうことが多かった。
来てくれる方が遠くから見てることも多かったので、もっと、こちらから声かけや呼び込みもしていこうと思った。

（シロマリコ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①病気の子に対しての対応
②暑さ対策
③ペットシーツ敷きたい
④消毒が欲しい

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
②暑さ対策（夏場）、寒さ対策→風があまり当たらないようにタオルをかける
〇人数多いとやることが減る
〇お昼わけてもいいかも

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
自分が想像していたより大変でした。譲渡会はただのボランティアではなく、その子にとっても自分たちにとっても大事な出会いを作る場所だと感じました。そのことに関われたことがうれしかったし、これからもって成長していけたらなと思いました。
譲渡されていく姿はさびしい気持ちもあるけど、その子に幸せになって欲しいという思いが強くありました。

（トミヤマカナ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①疾患を持っている子の説明
②暑さ・寒さ対策
③ペットシーツ敷いたほうがいいかも
④人数が多いと近づきにくいのかなと思った

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①事前に来る子の疾患を知っておく
②熱いとき→体力消耗させないようにする（犬と犬同士にタオルを掛けたり、さわりすぎない、かまいすぎない）
寒いとき→風が当たらないようにバケージの周りに毛布を掛ける。旧建物のところで行う

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
ポメラリアンが新しい家族と出会ってく姿をみてやりがいを感じたし、この活動をする意味を理解できた 1 日でした。

（アカミネチヒロ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①暑さ・寒さ対策
②トイレ対策
③予備知識不足
④名前や年齢の把握

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
②トイレ対策→パンパース
③予備知識不足→事前に分かる情報を共有してもらって知識を入れる
〇見分けるポイント

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
当日の情報で病気や内容を把握（事前に）
個体差や色などの把握
初めて参加して当日のだいたいの流れやトイレの片付け方、テントや配置を把握した。
みんなですすんでやる事ができた。もっと人がいればグルーミングと対応とで人を分ける事ができそうだと思った。もっと自分からコミュニケーションをとりにいくようにしたい。

＜ショップフタッフコメント（秋山様）＞

＜暑さ対策について＞

日差しに関しては、今日はとくに暑くて、アイスマットを敷いていたりするんですけど追いつかない部分があったり、扇風機を回していてもやはり暑かったようです。ただ、夏場でも暑くない日がありますし、冬でも寒い日も暑い日もあります。

お客さんもやはり暑いとか寒い部屋の中にずっといたくないと思うので、自分たちも室内でできればいいなというのは常々思っています。ただ、どうしてもここ（旧店舗）はホテルの子がいたり、お客さんたちがいたりとかで、使えなかったりするという状況もあります。ですので、現実的にはここにカーテンをつけるという方法がありますが、自分たちとは違う声がすると反応することもあるので、そこはちょっとまだ社長と相談しながら何かいい方法があればと思っています。

とりあえずは今の場所で、テントを増やすとか日よけのカーテンを増やす対策をしてしばらくは外で代用していく形にはなるのかと思います。
今日は、思いのほか車が多くて、普段に比べれば譲渡会場自体がガヤガヤしていた 1 日だったなと感じています。

＜疾患について＞

今日、特に疾患、心臓が悪い子がいて、そこにみんなが気づかってくれていたと思います。ですのですごく感謝しています。また、目が白内障になってる子や、子宮が悪い子など何かしらのトラブルがある子がどうしても多いので、そこをうまくちゃんとお客さんに伝えていけるようにしていかなくてはいけないところです。朝も話したんですけどブリーダーさんのところなので声帯を切ってる子がどうしても多いです。
お客さんからすると声帯を切ってるというのはやっぱり良い印象に思われないのでそこをいかにプラスに伝えていくか。本人的には声がでないことでストレスがかかりますが、周りからもそれがちょっと見てて、えーってなるのは事実だと思います。なので、そこのうまく言い方っていうのが、先に進めていく方法、あの子たちの家族を迎えていくやり方なのかなっていうのは感じています。

＜事前の情報について＞

事前に情報を取るのに関しては、自分たちも当日にこの子が来ます、何歳ですっというのを事前に知ることができてないので、これは自分たちの課題でもあります。もっと私だけでなく、他のスタッフたちも分かるようにしてあげないと、スタッフが休憩に行くときに分からないという状況になってしまいます。せめて 1 週間前にじゃあ次はこの子が来ますよ、何歳の子ですよという状況がわかるようにしたいなと思っています。

その犬の説明とか疾患のある子の対応っていうのもそこにまたつながってくると思うんですね。事前に分かれば準備もできるし病気に対しても調べれるし。じゃあこういう言い方をしようっていうのも多分分かってくると思うので、自分たちがもうちょっと早く情報を知れるような感じにしたいなと思っています。

＜スタッフの多さについて＞

スタッフの多さに関しては、どうしてもバタバタしたり騒々しくなったりしてしまうことがあるんですが、誰かがグルーミングをするとか、誰かがお散歩しながらこんなに歩くこともできるんですよとかっていうのを見せて回ったりとかする方法があります。
あとは自分たちが犬猫を販売するときもよくするんですけど、表でお客さんの目の前でお手入れをしたり、抱っこして歩いてみたりとか、こういうのを使っていてこうやって歩くんですなど、ちょっと話していろんなことを聞いて、お客さんがどんなものを求めているのか、チラっと見ていても少なからず興味があるので、ちょっと見てみませんか?とか、帰りにみてくださいねなどと会話をすすめます。
この子、今３歳なんですけど、ちょっと見てみませんか?とか、ちょっと耳がこんななんだけどとかっていうのを耳を掃除しながら話しかけるなどして、こっちから話題を振っていきます。そうすると、お客さん

がどうしようって思ってる壁をちょっとうちくだいてあげれると思います。そういうことをして人数をばらけさせることができます。

　表に出ている人でも受付をする人、手入れをする人、耳掃除を汚れてなくてもしてお客さんに見せるというのもありです。ブラシはもちろんできることだし、爪切りをする人でもいいし、ただ抱っこして触ってあげても大丈夫です。
　ただ、外でするので、逃がさないようにするというのは絶対に気をつけています。店内を散歩する時もそうですね。うちでは、二重リードにしています。必ず１個は閉まるような首輪にして首輪と閉まるリードをつかって二重リードにしています。自動ドアも行けば開くので犬を動かす時には必ず二重リードで安全性を重視しています。
　お客さんとの犬と立ち会わないように、お客さんがいたらまず抱っこして合わせてみますか、可愛いですねなど入って、話をしながらくっつけるようにやっています。

＜外国人対応について＞

　うちもみんながみんな英語をしゃべれるわけではないので、うちはトリマーさんの子から勧められたアプリを入れています。お話ししたりとかもちろん片言の英語で喋りもしますけど、みんなが喋れるわけではないのはお客さんも分かってくれるので、私英語が苦手なんだけどと言って、単語単語でも分かってくれるのでそういうところから距離を近づけていきます。ジェスチャーとかでもいいし分からなければアプリを使ってでもいいし。いろんなものでコミュニケーションが取れるので 何も堅苦しく文法を作ってしっかり話しましょうとなる必要はないかなと思います。

　のぼりを英語で作るのはお金がかかってくるので、できるだけコストのかからない方法で、運転している外人さんでも何かやってるってよって入ってこれるようなポップとかイラストだったりとか、そういうのがいいのかなと思います。

＜トイレに関して＞

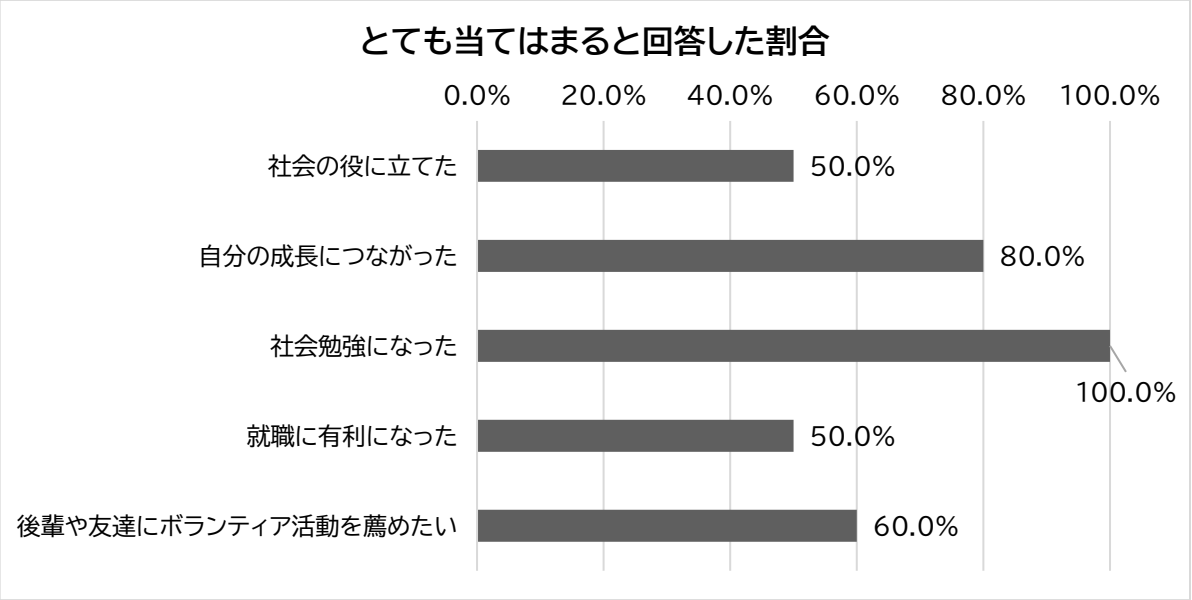
　トイレに関しては今日はおむつつけてなかったんですけど基本おむつをつけてることは多いです。今日いたフレンチは特にしょっちゅうおもらしをするんです。お腹がゆるいのであの子に関してはおむつしててもすぐお尻がべっちゃりするので、あの子は拭いてます。
　トイレに関しては、うちは外に洗うところがないので、雑巾を洗うにしても結構大変な部分があります。でも、譲渡会用に道具が揃えれたらいいなと思っています。給水器にしろ掃除道具にしろ揃ってないのが現状です。

　トイレはうちもやってて、シーツだけひいてると結構ぐしゃぐしゃにする子も多かったりします。かといってトイレを置くってなると中で使ってるのを使うわけにはちょっといかないので、ここのまたコストの面で関係してくるのですぐに用意できますっていうのはちょっとできないんです。今日はいつもよりも頭数が多かったということもありますが、今後やっていくとしたら、多分マナーパンツをはかせることかなと思います。お腹が弱い子とか、例えばサイズがすごく小さい子とかに関しては、またその別の対処法になってくるとは思います。ただ、お掃除がしやすいように、トイレが誰かしたか分かるようにっていうのは、もうちょっと入れ方なり、見せ方なりを考えていきたいなとは思います。

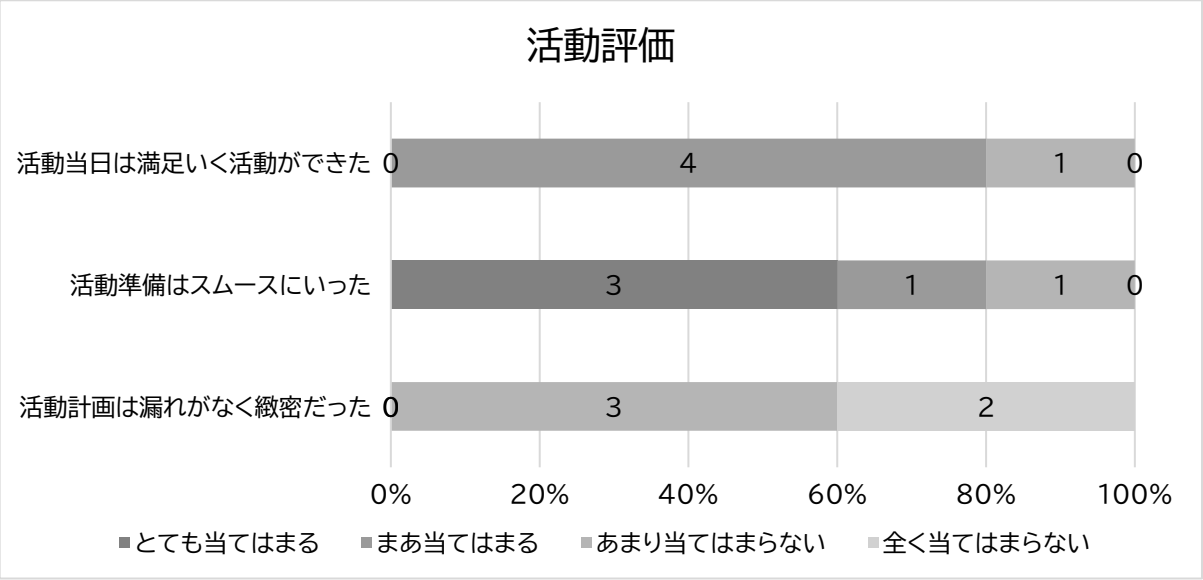
＜その他＞
　今日は、みんなすごく頑張ってくれていたと思うしワンちゃんたちにも優しく接してくれていたのですごく感謝しています。もちろん初めてお客さんに相手する側になっているので戸惑うこともあったと思うんですけど、何回もやっていくとお客さんと話す楽しさだったり、進め方だったり、何より自分たちがこの子の家族を決めたいという思いがあればそれはきっとお客さんにも伝わると思うので、学生なりの接客や説明の仕方だったりとか、アピールの仕方だったりとか、そういうのもあると思うのでうまくみんなで話し合いながらやってくれたらいいと思います。

活動及び非認知能力評価

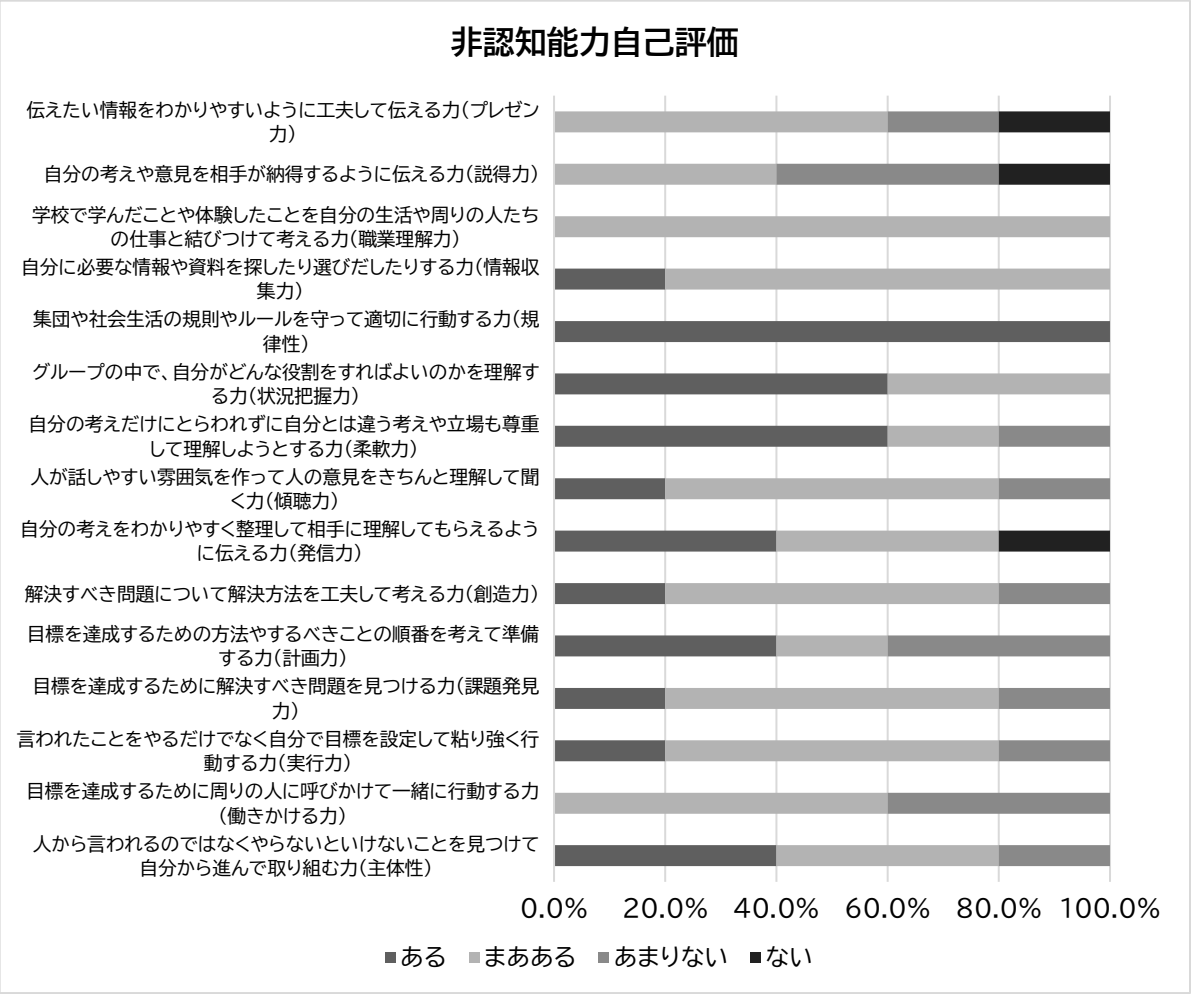
自己評価



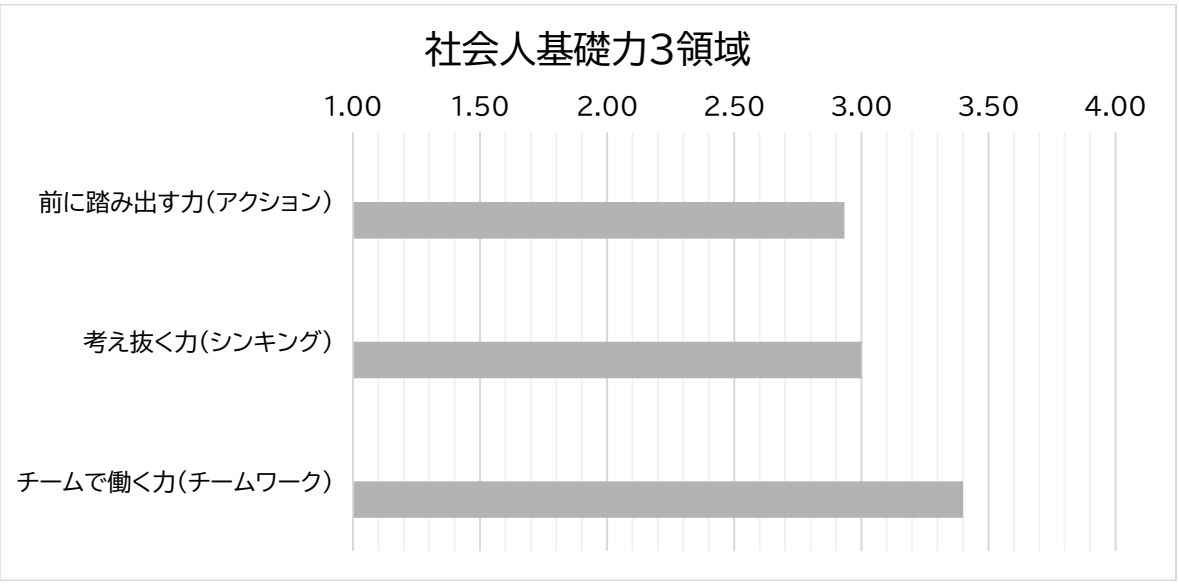
活動に対する評価



非認知能力自己評価



非認知能力３領域評価



②第二回譲渡会活動

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2025 年　12 月　14 日　10 時　30 分～　16 時　00 分　　記録者（伊佐花里奈）
参加者	植村青澄 城間理子 栄愛音夢 伊佐花里奈
活動内容	・担当者と打ち合わせ、流れの確認 ・会場準備 （ペットクラブオーシャン周辺の清掃、テント設営、ケージ設置、犬の移動） ・ペットクラブオーシャン内の見学 ・シャンプー、爪切り、耳掃除 ・犬の管理 （体調管理、排泄物処理） ・譲渡会見学者対応 ・会場片付け
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	・譲渡保険加入の義務 ・譲渡誓約書の内容確認 ・お客様への質疑応答の内容確認
判明した課題	・暑さ、寒さ対策 ・疾患がある犬への対応 ・学生の人員配置 ・トイレ対策 ・予備知識、情報不足 ・個体識別
次回の日時と内容	２０２５年１２月２８日（日） 今回と同様の内容で行います。
備考	【目標数値】 譲渡会見学者：10 組　　譲渡成立：１頭 【結果】 譲渡会見学者：21 組　　譲渡成立：０頭 （のべ対応 36 組　譲渡１頭） 検討中の方１組(１２月２８日の譲渡会にて最終決定予定) 【人的コスト】 ＜今回分＞ 4 人×5 時間＝20 時間（20×1,023＝20,460） １組あたり対応コスト(20,460 円÷21 組=974 円) １譲渡あたりコスト(20,460 円÷0 頭=計算不能) ＜のべ総コスト＞ 103 時間（103×1,023＝105,369 円） １組あたり対応コスト(105,369 円÷36 組=2,927 円) １譲渡成立あたりコスト(105,369 円÷1 頭=105,369 円)

学生ふり返り

（ウエムラアズミ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①人やお客様の犬に吠える
②シャンプー、耳そうじ、爪切りが、１匹４５分くらい時間がかかった
③雨、寒さ、暑さ対策ができるように室内でできるならば散歩
散歩時：噛んだりケガをする危険がある場合はだっこする。
ハーネスやリード、安全対策として学校のゲージ

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
なでたりして気をそらす。馴らす
シャンプーをする前に病気だったり性格を聞いて知っておく
ミニピン、パテラ
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
来てくれた人たちが家で犬を飼っている人が多い

（イサカリナ）

＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①お手入れに時間がかかる
②避妊・去勢について聞かれたときの対応
③雨が降った時の対応
④寒さ対策

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①ハーネスとかがあれば一人ずつ対応できる（落としたりケガの可能性を回避）
②病気のリスクを減らすことができるからなるべく去勢して欲しいと伝えたが金銭面やかわいそうだを気にしていたから、その部分の伝え方をどうしているか教えて欲しい
③室内
④洋服のサイズを枚数を増やす OR クッションとかを置く（散歩をしておしっこしてもらう）

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
前回に比べて深く内容を確認される場面が多かった。避妊・去勢やマイクロチップ、外飼いについての伝え方を統一できるように確認しておく必要があると感じた。

（シロマリコ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
〇風が強くて寒そうだったので、風よけが出来ればいい
〇雨が降った時の対応
〇わんちゃんたちが退屈そうだったので、お散歩させてあげたい
〇お客さんに聞かれたことをすぐに答えられなかった。
〇他のわんちゃんをみて吠える子
〇お客さんのワンちゃんをけがさせないか不安
〇寒さ対策、洋服だけだと寒いかも

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
〇雨の時にわんちゃんがぬれない対策をとりたい
〇お散歩させるのもあり？
〇もっと知識を高める！
〇寒さ対策は毛布も良いかも

＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
今日２回目の譲渡会をして、いつもより人数が少ない中でしたが、前回よりはお客さんとコミュニケーションをとったり、流れがつかめてきたなと思いました。
お客さんと話していく中でインスタみました！と伝えてくれたのでとてもうれしかったです。繁殖犬の子たちの説明をスラスラ伝えたりすることができたので、次回も今日みたいな感じで伝えられたら良いなと思いました。
後、最後に聞きたいことがあるのですが、雨が降った時の対応はどうしていますか。

（サカエアネム）

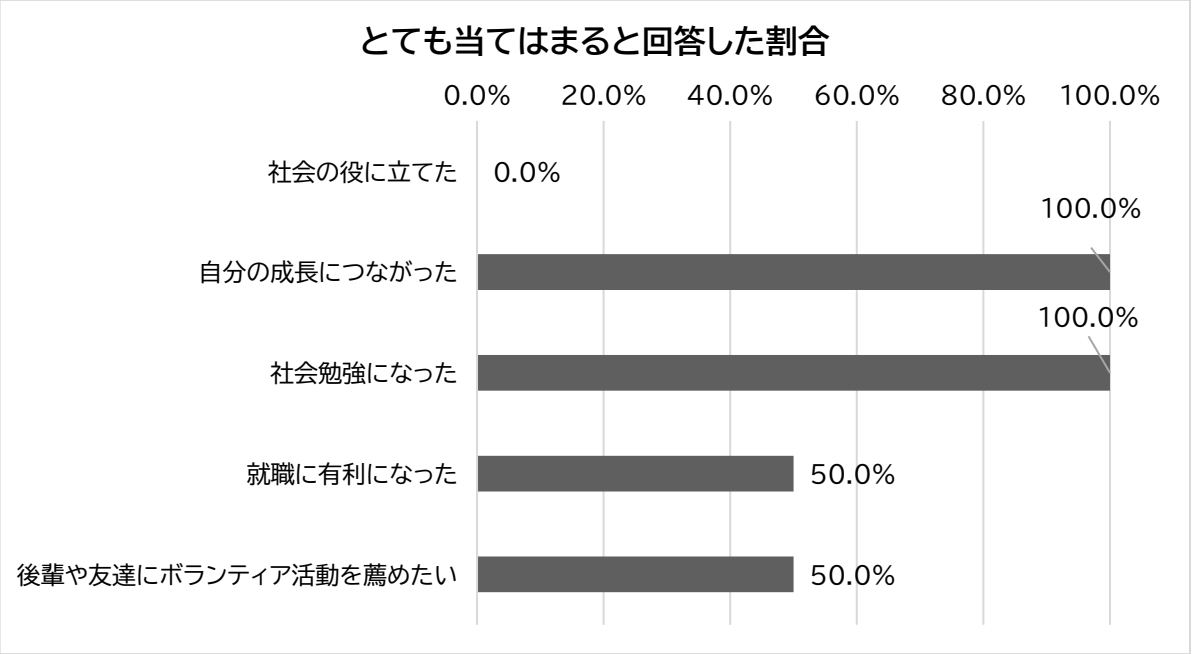
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
〇犬と犬同士の吠え
〇お客さんの対応をスムーズにしたい
〇寒さ対策
〇急な雨の時どうするか
〇部品系の場所を知る

＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
〇寒さ対策で洋服をつけていた。フレブル用の大きいのがなかったので、いろいろな大きさのやつを用意したい。
〇犬の特徴をお客さんに伝える

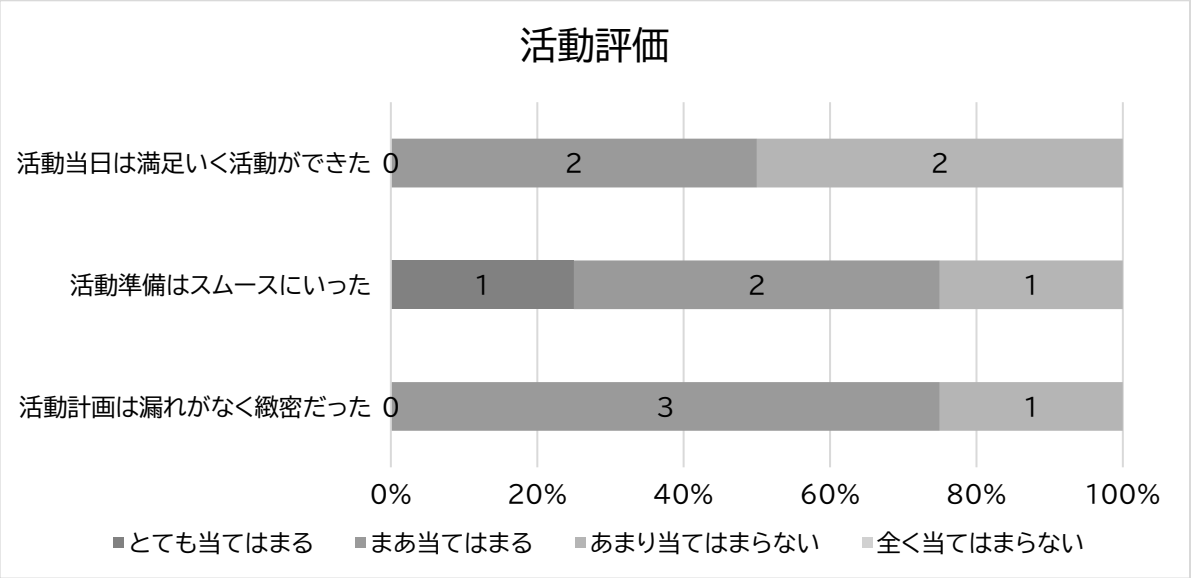
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
実際に譲渡会をしてみて、お客さんに話しかけけるのが難しかったので、次は自分から犬のことを伝えられたらいいと思った。
犬と犬の吠えがあった時に、目隠しをしたかったけどそうすると、お客さんから見えなくなってしまう点があった。

非認知能力等評価

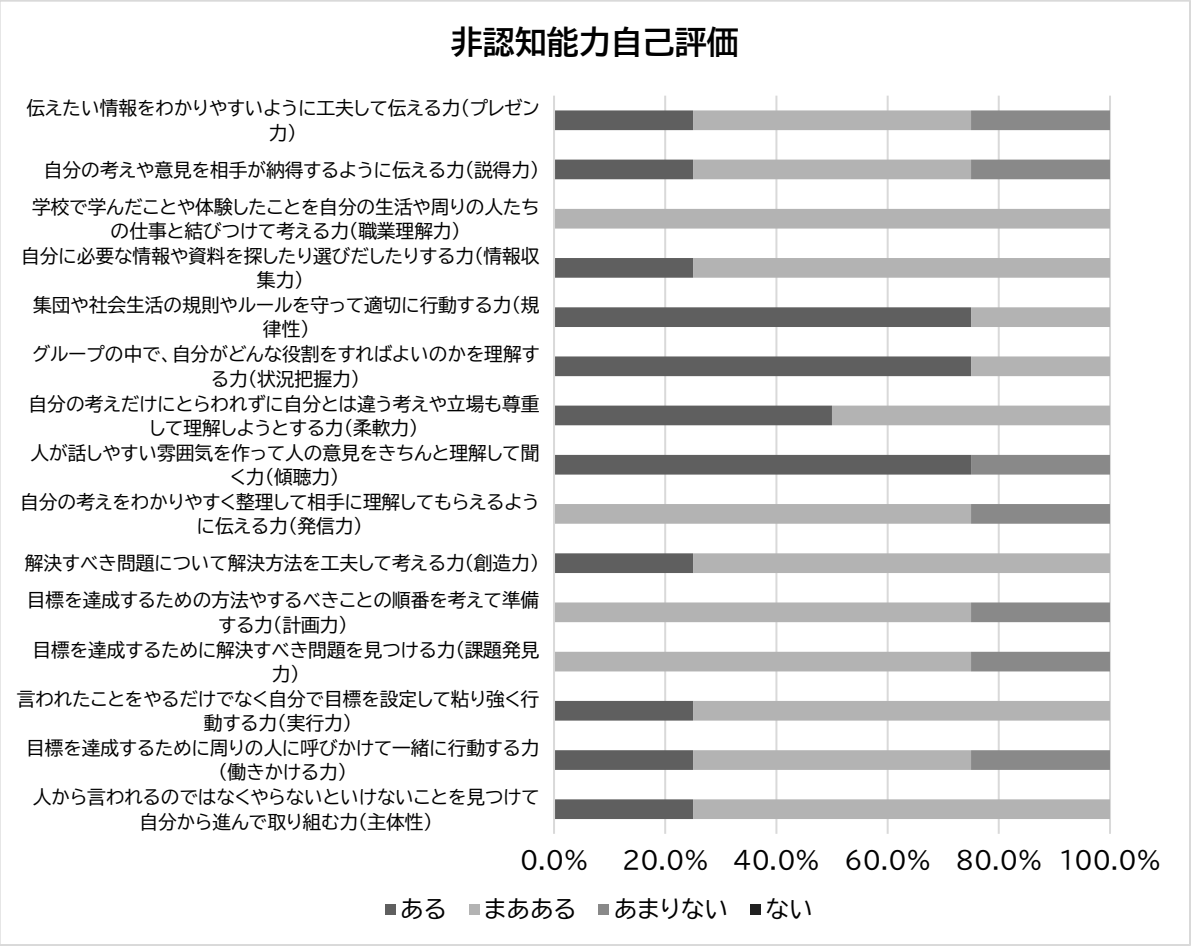
自己評価



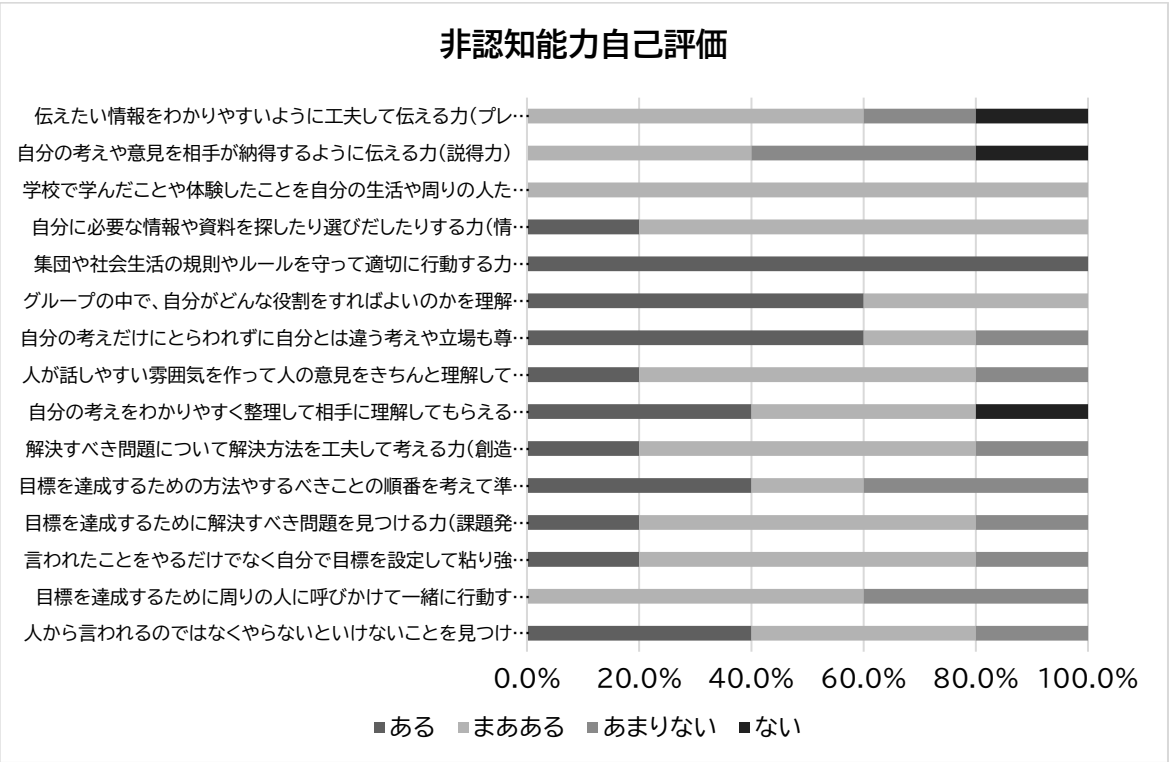
活動に対する評価



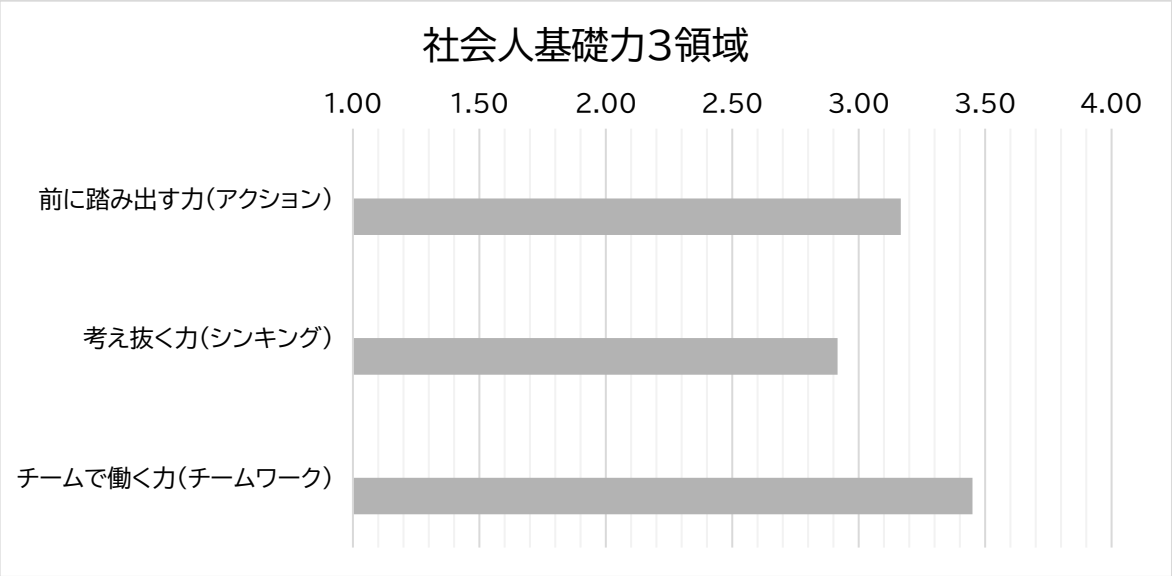
非認知能力自己評価（今回）



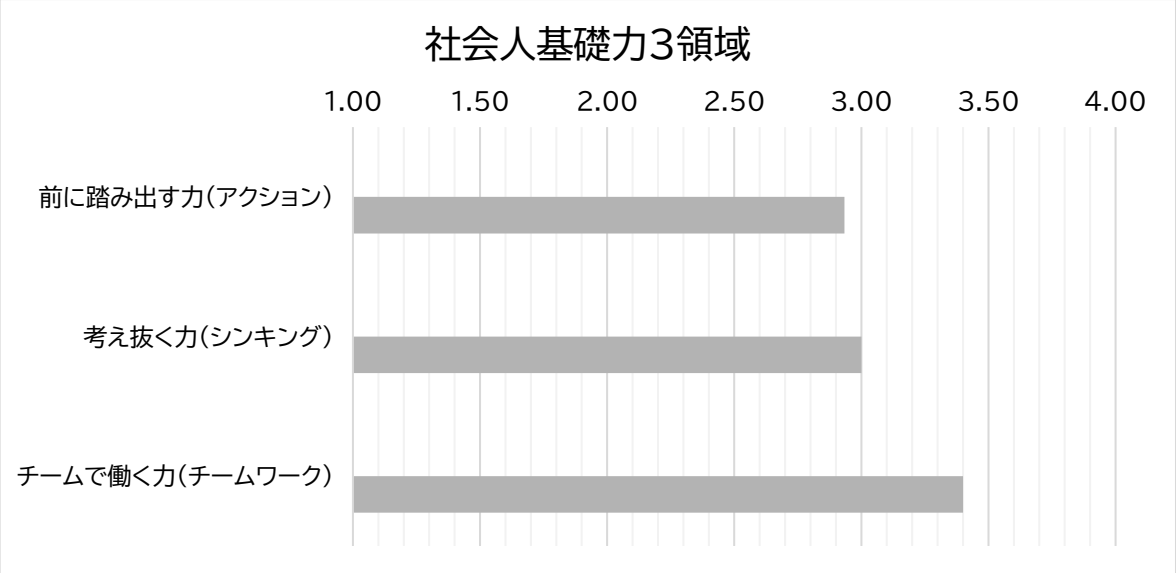
（前回）



非認知能力３領域評価（今回）



（前回）



③第三回譲渡会活動

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2025 年　12 月　28 日　10 時　30 分～　16 時　00 分 記録者（城間帆南）
参加者	城間帆南 豊見山佳奈 岸本愛華 池原愛紗 大城優衣
活動内容	・担当者と打ち合わせ、流れの確認 ・会場準備 （ペットクラブオーシャン周辺の清掃、テント設営、ケージ設置、犬の移動） ・ペットクラブオーシャン内の見学 ・シャンプー、爪切り、耳掃除 ・犬の管理 （体調管理、排泄物処理） ・譲渡会見学者対応 ・会場片付け
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	・譲渡保険加入の義務 ・譲渡誓約書の内容確認 ・お客様への質疑応答の内容確認
判明した課題	・動物に合ったハーネスのサイズが無かった ・譲渡会参加する個体の情報不足 ・最初の健康チェック不足 ・シャンプーに時間がかかった（２頭２時間半、理由：ダニ寄生や耳の汚れが酷かった為） ・個体識別
次回の日時と内容	2026 年 1 月 11 日（日） 今回と同様の内容で行います。
備考	【目標数値】 譲渡会見学者：10 組　　譲渡成立：1 頭 【結果】 譲渡会見学者：14 組　　譲渡成立：0 頭

学生ふり返り

（シロマホナミ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
譲渡に参加するワンちゃん達のケア（お風呂、ブラッシング、爪切り、耳そうじ）
・本来であれば譲渡に参加するワンちゃん達を優先にケアを行うべき場面もありましたが、ケアの対象がずれてしまったこと。
＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
先に譲渡会に出るワンちゃん達をチェック（汚れがないか、爪は長くないか、耳は汚れていないか）などチェックが終わったあと時間と人があまっていれば他に参加しないワンちゃん達のケアに入る
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
前回の経験があったことで譲渡会の雰囲気や流れを理解した上で行動することができ落ち着いて対応することができました。

（トミヤマカナ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
散歩するときにつけるハーネスや首輪のサイズを増やしたい（いろんな大きさの個体がいるからそれぞれに合うようにもう少し増やした方がいいと思った）
ハーネス、首輪は覚えていない
自由に走らせる
動くのが見たいことだったら、お店の中ではなしても OK
＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
学校からもっていく？
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
散歩をして譲渡会のことをアピールしたり、ふれあいさせることで、興味を持つ人は増えるんじゃないかなと思ったので、次回の譲渡会でも取り入れたいと思いました。

（キシモトアイカ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
①散歩にチャレンジしたかったけどハーネスのサイズが合わずできなかった
②スタッフの方々も私たちも犬の個体識別ができてなくて、取り違えられてた。
③健康状態のチェックが出来てなかった。フード吐いてる子がいた。
＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
①ハーネス買う
②引き継ぎちゃんとする。写真×情報を LINE で送る
③チェック表を持ってくる。最初で確認して記入
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
初めての参加で分からないことだらけだった。気になっている人がいた時にわからないことが（健康状態、しつけできているか）が多く、答えが出せないのが悔しかった。散歩はやってみたら出来そうな子が多くてよかった。
展示してる子で汚れている子がいたので、シャンプーの優先順位を上げたりできたらいいかなと思う。

（イケハラアイサ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
譲渡の子たちの最初の状態をあまり確認できていなかった
シャンプーに少し時間がかかった？
ハーネス足りない
情報がないことがあった
＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
最初に譲渡の子のチェックをする
シャンプー（手入れ）をする優先順位を考える
説明できるように情報収集する。してもらう。
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
1 頭 1 頭とまだちゃんと向き合えなかった。

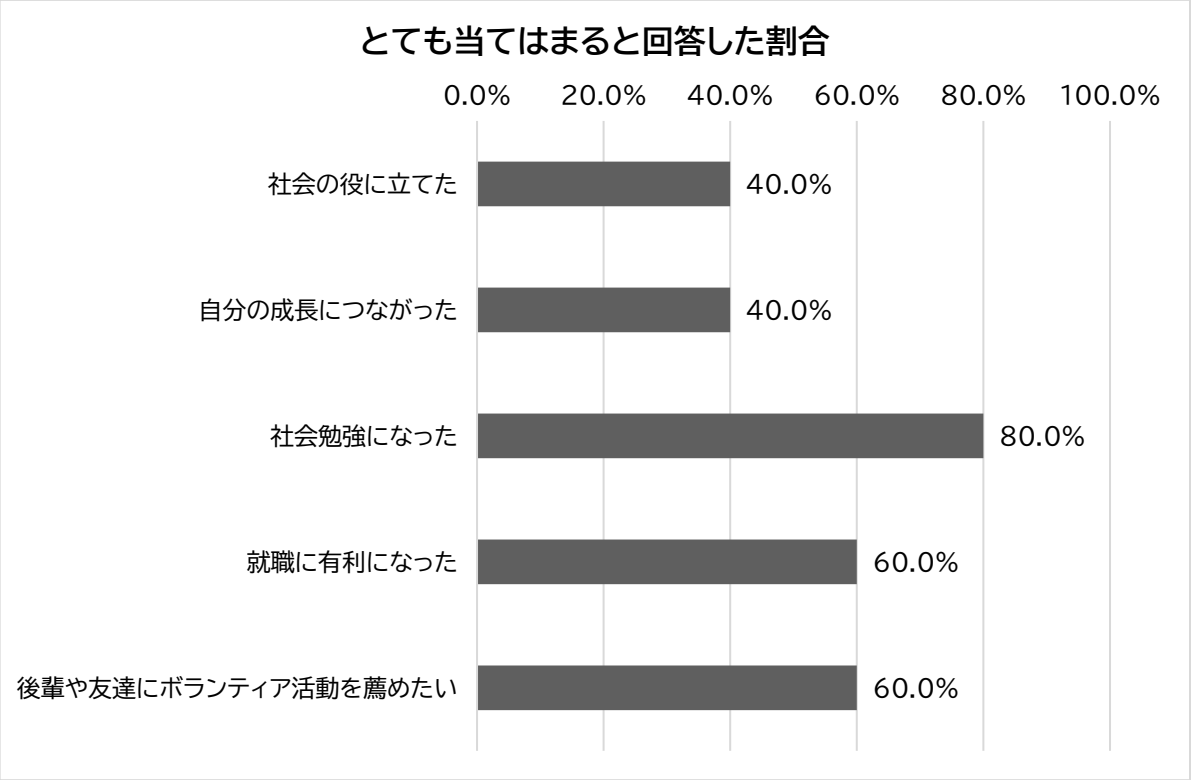
流れがまだちゃんと確立できていない

（イケハラアイサ）

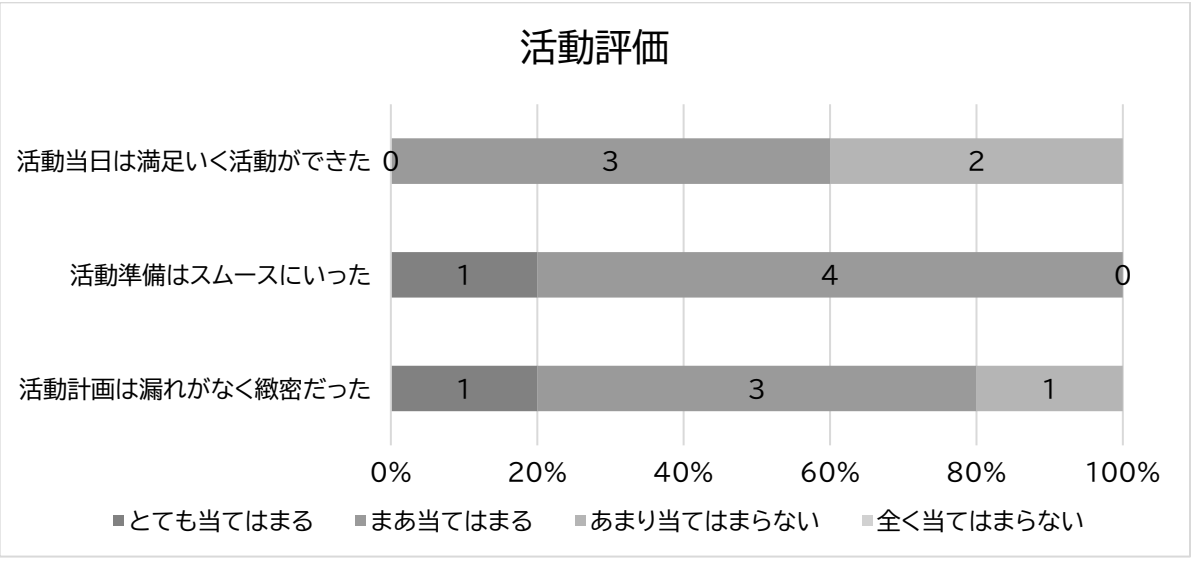
＜今回の活動で判明した課題や問題点＞
散歩をする予定だったけど２匹しか出来なかった。その２匹もおやつでつって歩いたり、駐車場だけだった。
＜前述した課題や問題点を解決するための具体的な方法＞
来た子全員を散歩させる気はなかったけど、ハーネスをこわがってつけることが出来ない子がいたから、首輪から慣れさせたりしたい。慣れた子から散歩できたり、歩くのが好きな子を見つけ出せるかも。
＜あなたが感じた事、新たな発見などのふり返り＞
暑い（冬だけど太陽が出たら暑いのでもう少し日陰がほしい）
見てから気になって質問する人が多いイメージ
犬をつれてきた人が犬がいるせいでほえられて見に来れてない

非認知能力等評価

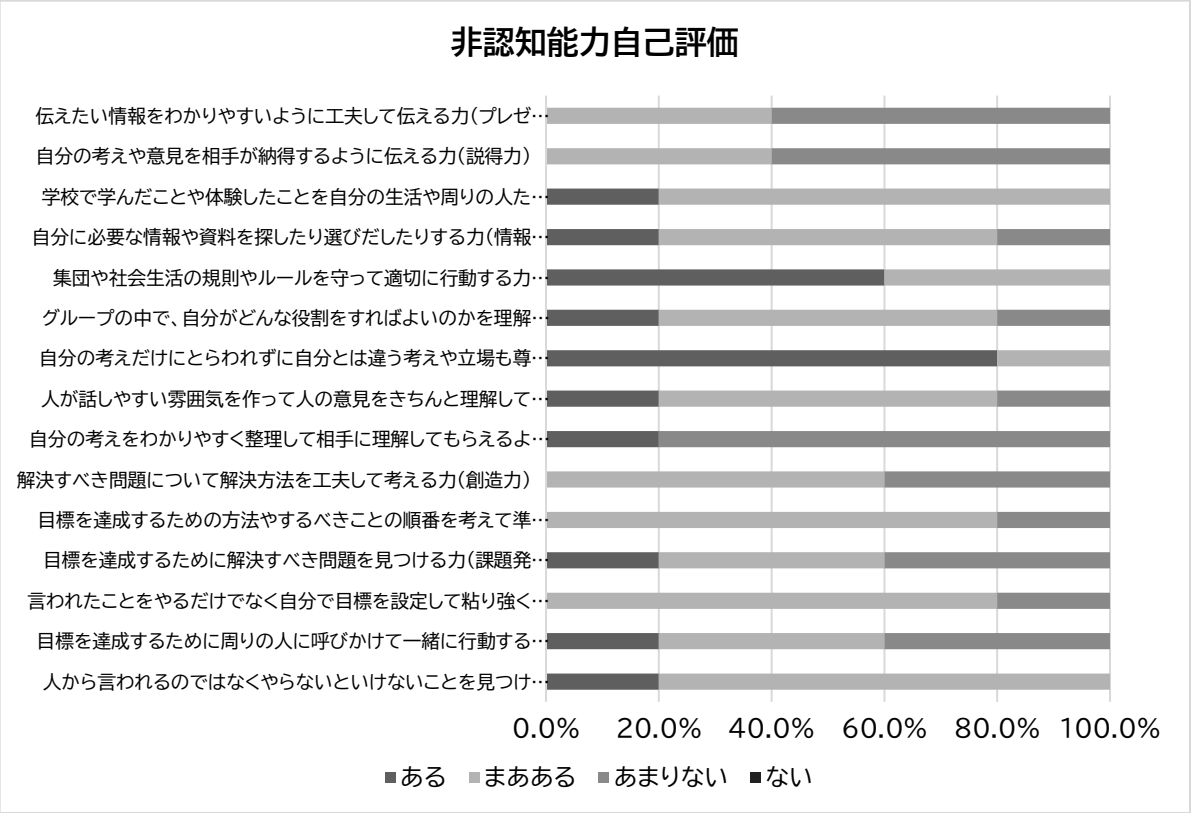
自己評価



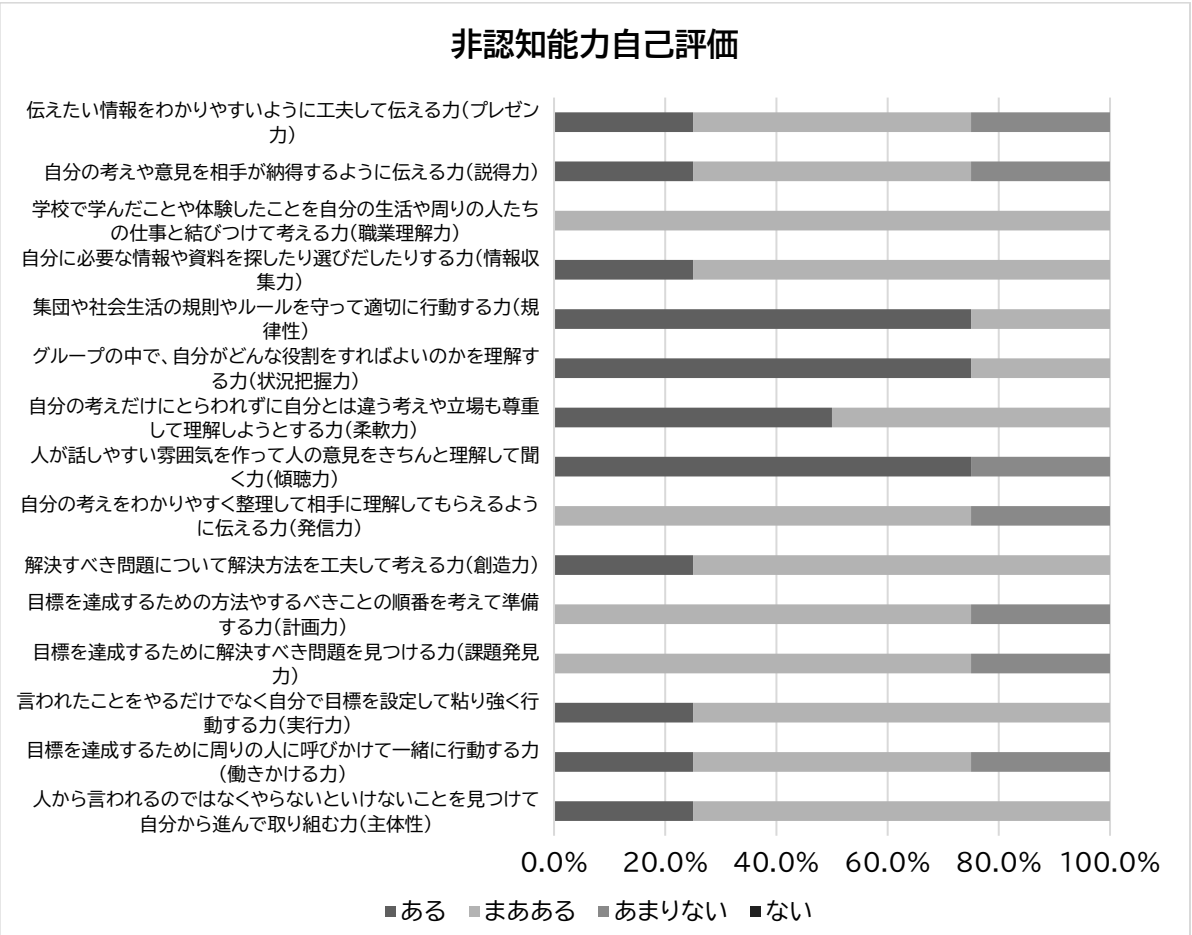
活動に対する評価



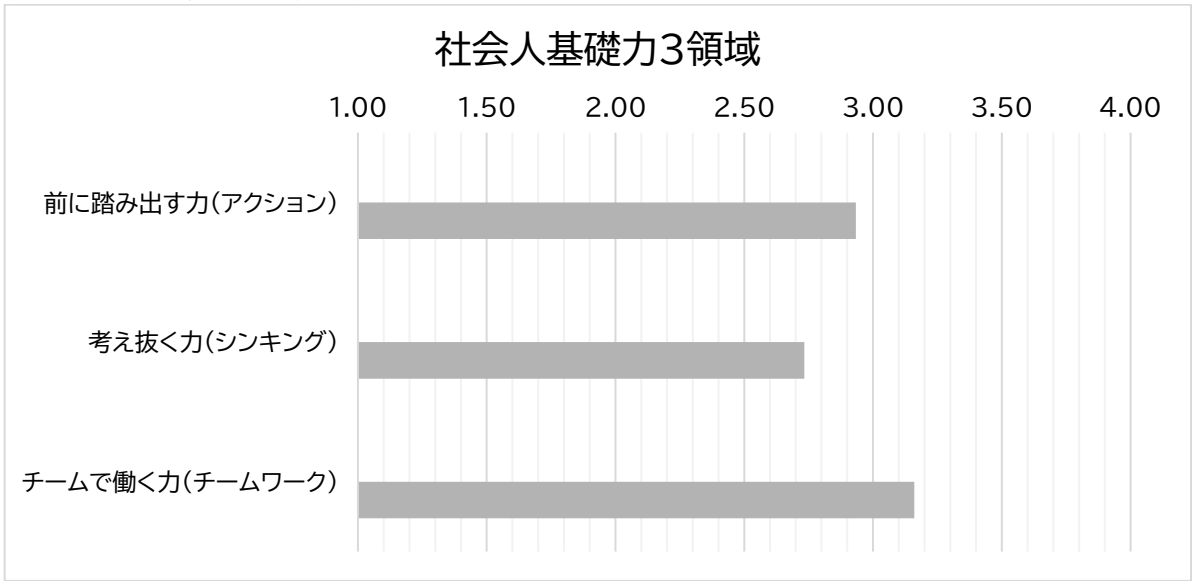
非認知能力自己評価（今回）



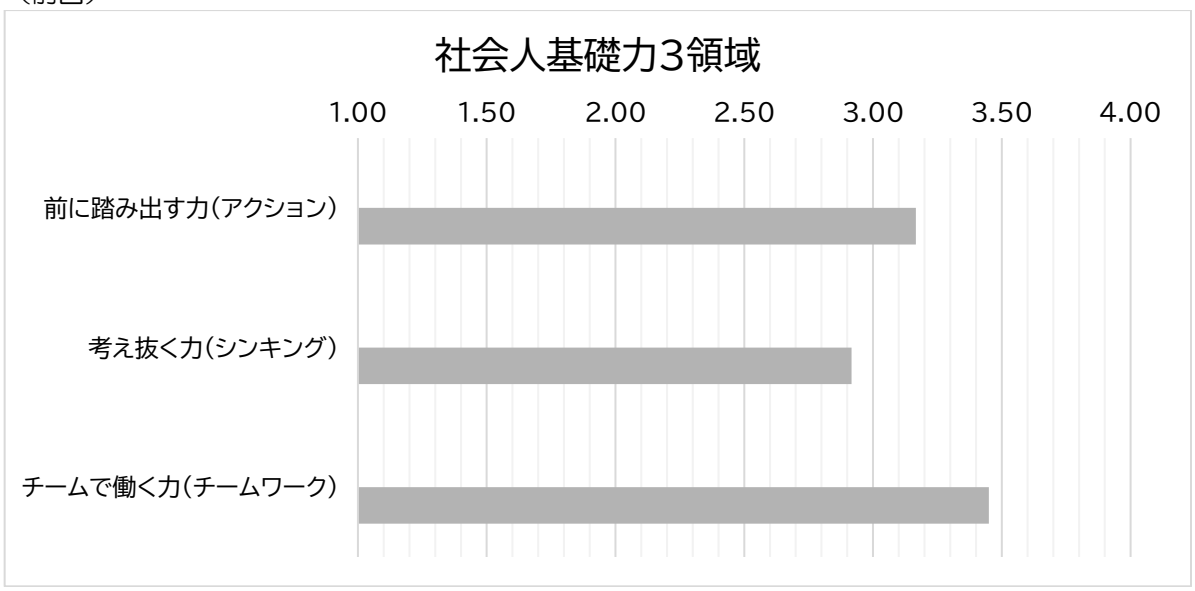
（前回）



非認知能力３領域評価（今回）



（前回）



④第四回譲渡会活動
企画書

2026 年　1 月　9 日
作成者：伊佐　花里奈

企画名	繁殖引退犬譲渡会ボランティア
企画趣旨・目的	③　解決すべき課題： ６歳を迎え、繁殖犬としての役割を終えた犬達の行き場がなくなっていること、ブリーダーの負担が大きくなってしまっていることが課題だと考えています。 ④　活動の目的： 繁殖引退犬を里親に引き渡し、残りの生涯を伴侶動物として幸せ暮らせるよう適正飼養を促進すること、また、ブリーダーの負担軽減を目的としています。
実施日（期間）	２０２６（令和８）年１月１１日（日）
実施場所	ペットショップオーシャン
ターゲット（対象）	繁殖引退犬の里親
企画内容	当日参加する繁殖引退犬の健康チェックを行い、必要に応じて、ブラッシングなどのお手入れも行います。 定期的に犬の体調を観察し、譲渡会会場の清潔を保ち、犬も人も過ごしやすい空間を維持します。 また、里親候補の方に対して、給餌方法、日頃のお手入れの方法、犬種毎の疾患のリスク、各種予防接種など適正飼養に必要な情報を提供し、理解を深めます。 以下の４つを今後実施する予定です。 ①カルテ作成 ②ポスター作成（SNS の活用） ③繁殖引退犬と里親候補の方が触れ合えるスペースを設ける ④動画を撮影し、遠隔で犬の様子を流す（暑さ・寒さ対策） ※今回は、これまで貴社が行ってきた内容で実施します
KGI(Key Goal Indicator) 達成する目標	参加人数　　１０組 （実績　10 組） 譲渡成立数　１頭 （実績　０頭）
KPI(Key Performance Indicator) KGI を達成するための活動方法と活動目標	ポスターや SNS アカウントを活用します。
必要経費概算	交通費　　０円 印刷費　　０円 消耗品費　０円
活動のべ時間見積り 一人当たり時間×人数で計算	企画準備のべ時間：１時間×３人＝３時間 企画当日のべ時間：６時間×３人＝１８時間 報告会・振返り総括のべ時間： 計２１時間（21×1023=21,483 円）
企画代表・副代表	代表　伊佐花里奈　　副代表　城間帆南　城間理子
会計責任者	豊見山佳奈
企画運営メンバー	役割分担 〈店舗前での対応〉 お客様対応　１名 動物管理　　１名 〈旧店舗準備〉

	１名 ※当日はローテーションで回します。
タイムスケジュール	９時３０分　　学校集合 １０時３０分　　ペットクラブオーシャン集合 清掃など会場準備（約１５分）、ブリーダーから犬を預かり、健康チェックを行います。 １１時～１６時　　譲渡会 里親候補の方に情報提供をし、譲渡が成立した方に対して、ペットショップオーシャン内に案内し、飼養する際に必要な用品を紹介します。（当日参加するサークルメンバーは２グループに分けて１時間ずつ休憩をとります。） １６時～ブリーダーに犬を返還して会場の片付けを行い、終わり次第、報告・振り返り会を実施し、その後解散します。
備考	参加メンバー：新規参加メンバー３名 引率者２名（儀間、伊禮） ※1 月 14 日（水）繁殖引退犬の譲渡会サークルミーティング実施

活動報告書（日誌）

日時・記録者	2026 年　01 月　11 日　10 時　30 分～　15 時　00 分 記録者（平安百音）
参加者	平安百音 仲里奏南 比嘉音いろ
活動内容	・担当者と打ち合わせ、流れの確認 ・会場準備 （ペットクラブオーシャン周辺の清掃、テント設営、ケージ設置、犬の移動） ・ペットクラブオーシャン内の見学、清掃 ・シャンプー、爪切り、耳掃除 ・犬の管理 （体調管理、排泄物処理） ・譲渡会見学者対応 ・会場片付け
議事の記録 連絡事項、打ち合わせ内容、決定事項	・譲渡保険加入の義務 ・譲渡誓約書の内容確認 ・お客様への質疑応答の内容確認
判明した課題	・寒さ対策（曇り、特に風がある日など） ・譲渡会に参加する個体の情報不足 ・見学者からの反応（会場設営方法、犬の様子） ・シャンプー時の道具不足（スリッカーブラシ、コーム） ・不明点の確認経路（担当者 or 直接オーナーさん） ・個体識別
次回の日時と内容	2026 年２月８日（日） 今回と同様の内容で行います。
備考	【目標数値】 譲渡会見学者：10 組　　譲渡成立：1 頭 【結果】 譲渡会見学者：10 組　　譲渡成立：0 頭 前回までに引き続き検討中の方（黒のフレブル）、今回も見学に来られました。※リードでの散歩済み、譲渡金額・保険についての質問あり。家族で検討するようです

学生ふり返り

（平安百音）

＜今回の活動で判明した課題や問題点と具体的な解決策＞

課題	解決策
①ケージの底に敷くもの（寒そう、固くて痛そう） 今回は基本新聞紙で お腹ゆるいフレブル（白）は何もなし ②個体情報ほぼない（現時点での体の状態とかも） ③譲渡会自体目的で来る人はいなくて、なかなか興味も引ききれてなかった ④外からの他のワンちゃん達に過剰に反応する子が吠え始めてみんな同調してしまう ⑤ワンちゃん達が可哀想に見えちゃう（見学者になんか切ないって言われた）	①要らないタオルを持ち寄ったり、オーシャンさんで余っている分を貸してもらったり（汚れが気になるならパンパース） ②ブリーダーさんにコンタクト取れるようにしたい。自分たちでも分かる範囲で考えてみる ③やっぱインスタとかでの宣伝は必要そう。説明をしっかりする時間を作れるきっかけが欲しい ④何かワンクッション置けるようにケージで目隠しとかできれば。あとは最初に吠えちゃう子と距離をとる ⑤学校にサークルを持ってきて犬たちを比較的自由にさせる

＜次回の行動目標＞

●最初にブリーダーさんと会えたら簡単にでも各個体の情報を引き出す。（まずは気になるところがある子の分だけでも）

●今回はどんな層の人達が見学に来るのか様子見たから次回から時間をかけて話して興味を持つきっかけを作る

＜ヒヤリハット（インシデント）報告書＞

起きた時間と場所	外の店内入口付近
対象	プレブル（黒・白）
ヒヤリハットの内容	散歩をしていた時、他の犬に興味がある子が店内まで入って近づこうとしていた
なぜ起きた	ダブルリードだったし、相手のワンちゃんもおとなしくて自由にさせすぎた
対策	散歩中、目を離していなくてもちゃんと場所制限して、念には念を入れて一般のお客様とのトラブルを避ける
レベルの分類	0：ミスを行う前に気づいて、ミスをしていない（インシデント）

（仲里奏南）
＜今回の活動で判明した課題や問題点と具体的な解決策＞

課題	解決策
①お風呂のとき、もつれや乾かす時に今後プードルやポメなど毛量が多い犬が来た時、スリッカーブラシとコームが必要	①スリッカーブラシとコーム
②寒さ対策（服やヒーターもあったけど少し少なかった）	②増やす。サークルの中で遊ばせる。
③トイレ	③トイレットペーパー、ちり紙
④ゲージ（譲渡会の雰囲気？やり方を変える）	④サークルをつくって、大丈夫な子はその中で遊ばせる

＜次回の行動目標＞

●実際に散歩をさせてみて、今回来たら５匹歩いていました。しかし、お店に来る犬や譲渡会の犬を鉢合わせさせないよう注意をしながら行動していきたいなと思いました。
最初にブリーダーさんと会えたら簡単にでも各個体の情報を引き出す。（まずは気になるところがある

●ずっとゲージにいてかわいそうなイメージがついてしまうので、工夫をする

＜ヒヤリハット（インシデント）報告書＞

起きた時間と場所	店の入口
対象	
ヒヤリハットの内容	散歩中、店内にいるお客さんの犬と鉢合わせになりそうになった
なぜ起きた	リードをしっかり持っていたが、自由に行きたいところにいかせていた
対策	店内にあまり近づかせないように、ルートを決める
レベルの分類	１：ミスによる危害は与えていないが、何らかの影響があったかも知れない（インシデント）

（比嘉音いろ）
＜今回の活動で判明した課題や問題点と具体的な解決策＞

課題	解決策
①寒さ対策が必要（服など数が少なかった） ②トイレ対策 ③ペットボックス目当ててくる方達が多く譲渡会目的の人が少ないです ④ゲージの中にいることにより「かわいそう」だと思われる	①服は念のためそれぞれの大きさのものを３着ずつもってくる ②トイレットペーパー、板ちり紙などを持ってくる ③譲渡会の宣伝が必要 ④サークルを持ってきて動いている姿を見せる。ゲージは休憩スペース

＜次回の行動目標＞

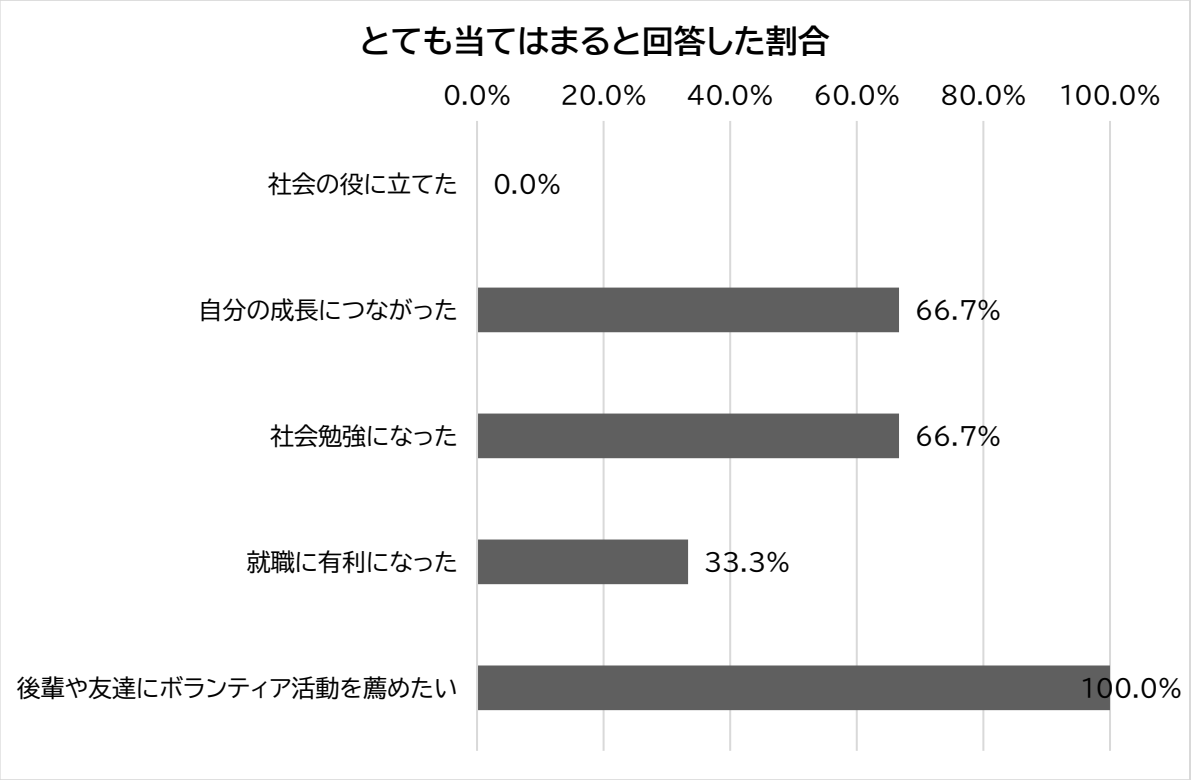
●譲渡会のワンちゃんを散歩させるとき、店内に入ろうとする子やお客さんのワンちゃんについていく子がいたので、次はしっかり周りを見て行動したい

＜ヒヤリハット（インシデント）報告書＞

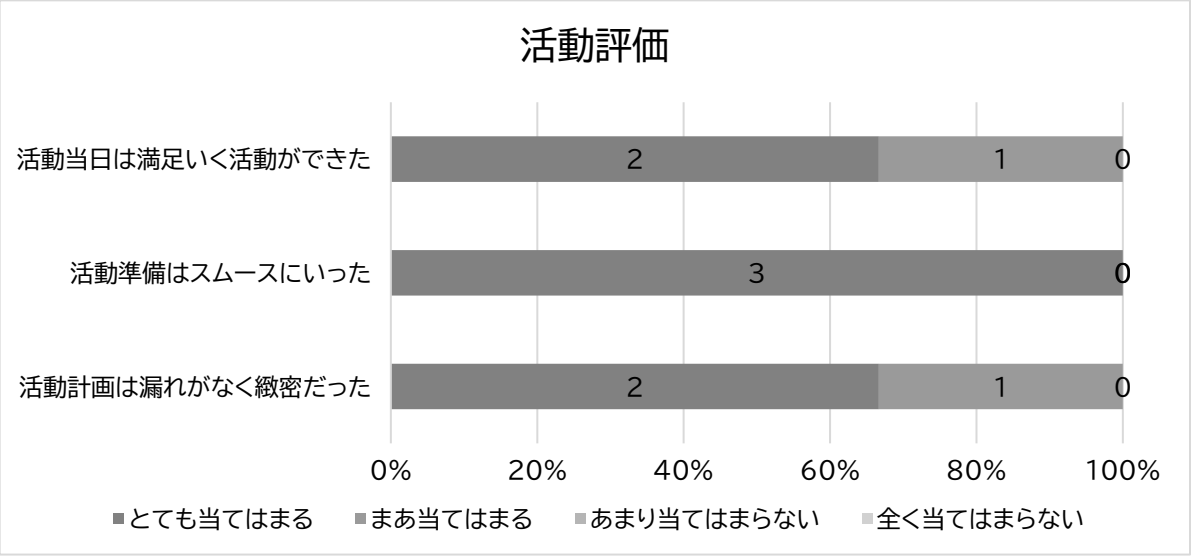
起きた時間と場所	店内
対象	
ヒヤリハットの内容	散歩中のワンちゃんが店内に入り、お客さんのワンちゃんと鉢合わせした
なぜ起きた	店に近づいたから
対策	店内にあまり近づかないよう注意する
レベルの分類	１：ミスによる危害は与えていないが、何らかの影響があったかも知れない（インシデント）

非認知能力等評価

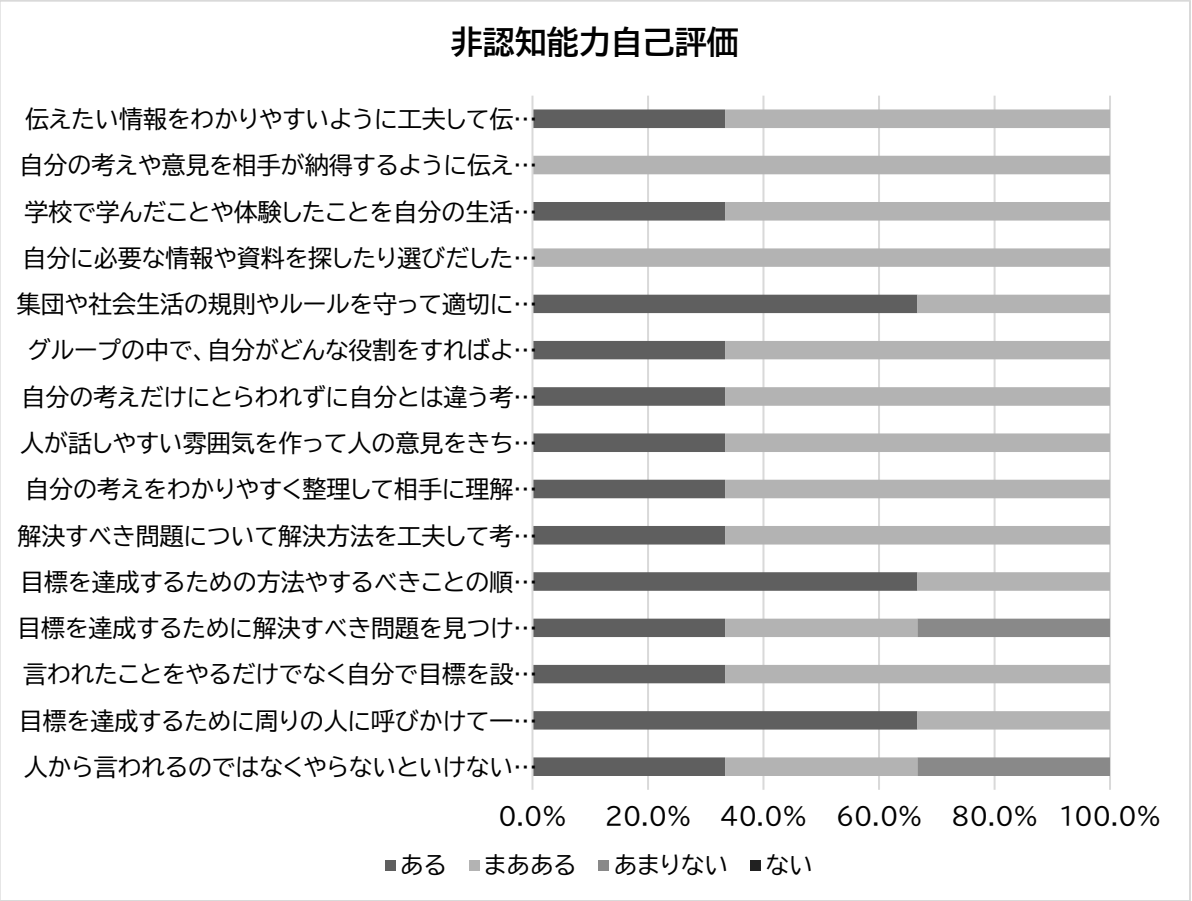
自己評価



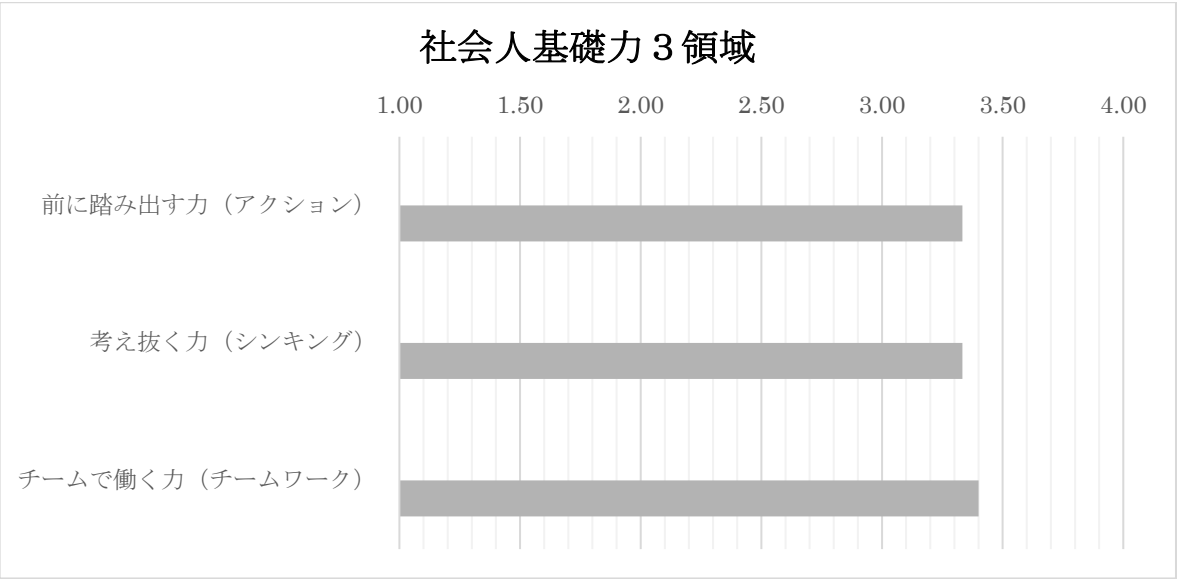
活動に対する評価



非認知能力自己評価（今回）



非認知能力３領域評価（今回）



活動評価シート ver.1.0

サービスラーニング2025 活動後

サービスラーニング活動評価(ふり返りシート)

ボランティア活動の前後でみなさんの非認知能力(目に見えない能力)がどのように変化したかを調べるため、アンケートにご協力ください。

調査は、無記名で行います。答えたくないと思ったものは答えなくてもかまいません。また、提出したくないと思った場合は提出しなくてもかまいません。回答内容や、また、回答や提出をしなくても学校での成績や評価には一切影響しません。

Q1.あなたが今回のボランティア活動で感じたことを伺います。該当するものにチェックをつけてください。

	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1.社会の役に立てた	□	□	□	□
2.自分の成長につながった	□	□	□	□
3.社会勉強になった	□	□	□	□
4.就職に有利になる	□	□	□	□
5.後輩や友達にボランティア活動を薦めたい	□	□	□	□

Q2.あなたは、現在自分には下のような力がどのくらいあると思いますか。それぞれの力について当てはまるところにチェックをつけてください。

	とてもある	まあある	あまりない	全くない
1.人から言われるのではなく、やらないといけないことを見つけて、自分から進んで取り組む力	□	□	□	□
2.目標を達成するために周りの人に呼びかけて一緒に行動する力	□	□	□	□
3.言われたことをやるだけでなく、自分で目標を設定して粘り強く行動する力	□	□	□	□
4.目標を達成するために解決すべき問題を見つける力	□	□	□	□
5.目標を達成するための方法やするべきことの順番を考えて準備する力	□	□	□	□
6.解決すべき問題について、解決方法を工夫して考える力	□	□	□	□
7.自分の考えをわかりやすく整理して、相手に理解してもらえるように伝える力	□	□	□	□
8.人が話しやすい雰囲気を作って、人の意見をきちんと理解して聞く力	□	□	□	□
9.自分の考えだけにとらわれずに、自分とは違う考えや立場も尊重して理解しようとする力	□	□	□	□
10.グループの中で、自分がどんな役割をすればよいのかを理解する 力	□	□	□	□
11.集団や社会生活の規則やルールを守って適切に行動する力	□	□	□	□
12.自分に必要な情報や資料を探したり、選びだしたりする力	□	□	□	□
13.学校で学んだことや体験したことを自分の生活や周りの人たちの仕事と結びつけて考える力	□	□	□	□
14.自分の考えや意見を相手が納得するように伝える力	□	□	□	□
15.伝えたい情報をわかりやすいように工夫して伝える力	□	□	□	□

Q3.活動評価

	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1.活動計画は漏れがなく緻密だった	☐	☐	☐	☐
2.活動準備はスムーズにいった	☐	☐	☐	☐
3.活動当日は満足いく活動ができた	☐	☐	☐	☐

Q4.今回の活動で判明した課題や問題点はありましたか。

Q5.Q4の課題や問題点を解決するための具体的な方法を挙げてください。

Q6.活動をしてみてあなたが感じた事、新たな発見、などふり返りをしてください。

アンケートの問い合わせ先>　調査責任者:学校法人KBC学園　地域創生室　伊禮 TEL:098-861-1381

活動評価シート ver.2.0

サービスラーニング活動評価（ふり返りシート）　　譲渡会実施日　　月　　日

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このふり返りシートは、みなさんの①非認知能力（目に見えない能力）の変化のアンケート、②活動の評価の数値化、③課題解決シート、④ヒヤリ・ハット報告書を含んでいます。特に右のページはメンバー間で情報共有します。他の人が読むことを念頭に置いて、丁寧に書いてください。

Q1.あなたが今回のボランティア活動で感じたことを伺います。該当するものにチェックをつけてください。

	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1.社会の役に立てた	□	□	□	□
2.自分の成長につながった	□	□	□	□
3.社会勉強になった	□	□	□	□
4.就職に有利になる	□	□	□	□
5.後輩や友達にボランティア活動を勧めたい	□	□	□	□

Q2.あなたは、現在自分には下のような力がどのくらいあると思いますか。それぞれの力について当てはまるところにチェックをつけてください。

	とてもある	まあある	あまりない	全くない
1.人から言われるのではなく、やらないといけないことを見つけて、自分から進んで取り組む力	□	□	□	□
2.目標を達成するために周りの人に呼びかけて一緒に行動する力	□	□	□	□
3.言われたことをやるだけでなく、自分で目標を設定して粘り強く行動する力	□	□	□	□
4.目標を達成するために解決すべき問題を見つける力	□	□	□	□
5.目標を達成するための方法やするべきことの順番を考えて準備する力	□	□	□	□
6.解決すべき問題について、解決方法を工夫して考える力	□	□	□	□
7.自分の考えをわかりやすく整理して、相手に理解してもらえるように伝える力	□	□	□	□
8.人が話しやすい雰囲気を作って、人の意見をきちんと理解して聞く力	□	□	□	□
9.自分の考えだけにとらわれずに、自分とは違う考えや立場も尊重して理解しようとする力	□	□	□	□
10.グループの中で、自分がどんな役割をすればよいのかを理解する 力	□	□	□	□
11.集団や社会生活の規則やルールを守って適切に行動する力	□	□	□	□
12.自分に必要な情報や資料を探したり、選びだしたりする力	□	□	□	□
13.学校で学んだことや体験したことを自分の生活や周りの人たちの仕事と結びつけて考える力	□	□	□	□
14.自分の考えや意見を相手が納得するように伝える力	□	□	□	□
15.伝えたい情報をわかりやすいように工夫して伝える力	□	□	□	□

Q3.活動評価

	とても当てはまる	まあまあ当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
1.活動計画は漏れがなく緻密だった	□	□	□	□
2.活動準備はスムーズにいった	□	□	□	□
3.活動当日は満足いく活動ができた	□	□	□	□

Q4.課題解決シート　課題とその解決策に番号をつけて箇条書きにしてください。

今回の活動で明らかになった課題や問題点	具体的な解決策
例)①暑さ対策が必要	例)①日陰ができるようテントを追加する

Q5.次回に向けて、あなたが気をつけること、新しくチャレンジすることなど「次回の行動目標」を書いてください。

Q6.ヒヤリ・ハット(インシデント)報告書

今回の活動でちょっと間違えばお店に損害を与えるようなことや、お客様とのトラブル、動物・スタッフ・あなたに身体的精神的なダメージ(咬傷、脱走、転落、けが、ストレスなど)を引き起こしていたかも知れないことを記録してメンバーで共有します。

起きた時間と場所	
対象	
ヒヤリ・ハットの内容	
なぜ起きた	
対策	
レベルの分類 数字に○をつけてください	0:ミスを行う前に気づいて、ミスをしていない(インシデント) 1:ミスによる危害は与えていないが、何らかの影響があったかもしれない(インシデント) 2:ミスをして処置や治療は行わないが、観察強化や安全確認の強化が必要になる(アクシデント) 3:事故により処置や治療を要した(消毒・薬剤投与など)(アクシデント)

4.3　卒後セミナー報告

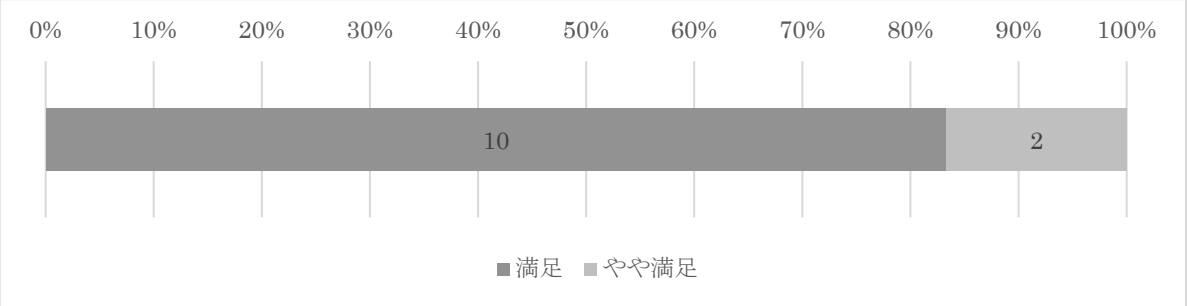
4.3.1　卒後セミナー①「愛玩動物看護師セミナー」

実施概要

日時　令和７年 12 月 12 日　　19：30～21：30
対象　愛玩動物看護師として動物病院に勤務している方など
人数　１２名（2024 年度 19 名）
講師　福田直也・金城加奈先生（琉球動物医療センター/RAMeC）
テーマ「入院看護　どうしてる？」
内容　第一部「点滴固定方法の標準化をめざし」
　　第二部「入院管理の基本と看護計画の立て方」

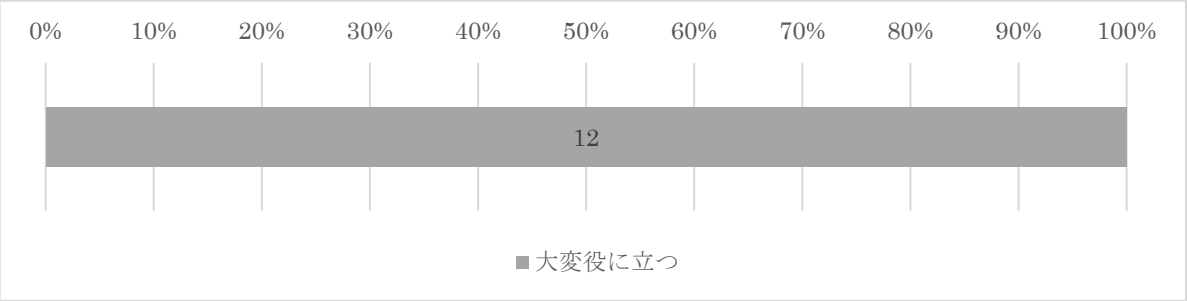
受講者アンケート結果

「本日のセミナーの満足度についてお聞かせください」（平均 4.8）
※2024 年（平均 5.0）



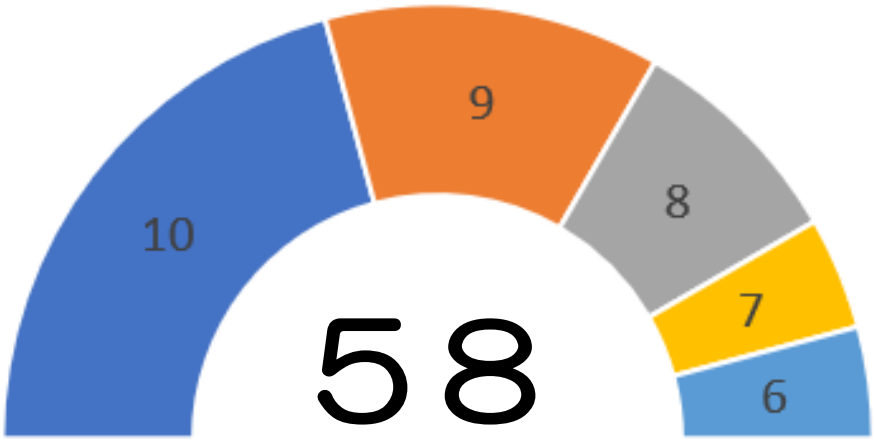
８３%の受講者が「満足」と答えた。

「本日のセミナーの内容は、これから役に立つと思いますか？」（平均 5.0）



100%の受講者が「大変役に立つ」と答えた。

「本日のような Pet が開催するセミナー参加を、同僚や知人にどの程度薦めますか？」（NPS　58）



ネットプロモータースコアは５８だった。
「推奨者割合（66.7%）」－「批判者割合（8.3%）」

ネットプロモーター（Net Promoter Score）は顧客ロイヤリティ（Loyalty：愛着）を測定する指標です。顧客満足度（Custamer Satisfaction）を向上させても業績は向上しないことが明らかになったため、真のリピーター（業績）を予測するために開発された指標です。



「強く薦める」を10、「全く薦めない」を０とする 11 段階で、親しい友人や同僚に対する「お薦め度」を測ります。

10 と９は「推奨者（ロイヤリティが高い層）」で、リピーターになるだけでなく、よいロコミを広げてくれるプロモーターになり得ます。８と７は「中立者」で、満足はしているがリピーターにはならない可能性が高い層です。６以下は「批判者」で、不満を持っている層で放置すると悪いロコミを広げる層です。

NPS は、「推奨者の割合」-「批判者の割合」で求めます。

2024 年の看護卒後セミナーの NPS は 58（57.9-0）だった。
2024 年のトリマー卒後セミナーの NPS は 84（88.0-4.0）だった。

「セミナーを受けて特に印象に残ったことを」を記入してください。

　点滴閉鎖における予防策を初めて知ったので、とても勉強になりました。たしかにルートの固定の仕方は教科書で見たことないと思った。獣医師の指示を待つ看護師ではなく提案できる看護師になれるようにします。
--
閉塞を防ぐためにゲージ内にラインを固定する方法を初めて知った！！固定の仕方が工夫を授業で学ぶ機会がなかったので知れてよかったです。
--
動物の閉塞は「しょうがない」で終わっていた一人です。なんで閉塞なるんだろうとか考えた事なかったので、これからの看護人生にいかします。
--
看護計画表の書き方、翼状針を設置しない留置法
--
ラインをからませない方法
看護過程を紙にしっかり書くこと。それによるメリット
--
病院によっての入院管理について知ることができとても良かったです。今後の入院管理について獣医師とスタッフとも話し合っていきたいと思います。
--
いつもより看護過程がスムーズに書けた。
意見の出し合い、もう少しできてもよかった。
--
他院で行っている内容を知れること。問題に対してどのように考えて対処するのか、それを参加者で話せたこと。
--
看護計画を視覚化することが、意識の統一化に役立って、スタッフの教育にもつながることが印象に残った。
--
尿閉時の尿量管理パックで背負うやり方がとてもいいと思いました。
ペインスケールから獣医師相談までしっかり記入されてる。
--
天井にルートを吊してるところ。
--
それぞれの病院の取り組みをシェアできてよかった。看護過程の流れが看護記録につながることをもっと拡げていきたいといつも思う

次回のセミナーで取り上げて欲しいテーマ・内容があればお聞かせください。

栄養管理、デンタルケア、留置・採血
--
しつけトレーニング、デンタルケア、スタッフ間の伝達方法
--
周術期の看護、保定、シニアケア、栄養管理、スタッフ指導
--
何でも知りたいです
--
麻酔管理、オーナーとの関わり方
--
デンタルケア
--
家でできるシニアケア、終末期ケア
--
看護過程、社会人１年目向け
--
動物病院の基本
--
栄養管理、しつけ、手作りご飯の相談などされますか？
--

取り上げて欲しいテーマ　まとめ

	2025 年	2024 年
シニアケア	3	3
デンタルケア	3	3
栄養管理	3	1
犬のしつけの基本	2	1
スタッフ間の伝達・指導	2	1
麻酔管理（生体モニタ）	1	5
保定	1	2
周術期看護	1	2
終末期看護	1	
看護過程	1	
オーナーとの関わり方	1	
動物病院の基本	1	
１年目向け研修	1	
留置・採血	1	
猫の保定		6
飼い主しつけ指導		2
OPE 助手		1
緊急対応		1
皮膚・シャンプー		1
入院動物の管理・ケア		1
薬の作用副作用		1
経管栄養管理		1
飼い主デンタルケアの説明		1
飼い主栄養指導		1
激怒犬アプローチ		1
救急対応		1
気管挿管		1

日頃、動物看護師の仕事をする中で感じている、困りごと、悩みがあればお聞かせください。

新人をスマートにするのはスマートな先輩だと思う。リーダー研修 in Okinawa をやってみたいですね。
--
心臓の悪い子、ネコ、シニアがどれくらい興奮すると危なくなるのか、どこを見て判断しているのか分からない。
--
他院での業務等どういう事を行っているのか、スタッフ教育や在庫管理等を聞いてみたい。
--
スタッフ指導、怒るネコへの接し方・対応の仕方
--
学んだことの引き出しを開けることができません。
--
まだ学生なのでいつか考えます。ありがとうございました。
--
情報収集した後、集めた情報に優先順位をつけるのが難しいです。先輩の良いところを真似て良い看護師になります。とても勉強になりました。参加してよかったです。ありがとうございました。
--

（セミナー案内資料）

卒後セミナーのご案内

日　時：　２０２５年１２月１２日（金）

１９：３０～２１：３０

会　費　：　なし

実施方法：対面（参加人数が２０名に達し次第募集終了）

申込方法：　事前に下記アドレスまでメールにて申込

≪申し込みメールアドレス≫　gima241504@pet.ac.jp（１２/９〆切）

参加資格：Ｐｅｔの卒業生、獣医師、動物病院に勤務している方ならどなたでも結構です☺

「入院看護どうしてる？」

第一部　点滴固定方法の標準化を目指し

第二部　入院管理の基本と看護計画の立て方

講師：（　福田 直也・金城 加奈　）愛玩動物看護師
（琉球動物医療センター/RAMeC）

今回のセミナーは、一度は皆さんも悩んだことがある入院管理について学びます。

第一部では動物の性格に合わせた点滴の固定方法を学び、第二部では病態に合わせた看護計画の立案を通して、チーム全体で動物の回復をさせる入院管理を学びます。

今回はグループワークを通して、他の病院で実施していることなど共有する時間も設けますので、ぜひご参加ください！

🕮お問い合わせ🕮
沖縄ペットワールド専門学校
℡：098-861-1586　　担当：儀間、和宇慶、前田

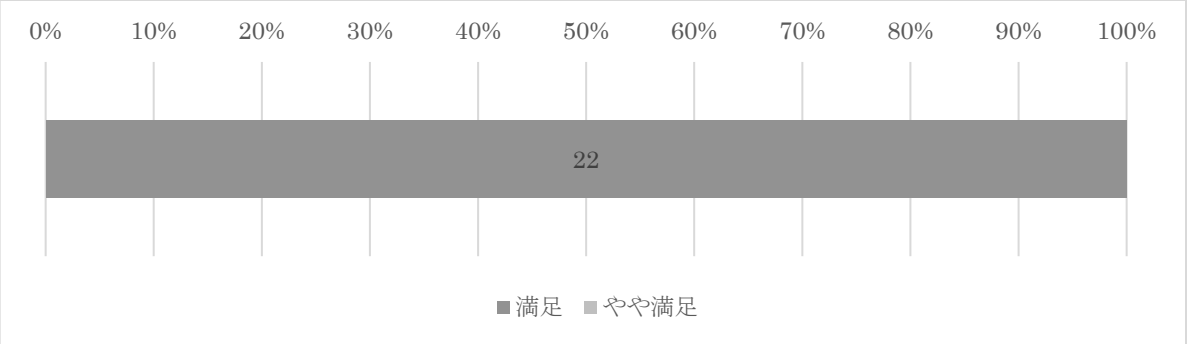
4.3.2　卒後セミナー②「トータル卒後セミナー」

実施概要

日時　令和８年１月28日　　19：00～21：30
対象　卒業生、トリマー職員、在校生（希望者）など
人数　２２名（2024年度２６名）
講師　山田歩美先生
内容　おパンツカット

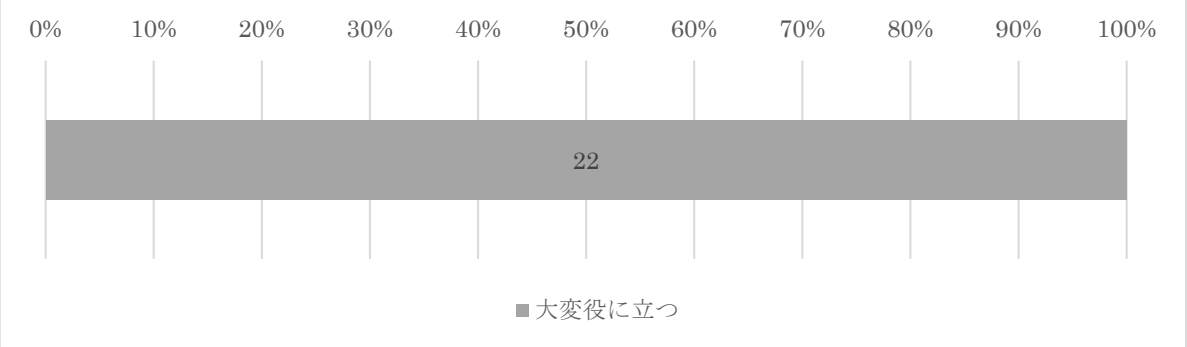
受講者アンケート結果

「本日のセミナーの満足度についてお聞かせください」（平均 5.0）
※2025 年度（平均 4.8）、2024 年度（平均 5.0）



１００%の受講者が「満足」と答えた。

「本日のセミナーの内容は、これから役に立つと思いますか？」（平均 5.0）
※2025 年度（平均 5.0）、2024 年度（平均 5.0）



100%の受講者が「大変役に立つ」と答えた。

「本日のような Pet が開催するセミナー参加を、同僚や知人にどの程度薦めますか？」



ネットプロモータースコアは７３だった。（※2024 年度 NPS　８４）
「推奨者割合（86.4%）」－「批判者割合（13.6%）」

ネットプロモータ（Net Promoter Score）は顧客ロイヤリティ（Loyalty：愛着）を測定する指標です。顧客満足度（Custamer Satisfaction）を向上させても業績は向上しないことが明らかになったため、真のリピーター（業績）を予測するために開発された指標です。



「強く薦める」を 10、「全く薦めない」を０とする 11 段階で、親しい友人や同僚に対する「お薦め度」を測ります。

10 と９は「推奨者（ロイヤリティが高い層）」で、リピーターになるだけでなく、よいロコミを広げてくれるプロモーターになり得ます。８と７は「中立者」で、満足はしているがリピーターにはならない可能性が高い層です。６以下は「批判者」で、不満を持っている層で放置すると悪いロコミを広げる層です。

NPS は、「推奨者の割合」-「批判者の割合」で求めます。

NPS	2025 年度	2024 年度
看護	58（66-8）	58（58-0）
トリマー	73（86-13）	84（88-4）

「セミナーを受けて特に印象に残ったことを」を記入してください。

おパンツカットの丸を意識する上で大切なこと
定規の使用、マズルの整え方
あんなキレイなカットはどこ切ってるかわからないレベルでカットしてる
トリマー歴１３年、１万８千円、おパンツ５ｃｍなど長さで料金変更
--
おパンツカットがほぼないので貴重な経験になりました。
ものさしを使うのがとてもいいなと思いました。
マズルを作る時の注意点
アタッチメントの入れ方
--
お姉さんやさしそう
スクェアだなあ
マズルのナナメ上は切りすぎない
--
初めておパンツカットの基礎を教えてもらえてとても勉強になりました。
--
おパンツカットとか、学校であまりやらないカットを細かく説明していた所と、一つ一つの作業がすごく丁寧でとっても細かくチェックしながらカットをしていたので、そこもすごく勉強になりました。
--
足をアタッチメントで時短してたところ
まつげの後ろカットする
--
今までベアカットする際に毛量とか関係なく耳の穴の前の毛をすっきりさせていました。そのせいか、今まで自分が納得いくベアカットがなく、今回のセミナーを通して改善策が見つかった気がします！！
明日から今日学んだことを活かしていけたらなと思います。
--
カットのスピードがはやくて仕上がりがキレイだった。
最初に自分がカットしたい完成図をイメージすることが大切
--
おパンツカットで確認したかった事が確認出来た。
--
視線や動きがしっかりしていて最小限。先生も下積み時代はいろんな方法で工夫してやっているのが勉強になった。写真を用いたり定規を使ったり、ハサミでカットするだけじゃなくて、常に向上しようとしているのが自分にはなかったのでやろうと思います。
--
お客さんにカット内容を伝える時にデメリットまで伝える。そうすることで信頼につながると言っていたこと。
--
マズルが横長ピーナッツカットはあまりキレイじゃない
アタッチメントはゆっくり動かしながら
尻尾も上げ下げしながら丸さを整える
--
写真や映像で見るよりも色んな角度で見る事ができるし、その都度その都度で質問することができるから記憶に残りやすい。先生のこだわりポイントなども聞けて、カットの理解が深まりました！！実習の時間でためせそうだったらやってみたいと思います！！
--

くせのあるマズルの毛はブローの時、温風で乾ききらないまで乾かして、冷風でコームで伸ばすといいこと！
--
高さや目安の例えがとてもわかりやすく、すぐ理解できました。

一番は顔だと目尻の切り方が日頃から苦手だったのでありがたかったです。
アタッチメントの使い方も見れてよかったです。
おパンツではラインの出し方、肢との間のぼかし方も興味深かったです。
--
どうやればかわいく見えるとか、定規を使うとか、ためになりました。
--
慣れるまではシザーケースに定規入れようと思った。
ピーナッツカットすごくかわいかった。
--
時短の方法とマズルのカットの方法
--
アタッチメントでここまで時短になるのが印象に残りました。
マズル丸いカットのセミナー受けたかったのでめっちゃいい勉強になりました。
--

次回のセミナーで取り上げて欲しいテーマ・内容があればお聞かせください。

保定のコツ、後輩指導の大切なこと、ケガをさせやすいポイント、ブロー時短のコツ、独立開業準備
--
シニアトリミング、スピードトリミング、ペットカット
--
シニアケア
--
ポメラニアンのかわいく仕上げるカット。他にもあればセミナーして欲しいです。
--
ブロー、ブロワーの使い方、歯みがき
--
ブロー
--
シニアケア
--
シニアをカットする時に気をつけること
--
軟毛犬種を丸く仕上げる
--
シニア、パピー
--
独立開業のやり方
--
デザインカット（ウマ、モヒカンとか）
--
トップノットや長い毛を結ぶ糸のスタイル！
--
落ち着きがない子のトリミング方法が知りたい。
--

取り上げて欲しいテーマ　まとめ

	2025 年度	2024 年度
シニアケア・カット	５	７
多くのカットスタイル	４	２
ブロー技術	３	０
独立開業準備	２	７
嫌がる・噛む子の対応（保定）	２	４
デンタルケア	１	１
ケガをさけるポイント	１	０
後輩指導	１	０
スキンケア	０	７
シャンプー	０	４
マズル	０	１
足腰の悪い子の対応	０	１
猫セミナー	０	１
マッサージ	０	１

取り上げて欲しい犬種　まとめ

	2025 年度	2024 年度
ビション	６	※2024 年度実施
マルチーズ	５	５
プードル	４	９
トイプードル	３	５
シュナウザー	３	３
シーズー	３	２
ヨーキー	２	３
ポメラニアン	２	１
マルプー	１	
シエナ	０	２

取り上げて欲しいカット　まとめ

	2025 年度	2024 年度
いろいろなデザイン	５	３
ベアカット	３	６
ビションカット	３	※2024 年度実施
ペットカット	１	４
スタンダートカット	１	３
マッシュルームカット	１	
ブレス	１	
リボンカット	１	
シュナウザーカット	１	
身体のカット	１	
トップノット	１	
流行のカット		２
バリカンのカット		２
プードルの流行のカット		１
ニャンスペア		１
ラムクリップ		１
オールシザー		１
ニュアンススタイル		１
おパンツカット	※2025 年度実施	１
クリッパーのカット		１
コンチ		１

日頃、仕事をする中で感じている、困りごと、悩みがあればお聞かせください。

時間をかけてしまう
後輩指導が難しい
カットがまだ上手じゃない
自分のメンタルで仕上がりが変わる
犬みんな丸刈り
ブロー時間かかる
--
基本料金が安いのに売上を上げてと言われる
カットの上達が遅い
トリミング時間短縮できない
--
大暴れの子の対応が大変（咬みつきなども）
--
全部おそい
バリカン全部調子悪い
--
カットをする機会が少なくてカットの仕方を忘れる
時間がかかる
--
カットを成長するにあたって、一番何が効率良いか。
--
左側がいつもキレイに切れない
後頭部がうまく切れない
--
めっちゃ目に手が入りやすくて困っている。
--
自分がやったことないスタイルを提案されたときに、すごく時間がかかること。カットの出来る幅を増やしたいです。
--

4.4　中学生の職業体験報告書

職業体験紹介動画

①西原町立西原中学校　職業体験



（写真引用：西原町立西原中学校公式ホームページ）

開催日時・場所

2025 年 11 月 27 日（木）　１～２校時　８：50～10：45
３～４校時　10：50～12：45
西原中学校体育館

体験プログラム（担当者）と体験時間

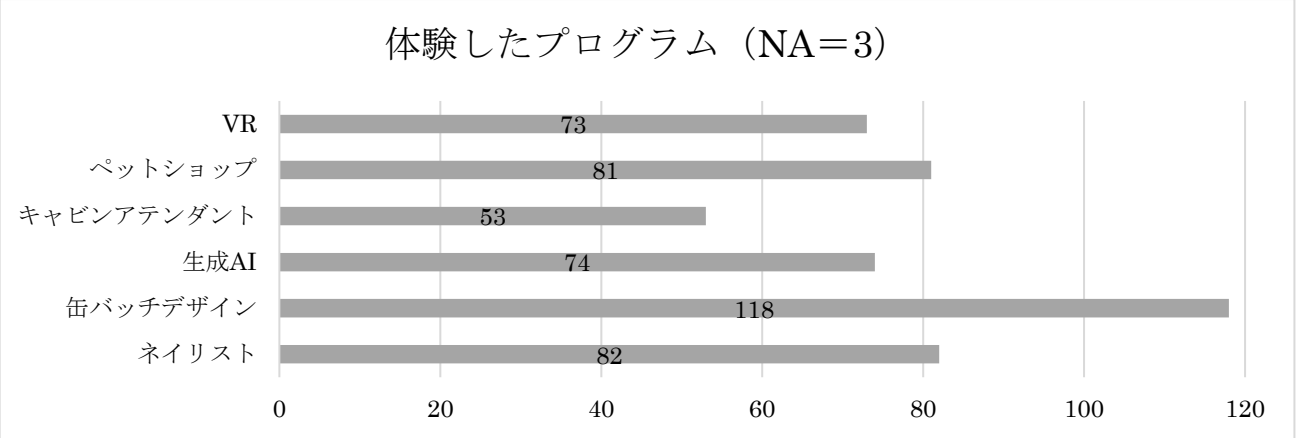
１ネイル、２缶バッチデザイン、３生成 AI、４キャビンアテンダント、５ペットショップ（永井・仲里）、６VR の６プログラムを生徒一人３０分×３プログラムを選択※６プログラムから３プログラムを選択

当日の様子（ペットショップ）





体験プログラム後アンケート結果（アンケート回収数 163）
今回体験したプログラムは何ですか？３つ〇をつけてください。
　缶バッチデザインが最も多く 118 人（73.8%）、次いでネイリスト 82 人（51.3%）、ペットショップ 81 人（50.6%）、生成 AI74 人（46.3%）、VR73 人（45.6%）、キャビンアテンダント 53 人（33.1%）だった。

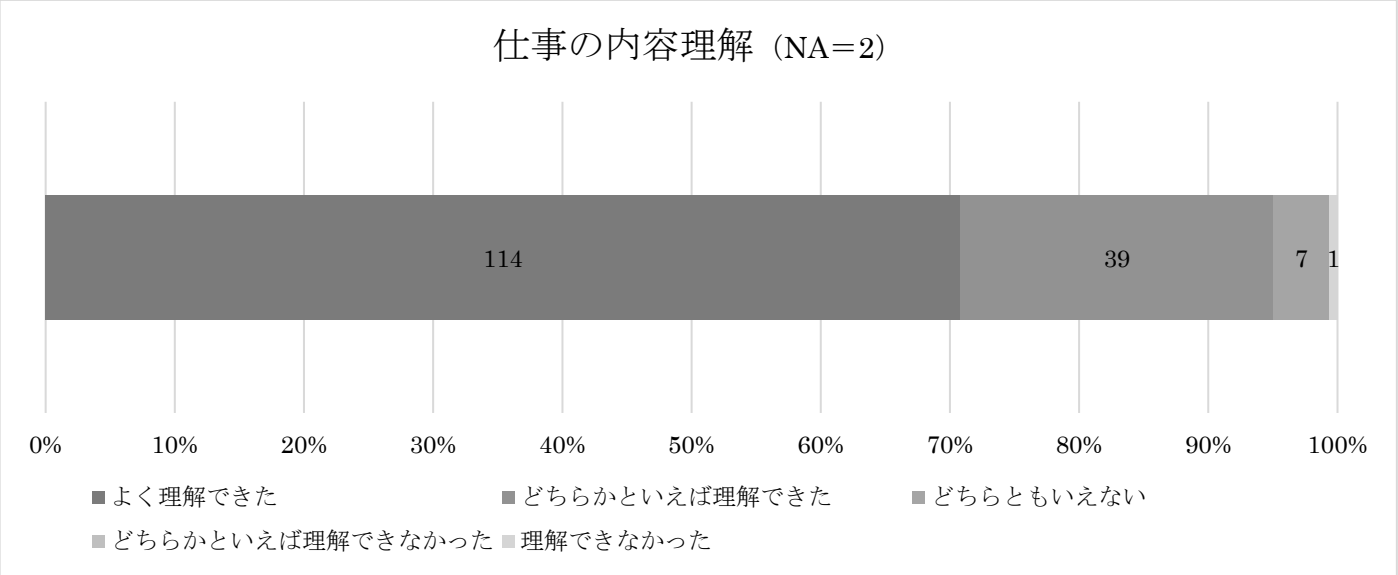


　体験プログラムの組み合わせについて、最も多い組み合わせは、ネイル、缶バッチ、ＶＲで 26 人だった。また、ネイル、缶バッチ、ペットのいずれかを体験したのは 156 人（97.5%）だった。

ネイル	缶バッチ	AI	CA	ペット	VR	合計
〇	〇	〇				6
〇	〇		〇			10
〇	〇			〇		26
〇	〇				〇	11
〇		〇	〇			9
〇		〇		〇		5
〇		〇			〇	0
〇			〇	〇		3
〇			〇		〇	2
〇				〇	〇	9
	〇	〇	〇			14
	〇	〇		〇		9
	〇	〇			〇	18
	〇		〇	〇		5
	〇		〇		〇	5
	〇			〇	〇	14
		〇	〇	〇		0
		〇	〇		〇	4
		〇		〇	〇	9
			〇	〇	〇	1

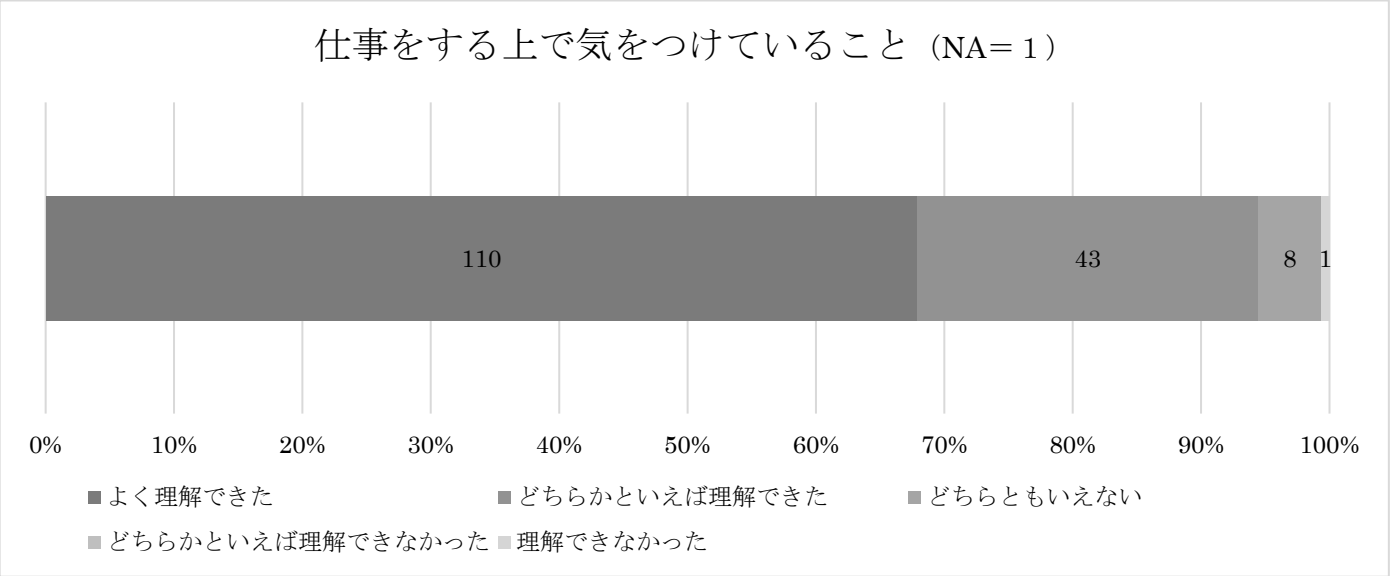
職業体験をしてみて、その仕事の内容が理解できましたか？

よく理解できたが 70.8%だった。



職業体験をしてみて、働いている人がどんなことに気をつけて仕事をしているかがわかりましたか？

よく理解できたが 67.9%だった。



＜体験プログラムごとの「仕事内容理解」「仕事をする上で気をつけていること」平均値＞

※３つのプログラムを重複して体験しているため、体験プログラムごとの正確な平均値ではないことに留意されたい。
※総平均値以上のセルに色をつけている。

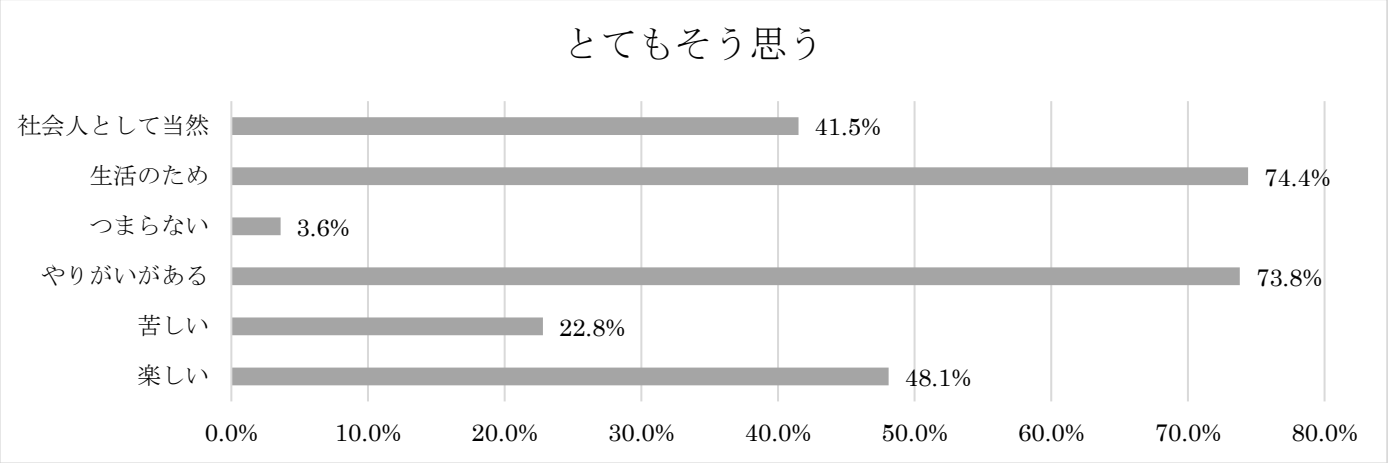
	仕事の内容が理解できた	仕事をする上で気をつけていること
１ネイル	4.728	4.642
２デザイン	4.667	4.619
３AI	4.446	4.459
４CA	4.528	4.585
５ペット	4.713	4.654
６VR	4.708	4.658
average	4.646	4.611

　ネイル、ペット、VR、デザインを体験した生徒は「仕事の内容が理解できた」、「仕事をする上で気をつけていることがわかった」と感じる生徒の割合が高かった。

あなたにとって仕事や働くことはどんなイメージですか？

＜「とてもそう思う」と回答があった比率＞
生活のため 74.4%、やりがいがある 73.8%が 70%を超えた。
楽しい 48.1%、社会人として当然 41.5%が半数弱だった。
苦しい 22.8%、つまらない 3.6%だった。

職業体験を通じて、「働くこと」は「生活のため」であるが、同時に「やりがいがある」という強いイメージを持った。また、「苦しい」イメージは４分の１の生徒が持ったが、その２倍の数の生徒が「楽しい」というイメージを持っている。
「社会人として当然なこと」と４割の生徒がイメージしている。「つまらない」というネガティブなイメージを持つ生徒は 3.6%いた。



＜体験プログラムごとの「仕事や働くことのイメージ」平均値＞
※３つのプログラムを重複して体験しているため、体験プログラムごとの正確な平均値ではないことに留意されたい。
※総平均値以上のセルに色をつけている。

	楽しい	苦しい	やりがいがある	つまらない	生活のため	社会人として当然
1 ネイル	4.395	3.756	4.763	2.897	4.675	4.152
2デザイン	4.373	3.784	4.724	2.922	4.716	4.207
3AI	4.216	3.944	4.603	3.139	4.753	4.247
4CA	4.264	3.760	4.647	3.000	4.686	4.216
5ペット	4.432	3.800	4.728	2.925	4.716	4.238
6VR	4.247	3.847	4.712	2.887	4.822	4.250
average	4.340	3.816	4.694	2.955	4.731	4.214

　ペットを体験した生徒は、楽しい、やりがいがある、社会人として当然というイメージを持った生徒の割合が多かった。

職業体験をしてみて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。

＜ペットに関する自由記述＞

はじめてヘビをさわってみて皮がつるつるしててておなかのところもつるつるしていてさわってよかったと思った。

一番楽しかったのがペットショップでヘビとモルモットに触れたことです。ヘビはおなかがやわらかくてロの点々があるのは紫外線を感知するもので、舌をべろべろするのは香りをかぐため。

ペットはかわいくてよかったし、いい体験になってよかったです。

モルモットはねずみと知ってびっくりした。

ペットショップではヘビやモルモットを触ってみて、ヘビは重いヘビもいるし軽いヘビもいてすごいと思った。モルモットは約５年くらいしか生きられないとわかったし心臓が人間よりかはやいことがわかった。

VR やペットなど、その職業にはそのおもしろさと大変さがある。

専門学校に行ってもできない仕事があることが分かった。特別な資格などが必要ではなくても専門学校や大学で学んだあとその知識を活かしてなれるとわかった。特別な資格などがなくても仕事ができるとわかった。

ペットショップではヘビとモルモットについて知った

今までさわったことのないヘビもさわってみて、結構苦手意識があったけどふれあってみてとても楽しかったしかわいく思えて苦手意識がなくなった。

ペットショップでは自分がペットを飼っていることもあったし、動物に触れるのがすきだったのでとても楽しかったです。

ペットショップの体験ではモルモットとヘビの扱い方や種類を触れ合いを通して理解できました。また、高校だけでは仕事につけない難しいことだということもわかりました。中でも自分はトリマーの仕事に興味を持ちました。

ペットショップではヘビは最初こわかったけどさわっていくうちにヘビってかわいいなと思えました。

ペットショップが一番面白いと感じました。今日はありがとうございました。

初めてヘビをさわれてよかった。

ペットショップの大変さなどを見て、自分が担当したくない動物を担当するかもしれないから、大変そうだと思いました。

ペットショップの職業体験ではヘビをさわってみたりして面白かったです。モルモットもかわいかったです。この体験でヘビが少し好きになった気がしました。
ペットショップでは命の大切さ、怖い動物のイメージをもたれている動物もその子のことを知ればどんどん怖さがなくなりかわいく見えると知れたのでよかったです。

ペットショップでは動物とかかわる仕事の責任や命の大切さを学びました。しかもボールパイソンやモルモットがとってもかわいくて最高でした。

ペットショップでは珍しいヘビなどをさわれて楽しかったです。ヘビとモルモットの健康状態の確認方法とオスメスの区別の方法も知れたのでよかったです。

ペットショップでは動物のことがわかればなれると思ったけど、獣医師にならないといけないし、そうじもとても大変だとわかった。

ペットをしたとき最初にヘビをさわった。感触はみかんみたいだった。ぶよぶよしていた。モルモットも触った。毛がふわふわしていてかわいかった。

モルモットもかわいかったけどヘビをはじめてかわいいと思った。楽しかった。

今日は職業体験をしてみて、ヘビに初めてさわったりモルモットなどの知識を得たりしていろいろな勉強になった

ペットではヘビは骨折をすると初めて知ったり、腸が悪いときはどんなときなど知ることができました。

ペットショップではヘビをだっこしてめっちゃこわかった。

２匹のヘビをさわって違いを見比べたり、心音を聞いたり、すべて楽しかったです。

お客様を思う気持ち、動物を思う気持ちなど仕事によって目的があると思った。

ペットは難しいと思ったけど、動物を触って心臓の音を聞けたり、観察をして楽しかったし、ヘビは自分で獲物や木に巻きついて体を支えていると知ったし、モルモットは６年間か７年間しか生きられないから人の心拍数より早いと知った。

ペットショップではいろいろな動物にふれあい、動物の特徴や動物それぞれに対しての扱い方などが実感できたと思いました。

職業体験をしてみて最初はヘビをだっこしてみて初めてさわってみて驚きました。

特にペットショップは動物たちの命を取り扱うことでお客さん目線だけではわからない生き物の体調も知ることができた。

職業体験をしてみて感じたことは、ペットではお客様に魅力を伝えるためにまず自分から魅力を知ることが大切で、どんな仕事でもまず自分が魅力を知ることが大切だと思ってます。

ペットショップは動物の体調管理や友好関係を築いて気持ちを共有したりするお仕事で、動物の美容や治療、ケア（心）、ガイド、ペットのお世話、そのたもろもろあると知って、私もこの業界で働いてみたいと思いました。

へびは表面と裏では全然違うということがわかりました。

職業を体験して資格や大学に行かないとなれない職業など仕事をする上で気をつけることなどを教えていただいて仕事は大切なんだなと思った。

自分はペットショップの体験で飼い主の責任や売る方の責任など命のかかわっている仕事は、ほかの仕事と違って責任が重いとわかった。仕事をしているときに気をつけていることは、いつのまにかできることなのかと気になった。

ペットショップの体験で、獣医は全部の動物のことを勉強しないといけないのは、覚えることがいっぱいあってとっても大変だと思った。

ネイリストやペットショップ、キャビンアテンダントは、自分が楽しめるしやってやりがいがあると思いました。

ペットショップでは、命のあるものをお客さんに提供しているから動物のことはもちろん、アレルギーのある人についても知っておかないといけないと勉強になった。

ペットショップでは、ヘビは意外とつるつるしていてて、ちょーかわいかった。モルモットはハムスターに似ててかわいかった。毛がモフモフで気持ちよかったし、心臓の音も聞けてすごかった。

ペットショップでは動物にも感情があってその感情が態度で気分がわかることを知りました。

②国頭村立国頭中学校　職業体験



（写真引用：国頭村立国頭中学校公式ホームページ）

職業体験の目的

国頭村での生活では目にする事が少ない職業やインターンシップでの経験が難しい業務体験と職業講話を聞くことができ、体験を通して早期に様々な職業の理解を得る機会とする。

開催日時・場所

2025 年 12 月８日（月）９：50～15：39
国頭村立国頭中学校　体育館

参加者数

３２名（１グループ　８～９名×４回）

体験プログラムと担当者

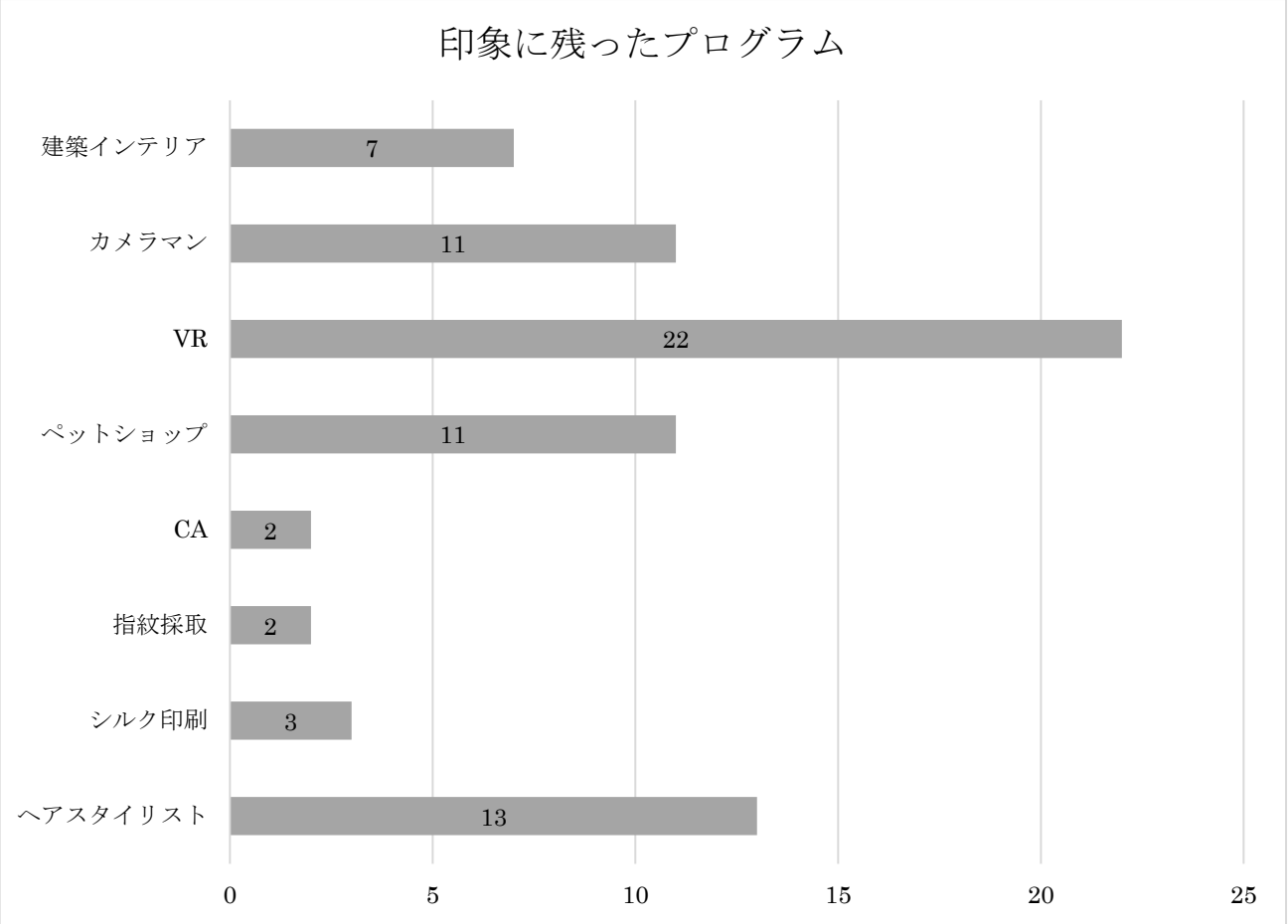
ヘアスタイリスト、シルク印刷、指紋採取、キャビンアテンダント、ペットショップ（仲松謙・仲里祥輝）、VR、カメラマン、建築・インテリアの８プログラムを 25 分ずつ体験

当日の様子

ペットショップ

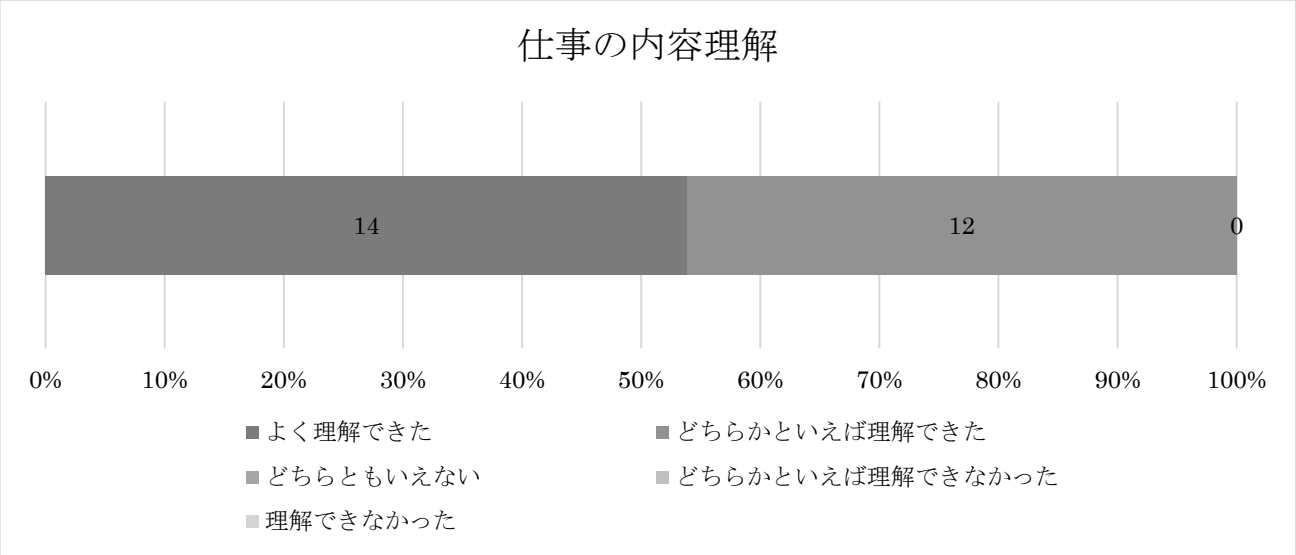


体験プログラム後アンケート結果（アンケート回収数 26）
今回体験したプログラムで印象に残った体験に３つ〇をつけてください。
　VR が最も多く 22 人（84.6%）だった。
　ヘアスタイリスト 13 人（50.0%）、ペットショップ・カメラマンが 11 人（42.3%）、建築インテリア７人（26.9%）、シルク印刷３人（11.5%）、キャビンアテンダント・指紋採取２人（7.7%）だった。



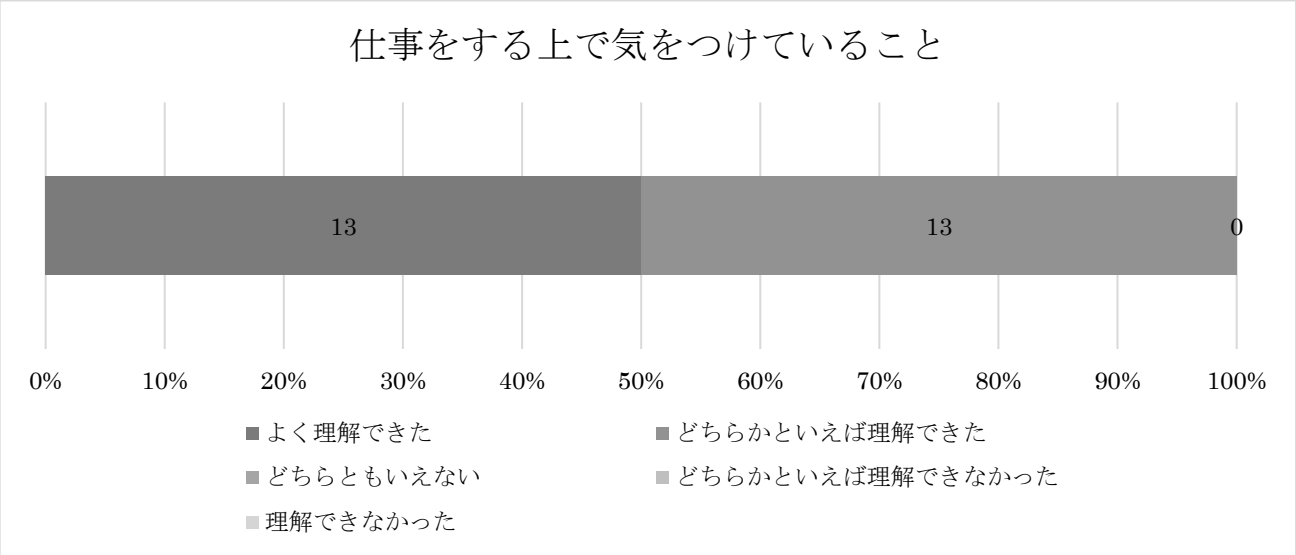
職業体験をしてみて、その仕事の内容が理解できましたか？

よく理解できたが 53.8%だった。

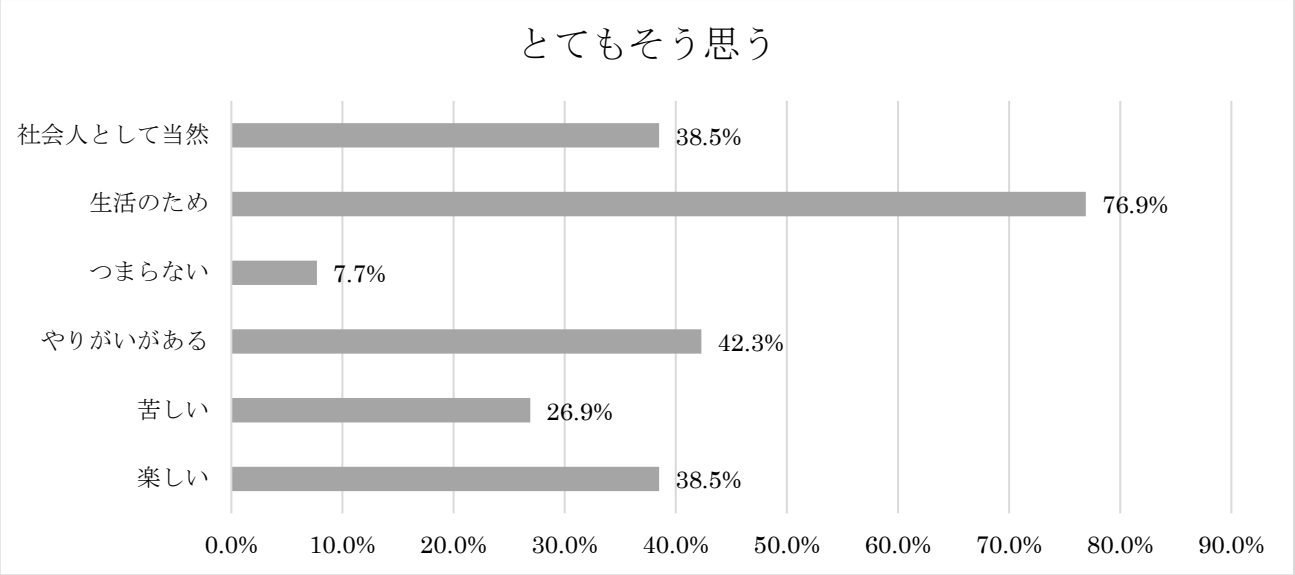


職業体験をしてみて、働いている人がどんなことに気をつけて仕事をしているかがわかりましたか？

よく理解できたが 50.0%だった。



あなたにとって仕事や働くことはどんなイメージですか？
＜「とてもそう思う」と回答があった比率＞
生活のため 76.9%が 70%を超えた。
やりがいがある 42.3%、楽しい 38.5%、社会人として当然 38.5%が約 4 割だった。
苦しい 26.9%、つまらない 7.7%だった。



職業体験をしてみて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。

ペットがもう少しいて欲しかった。もっといろいろな動物とふれあいたかった。

楽しい案外

いろいろな体験ができて本当によかった。自分自身のためになる話しがあった。

色々な仕事をしてみてとても楽しかった。それぞれの個性や好きな事などが大切だということを知れた。

いろんな職業の体験をして仕事って全部難しいものだと思ってたけど、楽しいものもあるんだと思った。

今の時代 AI を使ってどんなことでもできるようになり、仕事をする意味が薄れてきてしまっているが、それでも人間だからこそできる技や工夫をこらして、今の社会を生き抜いていることがわかった。全ての仕事は必ず人との関わりが大切で、いまのうちにたくさんの人々と話すことは将来ためになることだとわかった。

いろいろな体験ができてとてもよかったと思いました。

みなさんはコミュカ高めだと思った。

今回の体験でコミュニケーションの大切さがわかった。今回の体験の講師達の半分以上はコミュニケーションの大切さを教えてくれた。特にカメラマンはそれこそコミュカが必要だと思った。

国頭村ではない職業を体験できたのは新鮮でとても楽しかったです。特にペットショップは国頭にはないしヘビを持つのはとても楽しかったです。

僕らが大人になれば仕事に就かないといけないので、仕事やどんな職業があるのかを知れる体験になったと思います。なので、僕は職業体験で体験した仕事以外の仕事もしっかりと調べて気に入った職業につくためにがんばります。

職業体験をしてその職業の一部しかやっていないけど、その一部をするだけで時間とかがなかったこともたくさんあったので、働いている人はすごいと思いました。

職業体験をしてみて世の中にある仕事のことを知ることができたので良かったです。一番面白かったのは VR とカメラマンとヘアスタイリストです。ヘアスタイリストでは三つ編みで結んだりするのが楽しかったです。VR では別世界にいるような体験ができて楽しかったです。カメラマンの体験ではいろんなアングルで写真を撮っていい写真を撮れた時がうれしかったです。

身近にあるけど、どんな仕事なのか分からない仕事があって知りたいと思っていたけど知る機会がなかったりしたので、今回の職業体験でどんな事をしているのかをおおまかに知ることができてよかったです。私はするなら技術職がしたかったけど稼げないと思って、別の仕事の方がいいのかなと思っていたけれど、技術職は人間にしかできないから需要が高まっていると知れて安心しました。

美容師がたのしかった。

国頭村になり職業を体験することができて意外と大変な仕事が多かった。

自分もちょっとはこの職業やりたいと思った。

いろんな仕事があるということがわかった。キャビンアテンダントの人は、海外に着陸したらショッピングができると言っていて楽しそうだなと思った。

実際に見たことのない仕事がたくさんあって、全部楽しく出来た。自分も大きくなったらこんな仕事に就い

てみたいと思ったものが多くあった。

たのしかった。建築とかインテリアのやつが特にたのしかった。自分はつくるのとか楽しかったからたのしかった。

なんか、みんなお金のためじゃなくて、自分のために仕事やってた。

お客さんもしてみて、言葉遣いとか気をつけることをわかりました。

人それぞれいろんな気持ちで仕事してた。

世界にはいろいろな仕事があると知れた。

みんな少しはお金の事を考えているけど、ほとんどお客様のために働いていることがわかった。私も仕事をするときはお客様を第一にして仕事をしたいなと思いました。

今回行った８つの職業体験で正直一番楽しかったのは VR です。午前が終わった後も人が集まっていてやはり今の時代はゲームが人気なんだなと思いましたが、ほかにもシルク印刷では自分が書いた絵をカバンに印刷したり、ペットショップではヘビをさわってみたりなどして、他の仕事も楽しいのが多かったので良かったなと思いました。

③浦添市立神森中学校　職業体験



（写真引用：浦添市立神森中学校公式ホームページ）

開催日時・場所

2025 年 12 月 19 日（金）　　８：50～12：40

神森中学校体育館

体験プログラム（担当者）と体験時間

１ネイル、２缶バッチデザイン、３鑑識官・指紋採集、４キャビンアテンダント、５ペットショップ（永井洋美・仲里祥輝）、６VR の６プログラムの中から２プログラムを選択（1 プログラム 30 分）

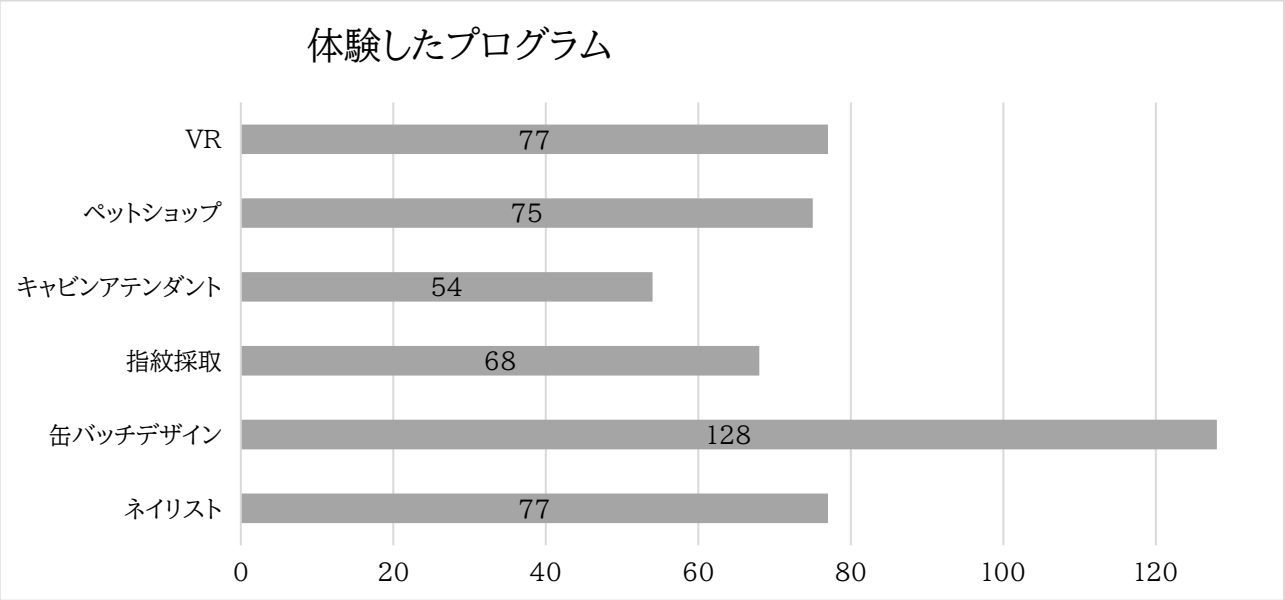
当日の様子

ペットショップ



体験プログラム後アンケート結果（アンケート回収数 241）
今回体験したプログラムは何ですか？2 つ〇をつけてください。

缶バッチデザインが最も多く 128 人（53.1%）、次いでネイリスト・VR57 人（32.0%）、ペットショップ 75 人（31.1%）指紋採取 68 人（28.2%）、キャビンアテンダント 54 人（22.4%）、だった。



体験プログラムの組み合わせについて、最も多い組み合わせは、缶バッチ＋ネイルで 42 人（17.4%）だった。

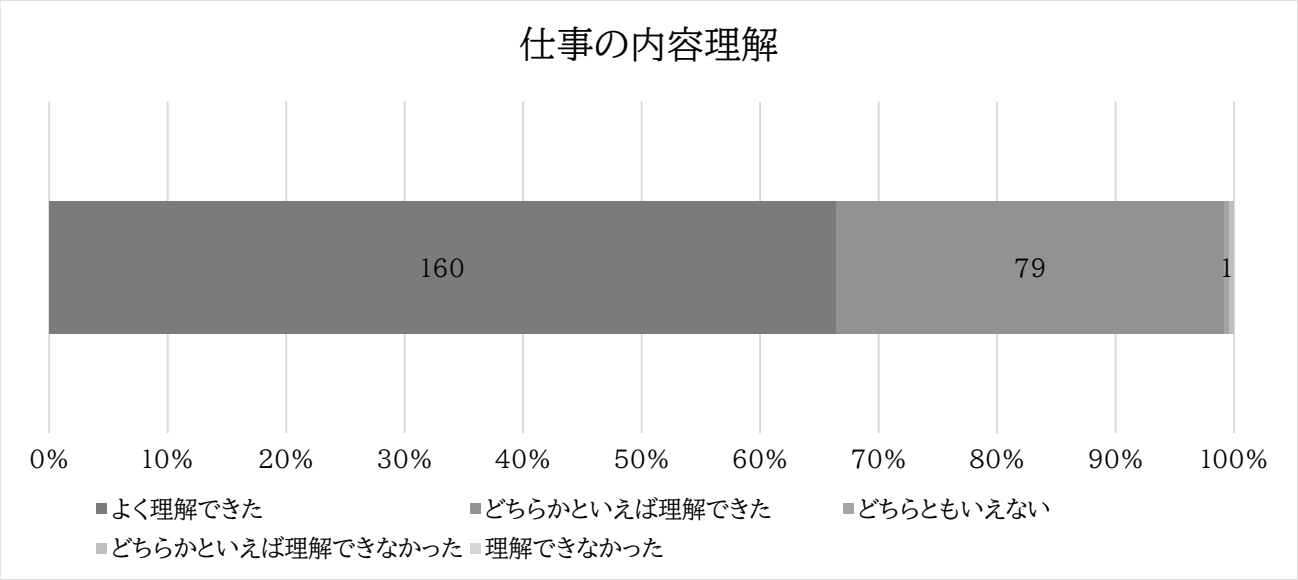
缶バッチ＋ペットは 25 人（10.4%）、缶バッチ＋指紋、缶バッチ＋VR は 24 人（10.0%）だった。

ネイル	缶バッチ	指紋	CA	ペット	VR	合計
〇	〇					42
〇		〇				7
〇			〇			14
〇				〇		7
〇					〇	6
〇※						1
	〇	〇				24
	〇		〇			13
	〇			〇		25
	〇				〇	24
		〇	〇			4
		〇		〇		15
		〇			〇	18
			〇	〇		11
			〇		〇	12
				〇	〇	17

※ネイルのみ体験した生徒が 1 人いた。また、無記入の生徒が 1 人いた。

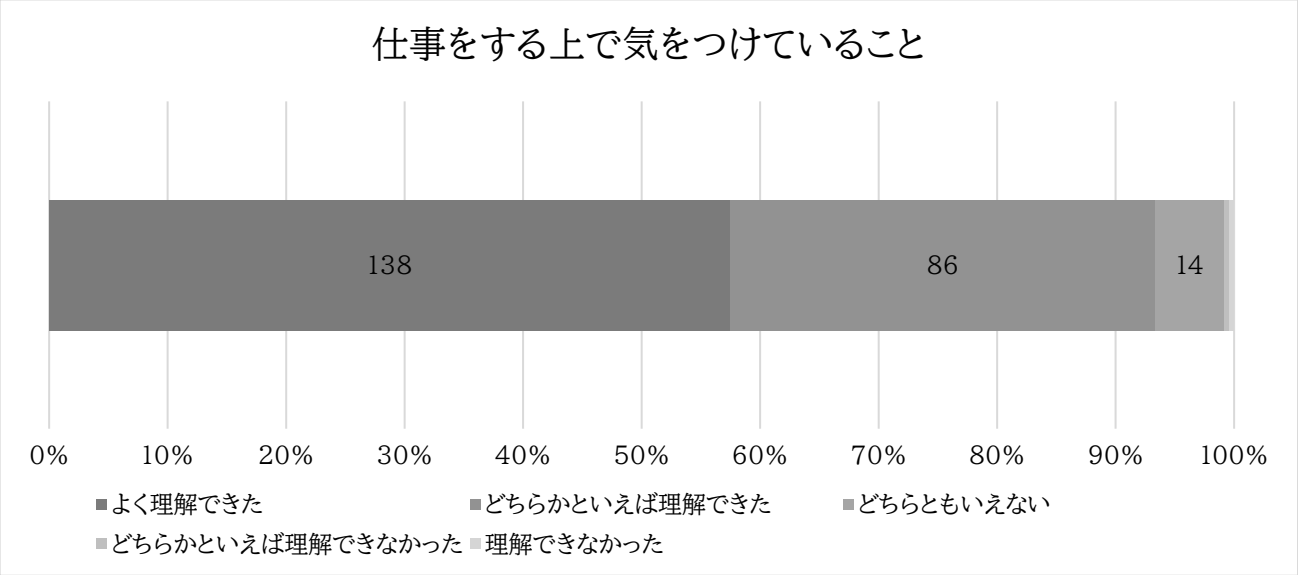
職業体験をしてみて、その仕事の内容が理解できましたか？

よく理解できたが 66.4%だった。（ｎ＝241）



職業体験をしてみて、働いている人がどんなことに気をつけて仕事をしているかがわかりましたか？

よく理解できたが 57.3%だった。（ｎ＝241）



＜体験プログラムごとの「仕事内容理解」「仕事をする上で気をつけていること」平均値＞

※2 つのプログラムを重複して体験しているため、体験プログラムごとの正確な平均値ではないことに留意されたい。
※総平均値以上のセルに色をつけている。

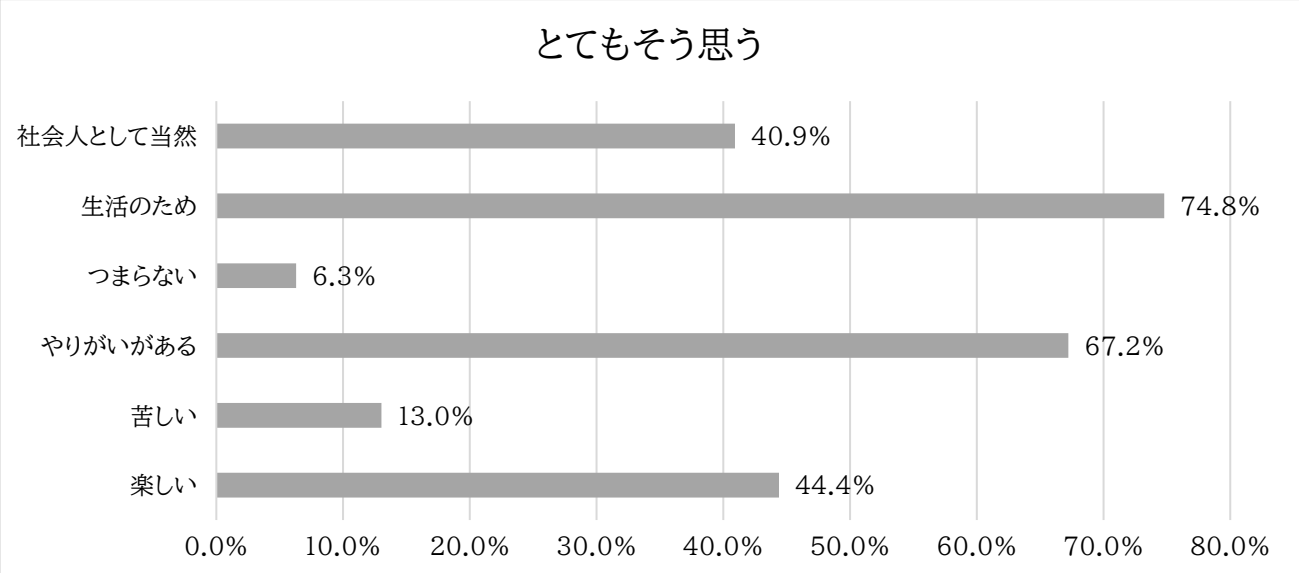
	仕事の内容が理解できた	仕事をする上で気をつけていること
1 ネイル	4.675	4.355
2デザイン	4.656	4.469
3指紋	4.603	4.485
4CA	4.796	4.648
5ペット	4.667	4.693
6VR	4.532	4.382
average	4.651	4.496

CA を体験した生徒は「仕事の内容が理解できた」と感じる割合が特に高かった。
CA やペットを体験した生徒は「仕事をする上で気をつけていることがわかった」と感じる割合が特に高かった。

あなたにとって仕事や働くことはどんなイメージですか？

＜「とてもそう思う」と回答があった比率＞
生活のためが 74.8%、やりがいがあるが 67.2%だった。
楽しい 44.4%、社会人として当然が 40.9%だった。
苦しい 13.0%、つまらないが 6.3%だった。

職業体験を通じて、「働くこと」は「生活のため」であるが、同時に「やりがいがある」という強いイメージを持っている。
また、「苦しい」という強いイメージは 13.0%、「楽しい」という強いイメージは 44.4%の生徒が持っている。
「つまらない」というネガティブなイメージを強く持つ生徒が 6.3%いた。



＜体験プログラムごとの「仕事や働くことのイメージ」平均値＞
※2 つのプログラムを重複して体験しているため、体験プログラムごとの正確な平均値ではないことに留意されたい。
※総平均値以上のセルに色をつけている。

	楽しい	苦しい	やりがいがある	つまらない	生活のため	社会人として当然
1 ネイル	3.325	2.658	3.688	1.974	3.792	3.307
2デザイン	3.352	2.614	3.627	1.969	3.654	3.135
3指紋	3.250	2.746	3.657	1.985	3.738	3.388
4CA	3.370	2.660	3.642	2.075	3.685	3.094
5ペット	3.387	2.568	3.662	1.865	3.699	3.149
6VR	3.286	2.803	3.579	2.039	3.714	3.250
average	3.332	2.668	3.639	1.979	3.710	3.219

職業体験をしてみて、感じたことや思ったことを自由に書いてください。
＜ペットに関する自由記述＞

休憩でペットショップの所をみてヘビがいたりしておもしろうそうだなと思ったから、やりたいと思った。

ペットショップはかわいいも大事だけど一番大事なのは健康が大事とわかった。健康じゃないと売り出せないとはじめてしった。

ペットショップはモルモットやヘビがいてびっくりしました。イヌやパンダも連れてきてほしいです。

ペットショップの見学でヘビがしがいかと思っていたら、生きていたことに驚いた。モルモットみたいなのは何の生き物なのか気になる。

ペットショップの体験を見たら、本物のへびが見てびっくりした。

ペットショップなどの動物をあつかう仕事はストレスや健康に気をつかうからお世話はとても難しいんだと思った。

ペットを飼ってもらうために正しい飼育方法や食べさせてはいけない食べ物を伝える知識が必要だと分かりました。動物関連の職業になるための大学はどこにあってどれほど勉強がいるのかをいまのうちから決めておきたいと思いました。他の職業も体験・見学して楽しい職業はたくさんあった。

ペットショップで働く人は、資格もとらないといけないし、大学にも 6 年間通わないといけないって、そうとうきつくてすごいと思いました。

ペットショップでは今まで関わったことのないお仕事をしれて、ヘビにふれて、モルモットの心臓の音とか、自分の心臓の音をきけました。森の木を切る人たちがいて、ヘビたちの住む場所がなくなってしまっていることもわかりました。

ヘビがかわいかった。モルモットのオスメスのはんだんができるようになった。

ペットショップはヘビとモルモットがきていました。ヘビの体調面とかの説明をうけてヘビについてよく知ることができました。モルモットの心臓の音もきくことができました。

ペットを売るときには買う人にこのペットのことを事前に伝えといてやったらいけないことを伝えるのが重要だと分かりました。そうしないとペットが急にかみついたりしてそのペットを捨てたりする人がいると分かりました。

ペットショップの人はどうやって動物を判断しているんだろうと思いました。ヘビがおもったよりやわらかく感じました。心臓でじゅみょうが分かるといっていたけど、一分に 1 回だとどのくらいに長生きするんだろうと思いました。人間以外の動物もストレスを感じるんだなと思いました。

職業体験をしてペットショップをやってみたいと思いました。なぜなら、自分が動物が好きなのでやってみたいと思いました。そのためにはペットのしかくをとらないとできないことがわかりました。
ペットショップでは、ヘビやモルモットの生体やあつかいかたを学び、実際にさわれてとても楽しかったです。

動物のストレスにならないように配慮したり、ペットの食べ物で食べていけないもの、さわってはいけないことなどこと細かく教えてくれました。

最初ボールパイソンというヘビの種類を知ることができました。人生で初めてヘビとふれあうことができたのでとても良かったと思いました。ヘビの特徴とかも知ることができたのでとても楽しかったです。モルモットとふれ合う時に、永井洋美さんにモルモットがどういう生き物かと詳しく k 教えてくれたので、知識が

増えました。

ペットショップではペットが好きなだけではこの仕事にはつけないということをおしえてもらって、この言葉が一番心にのこっています。ヘビやモルモットをさわってみて、いろいろ知ることができたし、とてもかわいかったです。

ペットショップは色々な動物の特徴などを理解しておかないと上手く仕事ができなかったり、動物たちにストレスになってしまうことがあると知り、その職業をしている人がたくさん努力してきたんだなと思い、すごいなと思いました。

ペットショップの人は動物に対して気遣うことがなかなかたくさんあるから、難しい職業だなと思った。えさや気持ち、衛生管理などすごくがんばらないといけないし、お客様にする説明のために動物の生態とか覚えないといけないのかなって思った。ヘビをさわったり、見たりするのが初めてでさわったときの感触が不思議だった。

普段さわれないようなヘビがさわれて、モルモットの寿命などが分かった。

ペットショップだと、国家資格が必要だったり、愛がないとできない仕事でそのペットの気持ちを分かる必要もあって、モルモットやヘビなどの動物はひょうじょうが少なくて分からない人のほうが多いけどペット関連の人達はそれさえも分かっていてすごいと思いました。

ペットショップはどんな仕事をしてるんだろうと思ったけど、みて・きいて・動物の飼い方やじゅみょう、えさの挙げ方などをおしえて客とペットがどっちも気持ちよく生活できるようにおしえているとわかった。

ペットショップの体験をしたときにさいしょ、へびをみせてもらってすこしこわかったけど、動物の気持ちを考えるとあんぜんといわれて、とてもすごいなと思いました。ヘビを見ておわったあとに、モルモットの心ぞうの音をきかせてもらって、人間よりとっても早くてとてもびっくりしました。

ペットショップの人々はちゃんと動物のからだのつくりや動き方をして、育て方やえさすべてを知ってお客様にうるために努力しているんだなと思った。

動物に関わる仕事だけで 16 個以上あるのを初めて知った。また、初めてヘビをさわってなんかすごいなって思った。なんか、ぷにぷにではないけど、なんかすごくてあとゴワゴワしてて色々すげーって思った。

まさかのヘビがいた！普通はヘビじゃなくて犬とか猫とか小さいものかと思ったけれど、ヘビがいたから貴重な体験ができたからおもしろかったです。
ペットショップは資格があるものとないものがあって、大変だなと思いました。

ペットショップではえさをあげたり、健康や元気な動物を売ると聞きました。

売っているペットを健康でいさせるためにちゃんと食事をしているかなどを見ないといけないとわかった。その他に、どこをどのようにさわってはいけないのかがわかった。

いろんな種類の動物があり職員とかの動物の飼育が大変だなと思った。

普段動物とかふれあわないから良い経験になった。ヘビは小さい顔と細いベロ、ずっとくねくね動いている様子がとてもかわいかった。モルモットはずっとそばにいてほしいかわいさがあったし、心拍数も聞けて楽しかった。

ペットショップはヘビもさわれてモルモットもさわれました。獣医は大学にいかないと獣医になれないことがわかりました。

ペットショップではヘビとモルモットをさわった。ヘビはちょっとざらざらしててやわらかかった。ヘビは

頭をさわるといやがると分かった。鼻の所に熱をかんじるところがあってそれでネズミの体温を感じて食べるとわかった。モルモットはフワフワしてて心臓が早かった。ペットショップは普通の体調と悪いときの体調を知らないといけない。

生き物の気持ちを考えるとか、さわられていやなところなど知らなかったこともしったのでよかったと思いました。

モルモットの心臓のことなど役に立つ知識が増えました。

ペットショップでは動物のことを思いやりながら、世話をしたりすることで動物は噛むことも抵抗することもなくなるから、人間動物関係なく相手の気持ちを考えることが大切だと分かりました。

動物の世話をするだけでなく、お客にその動物を飼う上で大切なことや気をつけた方がいいことを伝えたり、健康状態を気にし病気の看病などをすることが分かりました。

自分が就きたい職業につくためには、その資格が必要で、その資格が取れる大学に入って ６ 年間くらいがんばるらしく、それを聞いて、自分が今つきたい職業のある高校や大学に入るために勉強をがんばる。

ペットショップは自分が思ったより多くの仕事があり、獣医はもちろん動物の毛をきる仕事や動物の健康管理の仕事など想像した数以上のさまざまな分野の仕事がたくさんあった。

説明を聞いて実際にしたらこんなこともするのかと感心したり、ヘビにさわる時のヘビのひふがデコボコしてたり、モルモットとかにさわることもできて嬉しかったです。あと、モルモットの体のもようと私の靴下のもようの色がかぶってて少し笑ってましたが、動物とのふれあいが楽しかったです。

ペットショップの人たちはしかくやせんもんがっこうがあるといっていました。そしてニシキヘビのなかまのせなかをさわってみたら、ムチムチしてきもちかったです。

ヘビをさわってみてヘビってこんなしょっかんなんだなーと思いました。モルモットは毛があんがいザラザラしていると感じました。

ヘビをさわったときにすごく変な感触がして少しゴムみたいなかんじでした。モルモットをさわったときは、とてもふさふさで目がくりくりで、おこったときに布をかむところがすごくかわいくておもしろかったです。

ペットがほしいから買いたいとなるけど、じぜんに調べてから買わないといけないとダメとわかった。

動物を売るということを考えるだけじゃなくてしっかりとペットになる動物のことを考えてて、どこをさわったらこうなるなーとか動物の健康面もちゃんとみていて、この人にとってはやりがいがあって楽しい仕事なんだなーとかんじた。

ペットショップの人は、動物が好きな人がおもにやっていて、動物がやられたらいやなことを学んだりして、それをお客様に説明したりすることがわかって、動物のことでなく接客もたいせつなんだなと思いました。

ヘビやモルモットのことにいついてもよく知れたし、動物に関わる仕事が思っていたよりもたくさんあって職業は本当にいろんなものがあるんだと感じました。

ペットショップはたとえば、ヘビにたいしてヘビのことをしっかりきづかったり、みんなに伝わりやすく説明をしてくれたりモルモットもこの子のさわったらいやなところとか知っててすごいなって思います。

仕事をしている人はそれなりに努力していることがわかったし、大学などに行ってからじゃないとできないので、私自身も勉強したいと思いました。私はペットカフェサロンで働いてみたいです。また将来なりたい夢を知ることができました。いいけいけんだったです！

ヘビをさわってすごいしょっかんだなと思いました。ペットショップでは自分が調べたことよりも大変でとくにえさやりや体調管理が大変そうでした。

動物を買うにあたってかんきょう作りをしっかりしたり、動物のふちょうなときのしぐさやうんちの調子をよく見ることが飼うにあたって必要な知識があると知ることができました。

ヘビをさわれるのはきんちょうしたけどさわってるとプニプニしてかわいかったです。すこしずつしょうらいのゆめがきまってきました。

ペットショップの仕事をしてみてペットを飼う人にどういうことを説明したり、ペットのけんこうかんりもしているんだと分かりました。

ペットショップは生き物を飼うお客様に「この子はこういう性格でこういうことをしたらおこる」とか「この動物はこれは食べさしたらダメ」などを伝えたりしてお客様をサポートする仕事というがわかった。

4.5　中部農林高校職業意識に関する調査報告

高校生の職業意識に関する調査

調査の目的

令和 ６・７ 年度「沖縄・動物分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の教育効果測定をするために、本プログラム前の１年次と本プログラム後の２年次の職業意識の変化を調査した。

調査方法等

	中部農林高校R6年１年	中部農林高校R7年２年
調査時期	2024年９月	2025年12月
有効回答数	39	20
調査方法	集団質問紙法	集団質問紙法
調査対象	熱帯資源科	熱帯資源科動物コース

調査対象および比較対象基本属性

	R6年１年	中部農林高校R8
男女比	男25% 女70% 他5%	男10% 女90%
学年	１年：100% ２年：0% ３年：0%	１年：0% ２年：100% ３年：0%

中部農林高校プログラム前調査（1 年）

R6 年度中部農林高校 1 年

日時　2024 年 9 月 5 日

対象　熱帯資源科　1 年生

人数　39 名（男 6 女 32 他 1）

R7 年度中部農林高校 2 年

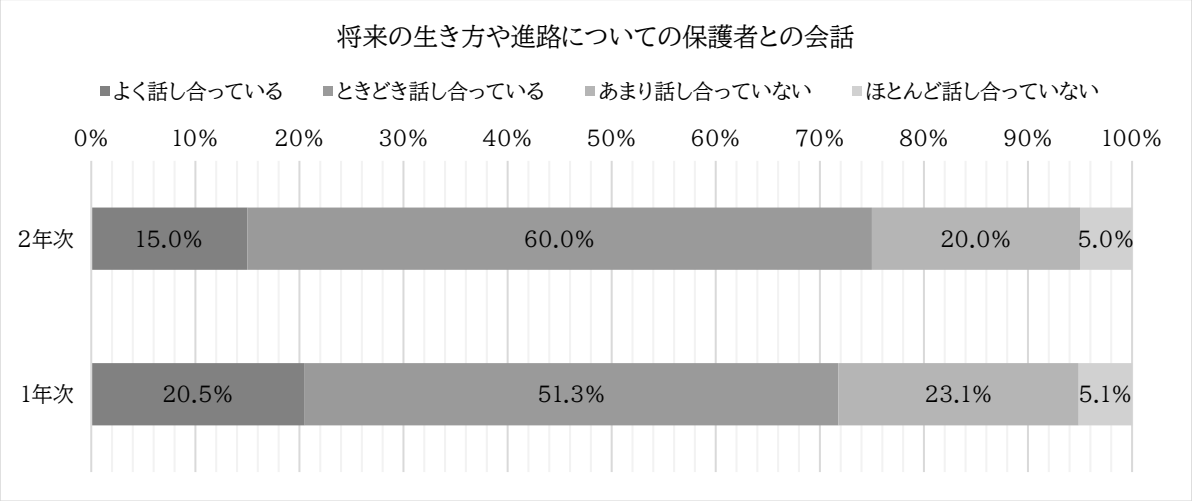
日時　2025 年 12 月 4 日

対象　熱帯資源科動物コース 2 年生

人数　20 名（男 2 女 18）

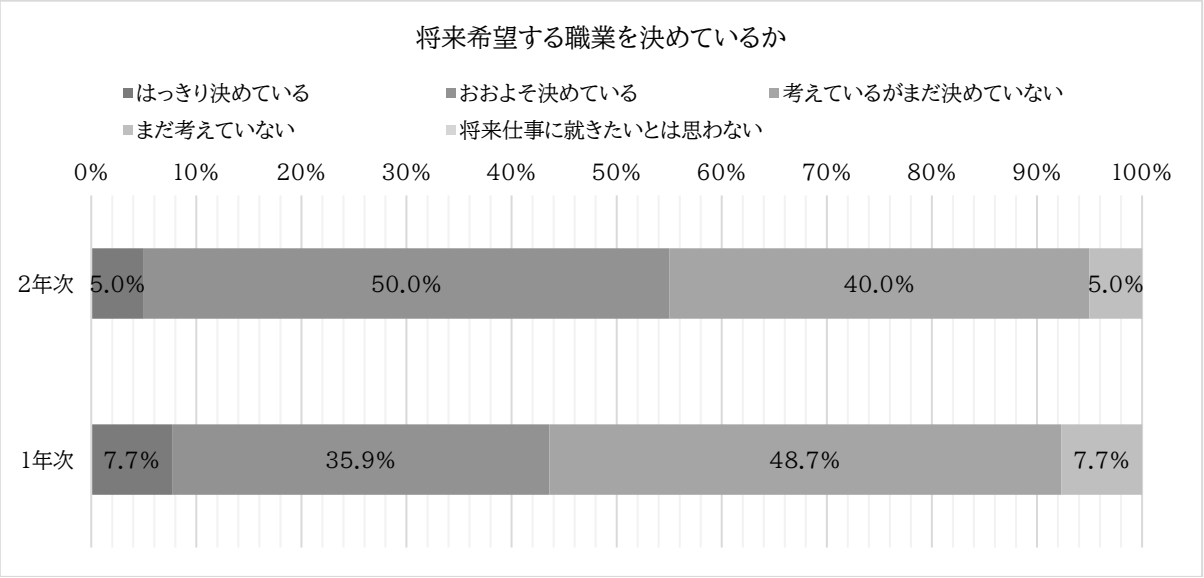
将来の生き方や進路についての保護者との会話

将来の生き方や進路について保護者と「よく話し合っている」生徒の比率は 5%減少した。「ときどき話し合っている」と回答した割合を合わせると 75.0%で、1 年次と（71.8%）と比較すると上昇した。

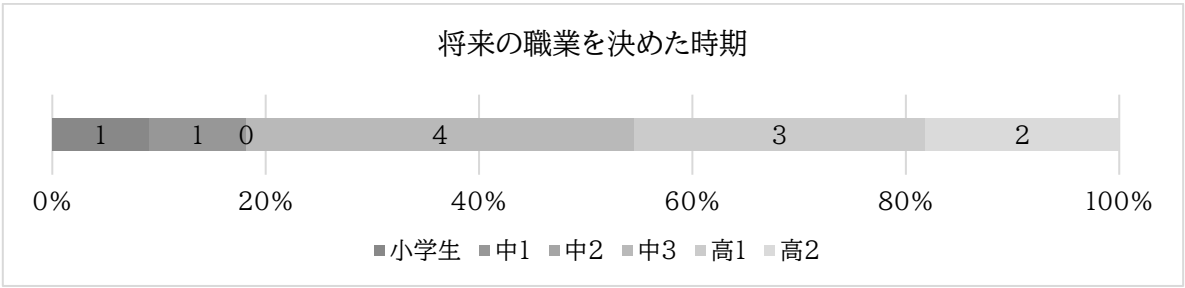


将来希望する職業を決めているか

将来希望する職業を、「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と回答した割合は 55.0%で、１年次（43.6%）と比較すると上昇した。

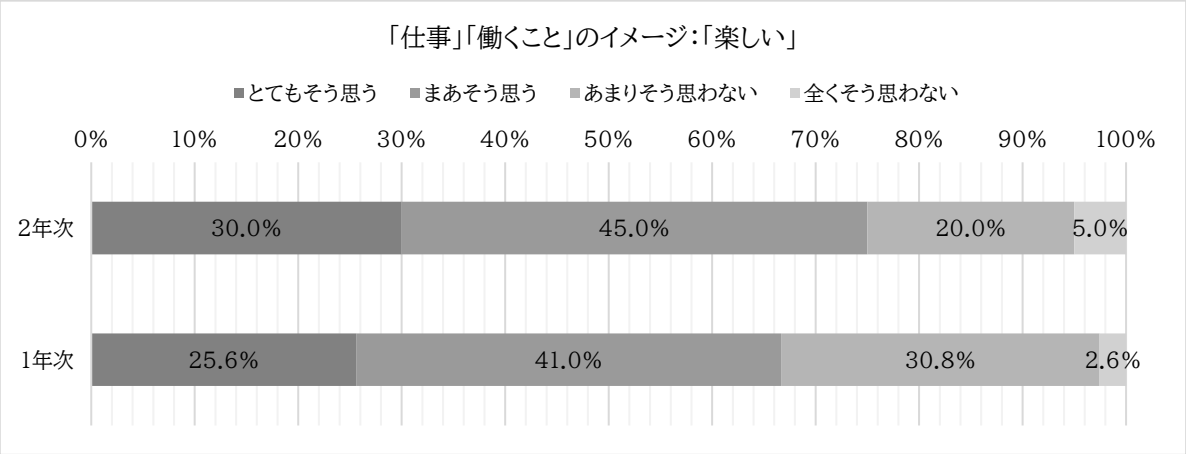


将来希望する職業を、「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と回答した者について決定した時期を聞いたところ、中３が４人で最も多く高校選択時に将来の職業を関連させた進路選択が行われていたことがうかがえる。
また、高２進級コース選択も将来のキャリアを考える機会になっていると思われる。

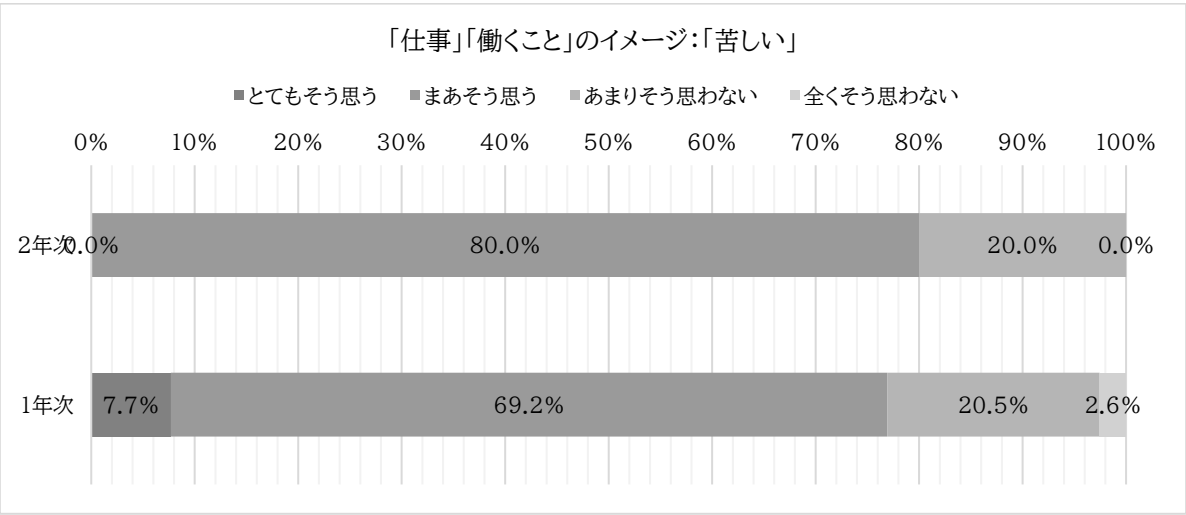


「仕事」「働くこと」のイメージ

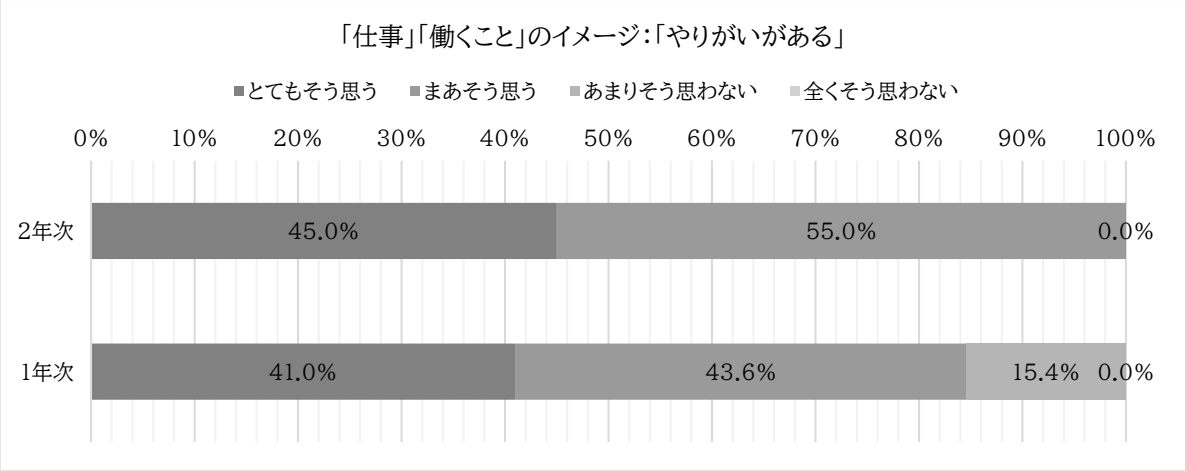
「楽しい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 75.0%だった。１年次（65.6%）と比較すると約 10 ポイント高くなった。



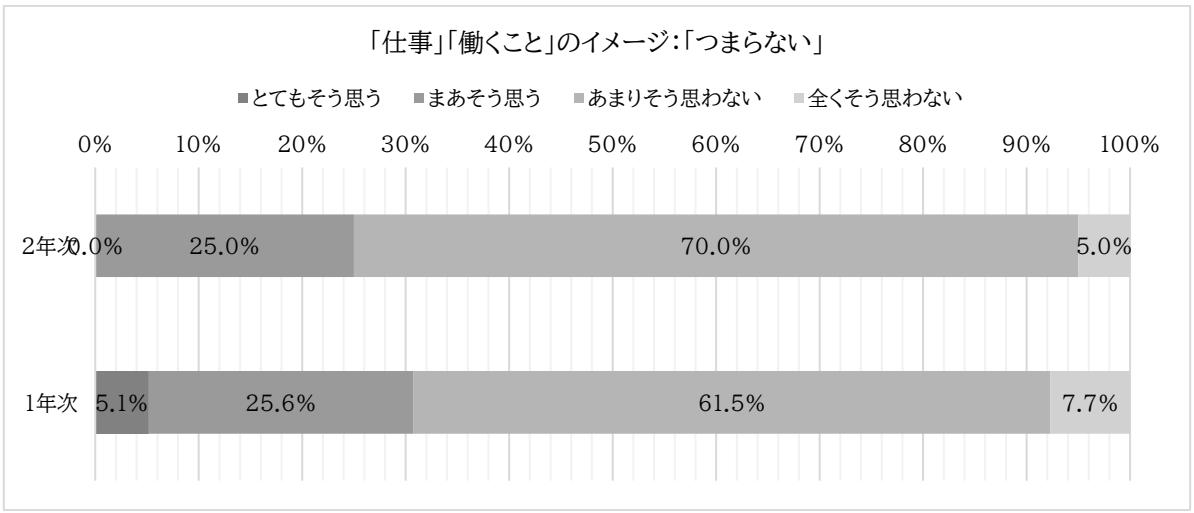
「苦しい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 80.0%で、１年次（76.9%）と大きな変化はなかったが、「とてもそう思う」生徒は０人になった。



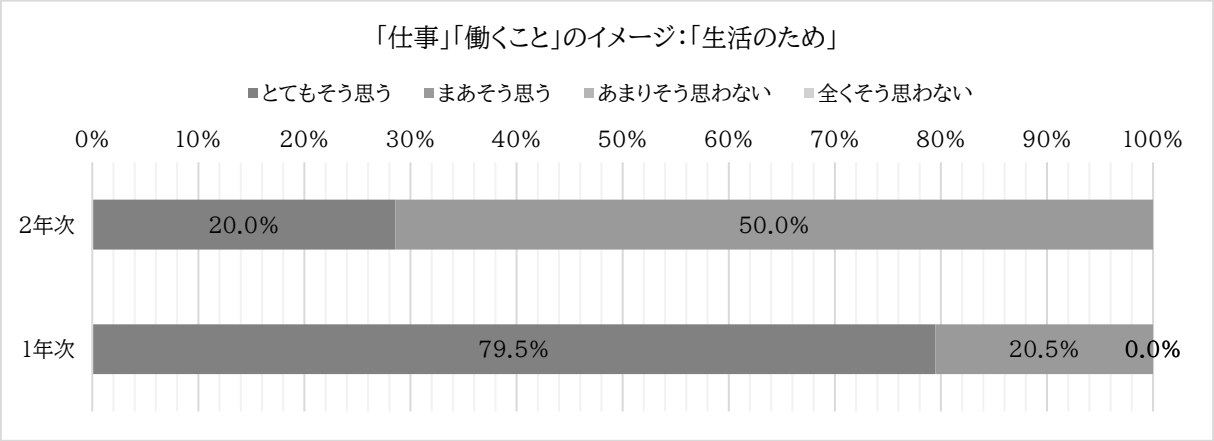
「やりがいがある」について「とてもそう思う」「まあそう思う」が 100.0%だった。１年次（84.6%）と比較すると高くなった。



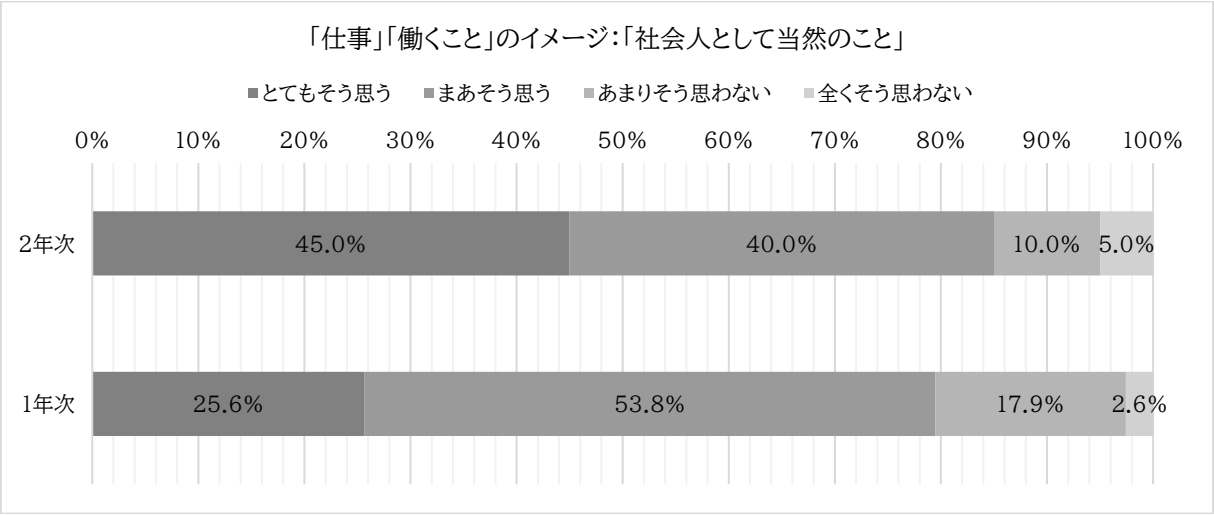
「つまらない」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 25.0%で、１年次（30.7%）と比較すると大きく変わらなかったが、「とてもそう思う」生徒は０人だった。



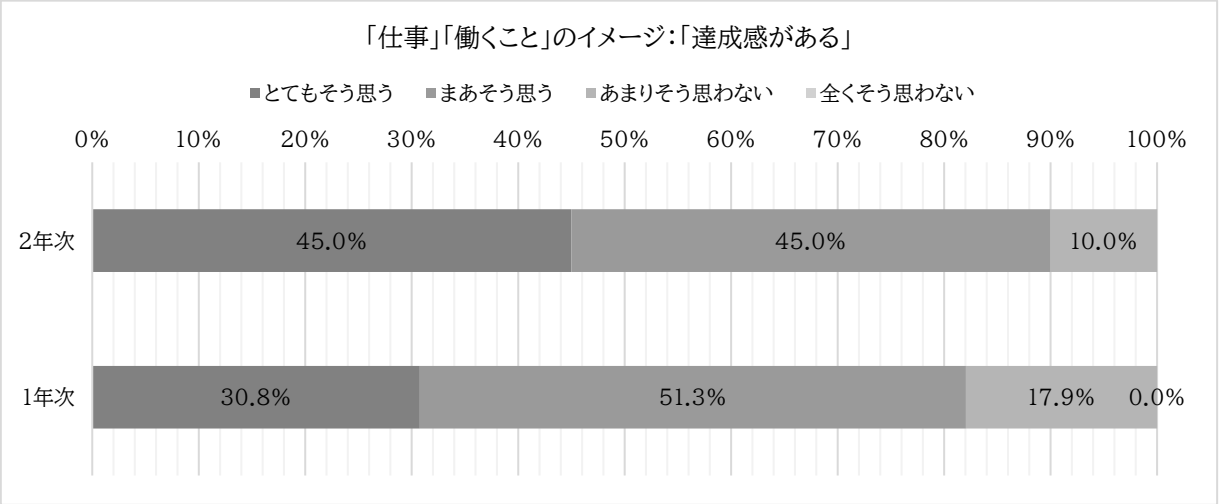
「生活のため」について、「とてもそう思う」が 20.0%で、１年次（79.5%）と比較すると大きく減少した。



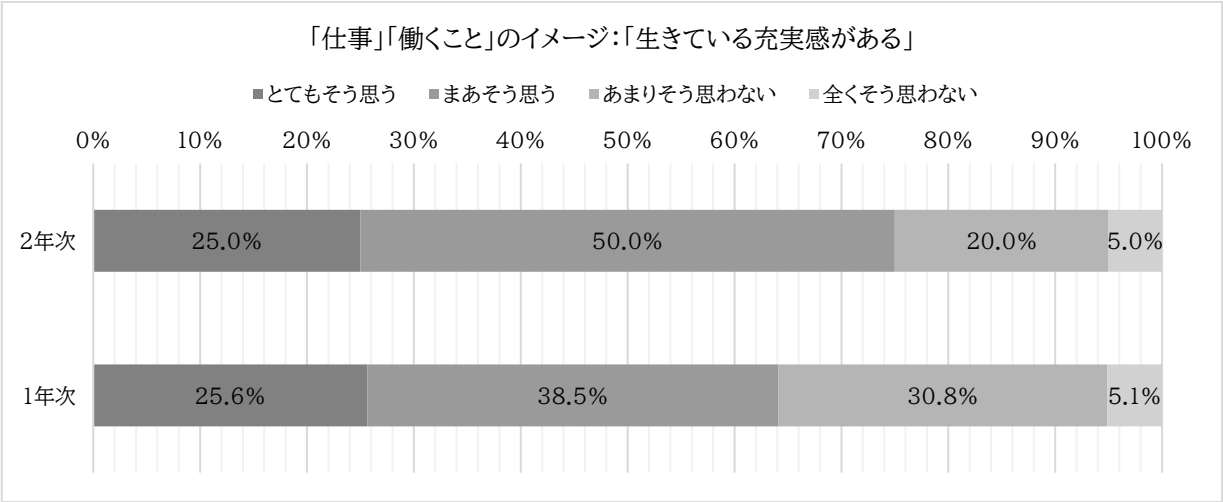
「社会人として当然なこと」について、「とてもそう思う」が 45.0%で、１年次（25.6%）と比較すると 19 ポイント高くなった。



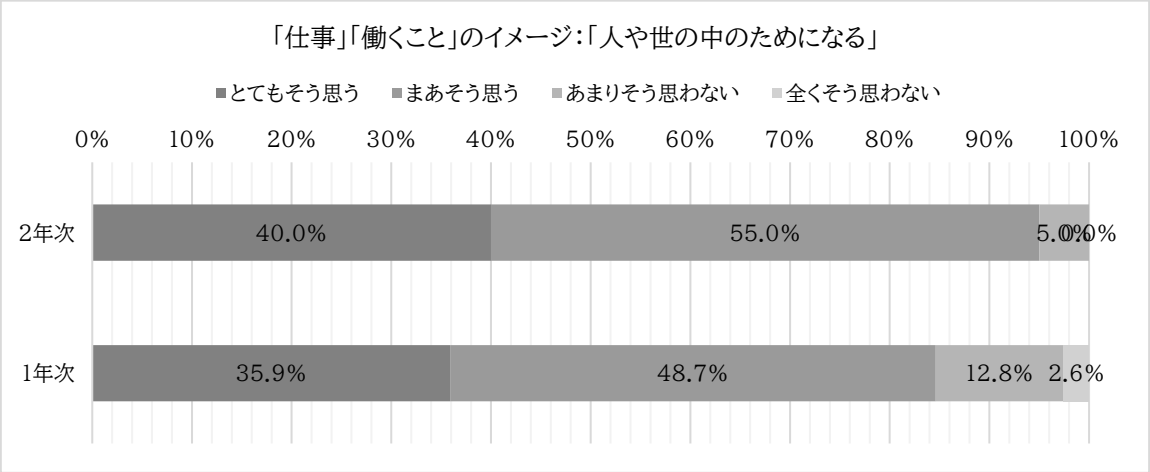
「達成感がある」について、「とてもそう思う」が 45.0%で、１年次（30.8%）と比較して、14 ポイント高くなった。



「生きている充実感がある」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 75.0%で、１年次（64.1%）と比較して、９ポイント高くなった。

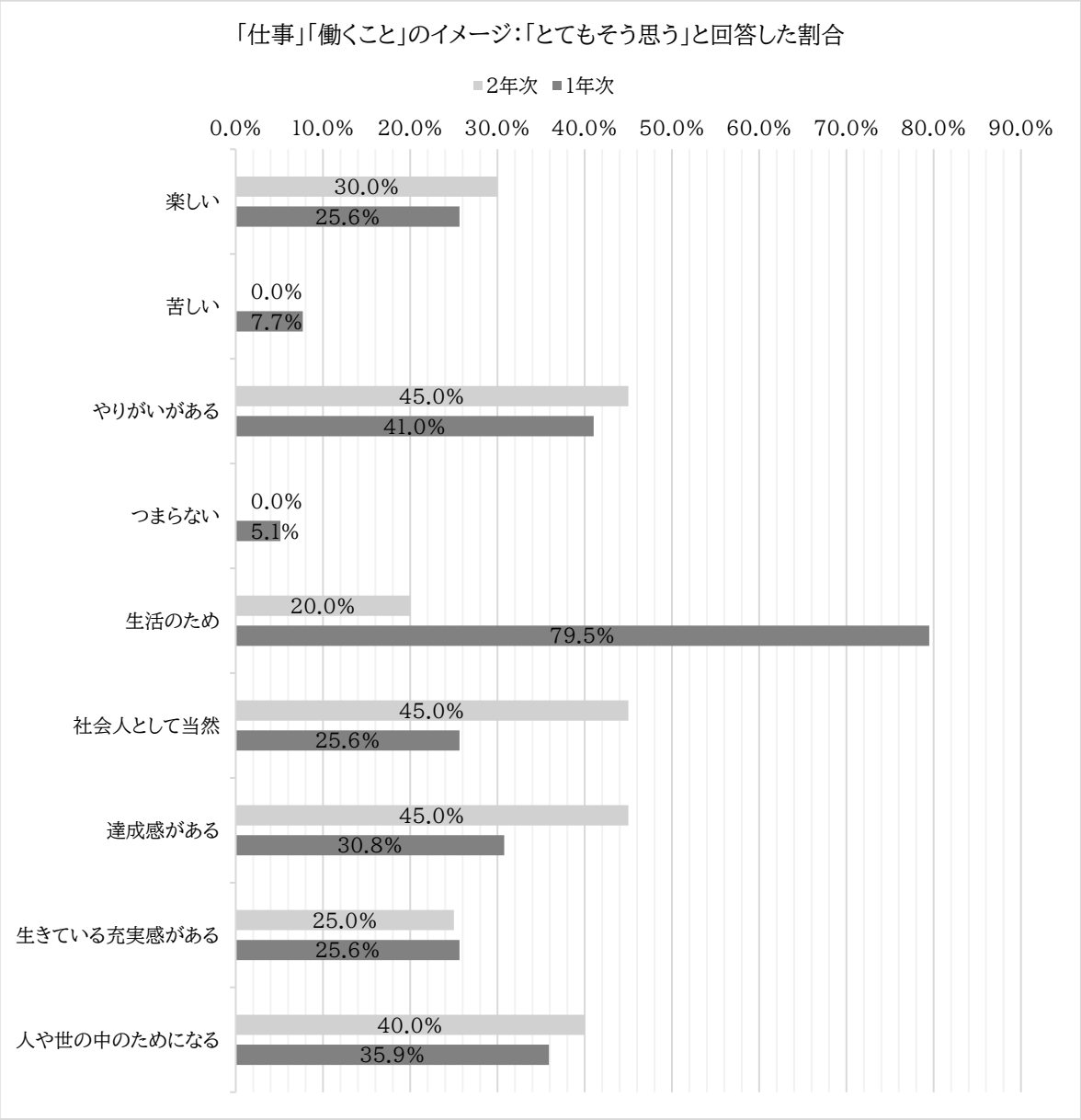


「人や世の中のためになる」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 95.0%で、１年次（84.6%）と比較すると、10 ポイント高くなった。



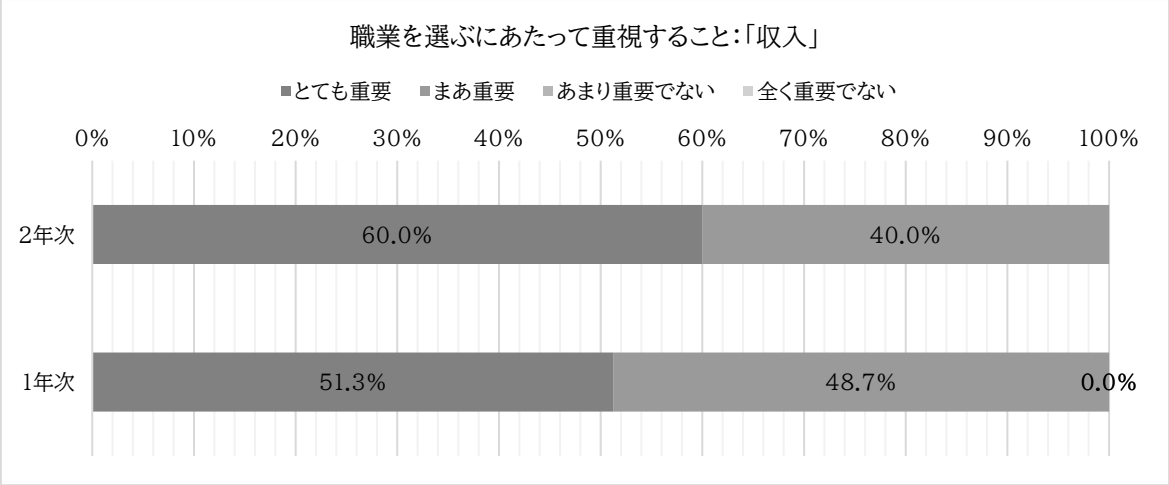
働くことのイメージの６項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

１年次は、「生活のため」が 80%と非常に高く、「やりがいがある」「人や世の中のためになる」が 40%前後だった。
２年次になると、「やりがいがある」「社会人として当然」「達成感がある」が 45%となり、職業観が変化していることがわかる。
変化率について、１０ポイント以上差があった項目は、「生活のため」「社会人として当然」「達成感がある」の３項目で、強い職業観のイメージ（「とてもそう思う」項目）は、全項目中３割程度しか変化していない。

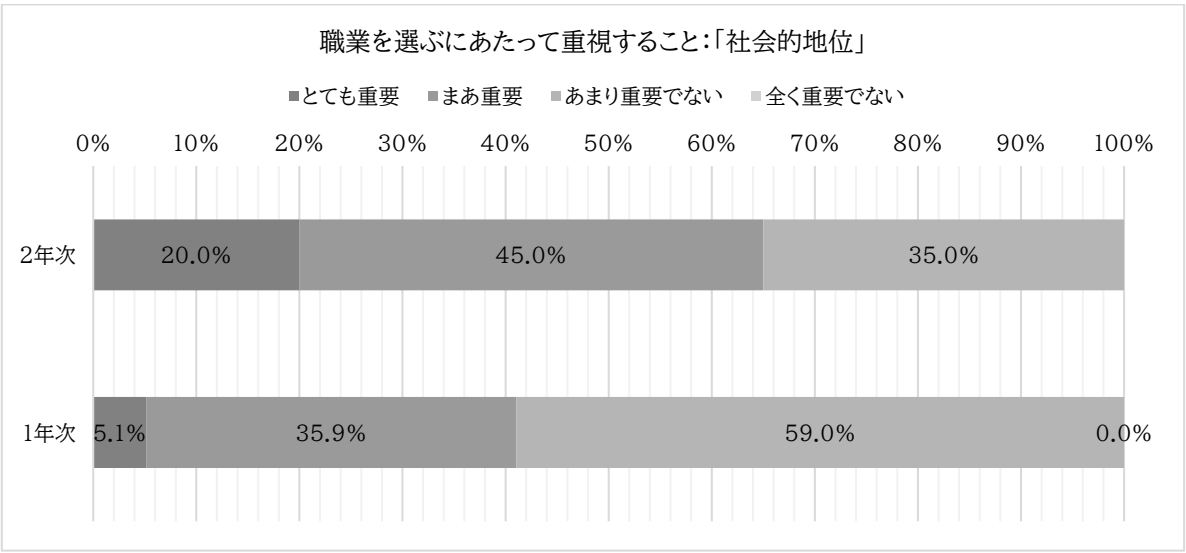


職業を選ぶにあたって重視すること

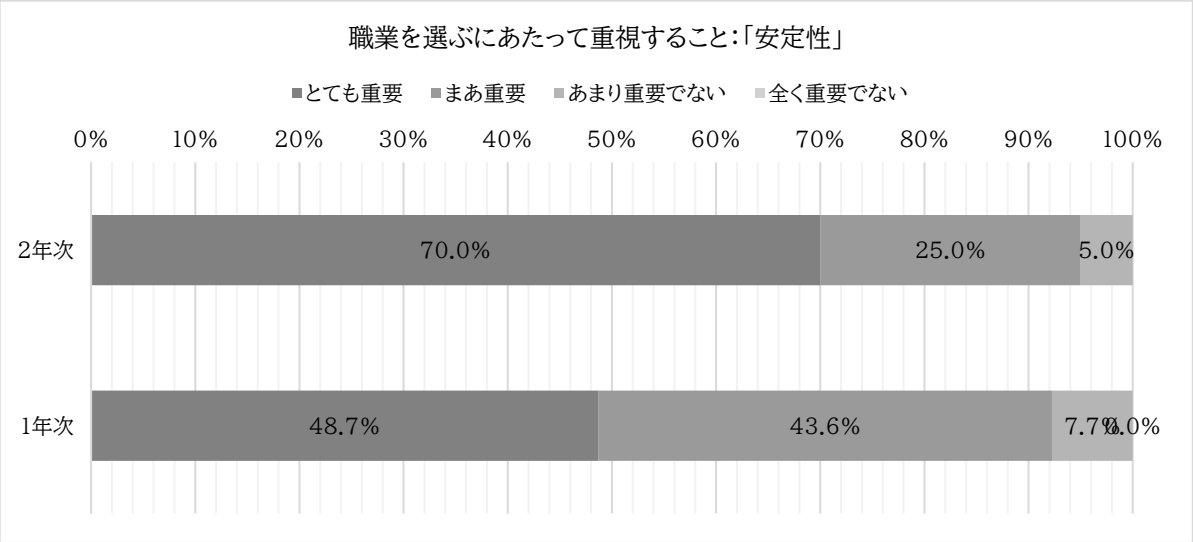
「収入」について、「とても重要」が 60.0%で、１年次と比較して９ポイント高くなった。



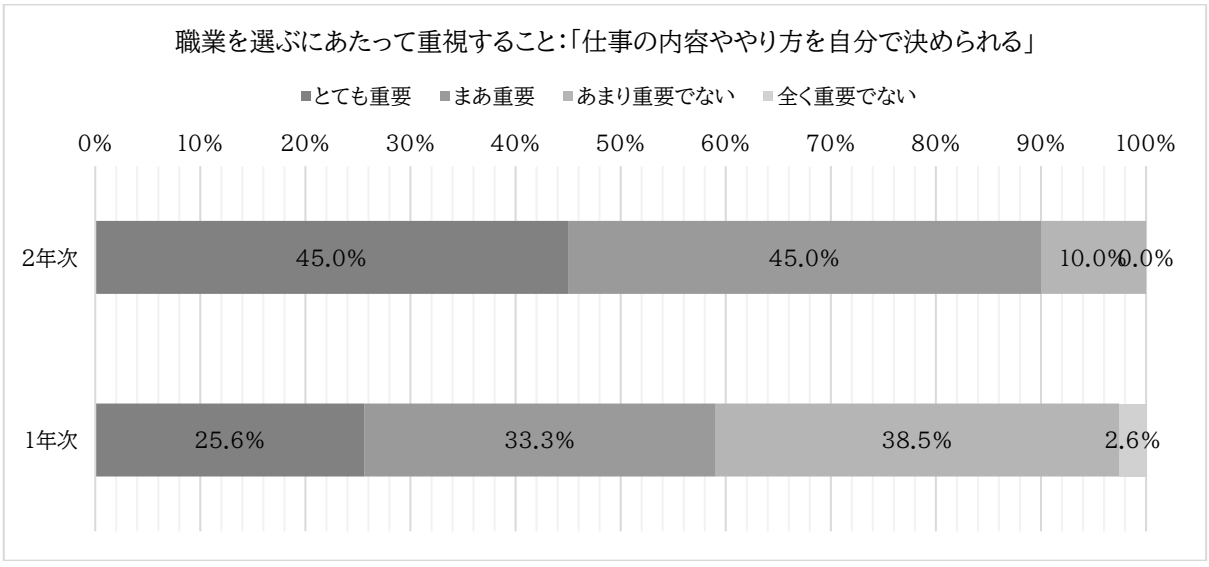
「社会的地位」について、「とても重要」「まあ重要」が 65.0%だった。１年次（41.0%）と比較しすると、24 ポイント高くなった。



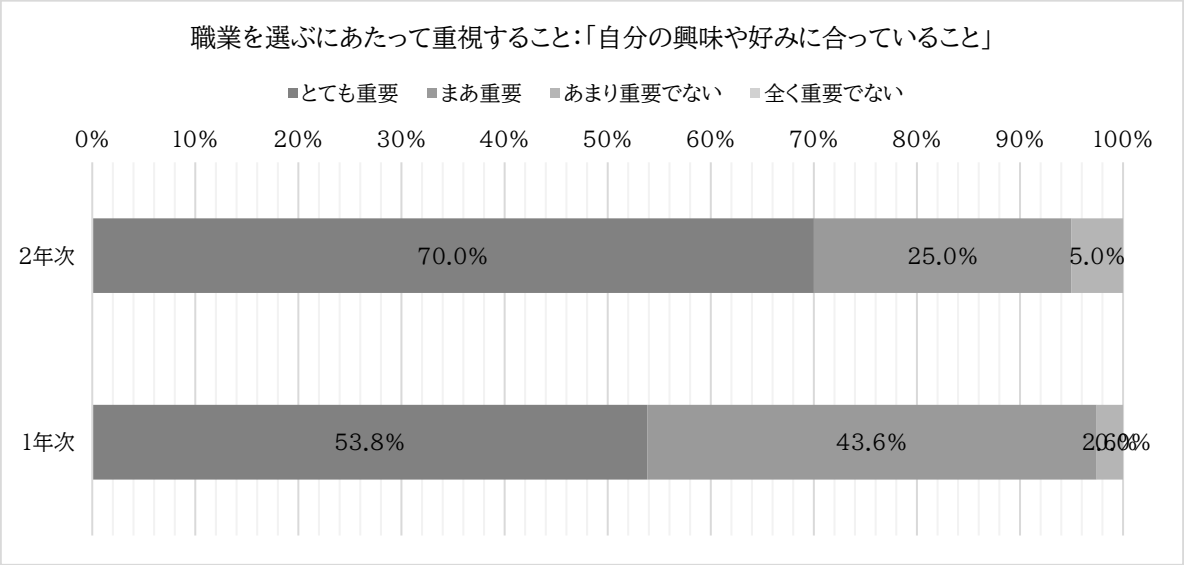
「安定性」について、「とても重要」が 70.0%だった。１年次（48.7%）と比較すると、21 ポイント高くなった。



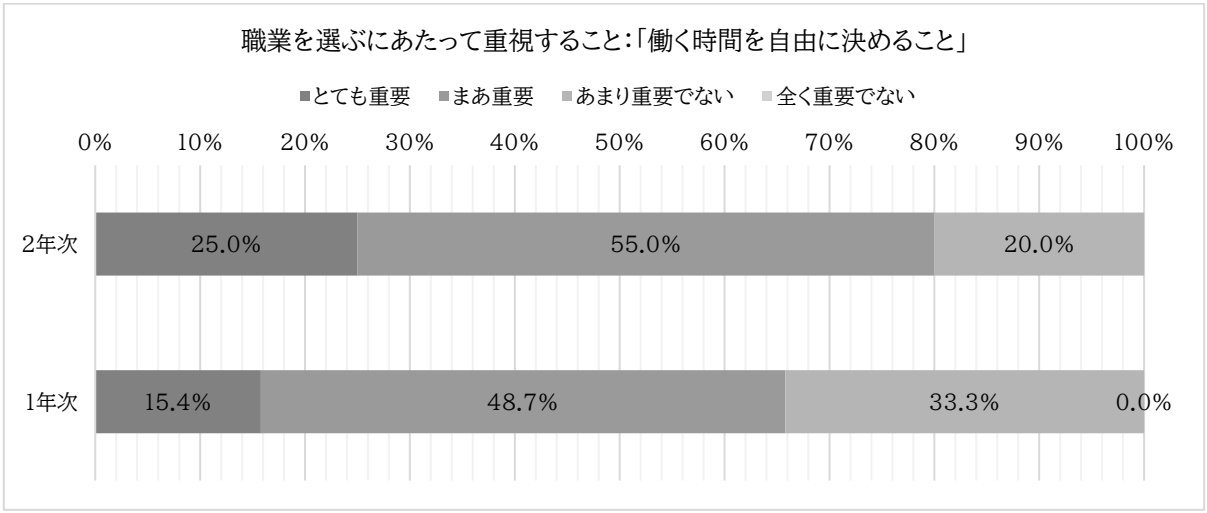
「仕事の内容ややり方を自分で決められる」について、「とても重要」「まあ重要」が 90.0%だった。１年次（58.9%）と比較すると、31 ポイント高くなった。



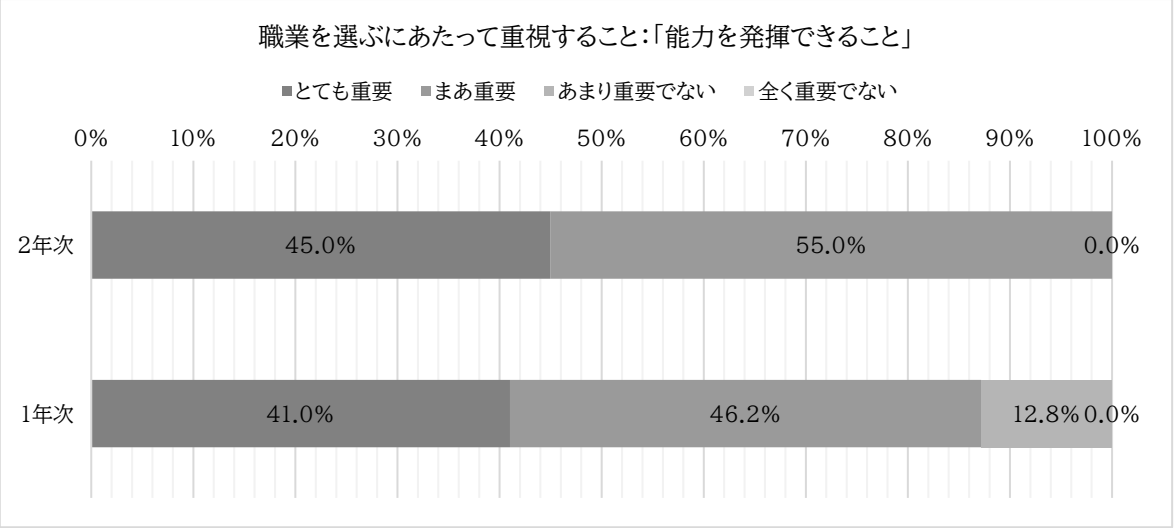
「自分の興味や好みに合っていること」について、「とても重要」は 70.0%だった。１年次（53.8%）と比較すると 16 ポイント高くなった。



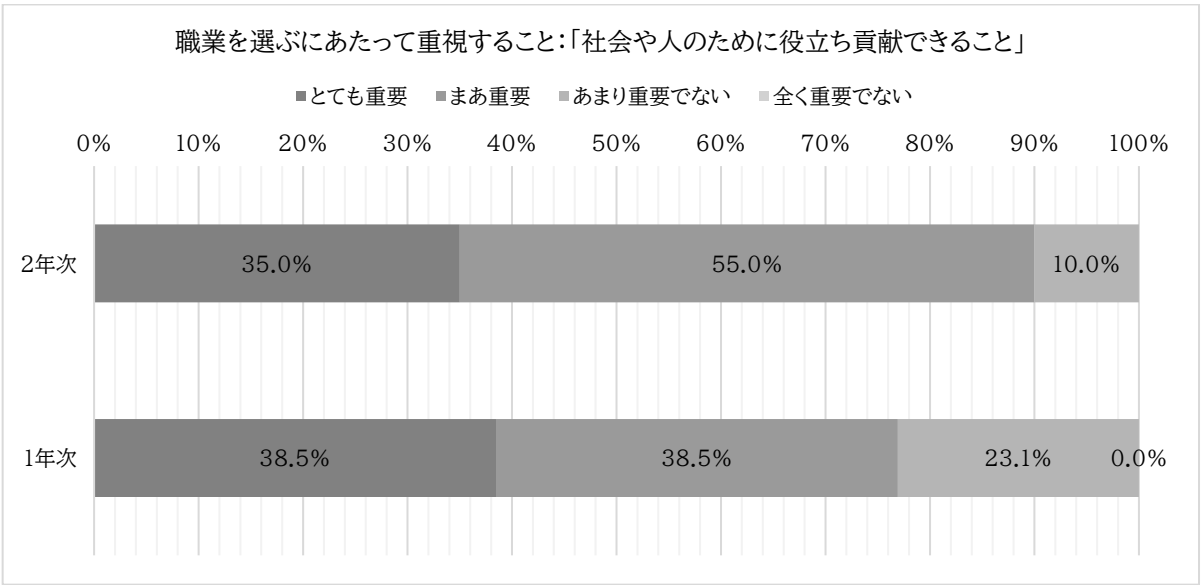
「働く時間を自由に決めること」について、「とても重要」「まあ重要」が 80.0%だった。１年次（66.7%）と比較すると、13 ポイント高くなった。



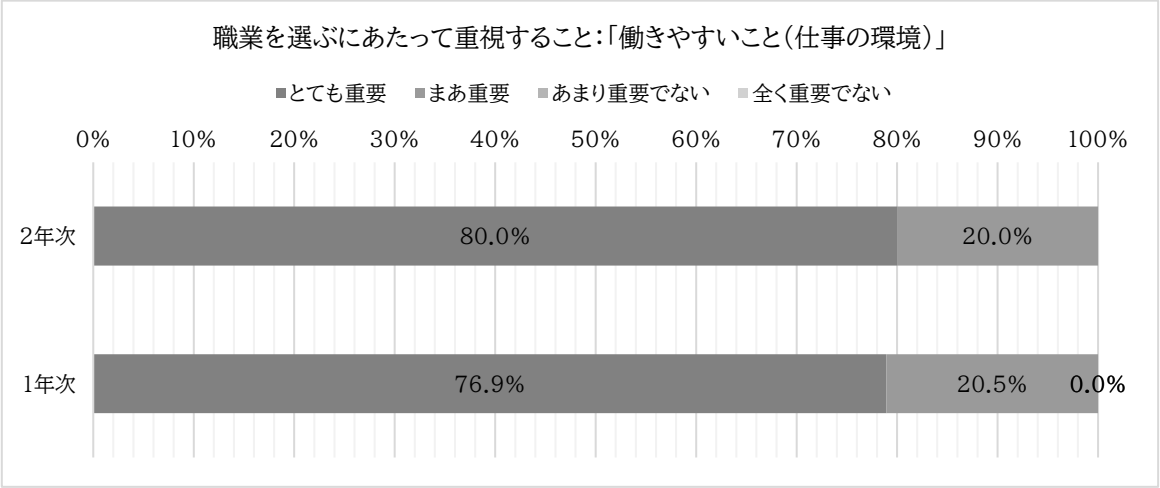
「能力を発揮できること」について、「とても重要」「まあ重要」が 100.0%だった。１年次（87.2%）と比較すると、13 ポイント高くなった。



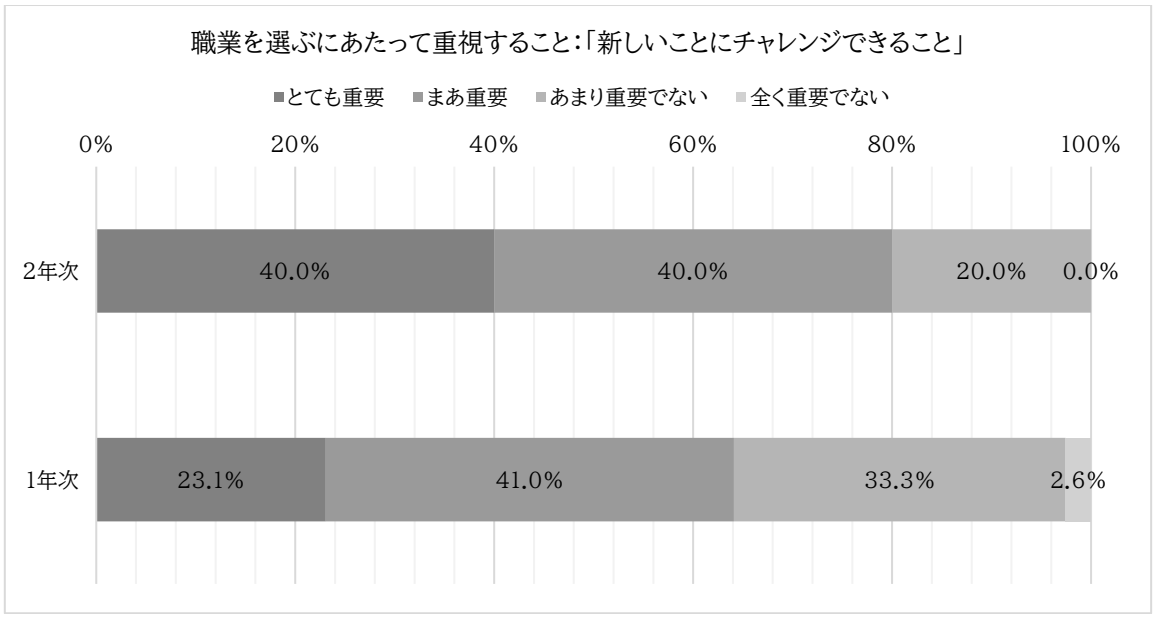
「社会や人のために役立ち貢献できること」について、「とても重要」「まあ重要」が 90.0%だった。１年次（77.0%）と比較すると 13 ポイント高くなった。



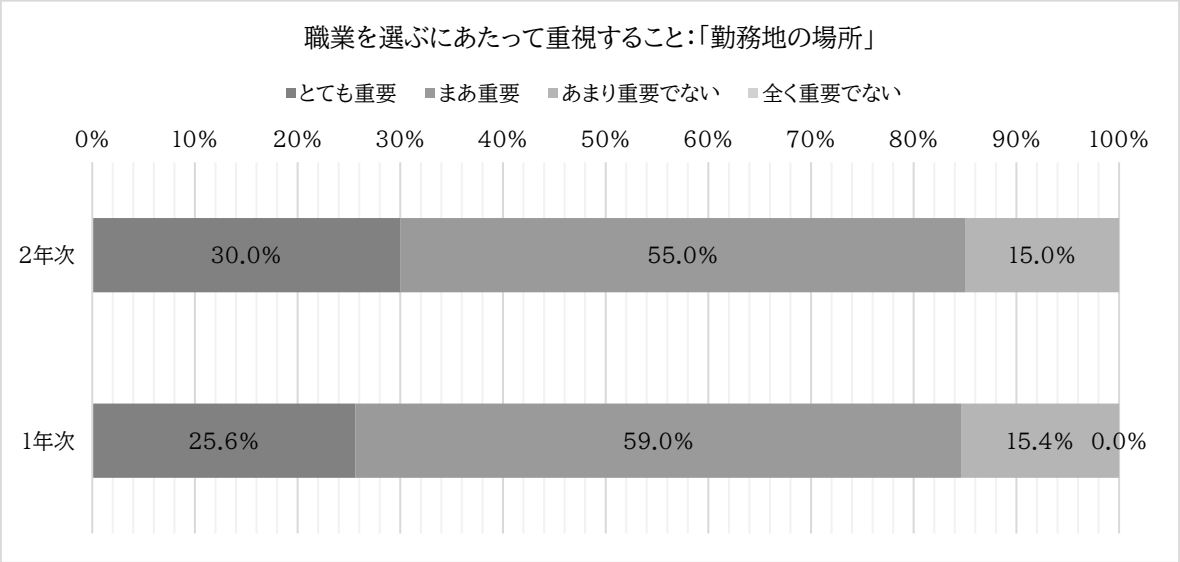
「働きやすいこと（仕事の環境）」について、「とても重要」が 80.0%だった。１年次（76.9%）と大きな変化はなかった。



「新しいことにチャレンジできること」について、「とても重要」「まあ重要」が 80.0%だった。１年次（64.1%）と比較すると 16 ポイント高くなった。

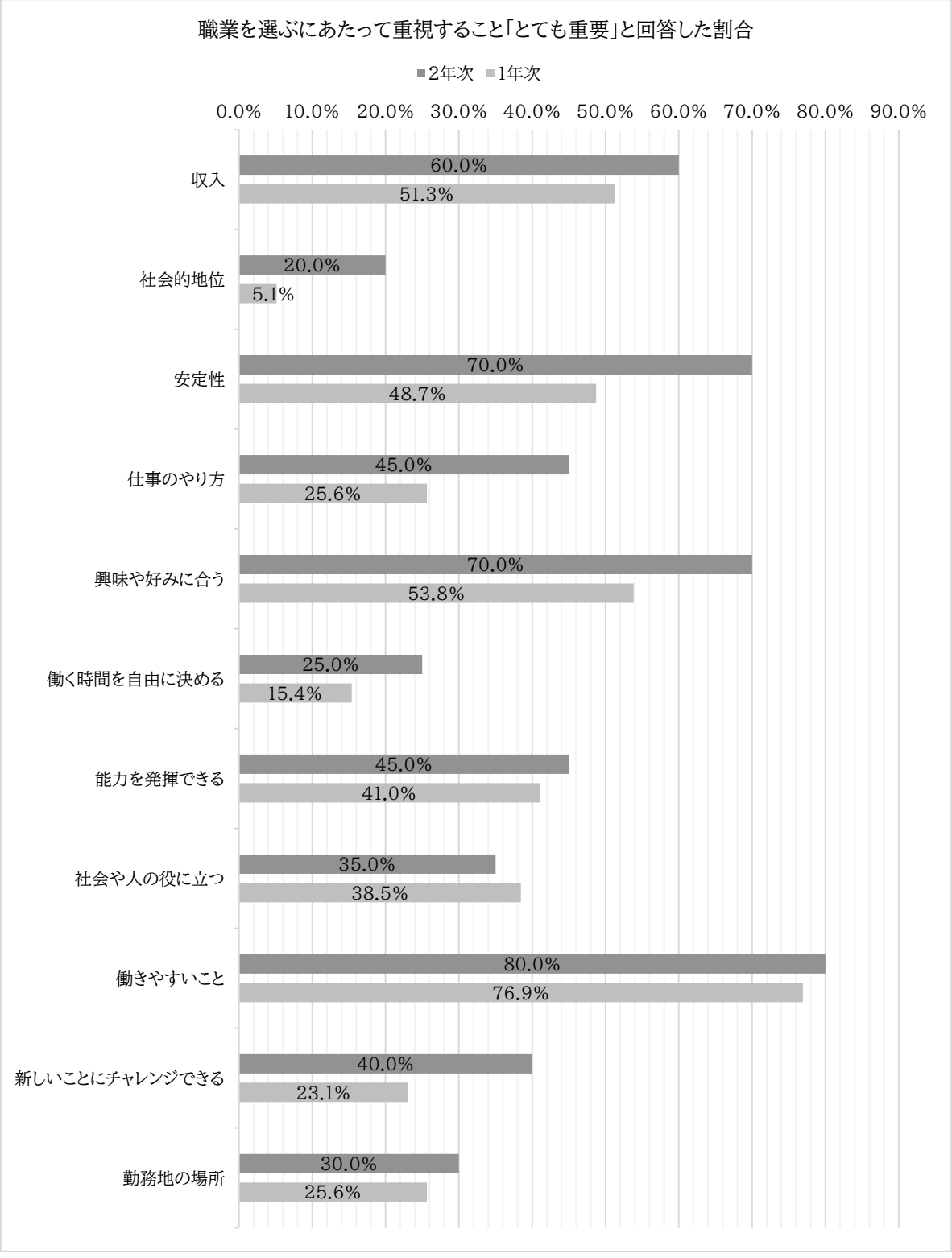


１年生は、「勤務地の場所」について、「とても重要」「まあ重要」が 85%だった。１年次（84.6%）と大きな変化はなかった。



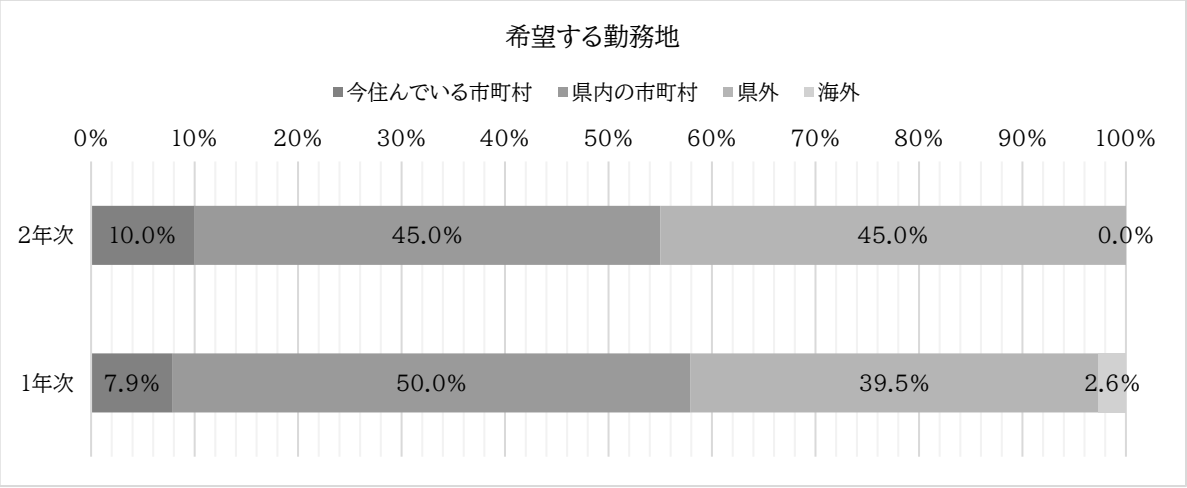
職業を選ぶ際に重視することの 11 項目について、「とても重要」と回答した割合をまとめた。

上位４項目（「働きやすいこと」「興味や好みに合うこと」「安定性」「収入」）は１年次と変わらなかったが、強くそう思う割合が高くなった。
また、１０ポイント以上変化した項目は、「安定性」「興味や好みに合う」「新しいことにチャレンジできる」「社会的地位」「仕事のやり方」で 11 項目中５項目だった。



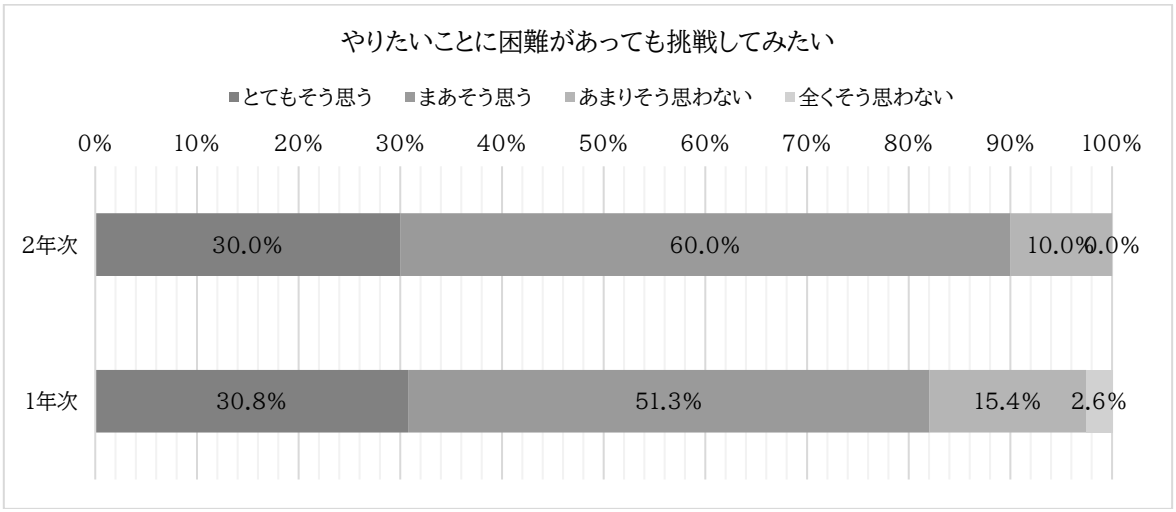
希望する勤務地

「希望する勤務地」について、県内に希望する生徒は 55.0%だった。１年次（57.9%）と大きな変化はなかった。

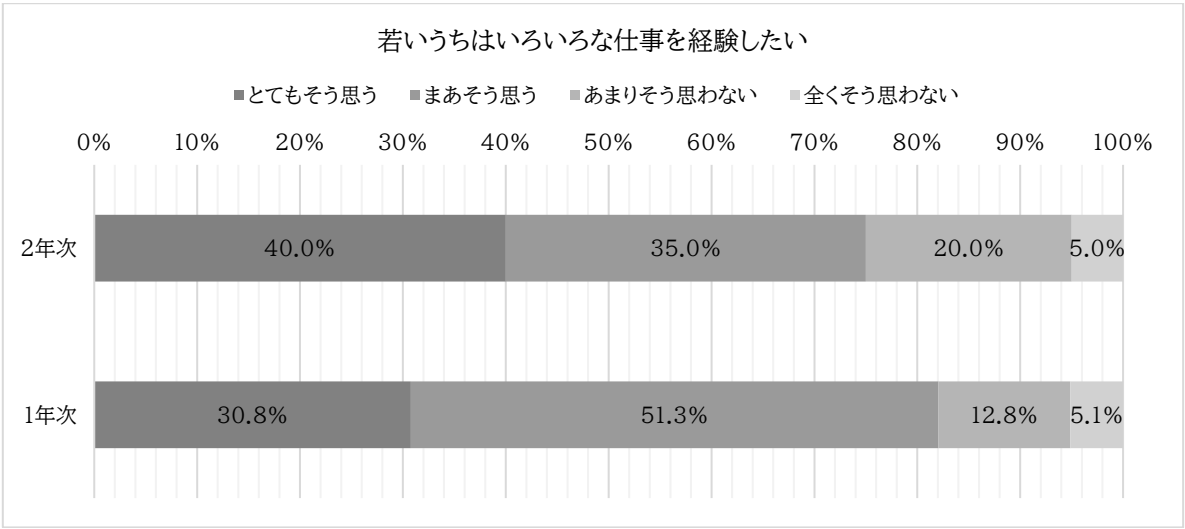


仕事に関する意識・考え

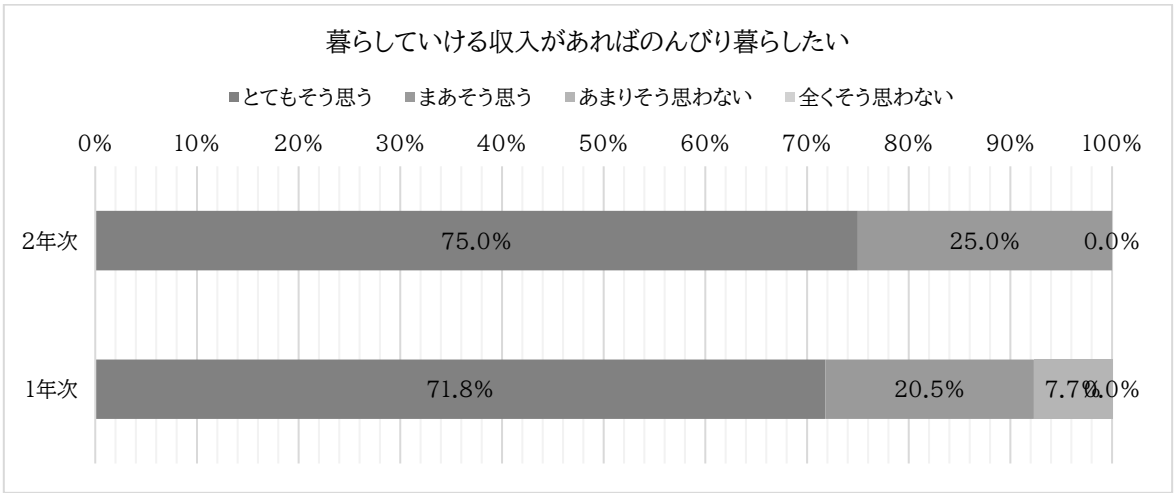
「やりたいことに困難があっても挑戦したい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 90.0%だった。１年次（82.1%）と大きな変化はなかった。



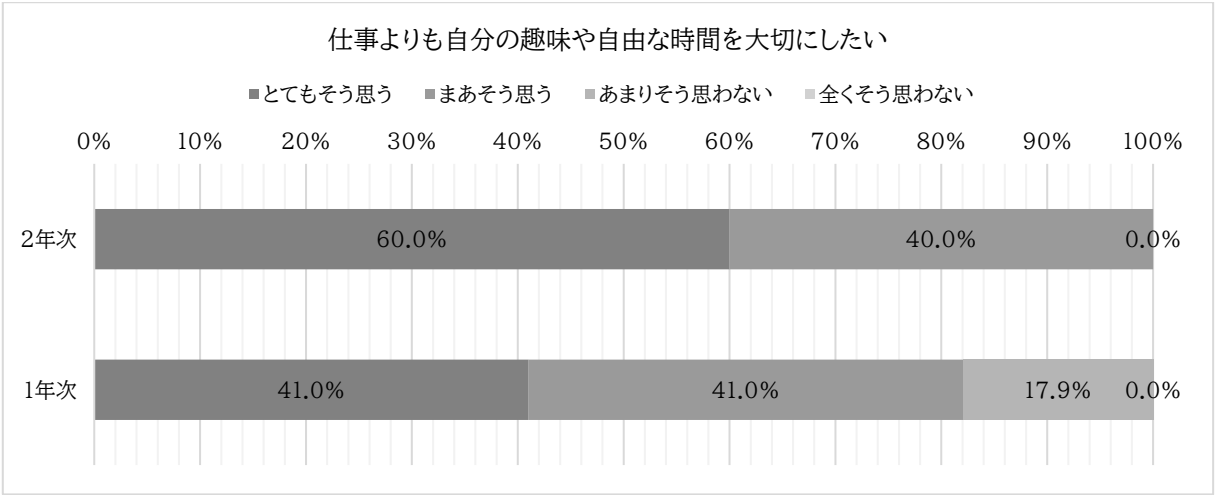
「若いうちはいろいろな仕事を経験したい」について、「とてもそう思う」が 40.0%だった。１年次（30.8%）と比較すると 10 ポイント高くなった。「まあそう思う」と合わせると 75.0%で１年次（82.1%）と比較すると７ポイント低くなった。



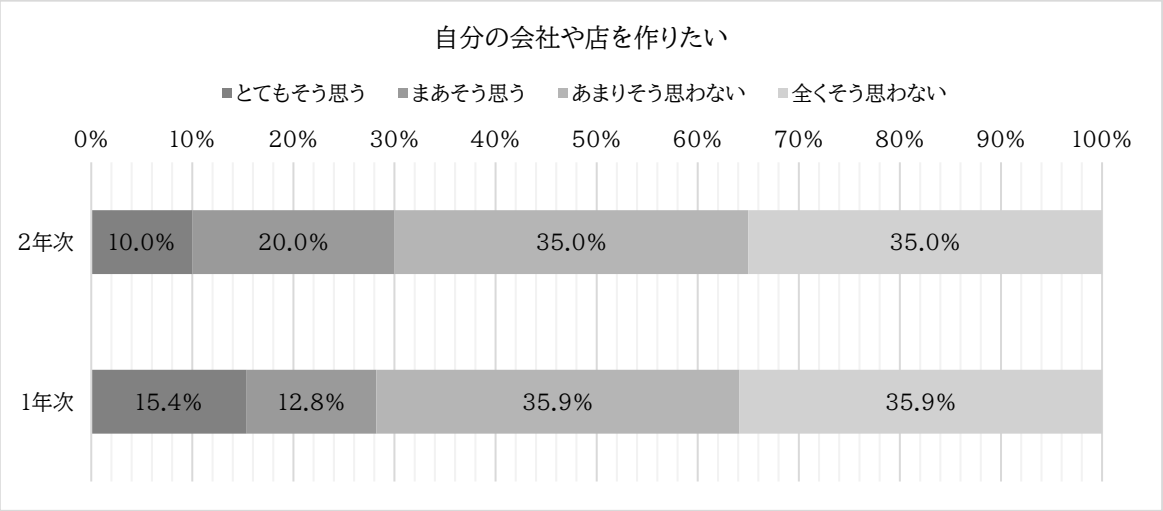
「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 100.0%だった。１年次（92.3%）と比較すると８ポイント高くなった。



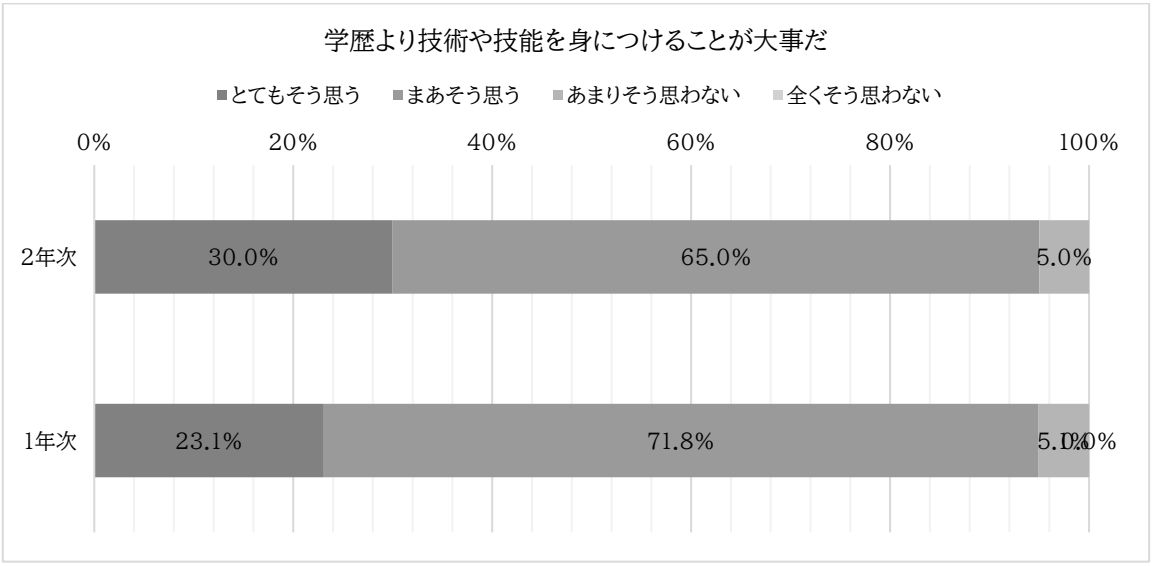
「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」について、「とてもそう思う」が 60.0%だった。１年次と比較すると 19 ポイント高くなった。また、「まあそう思う」と合わせると 100%だった。



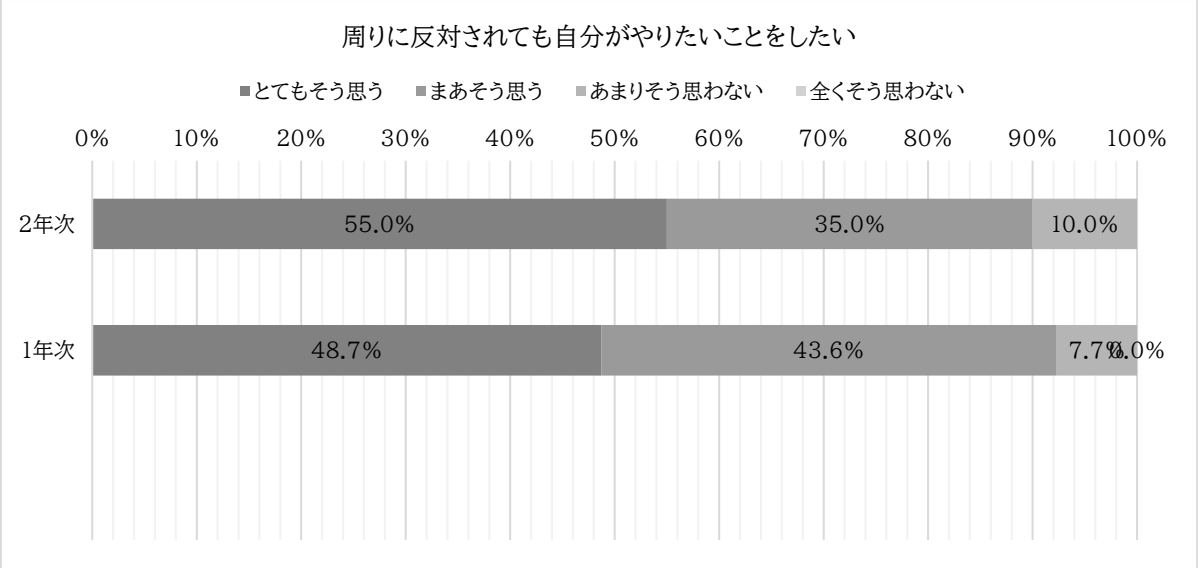
「自分の会社や店を作りたい」について、「とてもそう思う」が 10.0%だった。１年次（15.4%）と比較すると５ポイント低かったが、全体的な比率は大きく変わらなかった。



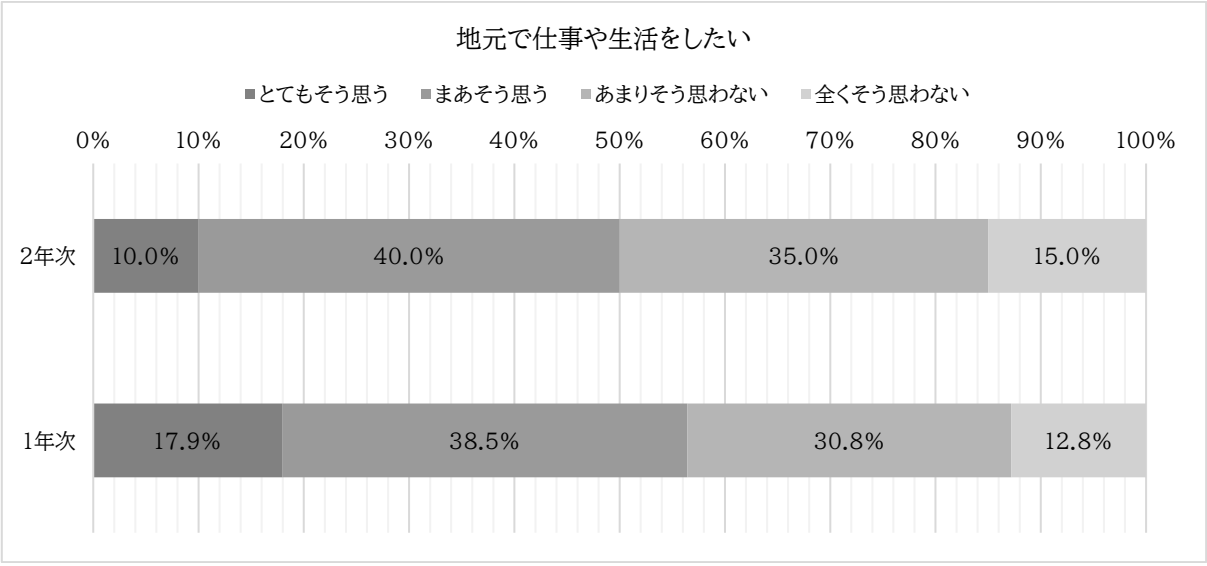
「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」について、「とてもそう思う」が 30.0%だった。１年次（23.1%）と比較すると、７ポイント高かった。



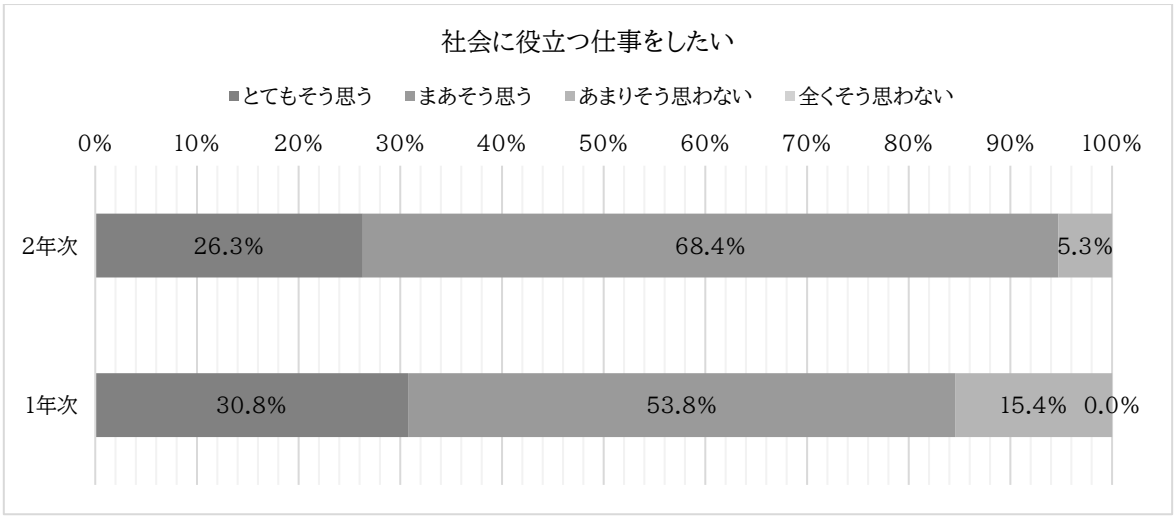
「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」について、「とてもそう思う」が 55.0%だった。１年次（48.7%）と比較すると６ポイント高かった。



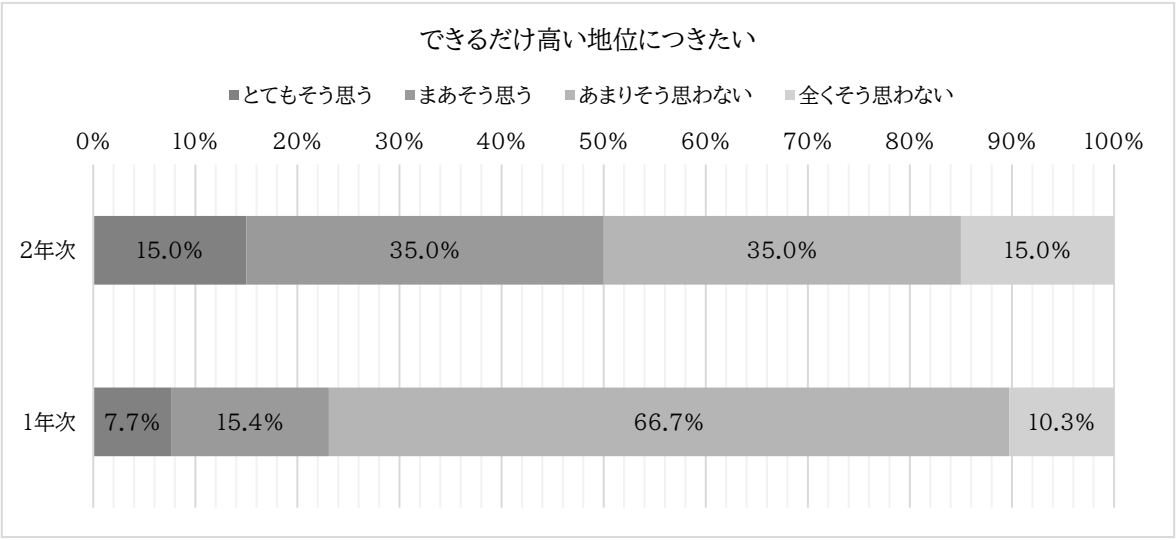
「地元で仕事や生活をしたい」について、「とてもそう思う」が 10.0%だった。１年次（17.9%）と比較すると８ポイント低かった。



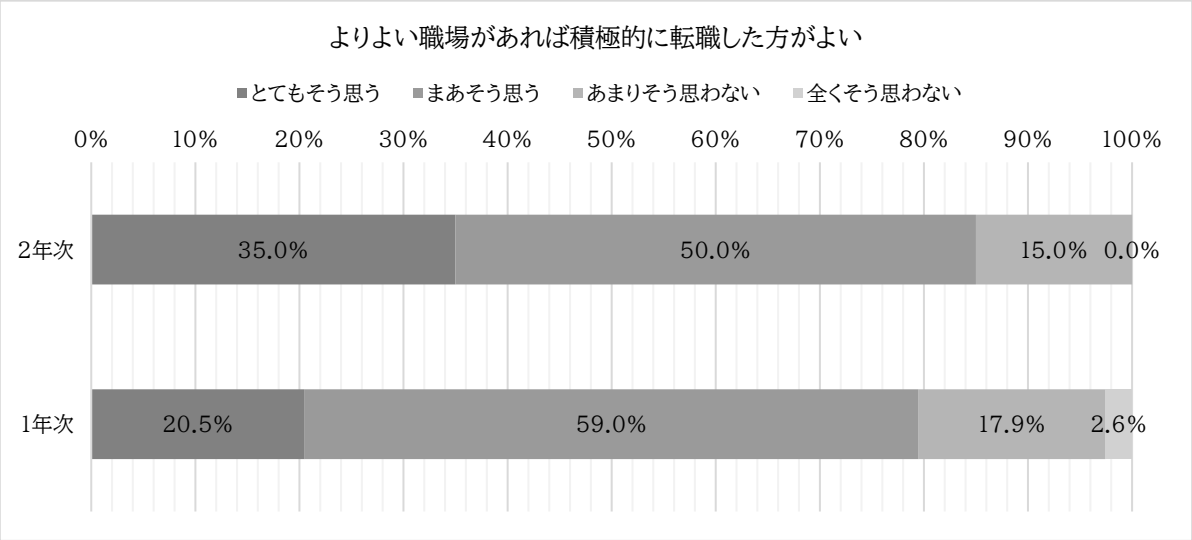
「社会に役立つ仕事をしたい」について、「とても思う」「まあそう思う」が 94.7%だった。1 年次（84.6%）と比較すると 10 ポイント高かった。



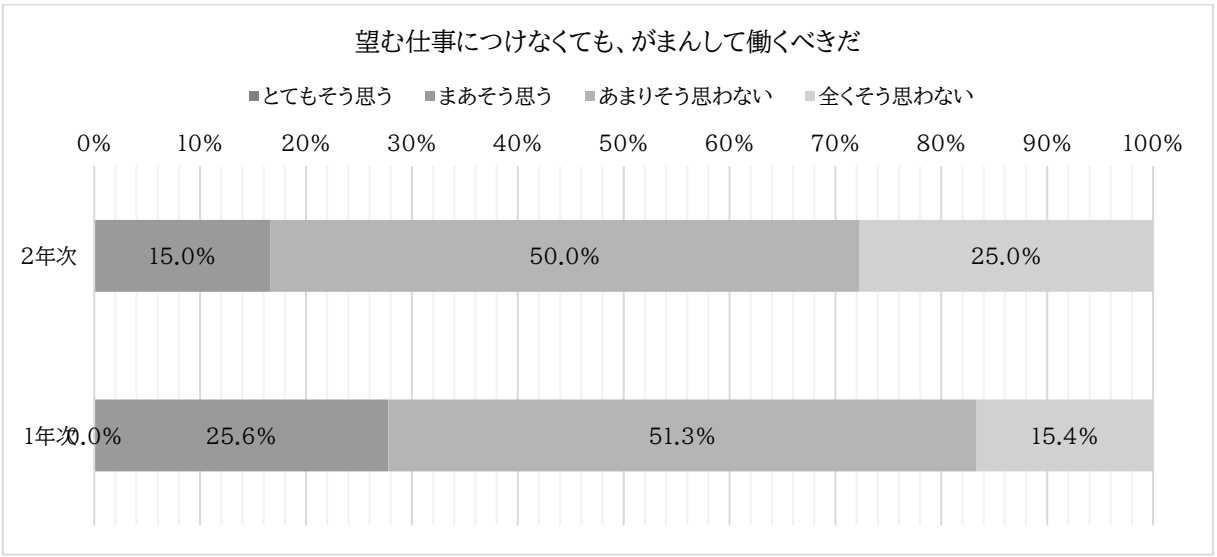
「できるだけ高い地位につきたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が 50.0%だった。1 年次（23.1%）と比較すると 27 ポイント高かった。



「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」について、「とてもそう思う」が 35.0%だった。１年次（20.5%）と比較すると 15 ポイント高かった。

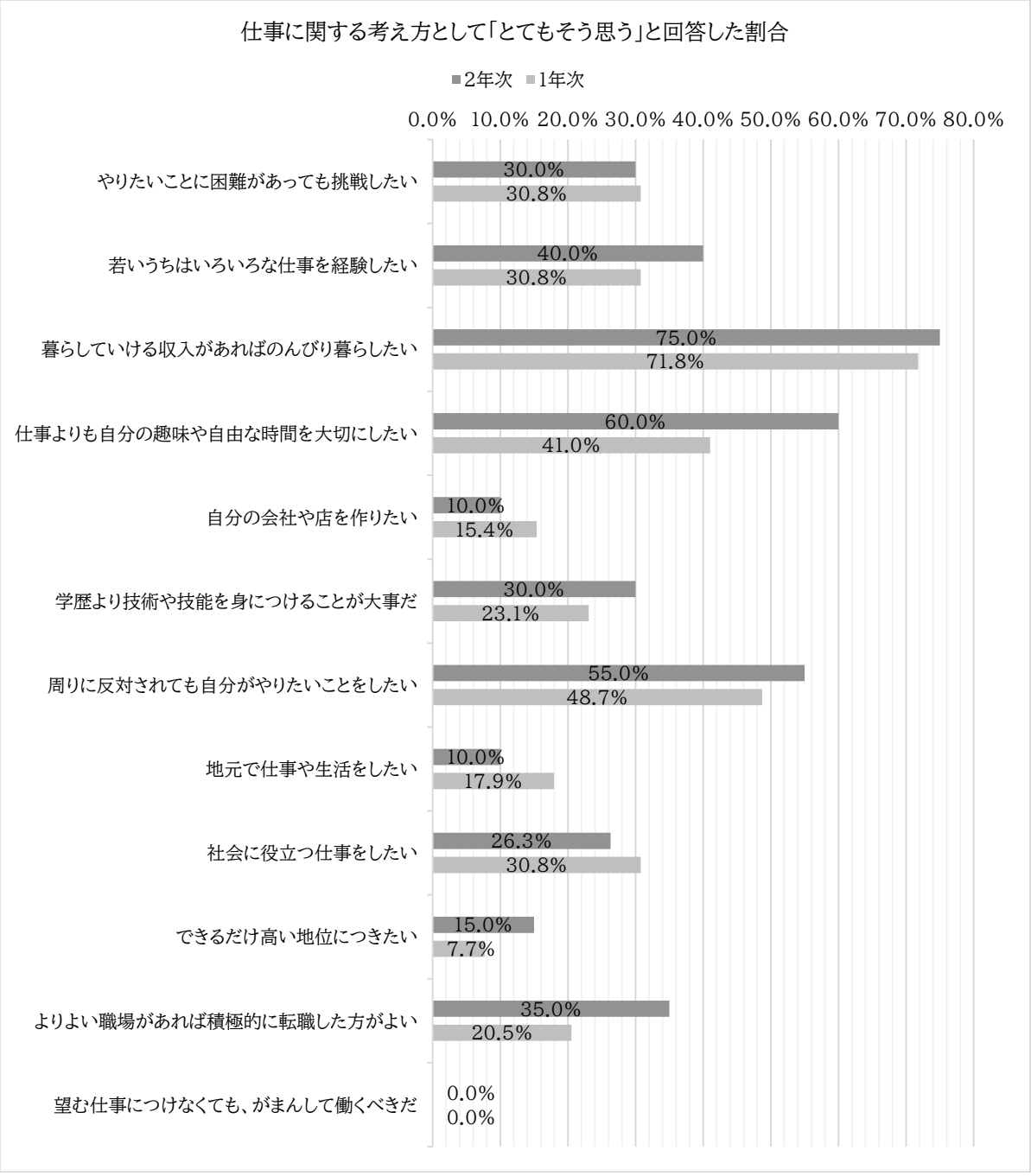


「望む仕事につけなくてもがまんして働くべきだ」について、「まあそう思う」が 15.0%だった。１年次（25.6%）と比較すると 10 ポイント低かった。



仕事に関する意識・考えの 12 項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」が 50%を越えた。
10 ポイント変化した項目は、「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」の２項目だけだった。



4.6　委員意見

【実証授業（コミュニケーションの重要性について）】

・とても興味深い内容で私たちも２つの学校に分かれていて中々学校間の教職員コミュニケーションが難しいと感じていて、教職員研修日などに取り入れてみたいと感じた。ぜひ、次回細かい内容をお伺いしたいと思った。

【サービス・ラーニング（ドリームナイト アット ザ ズーについて）】

・平時に当園で実施している「NIGHT　ZOO」と異なり、今回は障がいを持った子どもたちを対象とした無料のイベントだった。学生にとっては当日の対応で戸惑うことがあると感じたが、多くのことを考えるきっかけになれればと思った。当日、学生たちの対応はとても良く大変素晴らしかった。

・餌やりといったワークショップ体験を通常の「ドリームナイト アット ザ ズー」では行っていない。今回は実施でき、お客さんにも喜んでもらえたと思う。イベントとして大変価値のあるものになり感謝している。

・夜のイベントなので学生や先生たちには負担となり大変だと思うが、次年度もこのような企画ができるのであれば、ぜひお願いしたい。

【サービス・ラーニング（繁殖引退犬譲渡会について）】

・頻繁に譲渡先が見つかり成立するものではないと思う。アンケートの項目で「社会の役に立てた」の結果が 0%であることがとても切なく感じる。そのようなことはない。
今後の譲渡を検討している人もいた。このような活動によって引退犬などの問題を知り、考える人も増える。学生たちに意味のある活動であること、気落ちしないでほしいことを伝えてほしい。譲渡が成立することは１つの分かりやすい結果ではあるが、引き続き頑張ってもらいたい。

・前回までの委員会で準備状況が報告されていたサービス・ラーニングについて非常に楽しみにしていた。難しいことに取り組んでおり、素晴らしいと思う。子どもの国で実施した「ドリームナイト アット ザ ズー」や繁殖引退犬の譲渡会に関しても結果だけを見てしまっているせいか、学生たちの満足度や自己肯定感が上がりきっていない。
担当者の儀間委員や山城委員から「実施することに価値がある」ことを学生たちにフィードバックしてもらいたい。どうしても数字で出てしまうので気になった点。翁長委員と同じ思いである。

・学生たちの反省点が非常にリアルである。担当している先生方が深入りしていないと感じた。もし大人が介入していたら修正されていたと思う。学生にとって多くの学びに繋がったと感じた。

・広原氏からの費用を換算した報告にあった。時間とお金がかかる取り組みではあるが、イベントにおける事前の準備や来場者数によるマーケティング効果など学生たちにある程度考えてもらう本筋があると思う
自身も動物産業計画やマーケティングの授業を持っている。学生たちが実践的にＰＤＣＡのサイクルを学べる意味ある高い取り組み。

今回は成功体験を得ることはできなかったが、このような実社会で活動する取り組みは学生たちにとってしっかりと学ぶ機会にしてあげた方が良い。アンケート結果からも個々のレベルはアップしている。この活動を通じて、チームとして最終的に何を学んだのかについてはこちらから導いてあげても良かったのでは思った。

【卒後セミナーについて】

・看護、美容ともにしっかりと準備されていて内容も適切で素晴らしいと感じた。永井先生の「来ないんだーと言って諦めちゃうのはどうか」という発言が胸に刺さり、やり続けることの重要性を学んだ。

文部科学省事業　令和７年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」

第１回　プログラム検討委員会　議事録

開催日時	2025 年 7 月 25 日（金）　15：00～17：00
会場並びに開催方法	沖縄ペットワールド専門学校　５階トレーニング室　（一部、ZOOM 利用によるリモート方式）
出 席 者	（プログラム検討委員） ・沖縄県教育庁　県立学校教育課　　指導主事　　高江洲　聖 ・沖縄県立中部農林高等学校　　教諭　　親泊　達也 ・学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　学園本部　教務部　　部長　　吉川　鉄平 ・学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校 副校長　　吉田　剛 部長　　仲松　謙 教務課長　　儀間　秀人 教務主任　　山城　正仁 名護　聡美 教務　　永井　洋美 就職課　　崎山　孝司 ・公益財団法人　沖縄こどもの国　動物みらい課　課長　　翁長　朝 ・株式会社 WOLVES HAND 事務局　　喜納　保 （事務スタッフ） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室 伊禮　嘉本 當間　律子 東　知範 （教材制作） ・株式会社 グローバル専門人材開発ラボ　　開発マネージャー　　広原 敬幸 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　　當間　律子
議　　題	議　事 議題１　令和７年度　事業計画説明 議題２　令和７年度　実証授業について 議題３　高校生の職業意識に関する調査報告 議題４　サービスラーニングの取組み
配布資料	配布資料 ・プログラム検討委員名簿 ・令和７年度　事業計画書 資料①　【令和７年度　実証授業】　予定 資料②　実証授業シラバス（小禄高校、南風原高校） 資料③　実証授業報告（小禄高校、南風原高校） 資料④　高校生の職業意識に関する調査報告書 資料⑤　サービスラーニングの活動内容
会議概要	伊禮よりスケジュール、配布資料を確認。吉田の挨拶後、委員より挨拶を承った。議題１にて伊禮より令和７年度事業計画について説明。議題２にて資料①～②を使い、令和７年度実証授業について説明、資料③を使い広原氏より報告を受けた。議題３では資料④を使い、広原氏より職業意識の調査報告を受けた。途中に休憩をとりながら議題４にて資料⑤を使い、伊禮と広原氏よりサービスラーニングの取り

	組み、山城、儀間より進捗を報告した。各所にて委員より質疑応答・感想等を受け、最後に伊禮より今後の予定を確認して終了。
目　的　次	**議題１：令和７年度　事業計画説明** 　・伊禮より令和７年度事業計画書を使い説明 **議題２：令和７年度　実証授業について** 　・伊禮より資料①②を使い説明 　・広原氏より資料③を使いアンケート結果を報告 **議題３：高校生の職業意識に関する調査報告** 　・広原氏より資料④を使い調査結果について報告 **議題４：令和７年度　サービスラーニングの取組み** ・伊禮、広原氏よりＰＰと資料⑤を使い説明 ・「繁殖引退犬譲渡会」企画の状況について儀間より報告 ・「どうぶつ広場」企画の状況について山城より報告 質疑・応答等 （翁長委員） ・今までにもボランティアで学生たちにイベントなどに参加してもらっていた。さらに一歩進んだ形で実現できればいいと思う。自身の取り組みを振り返って次回に活かす行動は社会に出た時にも非常に役立つ。最後まで付き合っていきたい。 （親泊委員） 　・先日、愛玩動物飼養管理士の二級と一級の課題提出が終了した。生徒たちは次の段階へ進む。 　・琉球犬の保護活動などを課題研究の授業で行っている。内容がサービスラーニングと似ている点があると感じた。 ・生徒が一生懸命になりすぎて、相談をせずにアポを取ってしまう、インスタなどのＳＮＳに投稿する、自身のお小遣いを活動に使ってしまうことがあった。こういった場面への対応についても相談させてほしい。 （高江洲委員） 　・熱帯資源科の生徒たちは熱心に活動をしており、とても意欲的だった。このプログラム事業による教育活動はすごい取り組みだと思う。 　・キャリアビルドアップという県の事業がある。今後、この内容や取り組み状況をこの委員会で情報共有させてもらいたい。 （吉川委員） 　・繁殖引退犬譲渡会は考え方やセンシティブな部分、いろいろな立場の人がいて難しい案件だと感じた。自身の学校で同じ企画ができるかと考えながら聞いていた。結果の報告には興味がある。 　・実証授業の実績も増え意識の変化もあったと思う一方で、動物系に関係のない学校では業界への興味がゼロに近い点は新たな課題。今後、中学校との接続といった話になると思う。我々の学校でも10年ほど前から課題として挙がってきていた。 　・都内では動物系分野への希望者は多いが、いずれは頭打ちになる。若い世代への種まきが大切。沖縄ペットワールドでは小学生が参加している企画など面白い取り組みをしている。本校でも毎年、小中学生

	の職場体験などをきっかけに動物のことを知り、出願してくるケースがある。粘り強く魅力を伝えていくことはとても大切であると感じている。こういった取り組みがパッケージ化されると世のためになると思う。 ・先生方の意識もあると思うが、卒業三年後の動物業界定着率 92%には大変驚いた。正確な調査をしたわけではないが、本校の場合は沖縄ペットワールドさんの実績には及ばないと思う。これをきっかけに本校でも卒業生へ調査を考えてみたい。 （伊禮） ・近年は 90%を超えているが、調査時は 50%程度であった。就職担当から学生へのマッチングや取り組みなどについて話してほしい。 （崎山） ・学生の担任を始め、多くの職員で徹底的に学生一人ひとりの分析を行った。面談では本人に興味が無くても職員が向いていると感じた分野をいろいろと提案している様子が印象的であった。学生たちから「やってみたい」という気持ちを引き出し、インターンシップへ行かせた。そこでの体験が自信となり就職に繋がっているのが一つ要因だと考えられる。 ・就職先へ企業訪問した時にもイキイキと楽しく働いている姿が印象的。これが高い定着率に繋がっていると思う。 （喜納委員） ・多くの卒業生を受けいれているが、この検討委員会に携わり感じるのが教育する先生方と学校の姿勢が大分変わったこと。それにより生徒も積極的に変わっていったと感じる。初めは自分を表現できない生徒が多かった。恐らく、この時期は離職が多かったと思う。しかし、このプログラムがスタートして学生たちのコミュニケーション能力も非常に高まったと感じる。先生ともこの業界は特殊な職種であると話したことがある。 ・現在、中部農林高校から二名の職場実習に来ているが、動物業界のランキングが低いアンケート結果にショックを受けている。中学、高校へ職業説明に出向くなどアピールの必要性を真摯に感じた。企業として積極的に生徒の受け入れは行っていく姿勢でいる。 （翁長委員） ・沖縄ペットワールドから毎年、学生が実習に来ており、卒業生の就職も近年続いている。離職者もいないと思う。 ・ステップアップによる正職員への登用もあるが、職員の募集が契約社員でしかできない点は企業努力が必要だと思う。働きやすい職場の環境づくりを続けていきたい。 ・今後の予定について（伊禮） 令和７年度 プログラム検討委員会 開催予定 （第２回委員会）2025 年 11 月 21 日（金）15：00～17：00 （第３回委員会）2026 年 1 月 30 日（金）15：00～17：00 会場：沖縄ペットワールド専門学校 その他：本日の参加お礼（伊禮） 以上 委員会を終了する。

Ｚｏｏｍを使った会議と会場の様子



文部科学省事業　令和７年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」

第２回　プログラム検討委員会　議事録

開催日時	2025 年 11 月 21 日（金）　15：00～17：00
会場並びに開催方法	沖縄ペットワールド専門学校　５階トレーニング室　（一部、ZOOM 利用によるリモート方式）
出 席 者	（プログラム検討委員） ・沖縄県立中部農林高等学校　教諭　　親泊　達也 ・学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　学園本部　教務部　　部長　　吉川　鉄平 ・学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校 副校長　　吉田　剛 部長　　仲松　謙 教務課長　　儀間　秀人 教務主任　　山城　正仁 名護　聡美 教務　　永井　洋美 就職担当　　崎山　孝司 ・公益財団法人　沖縄こどもの国　動物みらい課　課長　　翁長　朝 ・株式会社　WOLVES HAND　事務局　　喜納　保 （事務スタッフ） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室 伊禮　嘉本 當間　律子 東　知範 （教材制作） ・株式会社 グローバル専門人材開発ラボ　　開発マネージャー　　広原 敬幸 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　　當間　律子
議　　題	議　事 議題１　令和７年度の事業進捗について （１）実証授業 ① 愛玩飼養管理士試験対策 ② 職業講話 （２）サービスラーニング ① 沖縄こどもの国（Dream Night at the zoo） ② 繁殖引退犬譲渡会 （３）開発教材の制作 ① 職業図鑑 ② 動物のからだのしくみ教材について
配布資料	配布資料 資料①　実証授業報告 資料②　動物のからだのしくみ教材について
会議概要	伊禮よりスケジュール、配布資料を確認して吉田より挨拶。議題１にて伊禮より実証授業のスケジュールと担当職員より内容を報告。また広原氏より資料①を使い説明を行った。次にサービスラーニングについて担当より状況を報告。開発教材について広原氏より資料②を使い説明してもらった。卒後セミナー、職業体験について担当者より報告してもらい、委員より質疑、感想を承った。最後に伊禮より今後の予定を確認して終了。

目　次	**議題１：令和７年度の事業進捗について** **（１）実証授業** ・伊禮より実証授業のスケジュールについて報告 ・広原氏より資料①を使い、職業講話について報告 ・実証授業について担当者より状況を報告 【儀間】　９月 12 日「身体のしくみ」　　９月 24 日「疾病について」 【山城】　10 月 24 日「エキゾチックアニマル」 【永井】　９月 10 日「栄養について」 質疑・応答等 （親泊委員） ・多くの先生方に実証授業を実施して頂き感謝している。日頃の授業では踏み込んでいない分野で、いつもと違う緊張感で生徒たちの反応もよかった。生徒たちも毎回の授業を楽しみにしており、役割分担を取り合っていた。 ・本校は愛玩動物飼養管理士の資格取得に向け、入学してくる生徒の意識が高い。資格に関する授業が４月からスタートする。自ら学ぶ姿勢が定着している部分はあるが、より専門的な視点から導入してもらえると、想定以上に吸収する。次年度以降も計画に入れてほしい大変良い機会である。 **（２）サービスラーニング** ・「Dream Night at the zoo」について山城より報告 ・「繁殖引退犬譲渡会」について儀間より報告 質疑・応答等 （翁長委員） ・今回は一歩踏み込んで、学生たちに企画から運営までを実施してもらった。Dream Night at the zoo は障がいやハンディを持った子ども達と保護者が他の方々の視線を気にせず動物園を楽しめるオランダからスタートした取り組み。当園以外にも日本各地で実施されている。 ・学生たちが１つの企画に取り組み、どのように相手に伝えるか。特に今回はハンディを持った子どもたちだったので、学生たちにとっても多くの学びになっていたら嬉しい。当日は和気あいあいとした良い雰囲気ができていたと感じた。 （吉川委員） ・動物の保護活動は仕事へのモチベーションにつながると思う。東京や埼玉でも多いが、なかなか仕事としてお金にはつながらない部分もある。今回、学生たちはどういった形で譲渡会に関わるのか教えてほしい。 （儀間） ・今回は譲渡会を実施するショップのスタッフとして参加。ブリーダーから預かる際に、特徴や健康状態をチェック。さらに触れ合える時間があれば性格やアピールポイントを把握してお客さんに紹介したい。 ・販売している動物と違い、ゲージに入った状態。学生たちはお客さんに動物が自由に動き回っている様子を見せたいと考えている。道路の向かいにある旧店舗の活用を考察しているが当日の状況で判断。 ・今回は実際に飼うために必要なワクチンの接種。必要な道具や管理方法など店舗内での案内が中心。今後は旧店舗にある施設を使って、学生たちによるシャンプーやトリミングなどの施術、しつけやトレー

	ニングといった安全管理も検討したい。またお客さんに実際に飼ったことをイメージできる散歩体験なども実施したい。 ・さらに学生からは事前にブリーダーとのコミュニケーションを深め、譲渡犬のカルテ作成や SNS の発信をしたいという声も上がっている。ショップも好意的で協力の声があるので今後、発展させていきたい。 ・初めての企画で学生たちも不安ではあるが、楽しみにしている。安易に譲渡を勧められない責任感もある。実施することで課題が見えてくると思う。 （吉川委員） ・ペットショップが出来ないことが実施できる期待がある。学生でないと気づけない点も多いと思う。 ・似たような企画で、ＳＮＳによる発信以上に学生たちが制作したポスターなどの「貼りもの」の反響が大きいと感じたことがある。ネット情報では見られない、現場での情報は意外と響く。 **（３）開発教材の制作** ・伊禮より PP を使い、職業図鑑について説明 ・広原氏より資料②と作成した動画教材を使い説明 **今後の予定** （１）卒後セミナーについて担当者より状況を報告 【儀間】 12 月 12 日「動物看護師」対象 【名護】 1 月 29 日「トリマー」対象 （２）中学生対象 職業体験について担当者より状況を報告 【永井】 11 月 27 日「西原中学校」 12 月 8 日「国頭中学校」 19 日「神森中学校」 <u>質疑・感動等</u> （親泊委員） ・熱帯資源科は動物が好きな子たちが入学してくる。実証授業もより専門的な分野となり、資格の取得につながっている。 ・本校も動物介在活動に力を入れており、今年度は普天間小学校で実施した。日頃のトレーニングによる積み重ねが成果として見てもらえるので、生徒たちのモチベーションにつながる。コロナ禍前は毎月実施していたが、年数回に限定されている点が残念である。現在は中学生向けの体験入学や学園祭などの行事を発表の場として活用している。専門的な教育とサービスラーニングなどの研究活動が、進路選択の際に判断材料となればと思う。 （吉川委員） ・職業図鑑の制作には凄さを感じる。学校単位で作成することは大変。本校でも使用させてほしいくらいである。卒業生の活躍する様子は学校において強い武器となる。卒業生がすでに離職、撮影がＮＧなことも多く、取材もなかなか難しい。高校１年生や２年生に向けた進路のガイダンスなどでも活用できそう。聞くことが苦手な子どもも多く、クイズ形式で興味を引く方法は勉強になった。本校でも共有したい。 ・入学者向けの事前教育用の教材は少し難しそうと感じたが、学科のレベルも上がると思う。本校でも入学許可証と一緒に調べ学習の課題を出している。動画の教材があることは素晴らしいと思った。

	・毎月卒後セミナーを実施している名護委員の取り組みに凄さを感じた。なかなか出来ることではない。本校の卒業生も講師として紹介できる。 ・教員にとって中学生向けの職業体験は「喜ばせる」と「厳しく」のメリハリが難しい。我々も苦労している。永井委員の取り組みは素晴らしいと思う。中学生も、ただ来ているだけの内容ではよくない。本校での取り組み方法についても具体的に検討したいと感じた。 （翁長委員） ・プログラムの内容も年度を重ね充実してきている。吉川委員から話のあった職業図鑑に次年度も当園の職員に協力依頼があったことが嬉しい。高校生にとって進路を決める際にも直接影響する教材だと思う。子どもたちに興味を持ってもらえると嬉しい。最終年度の総括が楽しみである。 （喜納委員） ・学生たちに対する教員たちと関係者の愛がある。事業の取り組みでは学生たちの意見を尊重し、動物関連人材の育成へ意気込みを非常に感じている。残り１年、この事業に携われることを光栄に思う。 （３）第３回 プログラム検討委員会 日程：令和８年 １月 30 日（金）15:00～17:00 会場：沖縄ペットワールド専門学校 その他：本日の参加お礼（伊禮） 以上 委員会を終了する。

Ｚｏｏｍを使った会議と会場の様子






文部科学省事業　令和７年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」

第３回　プログラム検討委員会　議事録

開催日時	2026 年 1 月 30 日（金）　15：00～17：00
会場並びに開催方法	沖縄ペットワールド専門学校　７階ホール　（一部、ZOOM 利用によるリモート方式）
出 席 者	（プログラム検討委員） ・学校法人シモゾノ学園 国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校　学園本部　教務部　　部長　　吉川　鉄平 ・学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校 副校長　　吉田　剛 部長　　仲松　謙 教務課長　　儀間　秀人 教務主任　　山城　正仁 名護　聡美 教務　　永井　洋美 就職担当　　崎山　孝司 ・公益財団法人　沖縄こどもの国　動物みらい課　課長　　翁長　朝 （事務スタッフ） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室 伊禮　嘉本 東　知範 （教材制作） ・株式会社 グローバル専門人材開発ラボ　　開発マネージャー　　広原 敬幸 （議事録作成） ・学校法人ＫＢＣ学園　地域創生室　　東　知範
議　　題	議　事 議題１　令和７年度の事業報告 （１）実証授業（コミュニケーションの重要性） （２）サービス・ラーニング （３）卒後セミナー （４）中学生の職業体験 （５）高校生の職業意識調査 議題２　令和８年度の取組み予定（令和７年度取組み継続） （１）高専連携 実証授業 （２）開発教材の制作 （３）サービス・ラーニング （４）卒後セミナー （５）中学生の職業体験
配布資料	配布資料 資料①　実証授業報告 資料②　サービス・ラーニング実証報告 資料③　卒後セミナー報告書 資料④　中学生の職業体験報告書 資料⑤　中部農林高校 Ｒ６年度入学生職業意識追跡調査報告書
会議概要	伊禮よりスケジュール、配布資料を確認して吉田より挨拶。議題１で広原氏より資料①～⑤を使い令和７年度の事業、各担当職員より報告・感想等を行った。また各委員より質疑・感想等を承った。議題２で伊禮より令和８年度の取組み予定について説明。最後に今後の予定を確認して終了。

目　次	**議題１：令和７年度の事業報告について** ・広原氏より資料①～⑤を使い報告と説明 ・以下の項目について、各担当者から報告・感想 実証授業（コミュニケーションの重要性）　吉田 サービス・ラーニング　山城、儀間 卒後セミナー　儀間、永井、名護 中学生の職業体験　永井 質疑・応答等 【実証授業（コミュニケーションの重要性）について】 （吉川委員） ・とても興味深い内容で私たちも２つの学校に分かれていて中々学校間の教職員コミュニケーションが難しいと感じていて、教職員研修日などに取り入れてみたいと感じた。ぜひ、次回細かい内容をお伺いしたいと思った。 【サービス・ラーニング（ドリームナイト・アット・ザ・ズーについて）】 （翁長委員） ・平時に当園で実施している「NIGHT　ZOO」と異なり、今回は障がいを持った子どもたちを対象とした無料のイベントだった。学生にとっては当日の対応で戸惑うことがあると感じたが、多くのことを考えるきっかけになれればと思った。当日、学生たちの対応はとても良く大変素晴らしかった。 ・餌やりといったワークショップ体験を通常の「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」では行っていない。今回は実施でき、お客さんにも喜んでもらえたと思う。イベントとして大変価値のあるものになり感謝している。 ・夜のイベントなので学生や先生たちには負担となり大変だと思うが、次年度もこのような企画ができるのであれば、ぜひお願いしたい。 【サービス・ラーニング（繁殖引退犬譲渡会について）】 （翁長委員） ・頻繁に譲渡先が見つかり成立するものではないと思う。アンケートの項目で「社会の役に立てた」の結果が 0%であることがとても切なく感じる。そのようなことはない。今後の譲渡を検討している人もいた。このような活動によって引退犬などの問題を知り、考える人も増える。学生たちに意味のある活動であること、気落ちしないでほしいことを伝えてほしい。譲渡が成立することは１つの分かりやすい結果ではあるが、引き続き頑張ってもらいたい。 （吉川委員） ・前回までの委員会で準備状況が報告されていたサービス・ラーニングについて非常に楽しみにしていた。難しいことに取り組んでおり、素晴らしいと思う。子どもの国で実施した「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」や繁殖引退犬の譲渡会に関しても結果だけを見てしまっているせいか、学生たちの満足度や自己肯定感が上がりきっていない。担当者の儀間委員や山城委員から「実施することに価値がある」ことを学生たちにフィードバックしてもらいたい。どうしても数字で出てしまうので気になった点。翁長委員と同じ思いである。 ・学生たちの反省点が非常にリアルである。担当している先生方が深入りしていないと感じた。もし大人が介入していたら修正されていたと思う。学生にとって多くの学びに繋がったと感じた。 ・広原氏からの費用を換算した報告にあった。時間とお金がかかる取り組みではあるが、イベントにおける事前の準備や来場者数によるマーケティング効果など学生たちにある程度考えてもらう本筋があると思う。

	自身も動物産業計画やマーケティングの授業を持っている。学生たちが実践的にＰＤＣＡのサイクルを学べる意味ある高い取り組み。 ・今回は成功体験を得ることはできなかったが、このような実社会で活動する取り組みは学生たちにとってしっかりと学ぶ機会にしてあげた方が良い。アンケート結果からも個々のレベルはアップしている。この活動を通じて、チームとして最終的に何を学んだのかについてはこちらから導いてあげても良かったのでは思った。 【卒後セミナーについて】 （吉川委員） ・看護、美容ともにしっかりと準備されていて内容も適切で素晴らしいと感じた。永井先生の「来ないんだーと言って諦めちゃうのはどうか」という発言が胸に刺さり、やり続けることの重要性を学んだ。 **議題２：令和８年度の取組み予定（令和７年度取組み継続）** ・伊禮よりPPを使い説明 （１）高専連携・実証授業 （２）開発教材の制作 （３）サービス・ラーニング （４）卒後セミナー （５）中学生の職業体験 **今後の予定** 令和８年度□プログラム検討委員会□ 日程：第１回□令和８年７月24日（金）15：00～17：00 第２回□令和８年11月20日（金）15：00～17：00 第３回□令和９年１月29日（金）15：00～17：00 会場：沖縄ペットワールド専門学校 □その他：本日の参加お礼（伊禮） 以上□委員会を終了する。

(Zoom を使った会議の様子)







令和７年度文部科学省委託
「専修学校による地域産業中核人材養成事業による委託事業」

沖縄・動物分野における
有機的高専連携プログラム開発・実証事業

令和７年度　事業報告書

令和８年２月
学校法人ＫＢＣ学園　沖縄ペットワールド専門学校
〒900-0034　沖縄県那覇市東町 19-20